

新版 中学社会

新しい 歴史 教科書



■本書のアイコンの説明

- | | |
|---|--|
|  … 音声リンク |  … 該当頁へ飛ぶ |
|  … 画像リンク |  … 目次へ戻る |
|  … 動画リンク |  … 索引へ飛ぶ |
|  … テキストリンク |  … 購入する |

■ご利用にあたって

この歴史教科書電子版は、自由社の「新しい歴史教科書」を広く一般に認知していただくため、関係各位のご理解とご協力を得て、無償で公開するものです。

従いまして、本電子版を転売等によって第三者が不当な利益を得ることは一切禁止とさせていただきます。

また、そうした行為が発覚した場合は、法的な対応をとらせていただきますので、あらかじめご承知おき下さい。

■動作環境について

OS : Windows7 以降

閲覧ソフト : Adobe Acrobat Reader

(ダウンロード先 = <https://get.adobe.com/jp/reader/>)

ネットワーク : インターネットにつながる環境であること

■簡易マニュアル

別途配布。

くまのふで
⑨熊野筆 (広島県)



広島県熊野町で生産される筆。2011年、サッカー日本女子代表(なでしこジャパン)に授与された国民栄誉賞の記念品として熊野の化粧筆が贈られた。

いまりやき
⑪伊万里焼 (佐賀県)



有田を中心とする肥前国(現・佐賀県・長崎県)で生産された磁器の総称。主な積み出し港が伊万里であったことから伊万里焼とよばれるようになった。

びんがた
⑭紅型 (沖縄県)



琉球王国時代、主に王族や士族の衣装として染められていたとされる。沖縄を代表する染色法の一つであり、その起源は13世紀ごろと推定される。

職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品

織物や陶磁器、漆器、金工品、人形などをふくめ、現在、日本には約1200の伝統的工芸品があるとされています。職人の手によって受けつがれてきたそれらの品や技は、世界に誇るべき、日本の文化とっていいでしょう。あなたの住む地域にはどのような伝統工芸品があるか、調べてみましょう。

とさわし
⑩土佐和紙 (高知県)



土佐の国司であった平安歌人、紀貫之が製紙業を奨励したとされる。良質な水や原材料に恵まれたこともあって、高知の和紙は地場産業として発展した。

さつまきりこ
⑬薩摩切子 (鹿児島県)



切子とはカットガラスの和名。薩摩ビードロともよばれる薩摩切子は、薩摩藩が幕末から明治時代初頭にかけ生産した。現在、復刻生産されている。

ひごぞうがん
⑫肥後象嵌 (熊本県)



熊本の伝統的工芸品の一つで、藩主お抱えの鉄砲師が鉄砲の銃身や刀の鐔に、南蛮渡来の技法である象嵌細工を施したことに始まる。

ゆうきつむぎ
⑤結城紬 (茨城県・栃木県)



紬とは、綿状の絹より紡ぎ出した紬糸で織られた絹織物。結城紬は、かつて養蚕がさかんだった茨城県や栃木県周辺で主に生産される絹織物。

さかい はもの
⑧堺の刃物 (大阪府)



天正年間(1573~1592)に、たばこの葉を刻む包丁が作られるようになったのが始まりで、幕府が堺の名を付して専売し、その名が広まった。

にしじんおり
⑦西陣織 (京都府)



京都・西陣で織られる高級絹織物の総称。応仁の乱(1467~1477)後、西軍が陣を置いていた地に織物業者が集まったことが西陣の名の由来という。

わじまぬり
⑥輪島塗 (石川県)



石川県輪島市で生産される天然漆を原材料にした漆器で、古い歴史をもつが、現在の技法が確立したのは江戸時代ごろである。

おおだてま
②大館曲げわっぱ (秋田県)



きこりが杉で曲物をつくったのが始まりとされる。江戸時代には大館城主が豊富な秋田杉を利用し、武士の内職として奨励した。

みやぎでんとうけし
④宮城伝統こけし (宮城県)



江戸時代中期以降に東北地方の温泉みやげとしてつくられるようになったとされる。宮城県内には、鳴子こけしや作並こけしなど5つの伝統こけしがある。

にぶたに
①二風谷アットウシ (北海道)



北海道紗流川流域に古くから伝わる反物(たんも=衣服の布地)。樹皮の内皮をつかった糸を用いており、北海道初の経済産業大臣指定伝統的工芸品。

なんぶてつき
③南部鉄器 (岩手県)



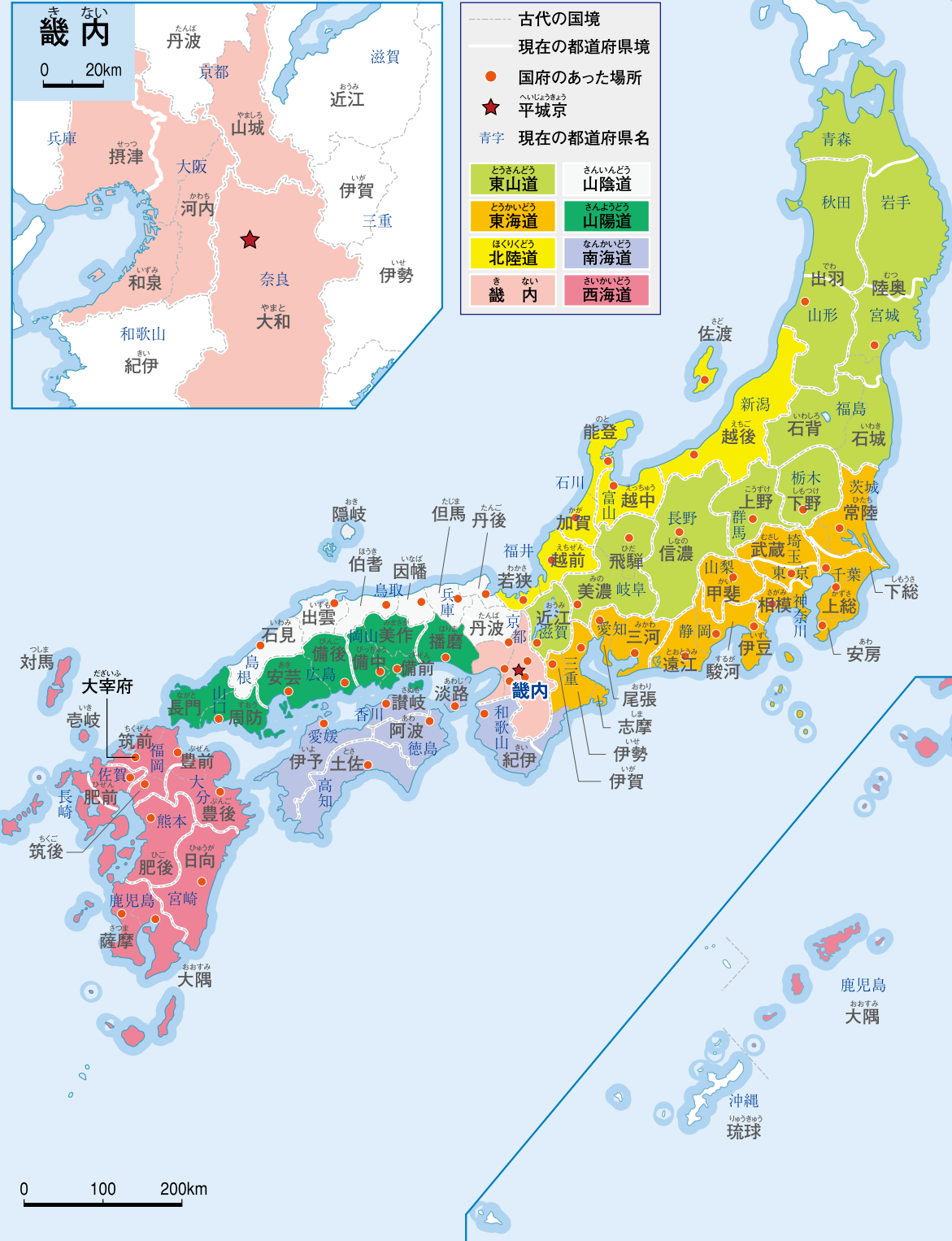
水沢(現・岩手県奥州市水沢区)の南部鉄器と、盛岡の南部鉄器とがあるが、現在は両方を総称して南部鉄器とよんでいる。鉄瓶や鍋などがつくられている。



新しい 歴史 教科書

旧国名と都道府県名

旧国名は、大化の改新（645年）後に定められ、のちに五畿七道（畿内を構成する5つの国と7つの地方）として整備された。都道府県名は、廃藩置県（1871年）で3府302県が置かれたことに始まり、1881年ごろまでに今の形に統合された。



歴史を学ぶとは

■ご先祖が生きた歴史

歴史を学ぶとは、過去におこったことに関し、過去の人々がどう考え、どう悩み、どのように解決していったのかを知ることです。

あなたのご先祖の世代をさかのぼっていくと、昔からこの日本列島に住んでいた人たちは、あなたのクラスのみならずの共通のご先祖だということがわかります。日本の歴史を学ぶということは、私たち共通のご先祖の生きたあとを学ぶということです。

■日本歴史の伝統

世界のどの国にも、それぞれ固有の歴史があります。日本は豊かな自然に恵まれ、独自の伝統を育てました。古代において日本は、中国に出現した文明を学びながらも、みずからの特色を見失うことなく、独自の道を歩んできました。

欧米列強諸国の力がアジアをのみこもうとした近代にあっても、日本は自国の伝統を生かしながら西洋文明との調和をはかり、近代国家の建設と独立の維持に成功しました。私たちのご先祖は、こうしたたゆまぬ努力をして、世界の中でも安全で豊かな日本を築いてきたのです。

■自分のこととして考えてみる

歴史を学ぶときに大切なことは、それぞれの時代にご先祖が直面した問題を知り、私たちもその問題を自分のこととして想像していただくことです。そうすると、歴史上の事実を単に覚えるだけでなく、その背後にある人々の願いや苦しみがわかってくるでしょう。そうしてご先祖と語り合うことができるようになれば、未来に向かって、知恵と勇気が湧いてくるでしょう。

1

高度1万メートルの上空から見た日本は「森の国」だ

縄文時代の1万年
私たちの先祖は豊かな自然の幸に恵まれて暮らしていた
多様で柔軟な日本文化の基礎はこの暮らしの中でつちかわれた



日本歴史の舞台 『3つの日本』が見えてくる

ユーラシア大陸の東のはてに
点々とつらなる
6000余りの島々*
この日本列島が
わが国の歴史の舞台だ

* 海岸線の長さが100メートル以上の島の数は6852

2

高度1千メートルの上空から見た日本は「水田の国」だ

昔は「豊葦原水穂の国」と言った
この2000有余年
豊かな実りが日本文明を支えた
大陸や半島の国々から学びつつ
文化をつくりあげた



3

高度100メートルから見た日本は「町工場の国」だ

黒船来航で西洋文明の衝撃を受けた
日本はこの150年
工業立国をめざして成功した
日本の町工場が
日本と世界の産業を支えている



「3つの日本」が
日本列島に刻み込まれている
「3つの日本」が
今の日本をつくっている
「3つの日本」の
お陰で私たちの今がある
その日本の歴史をこれから学ぼう！

歴史を学ぶとは..... 2

序章

歴史のとらえ方..... 7

第1節 年代のあらわし方と時代区分 .. 8
第2節 「〇〇の歴史」を調べる 12
第3節 人物を通して時代をとらえる 16
第4節 地域の歴史を調べる..... 20

第1章

古代までの日本..... 25

旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安時代

第1節 文明のあけぼの
1. 日本人はどこから来たか 26
2. 自然の恵みと縄文文化 30
3. 文明の発生..... 34
4. 宗教のおこり..... 36
5. 稲作の広まりと弥生文化 38
第2節 古代国家の形成
6. 中国の歴史書が語る古代の日本 40
7. 大和朝廷と古墳の広まり 42
8. 神話が語る国の始まり..... 44
9. 東アジアの国々と大和朝廷 48
10. 仏教伝来..... 50
第3節 律令国家の建設
11. 聖徳太子の新しい政治 52
12. 遣隋使と天皇号の始まり 54
13. 大化の改新 56
14. 律令国家への道..... 58
15. 大宝律令と平城京..... 62
16. 記紀の編纂と大仏造立 64
17. 飛鳥・天平の文化 66
第4節 律令国家の展開
18. 平安京と摂関政治..... 68
19. 平安文化..... 70
20. 武士の台頭と院政..... 76
21. 室町幕府と守護大名 94
22. 日明貿易と朝鮮・琉球 96
23. 応仁の乱と下剋上..... 98
24. 中世の都市と農村の変化..... 100
25. 鎌倉文化..... 102
26. 室町文化..... 104
27. 建武の新政と南北朝の時代 92
28. 中世とはどんな時代か (第2章のまとめ) 107
29. 鎌倉文化..... 102
30. 室町文化..... 104
31. 一揆と合議の伝統 106
32. 中世とはどんな時代か (第2章のまとめ) 107
33. 歴史豆辞典 (第2章のまとめ) 108

第2章

中世の日本..... 81

鎌倉・室町時代

第1節 武家政治の始まり
21. 平氏の繁栄と滅亡..... 82
22. 鎌倉幕府の武家政治 84
23. 元寇 88
24. 建武の新政と南北朝の時代 92
第2節 武家政治の展開
25. 室町幕府と守護大名 94
26. 日明貿易と朝鮮・琉球 96
27. 応仁の乱と下剋上..... 98
28. 中世の都市と農村の変化..... 100
29. 鎌倉文化..... 102
30. 室町文化..... 104
31. 一揆と合議の伝統 106
32. 中世とはどんな時代か (第2章のまとめ) 107
33. 歴史豆辞典 (第2章のまとめ) 108

第3章

近世の日本..... 109

安土桃山・江戸時代

第1節 戦国時代から天下統一へ
31. 戦国大名..... 110
32. ヨーロッパ人の世界進出 112
33. ヨーロッパ人の来航..... 114
34. 信長と秀吉の全国統一 116
35. 秀吉の政治と朝鮮出兵 118
36. 桃山文化..... 122
第2節 江戸幕府の政治
37. 江戸幕府の成立..... 124
38. 朱印船貿易から鎖国へ 126
39. 鎖国日本の4つの窓口 128
40. 江戸の社会の平和と安定..... 130
第3節 産業の発達と教育・文化の普及
41. 網吉の文治政治と元禄文化 132
42. 農業・産業・交通の発達 136
43. 教育・文化の普及 138
44. 幕府の政治改革..... 142
45. 化政文化..... 144
46. 幕府政治の動揺..... 148
47. 浮世絵とジャポニスム 150
48. 近世とはどんな時代か (第3章のまとめ) 151
49. 歴史豆辞典 (第3章のまとめ) 152

第4章

近代の日本と世界 (I)..... 153

幕末から明治時代

第1節 欧米諸国のアジア進出
47. 市民革命と産業革命 154
48. 欧米列強のアジア進出 156
第2節 開国から明治維新へ
49. ペリーの来航と開国..... 158
50. 尊王攘夷運動の展開 160
51. 薩長同盟と王政復古 162
52. 明治新政府 164
53. 廃藩置県と四民平等 166
54. 学制・兵制・税制の三大改革..... 168
55. 近隣諸国との国境画定 172
56. 岩倉使節団と征韓論 176
57. 殖産興業と文明開化 178
58. 条約改正への苦闘 182
59. 自由民権運動と政党の誕生 184
60. 大日本帝国憲法と立憲国家 186
61. 日清戦争と三国干渉 190
62. 日英同盟..... 192
63. 国家の命運をかけた日露戦争 194
64. 世界列強の仲間入りをした日本 198
65. 近代産業の発展とその背景 202
66. 近代文化の形成..... 206
67. 幕末・明治期の日本人の生き方 180
68. 明治維新とは何か 170
69. 琉球処分とは何か 174
70. 日本の近代化とアイヌ 175
71. 岩倉使節団と征韓論 176
72. 殖産興業と文明開化 178
73. 幕末・明治期の日本人の生き方 180
74. 福沢諭吉の『学問のすずめ』と「脱亜論」 188
75. 日露戦争を戦った日本人 196
76. 明治国家を背負った政治家・伊藤博文 200
77. 日本の実業家の伝統をつくった渋沢栄一 204
78. 世界が見た日露戦争 208
79. 近代 (I) とはどんな時代か (第4章のまとめ) 209
80. 歴史豆辞典 (第4章のまとめ) 210

第5章 近代の日本と世界 (II) 211

大正・昭和時代前半

第1節 第一次世界大戦とその影響

- 67. 第一次世界大戦と日本の参戦 212
68. ロシア革命と大戦の終結 214
69. ベルサイユ条約と大戦後の世界 216
70. 政党政治の展開と社会運動 218
71. 日米関係とワシントン会議 220
72. 文化の大衆化と都市の生活 222
76. 満州事変と満州国建国 230
77. 日中戦争 (支那事変) 232
78. 中国をめぐる日米関係の悪化 234
79. 第二次世界大戦の始まり 236
80. 大東亜戦争 (太平洋戦争) 238
81. 大東亜会議とアジア諸国 240
82. 戦時下の国民生活 242
83. 終戦をめぐる外交と日本の敗戦 244
■大東亜戦争とアジアの独立 246
■戦時国際法と戦争犯罪 248
◎近代 (II) とはどんな時代か (第5章のまとめ) 250
◎歴史豆辞典 (第5章のまとめ) 250

第2節 第二次世界大戦と日本

- 73. 世界恐慌とその影響 224
74. 共産主義とファシズムの台頭 226
75. 中国の排日運動と協調外交の挫折 228

第6章 現代の日本と世界 251

昭和時代後半・平成時代

第1節 占領と冷戦

- 84. 占領下の日本 252
■占領下の検閲と東京裁判 254
85. 占領政策の転換と朝鮮戦争 256
86. 独立の回復と米ソ冷戦 258
88. 冷戦の推移と日本の経済発展 264
■昭和天皇 国民とともに歩まれた生涯 266
89. 戦後の文化 268

第2節 高度経済成長と日本の発展

- 87. 世界の奇跡・高度経済成長 260
■日本の底力を世界に示した 昭和39年の東京オリンピック 262
第3節 21世紀の世界と日本
90. 冷戦の終結と共産主義の崩壊 270
91. 21世紀の日本の進路 272
■勇気と友情の物語 世界と交流した近代日本 274
■東日本大震災と日本人 276
◎現代とはどんな時代か (第6章まとめ) 277
◎歴史豆辞典 (第6章まとめ) 278

- 歴史を学んで 日本の歴史の特色は何か 279
事項さくいん 280
人名さくいん 286
歴史年表 巻末
年号・西暦早見表 巻末

【この教科書の構成と特徴】
■単元 見開き2ページが1単元で、単元は1から91まで通し番号がついています。全91単元は6章に分かれています。
■コラム 見開き2ページ (または1ページ) の読み物で、単元のページでは簡潔に書いている内容を、より詳しく、面白く発展させた歴史読み物です。
■ミニコラム 各単元の欄外に掲載。とくに、「歴史の言葉」で歴史用語の意味を解説したユニークなコーナーもあります。
■最後にチャレンジ 単元の学習でしっかりおさえておきたい要点を問題形式で整理しました。
■歴史豆辞典 各章の中で重要な15の歴史用語について、100字以内でまとめています。
■図版で使われているマーク
■国宝 ■重要文化財
■相互参照 この教科書では、他のページで関連する事項や説明があるとき、矢印 (➡) でそのページを示しています。この矢印をたどっていくと、学習が深まるようになっています。

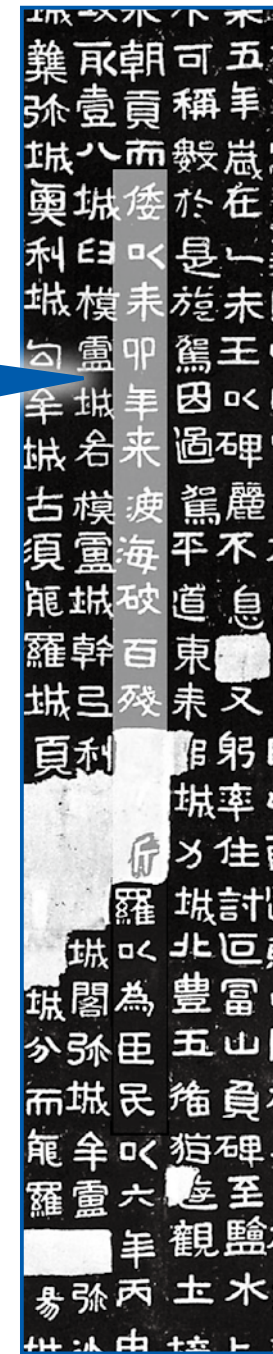
歴史のとらえ方

4世紀末の朝鮮半島北部に高句麗という国があった。



高句麗の広開土王をたたえる碑が、今も建てられている。

倭以辛卯年来渡海破百残



どうしてそんな正確な年までわかるのかしら？

この碑文から、倭 (日本) が391年に海をわたり、百済を破ったことがわかるんだ。



道代さん 裕樹君 <キャラクター紹介>

碑から拓本をとり、今の漢字に直すと「倭以辛卯年来渡海破百残」。こんな文字が彫られていた。(東京国立博物館蔵)

第1節 年代のあらわし方と時代区分



キリストの生まれた年は、「0年」となるのですか？

時間に名前を付けよう

私たちは、年・月・日の時間を過ごしています。時間はどこまでもさかのぼれるようですし、どこまでも未来につづくようですね。そのように過去にも未来にもつづいているように見える時間の中で、たとえば、平成28年や西暦2016年は、その年の名前です。私たちは時間に名前を付けて、歴史を学んでいるのです。

時間に名前を付けるルールが確立していないと、どういふことがおこるのでしょうか。たとえば、昨日が私の誕生日だったとしましょう。そのことをほかの人に伝えるとします。そうすると、「昨日は私の誕生日だった」と言うでしょう。そして、1日たった明日になってそのことを言おうとしたら「一昨日が私の誕生日だった」と言うでしょう。さらにその次の日には「3日前が私の誕生日だった」となるでしょう。

しかし、こうして何日前が誕生日であったというような表現は、表現の日が誕生日から遠く離れていくにしたがって困難になっていきます。そこで、その誕生日がたとえば4月

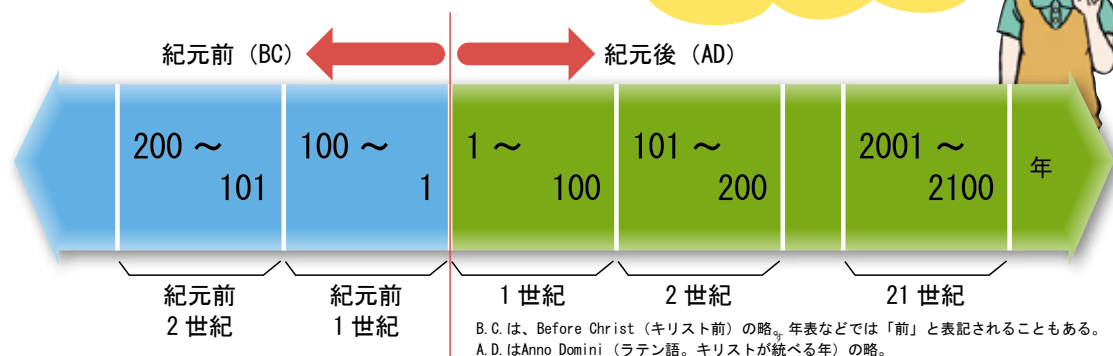
10日であれば、「4月10日が私の誕生日だった」と言えば、たいへん伝えやすくなります。「4月10日」は4月10日という日の固有の名前なのです。

ところで、4月10日というのは毎年、1日だけあり、どの年の4月10日であるかはまだわかりません。そこでたとえば私の生まれた日の4月10日を「平成15年4月10日」というように、年の名前である「平成15年」を付け加えれば、特定の日をさすこととなります。つまり「平成15年4月10日」はこの日の固有の名前だということになります。

年号（元号）

日本や中国では天皇や皇帝が定める年号（元号）を使ってきました。わが国で最初に年号を使ったのは、西暦645年でした。天皇を中心とした政治をめざす大きなできごとが

最初の100年は、AD1年から100年までだから、ずーっといくと…
2000年は、(21世紀ではなく)20世紀になるんだわ！



B. C. は、Before Christ (キリスト前) の略。年表などでは「前」と表記されることもある。
A. D. は Anno Domini (ラテン語。キリストが統べる年) の略。

あって、このとき「大化」という年号を定めました。年号では最初の年を「元年」と言い、その後は2年、3年とつづけていきます。「大化」という年号は西暦650年に「白雉」と変わりましたから、「大化」は元年から6年までつづいたこととなります。大化6年は白雉元年と重なります。

西暦

現代の日本では、世界の各国で用いられている西暦と年号を併用しています。「西暦」というのはイエス・キリストが生まれた年を基準として、その年を「紀元1年」とし、その後は数字の順番に「紀元〇〇年」とあらわします。そしてキリストが生まれる前の年は「紀元前〇〇年」とあらわします。なおキリストの生まれた年は現在では、紀元前4年ごろといわれています。

このようにあらわすと、源頼朝が鎌倉幕府を開いた建久3年は紀元1192年ということになり、それは平成28年の2016年から計算すると824年前のことだとわかります。西暦は世界中で共通して使われているので、人々のコミュニケーションが円滑になります。

このようにあらわすと「紀元0年」というのはあるのかということが問題になります。西暦を決めたころはまだ「0」の概念がなかったため、「紀元0年」はないのです。

西暦では100年をひとまとまりにして「世紀」としてあらわします。こうすると、たとえば2001年から2100年までが21世紀となります。

干支

中国、朝鮮、日本の東アジアでは古代から干支をつかった年のあらわし方がなされてきました。干支は<甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸>の十干と、<子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥>の十二支を順番に一つずつ選んで60通りの組み合わせをつくり、それによって年月日や時刻、方位をあらわす方法です。60歳になると「還暦」というのは、暦が一回りして最初に還ることなのです。干支を使った歴史用語には、壬申の乱、戊辰戦争、壬午事変、甲申事変などがあります。

●序章の扉のページで、高句麗の広開土王の碑文に、倭(日本)が「辛卯年」に、「海をわたり、百済を破った」と書かれていました。この辛卯の年は西暦で391年にあたるので、このできごとの年が特定できます。

干支順位表

干支	干支	干支	干支	干支
1 甲子 (きのえ・ね)	2 乙丑 (きのと・うし)	3 丙寅 (ひのえ・とら)	4 丁卯 (ひのと・う)	5 戊辰 (つちのえ・たつ)
6 己巳 (つちのと・み)	7 庚午 (かのえ・うま)	8 辛未 (かのと・ひつじ)	9 壬申 (みずのえ・さる)	10 癸酉 (みずのと・とり)
11 甲戌 (きのえ・いぬ)	12 乙亥 (きのと・い)	13 丙子 (ひのえ・ね)	14 丁丑 (ひのと・うし)	15 戊寅 (つちのえ・とら)
16 己卯 (つちのと・う)	17 庚辰 (かのえ・たつ)	18 辛巳 (かのと・み)	19 壬午 (みずのえ・うま)	20 癸未 (みずのと・ひつじ)
21 甲申 (きのえ・さる)	22 乙酉 (きのと・とり)	23 丙戌 (ひのえ・いぬ)	24 丁亥 (ひのと・い)	25 戊子 (つちのえ・ね)
26 己丑 (つちのと・うし)	27 庚寅 (かのえ・とら)	28 辛卯 (かのと・う)	29 壬辰 (みずのえ・たつ)	30 癸巳 (みずのと・み)
31 甲午 (きのえ・うま)	32 乙未 (きのと・ひつじ)	33 丙申 (ひのえ・さる)	34 丁酉 (ひのと・とり)	35 戊戌 (つちのえ・いぬ)
36 己亥 (つちのと・い)	37 庚子 (かのえ・ね)	38 辛丑 (かのと・うし)	39 壬寅 (みずのえ・とら)	40 癸卯 (みずのと・う)
41 甲辰 (きのえ・たつ)	42 乙巳 (ひのえ・たつ)	43 丙午 (ひのと・うま)	44 丁未 (ひのと・ひつじ)	45 戊申 (つちのえ・さる)
46 己酉 (つちのと・とり)	47 庚戌 (かのえ・いぬ)	48 辛亥 (かのと・い)	49 壬子 (みずのえ・ね)	50 癸丑 (みずのと・うし)
51 甲寅 (きのえ・とら)	52 乙卯 (きのと・う)	53 丙辰 (ひのえ・たつ)	54 丁巳 (ひのと・み)	55 戊午 (つちのえ・うま)
56 己未 (つちのと・ひつじ)	57 庚申 (かのえ・さる)	58 辛酉 (かのと・とり)	59 壬戌 (みずのえ・いぬ)	60 癸亥 (みずのと・い)

暦の話

私たちは無限につづき、連続している時間に名前を付け、名前の付け方のルールを共有することで、どの時点のことを語っているのかを理解します。住所が空間的な地点を特定するように、時間にも名前を付けることで、時間軸上の位置を知ることができます。

時間の名前は、暦であらわします。暦とは、時間の流れを年・月・日という単位で区切って、時間上の位置を特定するものです。

「日」は、地球が自転して1周する時間の長さです。「月」は、月が地球の周りを1周する時間の長さです。「年」は、地球が太陽の周りを1周する時間の長さです。

暦には、月の満ち欠けに連動してひと月の日にちを割り当てる太陰暦と、太陽の1年の運行と季節の変化を重視する太陽暦、両者を折衷した太陰太陽暦の3つの種類があります。

このように、暦をつくるのは、たいへん複雑な仕事でした。そのため暦をつくるのは宗教や政治にたずさわった人たちの大切な仕事となっていました。

太陰暦では、月がまったく姿をあらわさない日を1日とすると、満月は15日になります。このように、月の形で日にちがわかり、その月が空のどのあたりにあるのかによって、だいたい時間もわかります。太陰暦にはそ

のような便利さがあります。

月が地球の周りを1周する日数は29.5日です。そこで太陰暦では、30日の月（大の月）と29日の月（小の月）を交互にくり返し、ズレが生じないようにします。

さて、地球が太陽の周りを1周する長さは、365日です。ところが、太陰暦では、月を29日と30日に分けて交互にくり返し、12か月分を合計しても354日にしかありません。そのため、何年かたつと、季節と月のつながりがなくなり、8月が真冬になるということも起こります。これでは農耕の作業の予定を立てるにも不便です。

そこで、ひと月の長さを月の満ち欠けで知ることのできる太陰暦で定めつつ、3年に1回、「閏月」を設け、たとえば4月の次に「閏4月」が置かれる、というようにして、月と季節のズレが小さくなるように工夫した暦がつくられました。これを太陰太陽暦と言います。日本では江戸時代まで、この太陰太陽暦を使っていました。

太陰太陽暦の明治5年12月3日、明治政府は太陽暦を採用することを決め、この日をいきなり明治6年元旦と決めました。

太陽暦にしたため、月の満ち欠けとカレンダーの日付けとは、つながりがなくなりました。

時代を区別する

時間に名前が付いても、その時間軸にそってできごとを並べただけでは、歴史の意味をとらえることはできません。連続して流れてきた時間を、何らかの視点でいくつかの時代に区分してみることによって、歴史の流れが見えてきます。「日本歴史の舞台」のページで、「3つの日本」に分けたのも時代区分の一種です。

いろいろな時代区分

下の歴史モノサシは、小学校でも学んだ一般的な時代区分です。それぞれの時代が何を基準にしているか、分類してみましょう。

旧石器時代のように使われた道具や、古墳時代のように造営物で区分するのは、文献資料が十分になく、主に考古学の資料に頼る時代区分です。

文字の記録がたくさん残されるようになる

時代名のつけ方

使われた道具・造営物	旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代
政権の所在地	飛鳥時代・奈良時代・平安時代・鎌倉時代・室町時代・安土桃山時代・江戸時代
天皇の在位期間の年号	明治時代・大正時代・昭和時代・平成時代
時代の特徴	南北朝時代・戦国時代



何気なく使っていたけど、時代区分に、こんなにいろいろな観点があるとは、知らなかったなあ。

と、政権の所在地で時代を区分します。

1868年、明治に改元したとき、一世一元の制が定められ、天皇の代替わりのときだけ改元する制度になりました。そこで、それ以後は、明治、大正、昭和と、天皇の在位期間で時代を区分しました。

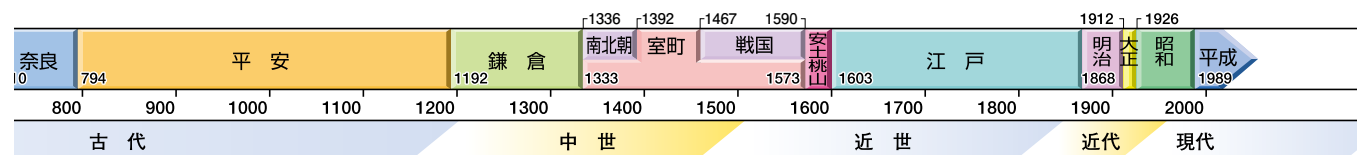
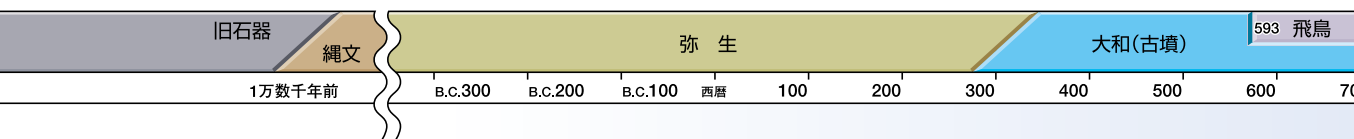
大づかみな時代区分

政権の所在地や年号などで時代を区分する方法は、分け方が細かすぎるきらいがあります。そこで、時代をもっと大づかみにとらえる時代区分が考えられました。

文部科学省が定めた中学校学習指導要領では、下の歴史モノサシのように時代を古代、中世、近世、近代、現代の5期に区分しています。この教科書では、「近代の日本と世界」の時代は、学ぶべき内容が多いので、第4章と第5章の2つの章に分けました。

大づかみに区分した各時代の特色や、その時代の中で、さらに時代を細かく分ける場合の考え方などについては、各章の末尾の「章のまとめ」のページで説明しています。

歴史モノサシ



第2節 「〇〇の歴史」を調べる

テーマを決めよう

裕樹君のクラスでは、「〇〇の歴史」を調べる学習をすることになりました。みんなで「〇〇」のところに言葉を入れてみました。

- ・食べ物の歴史
- ・暦の歴史
- ・本の歴史
- ・衣服の歴史
- ・時計の歴史

このように、いろいろなテーマが出ました。野球の好きな球人君が、「野球の歴史！」と言うと、みんなはどっと笑いました。でも、希望者をつのってみると、「野球の歴史」をやりたいという人がほかにもあられました。こうして、「野球の歴史」調査班が誕生しました。

「野球の歴史」を調べてみよう

ステップ1 準備段階

1 専用ノート選び

まず、調査のための専用ノートを1冊つくり、表紙に「野球の歴史」と書きます。

* ノートはなるべく薄うすいものがよい。厚あついノートは無駄になることが多い。小型せうがたのノートは持ち歩きに便利で、大判おおびらのノートは切り抜きを貼り付けるのに都合がよい。テーマに合ったノートを選ぶことが大切。

2 疑問文集づくり

テーマについて知りたいこと、調べたいこ

初めはインターネットで調べてみよう。

野球殿堂博物館にも行きたいな。



と、疑問に思うことなどを出し合い、疑問文の形でノートに書きつけていきます。通し番号を付けておきましょう。

〈疑問文集〉

- ① 野球はいつから始まったのか？
- ② 正岡子規まさおかしきがベースボールを「野球」と翻訳したというのは本当か？
- ③ 高校野球はいつ、どうして始まったのか？
- ④ プロ野球はいつ、どうして始まったのか？
- ⑤ 今の野球のルールは誰が考え出し、いつ決まったのか？
- ⑥ 日本人が大リーグで活躍するようになったのは、いつごろからか？
- ⑦ 日本のプロ野球が最初に雇った外国人選手は誰？
- ⑧ 野球のさかんな国や地域と、さかんでない国や地域があるのはどうしてか？
- ⑨ サッカーの監督は背広で出場するのに、野球の監督は選手と同じユニフォームを着るのはどうしてか？

* 調査が進むと、新たな疑問がわいてくる。あらかじめノートの最初の2ページを「疑問文集」のページとしてとっておく手もある。

ステップ2

がいよう 概要調査段階

3 概要調査

百科事典や歴史事典、インターネットなどで、テーマについての概要を調べます。

- 5 図書館には何種類もの百科事典がありますから、それらをすべて開いてみましょう。テーマにあまり関係がないことや、自分がすでに知っていることは除いて、大事だと思えることや、興味きょうみをもったことを、ノートに書き留めていきます。

何種類もの事典を引くと、同じテーマでも少しずつ違ったことが書かれているので、情報をよりくわしく知ることができます。

- 15 * 気に入った言葉に出会ったら、要約せずに、文章をそのまま書き写しておく、後で役立つ。その文章が書かれていた書物の書名や著者名を、出典として書き留めておくことも大切だ。

- 20 インターネットも概要調査には便利な道具です。「野球 歴史」「野球の歴史」などのキーワードで検索すると、すぐに記事が出てきます。大事な情報はメモを取ります。

* インターネットは役立つが、不正確な情報が含まれていることがあるので、注意すること。

25



1872（明治5）年、日本人に初めて野球を教えたアメリカ人ホーレス・ウィルソン。

1896（明治29）年の旧制第一高等学校野球部員。後列中央がベースボールを「野球」と訳した中島庚。



* 写真提供：野球殿堂博物館

4 年表づくり

概要調査が終わったら、全体の流れを見通すために、年表をつくります。年表づくりは、ノートに適当に間隔かんかくをあけて記入していく方法と、あらかじめ年次を記入しておいて、書き込んでいく方法とがあります。

5 時代区分

年表ができあがったら、野球の歴史の時代区分をしてみましょう。「何が重要か」ということをよく考えて、ことからの大きな変わり目しひょうや、指標ちやくもくとなるできごとに着目します。時代区分はその人が、何を重要で、価値のあるものとするかによって違ってきます。

なお、この調査では、「野球の歴史」の範囲を、「日本を中心としながらも、野球の始まりをふくめる歴史」と決めました。

* 時代区分は、とりあえず大まかにしておいて、あとで知識や考察が深まれば修正するものとしてとらえること。区分された時代に名前を付けること。

ステップ3 本格調査段階

6 文献調査

図書館などで、そのテーマに関する文献（書籍、雑誌、論文、資料）を調べます。

野球については、次のようなおもしろそうな文献が見つかりました。

- * 佐山和夫『日本野球はなぜベースボールを超えたのか——「フェアネス」と「武士道」』彩流社
- * 平出 隆『ベースボールの詩学』講談社学術文庫

「野球の歴史」調査班のメンバーが、分担

して読むことにしました。

7 フィールドワーク

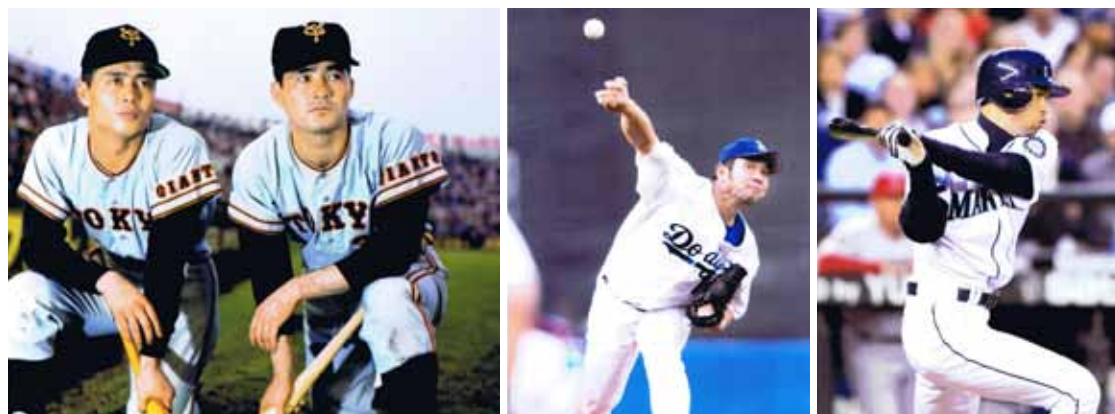
図書館で調べることは文献調査の範囲ですが、博物館・資料館・美術館や、神社・寺院・遺跡などの現地に出かけて調べることを、フィールドワークと言います。

フィールドワークのうち、人に会ってお話をうかがうことを、インタビューと言います。このフィールドワークに、調査の醍醐味（たまらないおもしろさ）があります。

野球については、東京ドームの近くに野球殿堂博物館があるので、たずねてみました。



野球殿堂博物館の記念品展示



読売巨人軍V9（日本シリーズ9年連続制覇）時代の王選手（左）と長嶋選手。

大リーグで日本人選手が活躍する大リーグで大きな記録を次々と打破すじを切り開いた野茂選手。ちたてたイチロー選手。

ステップ4 「野球の歴史」調査班の発表

【レポート】「野球の歴史」調査班 *年*月*日報告

野球の歴史

1 野球の始まり（英米）

18世紀：イギリスで、石に糸を巻き付けたボールを使った、野球のもとになるゲームが始まった。町民が集会所に集まり、町の行政について話し合うタウン・ミーティングを開くときに、よく行われたことから、「タウンボール」とよばれた。

* 選手の中のベテラン選手がチームをまとめて監督の役をした。野球の監督がユニフォームを着けるのは、その名残である。

1845年：アメリカのニューヨークでボランティア消防団を創設したアレクサンダー・カートライトという人が、団員の結束を固め、運動不足を解消するために、タウンボールを始めた。しかし、ルールがまちまちだったので、対抗試合をするための統一ルールを考えた。これが今日の野球ルールの原型となった。

1861～65年（日本の幕末のころ）：南北戦争で、北部の野球が南部にも広がり、全米的なスポーツになった。

2 学生野球の時代

1872（明治5）年：アメリカ人ホーレス・ウィルソンが、旧制第一高等学校（今の東京大学）の前身で野球を教えた。その学校から野球は全国へ広まっていった。

1894年：旧制第一高等学校野球部員の中馬庚がベースボールを「野球」と訳した。

* 初めは「打球おにごっこ」という名前で全国に広がった。近代俳句の創始者・正岡子規が訳したというは間違い。子規は幼名の「昇」を「野球（のぼー）」と書いて雅号にしていたことから生まれた誤解。ただし、子規はほかの野球用語（打者、走者、四球など）をたくさん翻訳しており、2002年には野球殿堂入りをした。



*写真提供：野球殿堂博物館

1915（大正4）年：全国中等学校優勝野球大会（今の夏の甲子園大会）始まる。

3 プロ野球の時代

1934（昭和9）年：ペーブ・ルースら米大リーグ選抜チームが来日。対戦した全日本チームが中心となり大日本東京野球倶楽部（今の読売巨人軍）が誕生した。

1936（昭和11）年：7球団で日本職業野球連盟発足、プロ野球が始まる。

1943年：戦争激化で学生野球は中止。プロ野球も翌年中止。

* 戦争中は、英語が敵性語として禁止されたので、「ワンストライク・ツーボール」を、「真ん中1本・はずれ2本」などと言い換えてゲームをしていた。

1946年：学生野球・社会人野球・プロ野球がいつせいに復活した。

1950年：セ・パ2リーグ制が始まる。

1953年：テレビで野球実況放送が始まる。

1973年まで：読売巨人軍が9年連続日本シリーズ制覇。王、長嶋が活躍。

4 日本人大リーガーの時代

1995（平成7）年：ドジャースの野茂英雄投手が、ナショナル・リーグの新人王になる。

2009（平成21）年：ヤンキースの松井秀喜選手がワールド・シリーズのMVP（最優秀選手）に。

2009（平成21）年：マリナーズのイチロー選手が、大リーグ史上初の9年連続200本安打。

2013年、日米通算4000本安打を達成。

ここに示した手順・方法で、別のテーマについても調査してみよう。

第3節 人物を通して時代をとらえる

小学校で学んだ
主な人物 42人

古代
卑弥呼
聖徳太子
小野妹子
中大兄皇子
中臣鎌足
聖武天皇
行基
鑑真
藤原道長
紫式部
清少納言

中世
平清盛
源頼朝
源義経
北条時宗
足利義満
足利義政
雪舟

近世
ザビエル
織田信長
豊田秀吉
徳川家康
徳川家光
近松門左衛門
歌川(安藤)広重
本居宣長
杉田玄白
伊能忠敬

近代
ペリー
勝海舟
西郷隆盛
大久保利通
木戸孝允
明治天皇
福沢諭吉
大隈重信
板垣退助
伊藤博文
陸奥宗光
東郷平八郎
小村寿太郎
野口英世

人物カード をつくろう

小学校の歴史人物学習を思い出して、中学校の学習に発展させるための、準備体操をしておこう。小学校で学んだ主な人物42人の中から、改めて調べてみたい人物、気になる人物を選び、人物カードをつくって、短い文章にまとめてみよう。

200字で、ミニ伝記を書いてみよう

200字という字数を決めて、小学校で学んだ人物の伝記を書くことにします。裕樹君は42人の中から鑑真を選びました。

〈裕樹君のつくったカード〉

鑑真 (688 ~ 763)

唐の学僧で、戒律のきびしい律宗を日本に伝えた。

742年、日本の留学僧から懇願されて、命がけの来日を決意。5回も航海に失敗し、失明しながらも、12年後の754年に奈良に到着した。すでに67歳だった。

日本で10年、仏の教えを説き、僧侶の戒律を伝えた。奈良に唐招提寺を建て、僧の最高位である大和上になった。

*最近では、失明したのは晩年になってからという説もある。



奈良・唐招提寺蔵

【カードのつくり方】

- ①B 6サイズなどの、比較的大きなカードを使うと便利。
- ②まず、歴史人物の名前を書き、難しい漢字には読みを付ける。
- ③(~)の中に生没年を書く。
- ④右上に、人物の似顔絵を描くか、写真や絵を貼りつける。
- ⑤200字を目途に、文章を書く。
- ⑥書き出しと段落の始まりの1字は下げる。
- ⑦*印で、追加情報などを書き込む。

800字の 人物伝記

800字で少し詳しい伝記を！

今度は、800字に字数を増やし、取り上げる人物も、小学校の復習を離れて、興味のある人物を自由に選ぶことにします。

道代さんは、日本で最初の帰国子女といわれる津田梅子に興味

をもちました。800字の伝記を書くためには、図書館に行って本を調べなければなりません。

少し字数に余裕があるので、文章も「です・ます体」(敬体)を使ってみました。

〈道代さんの作品〉

日本人最初の女子留学生・津田梅子

津田梅子は明治・大正期の教育家で津田塾大学を創立した人です。1871(明治4)年、岩倉使節団が、アメリカに向けて横浜港を出発しました。46名の使節団のほか留学生43人など総勢100名を超える人数で、留学生のうち5人は、日本で最初の女子留学生でした。その中に、7歳の誕生日を目前にひかえた津田梅子の姿がありました。この小さな女の子の肩には、新しい日本の女性の模範になるという、大きな使命がかかっていた。

アメリカで梅子はワシントン郊外の家庭にホームステイして、愛情豊かなアメリカ人の家族のもとで大切に育てられました。彼女は英語のほか、フランス語、数学、物理学、音楽まで幅広く学び、抜群の成績をおさめました。



右から2人目が津田梅子

17歳までアメリカで過ごした後、梅子は、日本で女性のための学校をつくるという希望を胸に帰国しました。しかし、アメリカで受けてきた教育と日本の教育との間で、梅子は苦しみました。梅子は再び渡米し、より広い教養を身につけて帰国しました。

そして、1900年、梅子は女子英学塾という私塾を開設しました。これは個人指導を通して、単に英語だけでなく、世界に目を向けた広い視野と自立心をもった女性になることをめざした、画期的な学校でした。

日本語よりも英語が得意で、講演の原稿も英語で書くほどの梅子でしたが、「日本のよいものを捨ててはいけない」と戒め、卒業式など公式の場では和服で通しました。梅子がアメリカ大統領のセオドア・ルーズベルトに会ったとき、大統領夫人が梅子に「日本の伝統の中で大切なものは？」と質問しました。梅子は「犠牲の精神と忠誠」と答え、日本の武士道を高く評価していた大統領を感動させました。



津田梅子
(1864 ~ 1929)

本格的な 人物研究

人物を調べ、時代の精神を知る

時代の精神や、今とのつながりをもっと深く知るため、グループに分かれて本格的な人物研究をやってみよう。

あるグループは、幕末から明治にかけて活躍した、「からくり儀

右衛門」こと田中久重の人物研究に挑戦することにしました。関連する写真なども集めました。

以下はその発表会のもようです。

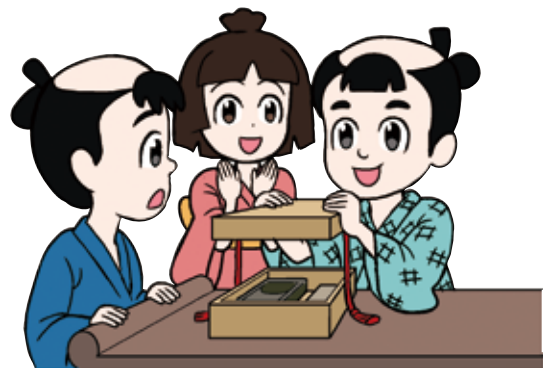
〈人物研究発表会〉

日本のモノづくりの先駆者 からくり儀右衛門（田中久重）の生涯

曇 生い立ち

田中久重（1799～1881）は、「からくり儀右衛門」という名前でよく知られた、幕末から明治時代にかけて活躍した発明家です。1799（寛政11）年、筑後の国・久留米（現在の久留米市）に生まれました。父はべっこう細工師で、儀右衛門は父の高度な手業を見て育ちました。

8歳のとき、自分がつくった硯箱を寺子屋で仲間に見せて、あけるようにすすめました。しかし、誰もあけることができません。儀右衛門は、仕掛けのヒモを引いてスルスルとあけて見せました。人々を驚かせ、喜ばせることに生き甲斐を感じるイタズラ心は、儀右衛門の生涯を貫いていました。



罫 からくり人形

幕末に庶民の娯楽として注目を集めていたのが「からくり人形」です。

「からくり」とは機械という意味です。ゼンマイ仕掛けの人形が、まるで生きているかのように動き、お客

様にお茶を運んだりします。儀右衛門はそのおもしろさに魅せられました。自分でからくり人形を考案し、久留米の五穀神社の祭礼で上演し、評判をよびました。

14歳のとき、家業を弟に譲り、大阪・京都・江戸で興行を行い、「からくり儀右衛門」として全国にその名を知られるようになりました。

罫 蒸気機関をつくる

からくり興行師として有名になった儀右衛門は、もっと人々に役立つものを発明したいと考え、圧縮空気で灯油を補給する無尽灯や、江戸時代の不定時法（昼と夜をそれぞれ6等分する時間



お茶運び人形



藩主の前で行われた、蒸気機関車を走らせる実験（佐賀・鍋島報効会蔵）

制度）に合わせた万年時計をつくりました。

1853年、ペリーが浦賀に来て、日本に開国を迫りました。ところが、その1年前に、儀右衛門は、ロシアの蒸気船とその簡単な設計図だけを見て、すでに蒸気船の模型を制作していました。幕府から国防の役目を与えられていた佐賀藩は、ペリー来航後、儀右衛門を藩に雇い、蒸気機関を改めてつくらせました。1855年、藩主の前で行われた実験で、模型の蒸気機関車は線路の上を走り、蒸気船も水の中を動き回りました。これを見た大隈重信は、「模型でなくホンモノをつくらう」と決意しました。

罫 日本のモノづくりの草分け

明治に時代が変わっても、儀右衛門の発明の意欲は衰えませんでした。久重が創設した田中製作所はのちの東芝に発展しました。

日本が工業国家として成功するモノづくりの伝



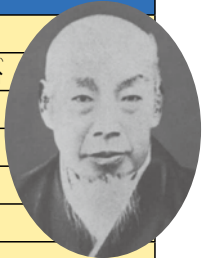
万年時計（万年自鳴鐘） 万年時計は和時計の最高傑作といわれ、1851（嘉永4）年に製作された。東芝未来科学館蔵（複製）

統は、江戸時代の技術の中にありました。日本人はかつて創造性が乏しいといわれることがありましたが、今や日本人の発明は世界の産業をリードしています。

田中久重の発明一覧

年次（年齢）	発明品
1807（8）	あかずの硯箱
1820年代	弓曳童子・童子盃台
1834（35）	懐中燭台
1837（38）	無尽灯
1850（51）	須弥山儀
1851（52）	万年時計
1852（53）	蒸気船の模型
1855（56）	蒸気機関車・蒸気船の模型
1863（64）	アームストロング砲
1871（72）	鍵のない錠
1878（79）	電話機〔試作〕

<その他> 製氷機、ネジ切りゲージ、自転車、精米機、写真機、鼻水機、改良かまど、旋盤構内削り機、煙草切機、醬油搾取機械、油搾取機、時報機など



人物の伝記は起承転結で書く

この伝記は、4つの段落からできています。それは、起承転結という物語の構造にちょうどあてはまっています。

起は物語の始まりで、承はそのつぎ、転で物語は大きく展開して、結は後話や人物についてのエピソードなどが入ります。その人物が一番輝いているところを、お話のクライマックスとして転のところにもってくる、おもしろくて、わかりやすいお話になります。

渋谷区の歴史を調べよう



④ 富士塚班

富士塚 (鳩森八幡神社)
1789年につくられたもの。富士山は霊峰として信仰されていたが、誰でも富士山に登れるわけではない。そこで、富士山に見立てた小山を身近につくった。東京都内には60か所以上あったといわれる。



⑤ 庚申塚班

庚申塚 (千駄ヶ谷)
江戸時代の年号が書いてある。庚申の日の夜に、地域の人が集まってお祭りをした。



山の手空襲追悼碑 (表参道)
1945年5月25日、アメリカ軍の空襲によって焼野原になり、多くの人が亡くなった。

隠田の水車
1830年ごろの風景だ。葛飾北斎の富嶽三十六景の一枚。渋谷区内のある所を描いているといわれるが、どこかはわからない。

① 縄文班



縄文時代の復元住居 (代々木八幡遺跡)
発見された柱の跡を手がかりに、考古学者と地元の中学生在がいにっしょに調査し、復元した。

② 渋谷城班



渋谷城跡 (金王八幡宮)
平安時代の終わりごろから渋谷氏一族の居城だったが、1524年に合戦で焼失。

③ 隠田班



富嶽三十六景 隠田乃水車

渋谷区どこにあるのだろうか？



テーマを決めよう

東京都渋谷区にある中学校の奈緒さんのクラスでは、グループごとにテーマを決めて、渋谷区の歴史を調べるようになりました。地域には、どんな遺跡や遺物があるか、右のチェックリストをもとに、知っているところを出し合いました。

- 昔の住居跡
- 城跡
- 神社・お寺
- お墓・石碑・記念碑
- お地蔵さん
- 写真・絵画
- 古地図
- 昔の地名
- お祭り
- 伝説
- 空襲や戦争の跡

その結果、左のページにまとめられている6つのテーマと調査班ができました。奈緒さんは、「隠田班」に入りました。

〈「隠田班」の調査〉

一枚の絵画資料から地域の歴史を読み解く



ステップ1 疑問を出し合おう

まず、この絵をじっくりと見て、気づいたことや疑問を出し合いました。

- この川はどこにあるのだろうか？
- 「隠田の水車」と書いてあるね。

裕樹君



奈緒さん

- 人々は水車で何をしているのだろうか？
- 聞いたことのない地名だけど、今は変わっているかもしれない。

ステップ2 図書館で調べよう

図書館に行くと、江戸時代と明治時代の地図があった。渋谷区しぶやのあたりを見ると、「ラunden」と書かれた場所が見つかった！

【江戸時代の地図】



【明治時代の地図】



明治時代の地図では「穂田村」と書いてあり、図書館の本によれば「隠田」も「穂田」も、もとは「恩田」と書かれていたようだ。「穂田村」は原宿村のとなりだ。ここは、原宿の近くだ！近くに川が流れている。水車に描かれた川は、渋谷川だ。

★図書館でわかったこと

『渋谷区史』『渋谷区文化財マップ』などは、町の歴史がまとまっていてわかりやすい。

▶渋谷川ぞいでは、農民や米問屋の人々が、水車を使って精米や製粉をしていた。

▶原宿おんでんと穂田い がしゅうには、伊賀衆い がしゅう（伊賀の国の地侍ぢまらい）が組屋敷と領地を与えられていた。徳川家康が本能寺の変以来、伊賀衆を取り立て、服部半蔵はっとりはんぞうの配下として召し抱えていた。

▶幕府は、江戸の街を外敵から守るために、街道の守りを固めた。とくに甲州街道こうしゅうは、いざというときの将軍の逃げ道とされており、

服部半蔵はんぞうもんの守る江戸城半蔵門はんぞうもんから街道を中心に、北は大久保の鉄砲隊てつぱうたい、南の原宿・穂田には伊賀衆、さらに西には八王子せんにんぐみどうしんの千人組同心を配置していた。



五街道は日本橋が出发点だと思っていたけど、甲州街道だけは半蔵門からも出てるんだ

ステップ3 現地に行ってみよう



現在は穂田という地名はなくなり、神宮前という住所になったんだ。でも、商店街の名前に残っていた。



この道の下を渋谷川が流れているんだ。

昔の渋谷川の写真

商店街のやおやさんに 渋谷川はどこにあるのかたずねてみた



「昭和30年頃までは、この通りは渋谷川という川だったんだよ。昭和30年代に東京オリンピックが開かれるとき、街を整備して、川にフタをしてみました。今でも地下には水が流れている。暗渠あんきよというんだよ。大正時代につくられた『春の小川』という歌を知ってるかな？ それも渋谷川の支流で、さらさら流れる小川だったが、埋め立てられてしまったんだ。今は歌碑かひ（右の写真）が残っているよ。」



★現地調査でわかったこと

▶古い地名はなくなっても、バス停や商店街の名前に残っている場合がある。

▶川をおおってしまっても、地下には水が流れている。暗渠あんきよという。

▶注意して街を歩いてみると、渋谷川の両側

は坂になっていて、川だったおもかげがある。渋谷駅前に向かってゆるやかに坂になっていて、やはり渋谷は谷だったとわかった。

▶古地図と照らし合わせて歩いてみると、神社やお寺はそのままの位置にあったので、場所を確認する目印になる。

ステップ4 調べた結果を発表しよう

【レポート】 渋谷捜査隊 隠田班 *年*月*日報告



ひろき 裕樹君

原宿から富士山が見えた？



なほ 奈緒さん

① 1枚の絵から

「隠田の水車」は、身近な場所を描いているらしいのですが、現在の渋谷にはビルが建ち並び、ほとんど富士山は見えません。

まずは、「隠田」という場所を探すために、江戸時代の地図を見てみると、隠田は「ランデン」と読み、今の神宮前、平日も大混雑の原宿から表参道あたりと分かりました。「隠田」とも書かれますが、残念ながら昭和40年にその地名は失われてしまい、今は「隠田神社」と「隠田橋」、そして「隠田商店街」にその名が残っています。

② 水車はどこにあったのか？

さっそく、神宮前に聞き込み捜査に出た私たちは、まず古地図に描いてある川を捜索。すると、水車があったのは「渋谷川」。場所は「裏原宿」とわかりました。

「裏原宿」の遊歩道といえば、私たちが子供のときによく遊んでいた場所ですね。その足下に川が流れていたのです！

③ 忍者ハットリ！

また、地元の聞きこみから、隠田には忍者で有名な伊賀者の屋敷があったという情報が入ってきました。徳川家康は江戸城を守るため、甲州街道を中心に伊賀者を配置したというのです。甲州街道は江戸城が攻められたときには、将軍の逃亡ルートになる予定でした。そのため、甲州街道だけは伊賀の服部半蔵の守る半蔵門から直接でることができず、街道北の大久保には鉄砲隊や百人組なども住まわせており、実に計算された配置で

す。

私たちは子供のころから、裏原宿には迷路のような細い道や行き止まりの道があると実感していました。これは敵に攻められたときに守りやすいよう工夫してつくられたためだと、商店街の数人が証言していました。裏付け捜査を続けたいと思います。

④ 「春の小川」は渋谷にあった

さて、渋谷川は、実は有名な歌のモデルになっていたのです。父母もしくは祖父母に聞くと、「春の小川はさらさら行くよ……♪」と、声をそろえて歌ってくれるはずなので、聞いてみてください。

この歌は大正時代に代々木に住んでいた高野辰之という人が作詞したといわれています。青山や代々木、原宿、渋谷駅前の低地にさらさら流れていた小川の景色を見ながら、さらさらと書いたのでしょうか。

⑤ 終わりに

江戸時代や明治から昭和にかけての古い地図を見てみると、原宿村、隠田村、竹下…と書いてあります。原宿も竹下も地名は消えましたが、それでも、原宿や竹下通りは、全国的に知られています。しかし、隠田のほうはほとんど残っていません。便利なことも大切ですが、ご先祖を悲しませないように、私たちの足下に眠っている歴史、そしてご先祖が暮らしてきた自然環境や地域の名を調べ、語りついでいきたいと思います。

ここに示した手順・方法で、あなたの地域でも調査してみよう。

第1章

古代までの日本

きゆうせつ き じょうもん やよい こふん あすか なら へいあん
旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安時代

1300年前の奈良時代、
平城宮の跡を写した航空写真ですね。
基盤の目の街路と大極殿の位置など、
唐の長安とそっくりだわ。

でもね、
重要な違いが
一つあるんだ。

→P. 62・63



なおさん



なおき君



奈良時代の平城宮の跡
（右上）2010年に復元された大極殿

第1節 文明のあけぼの



アフリカから全世界に広がった新人（現生人類）

(尾本恵市氏原図より作成)



フランスのショーヴェ洞窟の壁画
約3万2000年前と推定され、人類最古の洞窟壁画といわれている。



日本にわたってきた古代の大型草食動物
マンモスは大陸の北方から、ナウマン象とオオツノジカは南方からわたってきたと考えられる。



岩宿の狩りの想像図(ジオラマ) 集団の知恵でオオツノジカを沼地に追いこみしとめた。1頭から100~200食分の食料が得られた。(群馬県立歴史博物館蔵)

岩宿遺跡の打製石器 1949(昭和24)年相澤忠洋が群馬県岩宿遺跡で発見した旧石器(長さ約7cm、幅約3cm)。槍の先に付けて使用した。



1 日本人はどこから来たか

人類はどこで誕生し、私たち日本人の祖先はどのようにして日本列島にやってきたのだろうか。

1 ホモ・サピエンスは生物学で種を示すための学名で、「知恵のある人」という意味。新人のうち、アフリカにとどまった人々はネグロイド(黒色人種)となり、ユーラシア大陸に移動した人々は環境に適応して皮膚の色が変化した。ヨーロッパに移った人々はコーカソイド(白色人種)、アジアに進出した人々はモンゴロイド(黄色人種)となった。

人類はアフリカで誕生した 人類が誕生したのは、アフリカ大陸の草原だった。約700万年前、猿

とよばれる最古の人類が二足歩行し、あいた両手で石を打ち欠いて石器をつくり、使用した。人類の脳は少しずつ大きくなり、進化をとげていった。

約240万年前には、原人が登場し、火をつかい毛皮をまとって寒冷なヨーロッパやアジアに進出したが、適応できずに絶滅したと考えられている。

約20万年前、現代人の直接の祖先である新人(ホモ・サピエンス)が、アフリカで出現した。その一部は約10万年前にアフリカを出てユーラシア大陸に進出した。西に向かった人々はヨーロッパ人の祖先となり、東に進んだ人々はアジア人の祖先となった。アジア人の一部は南北アメリカ大陸にまで広がっていった。

人類は高い知能を獲得し、意思を伝え合う言葉を発達させた。新人は、精巧な道具をつくり、集団で狩りや採集の生活を営むようになった。狩りの成功を祈って描いた動物の絵や、作物の実りを願って描いたふくよかな女性像が、今も世界各地の洞窟などに遺されている。やがて、人類は、芸術や信仰を生み出す精神世界を有するようになった。

日本列島に住みついた人々 約260万年前から、地球は氷河時代とよばれる寒冷な時期がつづいた。

今より10度も気温の低い時期がくり返しおそってきた。北方では地表が氷河におおわれた。日本周辺の海面は今より100mも低く、日本列島は大陸と地つづきとなっていた。

日本列島は氷河時代にも厚い氷におおわれることなく、草原には植物が茂っており、マンモスやナウマン象、オオツノジカなどの大型動物が地つづきの大陸からわたってきた。それらの動物を追ってきた人々が、数万年前から日本列島に住みつくようになった。

日本にもあった旧石器時代 人々は集団で獲物を湿地帯に追いこみ、石や槍でしとめた。長野県の野尻湖からは、ナウマン象の牙やオオツノジカの角が石器・骨角器・木器などの道具とともに発見されている。

このように、打製石器(石を打ち欠いてつくった石器)を使って狩猟や採集をして暮らした時代を世界の考古学者たちは旧石器時代とよんでいる。今から約60年前までは、日本には旧石器時代はなかったと考えられていたが、この通説を変えたのは、相澤忠洋による岩宿遺跡の発見だった。これによって、私たち日本人の祖先は3万年以上前から日本列島で生活していたことがわかった。

2 高地に降りつもった雪が堆積して氷となり、河のようにゆっくりすべり落ちるものを氷河という。

3 現代の考古学では、肉を切りさいした石器に付いていた動物の脂肪の成分を分析して、すべての動物の種類を特定することができる。

4 これに対し、石の斧のように磨いた石器を磨製石器という。

まとめにチャレンジ!

- ①氷河時代に、大陸から人々がどのように日本列島にわたってきたか説明してみよう。
- ②旧石器時代における狩りの工夫について書いてみよう。

岩宿遺跡を発見した相澤忠洋

無名の青年研究者による大発見で、日本の歴史は数万年もさかのぼった。

◎日本考古学の常識

「日本の文化は、縄文文化をもって最古とする」。これが、明治以来、日本の考古学の常識でした。長い間、発掘調査は、黒土の層を掘り進めたあと、赤土の層が出てくれば終わりとなっていました。

赤土とは、関東ローム層とよばれる火山灰が堆積した地層です。1万数千年以上前の日本は、火山灰が降り注ぎ、動物はおろ



岩宿遺跡での調査 1972（昭和47）年当時

か草木も生えない死の世界だと考えられていました。そのため、「日本には旧石器文化はない」と長く信じられてきたのです。

この常識をくつがえしたのは、相澤忠洋という無名の考古学研究者でした。

◎「一家団欒」を夢見て

相澤は、1926（大正15）年に生まれ、少年時代を鎌倉で過ごしました。9歳のとき、家庭の事情で一家がばらばらとなり、彼は土器などを見つけてはさびしさをまぎらわせていました。そのようなある日、集めた土器を大人に見せ、何につかったのかをたずねました。「大昔、お父さんが狩りをし、お母さんがこのような焼物（土器）をつくり、夜になると、いろりの火を囲んで一家団欒をした。これはその跡から出てきたものなんだよ」。相澤少年は、このときの「一家団欒」という言葉を一生忘れることはありませんでした。

11歳になると、東京の下町のはき物問屋で丁稚奉公（住み込みで働くこと）に入りました。早朝から夕方まで働き、夜には夜間の小学校に通って懸命に勉強しました。休日には博物館に通い、小遣金をためて考古学の本を買いました。そして仕事が終わったあとは夜遅くまで勉強しました。

「いったい日本には、いつごろから人が



石器を手に調べる 1972（昭和47）年当時

住み始めたのか。その一家団欒の跡はどこまでさかのぼれるのか」。それを知ることが、彼の人生の夢となりました。

戦後、相澤は群馬県桐生市で、納豆の行商のかたわら、本格的に遺跡の発掘に打ちこみました。日本列島は、火山灰による酸性土壌のため人骨化石が残りにくいのです。そのため、日本人が旧石器時代にも生活していたことを証明できるかどうかは、層位のはっきりした地層から人工物であることが明らかな石器を発見するかどうかにかかっていました。

1946（昭和21）年、相澤は、群馬県笠懸村（現・みどり市）の切通し（切り開いてできた道）の、関東ローム層の地層が露出した崖の中から、地元では産出しない黒曜石（ガラス質の石器の素材）の石片を

数点発見し、旧石器文化の痕跡についての確かな手がかりをつかみました。そして、ついに1949（昭和24）年、完全な形の石器を発見しました。

◎世紀の大発見の陰で

相澤は発表の場を求めて東京の大学を訪ね回りましたが、大学の学者たちは、すぐには彼の発見を認めてくれませんでした。やがて調査チームが生まれ、相澤が案内した地層から別の旧石器が発掘され、初めて日本にも旧石器時代があったこと、日本の歴史は数万年さかのぼることが、学問的に証明されました。

ところが、世紀の大発見を報じる新聞にも、大学の研究報告書にも、相澤の名前はどこにもありませんでした。それどころか、「小学校しか出ていない納豆売りに何がわかる」「土ばかり掘ってよほど金になるんだろう」などと心ないことを言われました。しかし、相澤はひたすら発掘をつづけ、多くの成果をあげました。その後、日本全国で、1万か所以上の旧石器時代の遺跡が発見されています。

相澤は1967（昭和42）年、岩宿遺跡の発見とその後の功績により、第1回吉川英治賞を受賞しました。日本人の「一家団欒」の跡がどこまでさかのぼれるのか、それを知りたいという少年時代からの夢をかなえた相澤は、1989（平成元）年、63歳で生涯を終えました。その業績は今も輝きを放っています。



縄文時代の暮らし（想像図）

2

自然の恵みと縄文文化

日本列島の縄文文化は、どのような自然条件のもとで発達したのだろうか。



平底深鉢土器 底が細まっていて、煮炊きに用いた。（長野・茅野市尖石縄文考古館蔵）

1 青森県大平山元I遺跡から発見された土器は炭素年代測定法で約1万7000年前とされている。

2 2013年、日・英の研究チームが、北海道や福井県で出土した約1万5000年前の土器から、世界最古の加熱調理の痕跡を発見した。

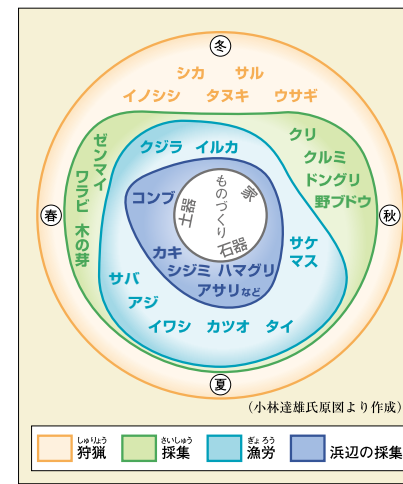
豊かな自然の恵み

約1万数千年前に氷河時代が終わると、海水面が上がって大陸から分離して、今の日本列島の姿があらわれた。気温が上昇し、暖流が勢力を増して日本海に流れこんだので、針葉樹が多かった日本列島に広葉樹が増え、やがて山々がさらに豊かな植物採集の場になった。

気候の変化にともない、ナウマン象などの大型動物は絶滅し、かわって、シカ、イノシシ、ウサギなどの中・小型動物が増えた。これらのすばしい動物をとらえるため、弓矢が発明され、イヌを猟犬としてつかうようになった。また、海水面が上昇したので、海が内陸まで深く入りこみ（縄文海進）、カツオ、タイ、貝類などの豊かな海の幸をもたらした。

縄文土器の時代

今から約1万数千年も前から、日本列島の人々はすでに土器をつくり始めていた。これは、世界で最古の土器の一つである。この時代の土器は、表面に縄目の文様が付けられたものが多いことから、縄文土器とよばれている。それらの多くは深い鉢で、人々は、この土器を使って煮炊きなどを行い、あく抜きなどの技術を発達させた。当時の住まいは、地面を掘って床をつくり、柱を立てて草ぶきの屋根をかけた、竪穴住居とよばれるものだった。男たちは動物の狩りと漁労に出かけ、女たちは植物の採集と栽培に精を出し、年寄りや火のそばで煮炊きの番をするといった



縄文時代の季節の食べ物と仕事の变化 食べ物の残りがすなどが堆積してきた貝塚から、当時の食べ物や仕事の内容がわかる。

生活の場面が想像される。

縄文土器が用いられていた1万6000年前ごろから紀元前4世紀ごろまでの約1万数千年間を縄文時代とよび、このころの文化を縄文文化とよぶ。

縄文時代の生活

従来、縄文時代は、狩猟・採集による不安定な移動生活で、貧しく原始的な生活をしてきたと考えられてきた。ところが、青森県の三内丸山遺跡から、約5500年前の大きな定住集落の跡が見つかり、縄文時代のイメージを大きく変えた。この地では1500年もの長い間定住生活が営まれ、最盛期には500人ほどの人々がいたと考えられる。

三内丸山遺跡の集落では、すでに簡単な農耕が行われ、エゴマ、ヒョウタン、マメ、クリなどが栽培されていた。

縄文時代には、すでに稲作が行われていた。しかし、それは陸稲栽培であり、規模も小さかった。当時の日本列島は食料に恵まれていたので、大規模な農耕や牧畜が始まるにはいかなかった。

人々は自然の豊かな恵みに感謝し、また、子孫を生き育てる女性をかたどった独特な形の土偶や漆塗りの装飾品などをつくって祈りを捧げた。縄文時代は、平和で安定した社会がづくき、日本人のおだやかな性格と日本文化の基礎が育まれたと考えられる。



石皿（約1万2000年前） 鹿児島県原遺跡出土。木の実をすりつぶすときに使った。これらの道具は、移動するには重すぎることから、定住生活をしてきたことが推定される。



縄文時代（約5800年前）のクッキー 山形県高島町押出遺跡から炭化して発見された。



ヒスイの大珠 日本のヒスイは硬玉とよばれ、鋼鉄よりも硬く、加工には高い技術と労力が必要とされた。古代のヒスイ文化圏は縄文文化とマヤ文化だけで、日本は世界最古の例である（約6000年前）。ヒスイの産地は新潟県糸魚川のみだが、北海道や沖縄など日本各地の遺跡に発見例があることから、海路を利用した広域の交易ルートがあったことがわかる。（岐阜・高山市光ミュージアム蔵）



土偶 土でつくられた人形。この土偶は、子孫繁栄を願い、妊娠した女性をかたどっており、「縄文のビーナス」とよばれる。（長野・茅野市尖石縄文考古館蔵）

3 北海道函館市から出土した約9000年前の漆塗りの副葬品（死者といっしょに埋葬した品々）は、世界最古の漆製品である。

まとめにチャレンジ

旧石器時代から縄文時代への変化について、ポイントを4つあげ、箇条書きにしてみよう。

「和の文化」縄文

すべてにおいて大規模な縄文の集落

三内丸山遺跡発掘の衝撃

◆広い遺跡、整然と並んだ大きな建物、膨大な遺物

◎三内丸山遺跡と縄文の豊かな生活

青森県の三内丸山遺跡は、予想をはるかにこえる巨大な縄文の集落跡でした。この集落は今から5500年前ごろから4000年前ごろまでの約1500年もの間、存在しました。その面積は、東京ドームが11個も入るほどの広さ（約40ha）です。

集落には、1000以上の住居跡が見つっていますが、同時期には約100軒あったとみられます。また35棟の高床式倉



食料などを貯蔵した高床式倉庫。

庫跡と10棟以上の大型建物跡が確認され、そのうち最大のもの（写真②のB）は、広さが約90畳もあります。墓、盛土、道路、貯蔵穴、ゴミ捨て場なども計画的に整然と配置されています。直径1.5mのクリの巨木を使った建物跡（写真③）も見つかりました。再現してみると15mもの巨大高床式建造物（写真②のA）となりました。当時の土木技術の高さのあらわれです。そして建物は、夏至の太陽が正面から昇るように設計されていることがわかりました。そのため、これは神殿であり、縄文の人々が、太陽を崇拜（太陽信仰）した証しと考えられています。

また、1万点以上にのぼる土器や1500点もの土偶のほかに、高い技術でつくられた木製品と彩漆土器（写真④）、裁縫針（写真⑤）、衣服や「縄文ポシェット」（写真⑥）



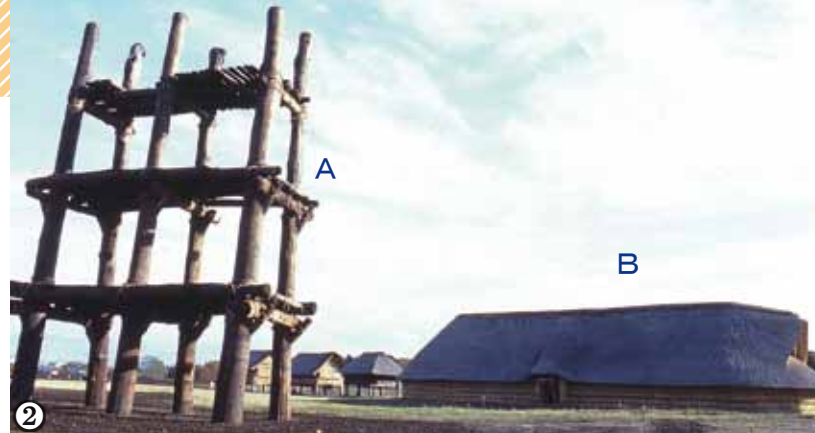
土器に漆をほどこした彩漆土器。色は赤と黒で、下地を塗って上塗りをする現代と同じ技法が用いられている。



骨や角でつくり、糸通しの穴があいている裁縫針。



木の皮で編んだ通称「縄文ポシェット」。中にクルミが入っていた。



(A) 大型掘立柱建物（高さ15m・復元）
(B) 大型建物（長さ32m、幅9m・復元）



③

がありました。硬いヒスイなどの石に穴をあけたイヤリングやネックレス、かんざし、腰の飾り、ブレスレットなど数々のペンダント（写真⑦）も発掘されました。現代の私たちと変わらないほどおしゃれな人間模様が見えてきます。三内丸山遺跡の発掘は、今もつづけられています。

◎相互に助け合う社会

最盛期には500人もの人々が、1500年もの間、この地に定住することができた大きな要因は、季節を通じて安定した食料が得られたことです。人々は、クリを大量に栽培して主食とし、そのほかに、イモ、エゴマ、ヒエ、ヒョウタンといった食料を栽培しました。農耕のためには鋤や鍬など木製の農具（写真⑧）が使われました。また、動物の骨や角でつくった釣針（写真⑨）

6本の柱の大型建物（柱穴の間隔4.2m、幅2m、深さ2m）。4.2mは、35cmの倍数で、この単位は、ほかの建物にもつかわれており「縄文尺」という。6本の柱は、上部の重さを支える内転びという技法で傾けてある。柱本体は表面を焦がし腐るのを防ぐなど高度な技術が用いられている。

で海の恵みである魚介類を獲りました。このように縄文時代の人々は、自然に恵まれた豊かな生活を営んでいました。

1万年以上にわたる縄文時代の大きな特徴は、遺跡から戦争の武器が出土しないことです。三内丸山のような巨大遺跡からさえ、動物を狩るための弓矢や槍はありませんでしたが、武器は見つかりませんでした。おたがいが助け合う和の社会が維持され、精神的な豊かさを持ち合わせた社会であったと考えられます。私たちの祖先である縄文の人々は、「和の文化」とも呼べるこのようなおだやかな社会を築いていたのです。



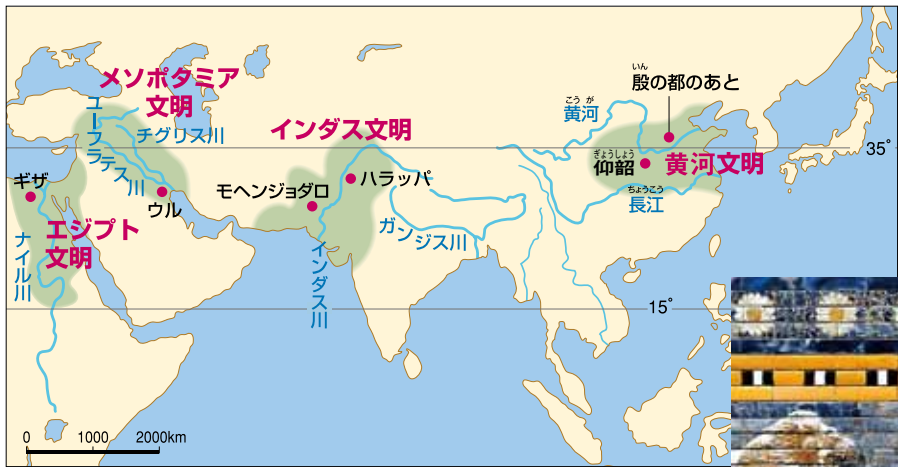
硬い石や貝などに穴をあけた高度な技法を使ったペンダント。



掘り棒（木製の農具）。



動物の骨や角でつくられた釣針やもりなど。



文明の生まれた地域
大河との関係に注目しよう。

3

文明の発生

古代の文明はどのように発生したのだろうか。



メソポタミア文明のジククラト(聖なる塔) (復元)



エジプト文明のピラミッドとスフィンクス



インダス文明の都市の跡

→メソポタミア文明のくさび形文字
くさびとは断面が鋭角のV字形の木片や金属片のこと。



→ロゼットとライオン
パピロニアの彩色レンガ。ロゼットは、花卉状の文様である。



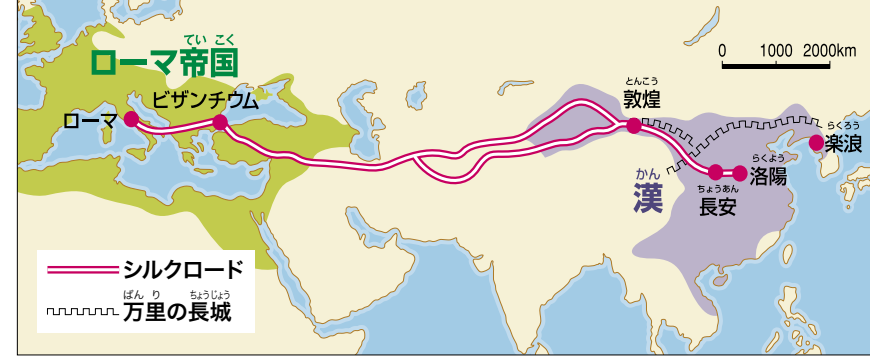
農耕の始まりと金属器の使用
日本で縄文時代に当たるおよそ1万2000年前、世界の各地でしだいに農耕や牧畜が行われるようになった。表面を磨いた磨製石器と土器も使われたが、まだ金属器は使われていなかったこの時代を新石器時代という。

やがてアフリカやアジアの大河の周辺では、灌漑が行われ、農業(穀物栽培)が発達した。それによって多くの人口を養えるようになると、商工業も発達し、人々が集まる都市が生まれた。金属器として青銅器、ついで鉄器が使用され、とくに鉄器が普及すると農耕の生産性が高まった。

文明の発生と国家の誕生
多数の人々を動かす大規模な灌漑工事には、工事を指揮する指導者が必要だった。指導者は人々から租税を徴収し、共同の事務を管理する書記(役人)を雇った。書記は文字を使って記録した。また、指導者は、暦を制定し、神を祭り、戦いなどを指揮して人々の尊敬を集め、広い地域を統合するなかで、多くは世襲の王となった。

このように、金属器、都市、文字などを備えた社会の状態を文明とよぶ。また、広い地域にわたる人々を統合し、共同生活を行うしくみを国家という。

紀元前3500年ごろ、シュメール人によって建設されたメソポタミア文明は、ジククラトとよばれる階段状のピラミッドの



シルクロード(2世紀ごろ) 古代中国の特産品であった絹をたずさえて、人々がこの道を通って東西を行き来したことからこの名が付いた。

ある巨大な都市国家をつくり、くさび形文字や60進法を使用した。その文明がほろんだ後は、バビロニアが王国を築いた。
紀元前3000年には、ナイル河流域にエジプト文明が発生し、高度な幾何学の知識などを用いてピラミッドを建設した。また、象形文字を使ってパピルス(パピルス草でつくった紙)に記録した。

紀元前2300年ごろ、インダス川流域にインダス文明が発生し計画的な都市を建設したが、やがてほろびた。北方からアーリア人が進出して、神官(バラモン)を最上位とする身分制度(のちのカースト制度)を取り入れた。

黄河・長江流域の古代文明

中国の黄河流域では、紀元前6000年ごろ、農耕(麦作)や牧畜が行われた。長江流域では稲作を中心とした文明が始まっていた。やがて黄河流域で、殷という王朝がおこり、青銅器を祭器として用いた。この時代に発明された甲骨文字は漢字のもととなった。

紀元前11世紀ごろ、殷が滅び、周の時代になると、鉄製の兵器や農具が使われるようになった。周がおとろえると国内は分裂し、その後、戦国時代が長くつづいた。戦乱の時代には、多くの思想家があらわれ、理想の政治や王のあり方を説いた。孔子はその一人で、その教えは儒教とよばれた。

紀元前3世紀ごろ、秦の始皇帝が初めて中国を統一し、皇帝を名のった。始皇帝は、文字や貨幣を統一した。秦の次に中国を統一した漢は、紀元前後400年にわたって支配し、大帝国を築いた。朝鮮半島に楽浪郡を置いた。同じころ西方で栄えていたローマ帝国との間に交易路が開かれ、中国の絹がローマに、西方の馬やブドウが中国に伝えられた(シルクロード)。

殷	周	秦	漢
山	山	山	山
魚	魚	魚	魚
車	車	車	車
鳥	鳥	鳥	鳥

漢字の発達



孔子(前551~前479) 春秋時代(前770~前403年)の中国の思想家、哲学者。儒教の始祖。



秦の始皇帝と万里の長城
全長約2700km。北方の騎馬民族の侵入に備えて建設された。現在の長城はのちの明時代のものである。

まとめにチャレンジ!

文明は大河の周辺で発生したが、四大文明の特徴を示す言葉をすべて書き出してみよう。



キリスト教 イエス・キリストの十字架磔刑図。イタリアの聖フランチェスコ教会の壁画。



イスラム教 ヒラー山(サウジアラビア)の洞穴で瞑想中、天使ガブリエルからアラーの啓示を受ける預言者ムハンマド。

釈迦(仏陀)と仏教

釈迦は紀元前560年ごろ、ヒマラヤ南麓の小国の王子として生まれた。城には4つの門があり、それぞれの門のところで、病人、老人、死人、修行者を見て王子は衝撃を受けた。29歳のとき、王子の身分を捨て、妻や子を捨て、城を出て、どうしたら現世の苦しみから逃れられるかを求めて修行の旅に出た。

最初は断食など厳しい苦行をつづけたが、肉体を苦しめることからは何も得られないことに気づき、菩提樹の木の下に坐り静かに瞑想をつづけた。そして、人の苦しみを救うための悟りを開き、仏陀(悟りを開いた人)とよばれた。

釈迦の教えは、極端を排する中道と、起きたことには必ず原因があるとする因果という考えを基本とし、人生の苦しみから解放されるためには煩悩(心を乱す悩み)を断ち切らなければならないとした。



釈迦涅槃図(部分) 釈迦の入滅(亡くなること)のようすをあらわしたもの。(和歌山・高野山金剛峯寺蔵 平安後期)

4

宗教のおこり

宗教はどのように発生したのだろうか。



大湯のストーンサークル 秋田・鹿角市にある縄文時代の日時計の組石。→P.32

自然への畏敬と祖先への感謝

古代の人々は、山、森、海などあらゆるものに神(精霊=アニマ)が宿っていると考えた。これをアニミズムという。彼らは、雷鳴や暴風を恐れ敬い、草木に注ぐ日光や、農耕期に降る雨に感謝した。これらの自然現象を神の業(わざ)と思い、季節ごとの祭りで祈りを捧げた(自然崇拜)。また、祖先の霊や村の長老が、日々の暮らしを見守ってくれるように祈った(祖先崇拜)。

このような自然崇拜と祖先崇拜は、宗教の始まりである。宗教は、日常生活を超越した世界、とりわけ死後の世界についての理解や信仰から成り立っている。

日本神話、エジプト神話、ギリシア神話、ゲルマン神話などには多くの神々が登場する。すべての民族が、かつては多神教を信じていたと考えられる。多神教とは、複数の神々を同時に崇拜の対象としている宗教のことである。

一神教の登場

遊牧民族のヘブライ人(古代ユダヤ人)は、地中海東岸のパレスチナに定住するようになり、一神教の神を民族神とした。バビロニア王国に滅ぼされ、多くは首都バビロンに強制移住させられたが、紀元前6世紀に解放され、エルサレムに神殿を建設した。ここに唯一神を信仰するユダヤ教が成立し、その教義を『聖書』に

記録した。

世界の三大宗教

紀元1世紀初頭、パレスチナの青年イエスが神の愛と許しを説いて、ユダヤ教徒の一部からキリスト(救世主)と崇められた。当時パレスチナを支配していたローマ帝国の総督は、イエスを十字架刑に処したが、イエスを救世主と信じる人々によってキリスト教団が生まれた。迫害された信徒たちはパレスチナから離散して熱心に布教したため、キリスト教はやがてローマ帝国の国教となり、ヨーロッパ全域に広がって、国家や民族の枠をこえて信仰される世界宗教となった。

紀元前6世紀ごろ、インドで仏教が生まれた。仏教の開祖の釈迦は、人々がこの世の苦しみから解放される教えを説いた。釈迦の教えは、その修行法とともに、インドから東南アジア、中国、日本などアジア諸国に広まった。

7世紀初頭、アラビア半島でムハンマドを開祖とするイスラム教は、たちまち西アジア地域を帝国にまとめあげ、イスラム文化は隆盛をきわめて世界に広がった。イスラム教は、ユダヤ教やキリスト教と同様に、唯一神(アラー)を信じ、その言葉をまとめた『コーラン』を經典としている。世界宗教となったキリスト教、仏教、イスラム教を世界の三大宗教という。

1 ユダヤ教の教典『旧約聖書』は唯一神エホバと古代ユダヤ人との契約で、キリスト教の經典『新約聖書』はイエスが使徒と交わした言葉と行動が記された、神と人類との新しい契約の書とされる。また、イスラム教は旧約・新約聖書に『コーラン』を經典として加え、ムハンマドを「最後にして最高の預言者」とした。

2 世界宗教に対し、特定の民族の伝統や文化と結びついた宗教を民族宗教という。日本の神道やユダヤ教などがある。インドのヒンズー教は信者の数では仏教を上回るが、民族宗教である。

3 キリスト教、イスラム教は、西アジアの文明地域に生まれ、仏教はインド文明の地域に誕生した。世界宗教の発生地は、世界の文明発生の地域と重なっている。

まとめにチャレンジ!

3つの世界宗教について、その特徴をまとめてみよう。



弥生時代の暮らし 秋の収穫のようす（想像図）

石包丁 稲の穂をつむための石器。（東京国立博物館蔵）

5 稲作の広まりと弥生文化

稲作を中心とする時代になると、人々の生活はどのように変化したのだろうか。



左から銅剣・銅矛・銅鐸 矛は柄を付けて突き刺す武器。（銅剣・銅矛は島根県立古代出雲歴史博物館蔵、銅鐸は東京国立博物館蔵）

水田稲作の広まり

日本列島には、すでに縄文時代に大陸からイネがもたらされ、九州の畑遺跡では紀元前500年ごろに灌漑用の水路をとまなう水田稲作が行われていた跡が見つっている。そののち、水田稲作は西日本一帯にも広がり、海ぞいに東北地方にまで達した。

稲作が始まると、これまで小高い丘に住んでいた人々は、稲作に適した平地に移り、人々が集まってムラ（村）ができた。人々は共同で作業し、大規模な水田もつくられた。籾は直まきで、稲穂のつみ取りには石包丁が用いられた。収穫された穂を乾燥させておさめる高床式倉庫が建てられた。ムラでは豊かな実りを祈り、収穫に感謝する祭りが行われた。

弥生文化

さらに、青銅器や鉄器などの金属器も大陸から伝わり、のちには国内でも生産が始まった。銅剣や銅矛はもともと武器としてつくられたが、やがて、銅鏡や銅鐸とともに祭りのための宝物としてもあつかわれるようになった。一方、鉄器は農具・工具や武器として実用的に用いられた。原料の鉄は朝鮮半島から輸入されたが、のちに中国地方で砂鉄から鉄をつくる、たたら製鉄の技術

日本列島には、すでに縄文時代に大陸からイネがもたらされ、九州の畑遺跡では紀元前500年ごろに灌漑用の水路をとまなう水田稲作が行われていた跡が見つっている。そののち、水田稲作は西日本一帯にも広がり、海ぞいに東北地方にまで達した。

稲作が始まると、これまで小高い丘に住んでいた人々は、稲作に適した平地に移り、人々が集まってムラ（村）ができた。人々は共同で作業し、大規模な水田もつくられた。籾は直まきで、稲穂のつみ取りには石包丁が用いられた。収穫された穂を乾燥させておさめる高床式倉庫が建てられた。ムラでは豊かな実りを祈り、収穫に感謝する祭りが行われた。

弥生文化

さらに、青銅器や鉄器などの金属器も大陸から伝わり、のちには国内でも生産が始まった。銅剣や銅矛はもともと武器としてつくられたが、やがて、銅鏡や銅鐸とともに祭りのための宝物としてもあつかわれるようになった。一方、鉄器は農具・工具や武器として実用的に用いられた。原料の鉄は朝鮮半島から輸入されたが、のちに中国地方で砂鉄から鉄をつくる、たたら製鉄の技術



吉野ヶ里遺跡（弥生時代後期・部分） ムラの周囲は、濠がめぐらされ、柵と外濠①があり、ムラの中心部は、二重の柵と内濠②③で守られている。

が発達した。

またこのころ、弥生土器という茶褐色の新しい土器が作られるようになった。黒褐色の縄文土器よりうすい土器で、つば、かめ、食器などさまざまな用途に使われ、稲作とともに全国に広がった。弥生土器が用いられていた、紀元前4世紀ごろから紀元3世紀ごろまでの約700年間を弥生時代とよび、この時代の農耕文化を弥生文化とよぶ。

ムラからクニへ

稲作によって食料が豊かになると、ムラの人口は増えた。ムラどうしの交流がさかんになるとともに、水田や用水、収穫物をめぐる戦争がおり、ムラを守るために周囲に濠がつくられた。これを環濠集落という。この時期の集落の跡としては、佐賀県の吉野ヶ里遺跡や静岡県の登呂遺跡がある。

ムラには、共同作業を指揮し、祭りをとりしきる指導者があらわれ、争いのときにも大きな役割をはたした。やがて、いくつものムラがまとまって、小さなクニ（国）が生まれた。これら小国の指導者（首長）は、世襲の王となっていった。

歴史の言葉

【ムラ・クニ 共同体】

ムラ（村）は、ムレ（群れ）と同じ仲間の言葉で、人々が群れて住む集落のこと。いくつかのムラが政治的にまとまって、クニ（国）ができた。クニにはリーダー（首長）がおり、王として尊敬されるようになった。ムラもクニも、人々の地縁・血縁で成り立っており、こうした集団を共同体という。



環濠断面・外濠 V字型に幅6～7m、深さ3mあり、敵の侵入を防ぐため設けられた。

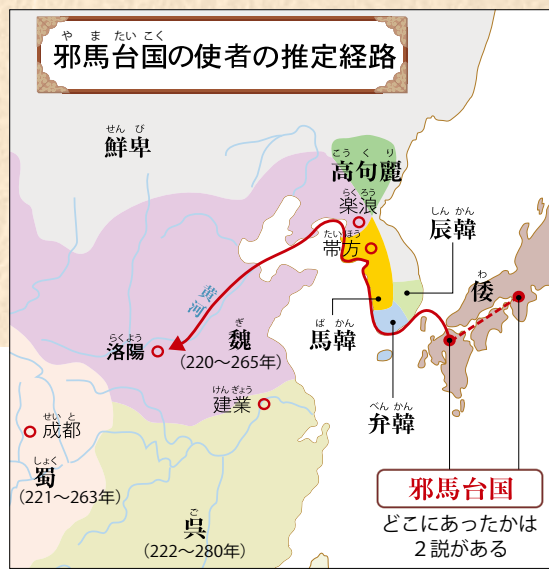


弥生土器 縄文土器と異なり、表面はなめらかである。1884年に東京都文京区弥生で発掘されたのでこの名が付いた。（東京国立博物館蔵）

まとめにチャレンジ

縄文文化と異なる弥生文化の特色を4つあげてみよう。

中国	中国の歴史書にみる日本のようす
前漢	『漢書』地理志 倭は百余国に分立（紀元前1世紀）。
後漢	AD25 『後漢書』東夷伝 倭の奴国の王が後漢に朝貢し、光武帝より「漢委奴国王」の金印を授かる。
後漢	57 倭国王の帥升等が安帝に使いを出す。
後漢	107 倭国で大乱がおきる。
2世紀後半	
220魏	『魏志倭人伝』 倭国の女王卑弥呼が魏に使いを送り、金印を授かる。
221蜀	
222呉	



6 中国の歴史書が語る古代の日本

中国古代の歴史書には、日本はどのような国として書かれていたのだろうか。



「漢委奴国王」の金印 江戸時代に福岡県の志賀島で発見。委は倭と同じ。（福岡市博物館蔵）

1 『三国志』の中の魏志（魏の国の歴史書）に、東アジアの諸国をあつかった「東夷伝」があり、さらにその中に「倭人」の項がある。この部分を簡単に「魏志倭人伝」とよんでいる。

小国が分立した紀元前後の日本

日本が弥生時代のころ、中国では、秦や漢のように、皇帝をいただく強大な古代国家が広い地域を支配していた。その中国の歴史書には、日本の弥生時代の様子が記録されている。

そのうち、漢の歴史書『漢書』には、紀元前後の日本について、「倭人」（日本人）が100あまりの小国をつくっており、中国へ使いを送る国もあると書かれていた。また、『後漢書』には、1世紀の中ごろ、倭の奴国の王が漢に使いを送り、皇帝が金印を授けたことが記されていた。

邪馬台国と卑弥呼

3世紀に入ると、中国では漢が滅び、魏・蜀・呉の3国がたがいに争う時代になった。当時の歴史書『三国志』には、3世紀前半ごろまでの日本について書かれた部分がある。これは漢字2000字ほどの記述で「魏志倭人伝」とよばれている。

そこには、「倭の国には邪馬台国という大国があり、30ほどの小国を従え、女王の卑弥呼がこれをおさめていた」と記されていた。卑弥呼は神に仕え、祭りや占いによって政治を行い、不思議な力で民をよく治めたという。また、卑弥呼が魏の都に使いを送り、魏の皇帝から「親魏倭王」の金印と銅鏡100枚などの贈り物を授かったことも書かれていた。

日本

外の目から見た

盗みがなく、争いの少ない社会

魏志倭人伝は、3世紀前半ごろの邪馬台国について、外の目から見て記録したものである。その中で、倭人の性格と倭人社会の特徴が書かれており、日本人の性格にまで言及した最古の記録として位置づけることができる。その中から、3つの記述を取り上げる。

- ①「その風俗淫ならず」
風俗は乱れていない、と書かれている。別のところでは、会合には老若男女を問わず、ともに参加していると書かれている。
- ②「盗みをしない」
盗みをしない、とわざわざ書いていることは、邪馬台国を観察した中国人にとって、よほど印象深いことだったのであろう。のちの時代の、7世紀初めのころの倭国を記録した隋書倭国伝にも盗みがないことが記されている。
- ③「争訟少し」
争いごとが少ないということも、倭国が縄文時代以来のおだやかな社会を引きついでいることのあらわれであると考えられる。

魏志倭人伝より（一部要約）
倭人は、帯方郡の東南の大海にある島に住んでいる。昔は百あまりの国々に分かれていた。現在では、使いを送ってくるのは三十か国である。（略）
倭国は、もとは男性を王としていた。男性が王となっていたのは七、八十年ほどであったが、国内は乱れて、攻め合いが何度もつづいた。そこで合議して、一人の女性を選んで王とし、この女王を卑弥呼とよんだ。女王は宗教的な力で人々の心をつかんだ。年をとっても夫をもたず、弟がいて政治を助けた。女王になつてから、彼女に会った人は少ない。召し使いの女性を千人も従え、ただ一人の男性が食事の世話をし、女王の言葉を伝えるために、その住まいに出入りしていた。宮殿や物見の台、とりでをいかめしくつくつて、いつも警備の者が武器をもつて守っていた。

「魏志倭人伝」に書かれた邪馬台国の位置については、九州説と畿内説に分かれているが、どちらにあったとしても、のちの大和朝廷につながる大きな勢力であったと考えられる。



（東洋文庫蔵）

華夷秩序と倭国

中国には、自国が唯一の文明国で、周辺諸国を蛮夷（野蠻人）とする中華思想があった。邪馬台国や卑弥呼といった卑しい漢字で表記したこともそれをあらわしている。皇帝は、朝貢してくる蛮夷の支配者を臣下として「王」の称号をあたえ、「冊書」（任命書）によってその国の支配権を認めた。王に封じられた統治者の国は臣下の朝貢国となった。これを「冊封体制」といい、こうした東アジアの秩序を「華夷秩序」という。

倭国は多くの小国に分立していたので、金印に刻まれた「漢委奴国王」や「親魏倭王」の称号は、大国の後ろ盾を示して他を威圧する意味をもった。600年前後になって国内政治が安定すると、日本は大陸文化の吸収のために朝貢はしても、冊封されない国（これを「不臣の朝貢国」という）となった。

2 「邪馬台」「卑弥呼」は当時の日本人の発音を中国人が漢字にあてたものである。ただし、「台」は当時は「ト」に近い発音だったので、国名は「ヤマト」だった可能性もある。

3 貢物を持参し、臣下としてあいさつに伺うこと。→P. 49・54

まとめにチャレンジ

邪馬台国について、中国の歴史書が伝えている内容を箇条書きにしてみよう。



埴輪
手を上げる巫女 (東京国立博物館蔵)

埴輪
当時のよろいを着た武士 (東京国立博物館蔵)



箸墓古墳 もっとも初期の前方後円墳。(桜井市埋蔵文化財センター提供)



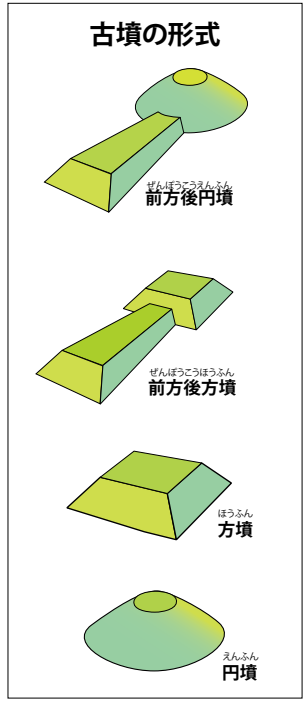
古墳の副葬品
古墳の鏡・剣・勾玉。歴代天皇が地位の象徴として継承してきた三種の神器もまた、鏡・剣・勾玉からなる。



時代別の最大規模の前方後円墳 旧国別にその国のもっとも大きな前方後円墳を图示したもの。(白石太郎『古墳とヤマト政権』)

7 大和朝廷と古墳の広まり

古墳の広まりから大和朝廷の勢力の広がりが、どのようにわかるのだろうか。



大和朝廷による国内の統一 3世紀後半ごろ、大和(奈良県)の豪族を中心とする強大な連合政権が誕生した。これを大和朝廷とよぶ。

中国では、4世紀ごろから国内が分裂し、5世紀に入ると北と南に分かれて、たがいに争うようになった(南北朝時代)。

同じころ、朝鮮半島では、北部で高句麗が強国となり、南部では百済や新羅が台頭して、三国はたがいに勢力を争った。

大和朝廷は、やがて国内を統一したが、その経過については、次に述べる古墳の普及のようすから推測することができる。

前方後円墳と大和朝廷 3世紀ごろから、日本では、まるで小山のように盛り上がった大きな墓

が作られるようになった。これが古墳とよばれるもので、古墳をつくるのが流行した6世紀末までの約300年間を、古墳時代とよぶ。

古墳は、現在ではこんもりとした緑におおわれた山のように、つくられた当時は、表面には石がしきつめられ、太陽の光に照り輝いていた。古墳の周りや頂上には、円筒形や人物・家屋・馬などをかたどった埴輪が並べられ、墓として威容をほこった。大規模な古墳の多くは、入口となる四角い形の手前の部分と、円い形の後ろの部分からなる前方後円墳であった。円い部

分の地中に石室があり、死者をほうむった棺が安置され、鏡、玉、剣や馬具・農具などの副葬品も入れられていた。

古墳にほうむられていたのは、その地域の豪族だった。大和や河内(大阪府)では、巨大な古墳が多数つくられている。これは大和朝廷が、この地域の有力な豪族たちが連合してつくった政権だったことを示している。

前方後円墳は、大和朝廷の古墳の形式であり、南は鹿児島県、北は岩手県にわたる国内各地に約5200基も存在した。これらは大和朝廷の勢力の広がりを反映したものと考えられる。

豪族たちの連合の上に立つのは、大王(のちの天皇)で、その古墳はひととき巨大だった。仁徳天皇陵(大仙古墳)は、世界でも最大規模の王の墓である。

1 天皇の称号は、7世紀になって使われ始めたが、皇統譜(歴代天皇の系譜)で初代とされる神武天皇までさかのぼって天皇の称号でよぶのが慣例になっている。それ以前の称号は「オオキミ」で、漢字では「大王」と書いた。

まとめにチャレンジ

上の「大和朝廷と前方後円墳」の図をもとに、大和朝廷の勢力の広がりを説明してみよう。



アマテラスオオミカミ 天照大神を祭る伊勢神宮の内宮正宮20年に1度、式年遷宮といって、建物などをすべて新しくつくりかえる。2013(平成25)年が、その20年目に当たった。(三重・伊勢市 神宮司庁提供)

スサノオの命の乱暴に怒って岩屋にこもった天照大神をよび出そうとする神々 伊藤龍涯 筆。(三重・神宮徴古館農業館蔵)



8

神話が語る 国の始まり

『古事記』『日本書紀』に書かれた神話・伝承は、大和朝廷の始まりをどのように描いていたのだろうか。

1 『古事記』と『日本書紀』では少しずつ内容が異なるものの、大和朝廷の由来を、天上の神々の物語にたくして説明する骨組みは同じである。→P. 64

2 『古事記』によれば、順番に、淡路、四国、隠岐、九州、吉岐、対馬、佐渡、本州の8つの島を生んだとされる。

3 日本神話でいう死後の世界。

『古事記』『日本書紀』に書かれた神話・伝承 日本の国の成り立ちは、8世紀に完成した日本でもっとも古い歴史書である『古事記』『日本書紀』に、神話の形で書かれている。神話や古い伝承は超自然的な物語をふくみ、ただちに歴史的事実として扱うことはできない。

しかし、これらの神話・伝承は、古代の人々が、自分たちの住む国土や自然、社会の成り立ちを、山や海への自然崇拝や、稲作祭祀など縄文・弥生以来の信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられる。神々が織りなす物語は一貫したストーリーに構成され、大和朝廷の始まりにつながっている。

イザナキ・イザナミとアマテラスの誕生 天地が分かれたとき、天上(高天原)には神々があらわれた。男神の

イザナキの命と女神のイザナミの命は夫婦となって、日本列島の8つの島々を生んだ(国生み神話)。

イザナキとイザナミは、さらに山の神、海の神、風の神などを次々に生むが、イザナミは火の神を出産したときのやけどがもとで亡くなってしまふ。

イザナキは、愛する妻を連れもどそうと黄泉の国に行き、亡

きイザナミに「黄泉の国の神様に頼んでみますので、その間、私のことを見ないでください」と言いわたされる。しかし、イザナキは約束を守れずに、妻の変わり果てた遺体を見てしまい、おどろきのあまり逃げ出してしまう。

黄泉の国から帰ってきたイザナキは、死のけがれを清めようと川で禊ぎをした。目や鼻を洗っていると、そこからアマテラスオオミカミ(天照大神)、スサノオの命、ツクヨミの命の三柱の神が生まれた。アマテラスは太陽を神格化した女神で、日本の最高神であり、皇室の祖先神とされている。

オオクニヌシの神と 出雲神話

いっぽう、アマテラスの弟、スサノオの命は地上

にくだり、八岐大蛇から土地の神の娘を救って妻とした。その子孫に、オオクニヌシの神(大国主神)があらわれ、出雲地方を中心に地上を治めた。この一連の物語は、出雲神話とよばれる。

ところが、高天原では天照大神の孫、ニニギの命に地上を治めさせることに決め、交渉によってオオクニヌシに国土を譲らせた(国譲り神話)。

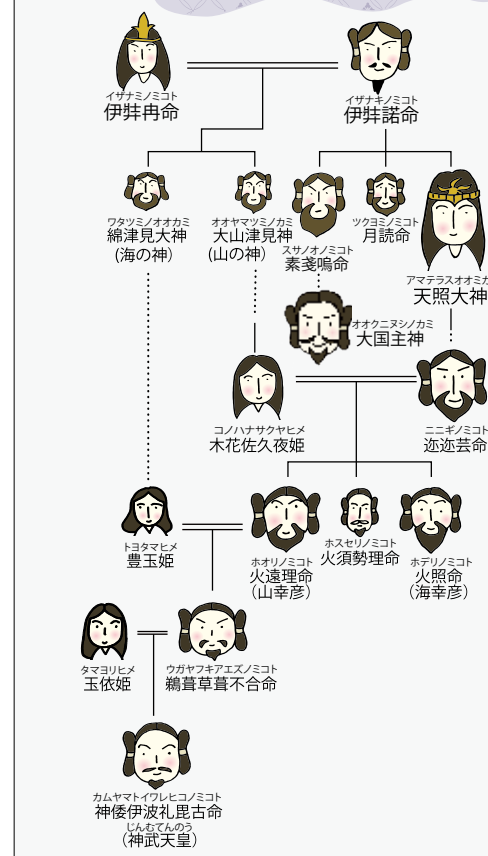
三種の神器をたずさえたニニギの命 天孫降臨と神武天皇

三種の神器をたずさえたニニギの命は神々とともに地上に下った(天孫降臨神話)。日向に降り立ったニニギの命は、山の神の娘をめぐってホオリの命を生み、ホオリの命は海の神の娘と結ばれて、ウガヤフキアエズの命を生んだ。その子供がカムヤマトイワレヒコの命である。(日向三代神話)。

イワレヒコの命は天の霊力を血筋として受けついでだけでなく、山の神や海の神の霊力をもその身体に取り込んできた。そして、瀬戸内海を経て大和に入り、初代の神武天皇として即位した(神武東征伝承)。これが大和朝廷の始まりである。

神話・伝承は、日本の国の成り立ちを、このように語っている。

神々の系図



日本サッカー協会のシンボルマークの八咫鳥 神武天皇が東征の途中に道に迷ったときに導いた3本足の伝説上のカラスで、太陽の化身ともいわれる。(日本サッカー協会提供)

4 2月11日の建国記念の日、神武天皇の即位したとされる紀元前660年の1月元旦を、太陽暦であらわしたものである。

まとめにチャレンジ

古事記、日本書紀が伝える国の始まりの神話を順番に並べてみよう。

国譲り神話と古代人

争いをさげ、オオクニヌシがアマテラスに
豊かな国土をわたした「国譲り」の神話。このお話の中に、
当時の人々の信仰やものの見方があらわれている。

◎オオクニヌシノカミの「国譲り」

日本神話に登場するオオクニヌシノカミ
(大国主神)は、因幡の白兔を助けた情け
深い神様でした。出雲(島根県)地方を中心
に、広い国土を立派に治めていました。

いっぽう、今の皇室の祖先神とされるア
マテラスオオミカミ(天照大神)は、高天
原で神々と相談し、オオクニヌシに国土の
統治権を譲りわたすよう、使者を派遣し

て交渉することにしました。しかし、
① 1回目と2回目の使者は、
オオクニヌシに従ってし
まい、帰って来ませ
んでした。最後
に遣わされた
タケミカズチ

の神(建御雷神)は、
出雲の稲佐の浜に着
くと、刀を突き立て
てあぐらをかき、大
声で言いました。

「この地上の国は
アマテラスの子孫が

治める国である。この国を譲りなさい」。

オオクニヌシは2人の息子の意見を聞い
た上で、次のように答えました。

「息子たちの言うとおりに、この国を献上
いたします。ただ、私の住み処として、大
地の底まで宮柱がとどき、高天原まで千木
が高くそびえ立つほどの、大きく立派な神
殿をつくって私を祀ってください。そうす
れば、私は引退して身をかくします」



オオクニヌシの神
のちに七福神の一人の大
黒天と重なり、大黒様と
もよばれ親しまれるよう
になった。

出雲大社の伝承に基づく復元模型 2000(平成
12)年に神社の境内から直径1mもある大木を3本束ね
た宮柱の根元が発見された。平安時代末期のものと思
われる。神社に伝わる図面をもとに、この宮柱9本を配置
して社殿をのせると、48mの高さにできることが計算でわ
かった。写真の模型は10分の1のサイズでつくられている。

①千木、②大社造の社殿、③宮柱、④100mの階段
(島根県立古代出雲歴史博物館提供)

出雲の国から出土した銅鐸
1996(平成8)年に島根県の加茂岩倉遺跡から大量の銅鐸
が発見された。その後の発見も含め総数は39個で、1か所か
らの出土数としては最大となった。出雲は古代の政治の中心地
だった。(雲南市教育委員会提供)



◎古代日本人のものの考え方

『古事記』に書かれた「国譲り」の神話
には、古代日本人の思想を読み解く手がかり
がふくまれています。

第1に、アマテラスオオミカミは高天原
の神々と相談して使者の派遣を決め、オオ
クニヌシも息子の意見を聞いて身のふり方
を決めています。日本には、できるだけ話し
合いでものごとを決める合議の伝統があ
ったのです。

第2に、世界の他の地域なら、国土を奪
い取る皆殺しの戦争になるところですが、
「国譲り」の神話では、統治権の移譲が戦
争ではなく話し合いで決着しています。

第3に、オオクニヌシの心境を考えてみ
ると、自分は何も悪いことをしていないの
に、汗水垂らして苦心の末につくりあげた
国を他者に譲るのですから、オオクニヌシ
はさぞかし悔しい思いをしたに違いありま
せん。

そこで、希望どおりの巨大な神殿がつく
られ、オオクニヌシを祀りました。それが
出雲大社です。勝者は敗者に対して、その
功績を認め名誉をあたえ、魂を鎮める祭
りを欠かさない。古代の日本人はこうした
政治の在り方を理想としていたのです。

◎姿をあらわす巨大空中神殿

平安時代、子供のものの覚えのためにつく
られた「雲太、和二、京三」という言葉が
あります。日本で背の高い建造物を3人
兄弟にたとえて、①出雲大社(出雲太郎)、
②奈良の大仏殿(大和二郎)、③京都の御
所の大極殿(京三郎)の順だということです。

今の出雲大社は高さが24mですが、最近、
宮柱の根元が発見され、確かに奈良の大
仏よりも高い48mの空中神殿を建てる
ことができたことがわかりました。天皇の
宮殿や奈良の大仏よりも巨大な空中神殿
をつくってオオクニヌシを鎮魂したのは、
日本が国家統一を成し遂げる上で「国譲り」
がそれだけ重大なできごとだったことを暗
示するのではないのでしょうか。

2003(平成15)年、出雲大社を訪問
された皇后陛下は、次のようなお歌を詠ま
れました。

国譲り祀られましし大神の
奇しき御業を偲びて止まず





高句麗の広開土王（好太王）碑
高さ6.4m。碑文には、広開土王の事績が記され、朝鮮半島に出兵した日本と高句麗が戦った様子も知ることができる。
現在、広開土王碑の建っているところは中国領となっている。→序章扉・P.9

高句麗の第19代王。衰退していた高句麗を立て直し、領土を拡張した。

9 東アジアの国々と大和朝廷

4～6世紀にかけて大和朝廷は東アジアの国々とのようなかわりをもったのだろうか。

歴史の言葉

【倭の五王】

『宋書倭国伝』には、宋の皇帝に使いを送った倭（日本）の5人の王を、中国風の名前で、讚・珍・濟・興・武と記している。これらがどの天皇にあたるか諸説があるが、倭王武が、『日本書紀』に登場する、第21代雄略天皇にあたることは通説となっている。
→P.55

百濟を助け高句麗と戦う

古代の朝鮮半島の国々や日本は、中国大陸の政治の動向に大きく左右された。ただし、220年に漢が滅んでから、6世紀末までの約400年間、中国では内乱と小国分立の時代がつづき、周辺諸国に及ぼす影響力はやや弱まった時期であった。

そんな中、朝鮮半島には高句麗、新羅、百濟の3つの国が存在していたが、やがて、北部の高句麗が強大になり、4世紀の初めに、朝鮮半島内にあった中国領土の楽浪郡を攻め滅ぼした。高句麗は、4世紀後半には半島南部の百濟をも攻撃した。

朝鮮半島南部には、4世紀ころから、多数の小国家が分立した地域があった。日本書紀では任那、朝鮮側の呼称では加羅、または伽耶と総称されていた。この地域は、百濟とともに、日本列島の人々と深い交流があった。任那は鉄の産地であり、大和朝廷はこの地から鉄を輸入し地方に配分することによって国内統一を進めたと考えられる。

高句麗に攻撃された百濟は、大和朝廷に助けを求めた。高句麗の広開土王（好太王）の碑文には、倭の軍勢が海を渡り、百濟・新羅を「臣民」としたので、高句麗王がこれを撃退するため兵を送ったと記されている。大和朝廷は高句麗と戦ったが、次第に形勢不利となり敗れて、404年、朝鮮半島から兵を引いた。

倭の五王による朝貢

5世紀中ごろ、中国では漢民族の宋（南朝）と、遊牧民族の北魏（北朝）が争う南北朝時代をむかえた。宋の歴史書には、倭の5人の王（倭の五王）が、次々に使者を送って朝貢したことや、大和朝廷

中国資料と銘文から見た東アジアの国際関係

年	事	項
372	百濟王の世子（世つぎ）が倭王に七支刀を贈る	
391	倭が百濟・新羅を「臣民」にする	
404	倭と高句麗が交戦し、倭が敗れて朝鮮半島から兵を引く	
421	倭王讃が宋に使いを出す	
438	倭王珍が宋から「安東 將軍倭国王」に任命される	
451	倭王済が宋から「使持節都督 倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓・六国諸軍事 安東大將軍 倭国王」に任命される	
478	倭王武（雄略天皇）が宋の皇帝に上表文を送る	
562	新羅によって任那が併合される	



大和地方の古墳から出土した鉄ののべ板 朝鮮の任那（加羅）地方から輸入されたと考えられる。（宮内庁書陵部蔵）

の支配が広がっていくようすが書かれていた。
大和朝廷が宋に朝貢したのは、北魏と同盟関係を結んでいた高句麗に対抗し、朝鮮南部への軍事的影響力を維持するためだった。倭王は宋の皇帝に対して、朝鮮半島南部の軍事的支配権を認める称号を要請し、認められた。しかし、称号には効力が少なかった。倭は外交戦略を転換し、倭王武以後、使節を送らなくなっていった。

新羅の台頭と任那の滅亡

6世紀になると、朝鮮半島では高句麗に加えて、新羅が力をのばした。
両国に圧迫された百濟は苦しい立場におちいった。百濟は、日本に援軍をもとめて、日本に技術者や知識人を送った。

いっぽう新羅は任那の領有を百濟とあそい、562年には任那を併合した。こうして任那は滅亡した。新羅は、この問題に日本が介入することをさけるため、日本に任那の産物を贈って友好的な姿勢をとった。

さらに6世紀後半には長く対立していた高句麗も、百濟・新羅に対抗して日本に使節を派遣し、修好を結ぶようになった。

倭王武（雄略天皇）の上表文（一部要約）

昔からわが祖先はみづからよろい・かぶとを身につけ、山野をこえ、川をわたって落ち着くひまもありませんでした。東は毛人のを五十五か国、西は衆夷を六十六か国、海をわたつて北の九十五か国を平定しました。
（『宋書倭国伝』より）

①東北地方の人々のこと ②九州地方の人々のこと ③朝鮮半島のこと、と考えられる。

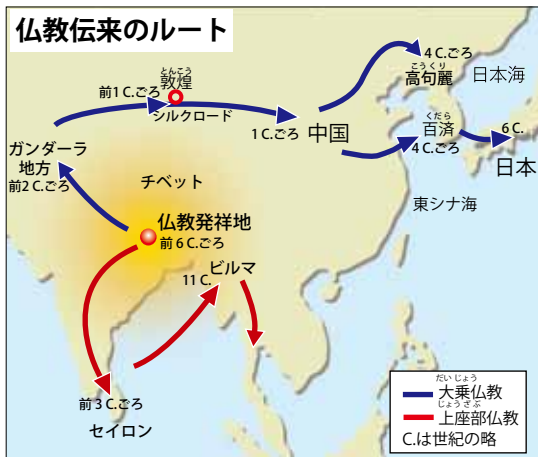
獲加多支鹵大王



稲荷山古墳鉄剣銘文 埼玉県の稲荷山古墳に埋葬された豪族が、「ワカタケル大王」（雄略天皇）に仕えたことが記されている。熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀にも同じ名前があり、大和朝廷の勢力範囲がわかるとされている。その統一事業のようすが書かれているのが、倭王武（雄略天皇）の上表文である。上表文とは皇帝へのあいさつと報告の文書のこと。（文化庁所有／写真・埼玉県立さきたま史跡の博物館）

まとめにチャレンジ

4～6世紀の中国や朝鮮半島と日本との関係について箇条書きにしてみよう。



須恵器 古墳時代の中ごろ、帰化人によって生産が開始された青く硬質な土器。(公益財団法人 石川県埋蔵文化財センター提供)

仏教伝来のルート シルクロードを経て中国に伝わったのが大乘仏教で、南アジアや東南アジアに広がったのが上座部仏教である。

仏教伝来 百済の聖明王の使者(①)が欽明天皇の使者(②)に仏像と経典(③)をわたしている場面。「善光寺縁起絵伝」善光寺淵之坊蔵より。

崇仏論争 物部氏が仏像(①)を川に捨てると、天皇が病に伏せた。仏像を粗末にしたからだと崇仏をとなえた蘇我馬子(②)は、仏像を濠から引き上げた。しかし、再び物部氏によって投げ捨てられた。「善光寺縁起絵伝」善光寺淵之坊蔵

10 仏教伝来

仏教伝来の国際的背景と日本への影響はどのようなものだったのだろうか。

1 上座部とは、写経に集まった仏教徒が坐る場所の上座を意味する。信徒が修行によってみずから救うという立場の仏教。かつて小乗仏教とよばれたこともあるが、見下したひびきがあるとして、1950年の仏教徒の世界会議で、この言葉を使用しないことにした。

2 大乘とは大きな乗り物の意味で、一般大衆も、出家をせず在家のままで救われるという考え方を基本とする仏教。政治の中心にある者が仏教に帰することにより、仏教の力で国家を守ろうとした。

3 仏教伝来の年については、538年とする説もある。

紀元前6世紀ごろにインドで生まれた仏教は、2方向に分かれてアジアに広がった。南方ルートを通して東南アジアに伝わった仏教は、上座部仏教とよばれ、きびしい修行によって個人が救われるという教えだった。北方のシルクロードを通して中国に伝わった仏教は、大乘仏教とよばれ、仏教の力で大衆を救い、国家を護ろうとするものだった。5～6世紀の南北朝時代に仏教は大きく発展し、朝鮮半島の百済には、南朝の宋から伝わった。

6世紀の前半、当時の百済は、高句麗、新羅に攻めこまれて存亡の危機にあった。百済は、日本に再三にわたって軍事援助を求めた。百済の聖明王は、日本との同盟を強固なものにする決め手として、552年、金銅(銅・青銅の金めっき)の仏像と経典を大和朝廷に献上した(仏教伝来)。

日本に仏教が伝来したのは、欽明天皇の治世だった。天皇は仏教を受容すべきかどうかを豪族たちにはかった。国際情勢にくわしい蘇我氏は、「外国はみな、仏教を信仰している」として、仏教を積極的に取り入れることを主張した。それに対し、軍事と祭祀を担当する物部氏は、「外国の神を拝めば、日本の国の神の怒りをかう」と述べて、反対した。こうした、仏教導入をめぐる蘇我氏と物部氏の論争を崇仏論争という。このとき、欽明天皇は、蘇我氏が仏教を私的に拝礼することだけを許した。

その後、疫病がはやると、国の神のたたりであると信じた物部氏は、仏像を川に流して捨てるなどしたので、対立は蘇我・物部の戦争に発展し、蘇我氏が物部氏を滅ぼした。蘇我氏は、日本初の仏教寺院として飛鳥寺を建てた。

両者の争いは、仏教の教義にかかわる対立ではなく、仏を外来の神ととらえた上で、その神が福をもたらすか、禍いを引き寄せるかという考え方の違いにほかならなかった。それは大和朝廷の主導権をめぐる争いでもあった。

東アジアの戦乱をのがれて、多くの難民が一族や集団で日本に移り住んだ。これを帰化人(または渡来人)という。帰化人は、土器(須恵器)や金属器の加工、土木・建築などの技術や儒教を伝え、漢字による朝廷の文書の作成にも力を発揮した。

仏教が伝来すると、百済から仏像、仏具の工芸家や寺院建築の工人が渡来し、仏教芸術の発展の基礎を築いた。

養蚕と機織りを伝えた秦氏

日本に技術を伝えた有力な帰化人に秦氏がいる。5世紀ごろ朝鮮半島から日本列島へ渡来した一族といわれ、養蚕と機織りの技術を伝えた。のちに、秦氏出身の豪族・秦河勝は、聖徳太子の側近として活躍した。河勝は一族の本拠地である京都・太秦に広隆寺を建造し、聖徳太子よりたまわった弥勒菩薩像を安置した。弥勒菩薩像は日本の国宝のうち、彫刻の部の第1号となった。



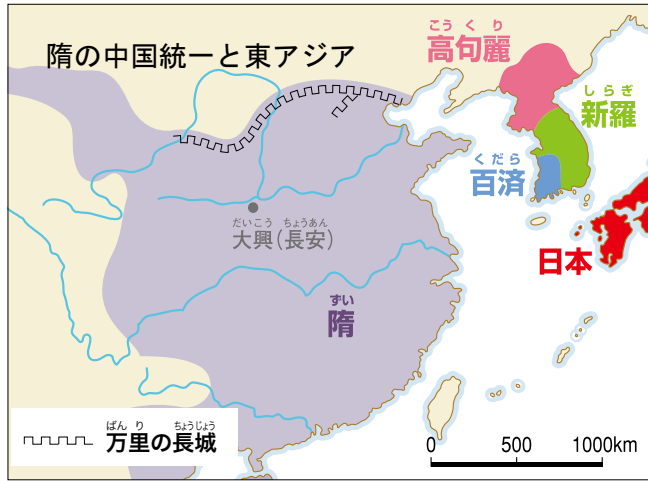
飛鳥寺釈迦如来像 飛鳥寺の本尊で、7世紀初頭に鞍作鳥(止利仏師)がつくったといわれている。現存する日本最古の金銅仏。(奈良・飛鳥寺蔵)

4 それまで日本には野焼きや素焼きの土器しかなかったが、この土器はろくろを使い、山の斜面などに築かれた登窯で硬く焼き上げた。

まとめにチャレンジ!

仏教伝来について、①蘇我氏の主張、②物部氏の主張、③欽明天皇の裁定について、説明してみよう。

第3節 律令国家の建設



11 聖徳太子の新しい政治

聖徳太子が新しい政治を始める背景は何だったのだろうか。

聖徳太子二王子立像 聖徳太子(574~622)の像として伝えられている。わが国最古の肖像画。(宮内庁蔵)

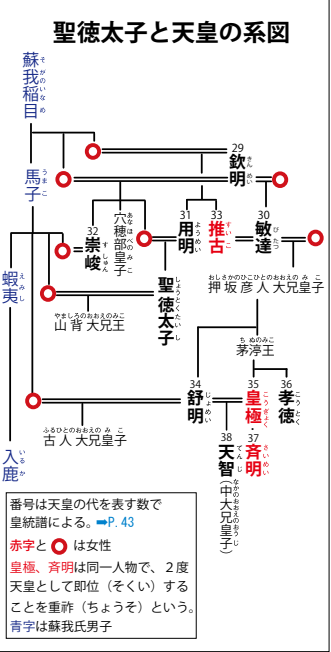
隋の中国統一

6世紀の末、大陸では重大な変化がおこった。589年、隋が中国全土を約300年ぶりに統一したのだ。強大な軍事力をもつ隋の出現は、東アジアの国々にとって大きな脅威だった。朝鮮半島の百済、高句麗、新羅は、隋に冊封された。日本も、これにいかに対処するか、態度を迫られることになった。

聖徳太子の登場

このような岐路に立っていた日本にあらわれたのが、聖徳太子(厩戸皇子)という若い指導者だった。聖徳太子は皇族の一人として生まれ、一度に10人の訴えを聞き分けることができるという伝説が残されているほど聡明な人物だった。初めての女帝として推古天皇が即位すると、593年、聖徳太子は、20歳の若さで天皇を助ける摂政となった。

600年、聖徳太子は、隋に使者(遣隋使)を送った。日本が中国の王朝と交渉をもつのは120年ぶりのことだった。遣隋使によって隋の強大さを知った太子は、日本が独立した国家とし



冠色	位階名
紫	大徳 小徳
青	大仁 小仁
赤	大礼 小礼
黄	大信 小信
白	大義 小義
黒	大智 小智

冠位十二階(603年) 冠位の名称は儒教の教えをもとに徳仁礼信義智の6種類とし、それらを大小に分けて、大は濃い色、小は薄い色で区別した。役人の位階は1代限りで、世襲されなかった。



当時の役人(復元模型) 冠位十二階の定めによる色を衣服と冠に用いている。朝廷で行きかう役人は、その位がひと目でわかった。(大阪府立近つ飛鳥博物館蔵)

て、さらに発展するためには、大陸から優れた技術や制度を取り入れる必要があると考えた。

冠位十二階と十七条の憲法

聖徳太子は、隋との対等な外交を進める前に、まず、国内の改革に着手

した。蘇我氏の血筋を引く太子は、蘇我馬子と協力しながら政治を進めたが、本当のねらいは、豪族の力をおさえ、大王(天皇)を中心とした国家のしくみを整えることだった。

603年、太子は、有力な豪族が役職を占める慣例を改め、家柄にかわりなく、国家のために有用な人材を積極的に役人として採用する、冠位十二階の制度を取り入れた。

次いで604年、太子は十七条の憲法を定めた。その内容は、豪族が争いをやめ、天皇を中心に協力していくことなどを求めたもので、公のためにはたらく役人の心がまえと国家の理想が示された。人々の和を重視する考え方は、その後の日本社会の伝統となった。

十七条の憲法 (604年)

「一に曰く、和をもって貴しとなし、さかうることをなすを宗とせよ」で始まる。以下は、その現代語訳要旨。

- ①和を貴び、人にさからいそむくことのないように心がけよ。
- ②篤く三宝を敬え。三宝とは、仏と、法(仏の教え)と、僧(教えを説く僧侶)である。
- ③天皇の詔を受けたら、必ず謹んでこれに従え。
- ④役人は、人の守るべき道をすべての根本とせよ。
- ⑤裁判は公平に行え。
- ⑥悪をこらしめ、善をすすめよ。
- ⑦人は各自の任務を果たせ。
- ⑧役人は、早く出勤し、遅く帰ること。
- ⑨すべてのことに、嘘偽りのないまごころをもって当たれ。
- ⑩人の過失を怒ってはならない。
- ⑪功績があれば賞を、罪をおかしたら罰を、正しくあたえよ。
- ⑫地方官は民から税をむさぼり取ってはならない。
- ⑬役人は自分の職務の内容をよく理解せよ。
- ⑭他人に嫉妬の心をもつな。
- ⑮私心を捨てて、公の立場に立つのが、君主に仕える者のつとめだ。
- ⑯民を労役に使うときは、農業の仕事の暇なときにせよ。
- ⑰大切なことは独りで決めないで、みんなとよく議論して決めよ。

まとめにチャレンジ!

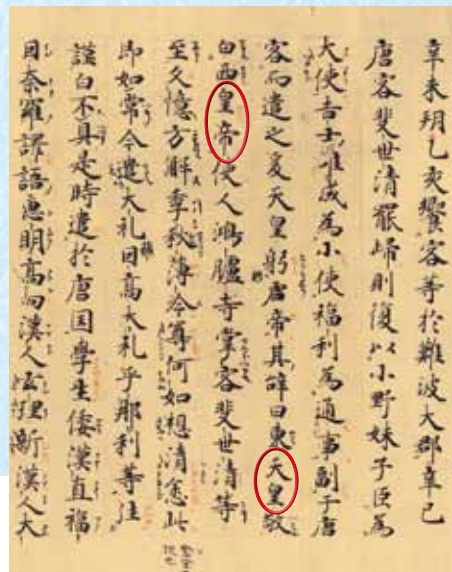
聖徳太子の新しい政治を次の3つの語句を使って説明してみよう。
①隋 ②有用な人材 ③憲法



煬帝 (569~618) 隋の2代目皇帝。



小野妹子 (7世紀前半)
滋賀の豪族出身で、才能を認められ、遣隋使代表に抜擢された。(京都・華道家元池坊総務所蔵)



『日本書紀』の写本 推古天皇が隋の皇帝に送った手紙について書かれた部分。(京都国立博物館蔵)

歴史の言葉

【天皇・皇帝】

「皇」は「王」の上にかざりが付いた文字で、「王の中の王」「王の上に立つ王」をあらわす。「皇帝」は秦の始皇帝が使い始めた称号で、皇帝のいる中国の王朝が文明のもっとも進んだ世界の中心とされ、周辺諸国は中国の皇帝から王の称号をあたえられることで、皇帝に服属した。これを「華夷秩序」という。日本もかつては、卑弥呼が魏の

皇帝から「親魏倭王」の称号を受け、「倭の五王」も王の称号を得た。608年の遣隋使の国書に見られる天皇の称号は、宗教的な権威をも含む最高の統一者を意味するものである。日本は、現在にいたるまで「天皇」の称号を使いつづけてきたが、これは、天皇をいただく独自の文化をもつ国家であることを世界に示している。→P.78

12

遣隋使と天皇号の始まり

聖徳太子の隋に対する対等外交と、天皇という称号の間にはどんな関係があったのだろうか。

1 「日が昇る国（日本）の天子が、日が沈む国（隋）の天子にあてて便りを送ります。お元気でお過ごしですか」。

2 聖徳太子は高句麗の僧を仏教の師としていたので、隋と高句麗の関係をつかんだ上で外交のタイミングを選んだと考えられる。

遣隋使の派遣

国内の改革に成功した聖徳太子は、607年、再び遣隋使を派遣した。正使に選ばれた小野妹子は、地方豪族の出身だったが、冠位十二階の制度で才能を認められ取り立てられた、優れた人物だった。

このときの隋の皇帝にあてた国書（国の正式な手紙）には、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」と書かれていた。太子は、手紙の文面で対等の立場を強調することで、隋に決して服属しないという決意を表明したのだった。

隋の皇帝・煬帝は、この国書を無礼だとして激怒したという。朝貢国が、世界に一人しか存在しない皇帝の別名である天子という称号を、みずからの君主の称号として用いるのは、許しがたいことだった。しかし、高句麗との戦争をひかえていた煬帝は、日本と高句麗が手を結ぶことを恐れて自重し、帰国する小野妹子に返礼の使者をつけた。

天皇号の始まり

翌年の608年、3回目の遣隋使を派遣することになった。そのとき、国書に記す君主の称号をどうするかが問題となった。中国の皇帝の怒りをかった以上、中国の君主と同じ称号をとることはできない。しかし、再び「王」と称し、中国に冊封される道を選びたくはなかった。

そこで、このときの手紙には、「東の天皇つしみて、西の皇帝にもうす」と書かれた。皇帝の文字をさけることで隋の立場に配慮しつつも、「皇」の文字をみずからの称号に使うことで、両国が対等であることを表明したのである。これが、天皇という称号が使われた始まりだった。日本の自立の姿勢を示す天皇の称号は、その後も使われつづけ、とぎれることなく今日にいたっている。

聖徳太子と 仏教と古来の神々

聖徳太子は、607年に法隆寺を建てるなど、仏教をあつく信仰した。しかし、朝廷は、日本古来の神々を大切にすることも忘れなかった。同じ年に、朝廷で儀式を行い、伝統ある神々を祀りつづけることを誓った。こうした姿勢は、外国の優れた文化を取り入れつつ、自国の文化も大切にするという日本の伝統につながったと考えられる。

聖徳太子は、内政でも外交でも、8世紀に完成する日本の古代中央集権国家の設計図を描いた指導者だった。太子が活躍した7世紀には、政治や文化の中心が奈良盆地南部の飛鳥地方にあったので、このころを飛鳥時代とよぶ。



四天王寺 聖徳太子が建立した寺の一つとされている。

3 のちの天武天皇（在位673~686）の時代に天皇号が初めて使われたとする説もある。

4 飛鳥地方にはキトラ古墳や高松塚古墳など古代史上重要な遺跡が多数ある。

まとめにチャレンジ

天皇の称号が、日本の自立を示すものであることを説明してみよう。



遣唐使船(復元) 500人あまりの人々が4隻の船に分乗し、2~3年で往復した。しかし、暴雨風などにあって日本に戻れない遣唐使船も多くあり、命がけの渡航であった。(広島・長門の造船歴史館蔵)



石舞台古墳 巨大な古墳の石室が露出したもの。蘇我馬子の墓と伝えられる。長さ約7.7m、幅約3.5m、高さ約4.7mというそのスケールは馬子の権勢を象徴している。(奈良・明日香村)



蘇我氏の滅亡 645年6月の雨の日、朝廷では朝鮮からの使者をむかえる行事が予定されていた。中大兄皇子(1)は、この機会を利用し、すばやく飛び出して、参列していた蘇我入鹿(2)を剣で斬った。おどろく皇極天皇(中大兄皇子の母)(3)に皇子はひれふして、このしだいを述べた。蘇我蝦夷は屋敷に火をつけて自害し、蘇我氏は滅亡した。弓と剣をもつのは中臣鎌足(4)である。(奈良・談山神社蔵「多武峯縁起絵巻」)

13

大化の改新

蘇我氏はどのようにして倒され、天皇中心の国づくりが進められていったのだろうか。

1 中国で行われていた、役人を登用するための試験。6世紀に始まり、その後、1300年以上も行われていた。きびしい試験で、家柄に関係なく有能な人材を選んで皇帝の権力を強化しようとするものだった。この制度は当時の日本には取り入れられなかった。

2 第1回遣唐使は630年に派遣された。→P.66・70

7世紀の東アジア

隋は高句麗に大軍を出すなどの無理がたり、30年ほどで滅んだ。618年、唐が中国を統一し、新王朝を開いた。唐は、隋の制度を引きつぎ、皇帝を中心に、律令(法律)、戸籍、兵役、科挙などの、よく整備された国家の制度をつくりあげた。日本からは、遣隋使に引きつづいて遣唐使が派遣され、同行した留学生や僧が、現地に滞在して唐の優れた制度や文化を学んだ。

7世紀の中ごろになると、国力をつけた唐は、対立する高句麗を攻撃した。朝鮮半島の3国に緊張が走り、日本も危機を感じ、国家の体制を強化しようとする動きがおこった。

蘇我氏の勢力の強大化

ところが、聖徳太子が亡くなった後、蘇我氏の一族が権力をふるうようになった。蘇我馬子の子の蝦夷は、天皇のようにふるまい、自分の息子をすべて王子とよばせた。蝦夷の子の入鹿も、聖徳太子の長男の山背大兄王をはじめ、太子の一族を一人残らず死に追いやって滅亡させた。

やがて、聖徳太子の理想を受けつぎ、蘇我氏をおさえ、天皇を中心とする国づくりを求める機運が生まれた。このころ、太子が派遣した留学生があいついで帰国し、唐の政治制度を伝えたことも、改革の機運を高めた。

大化の改新

蘇我氏を倒す計画を心に秘めていたのは、中大兄皇子と中臣鎌足であった。鎌足は、蹴鞠の会を利用して皇子に接近し、2人は心の中を打ち明けあうようになった。それから1年半後の645年、中大兄皇子は、中臣鎌足(のちの藤原鎌足)らとともに蘇我蝦夷・入鹿親子を倒して蘇我氏を滅ぼし、新しい政治のしくみをつくる改革を始めた。

この年、朝廷は日本で最初の年号を立てて、大化元年とした。東アジアで中国の王朝が定めたものとは異なる、独自の年号を制定して使用しつづけた国は、日本だけであった。翌年には、これまで皇族や豪族が私有していた土地と民を、国家が直接統治する、公地公民の方針を打ち出した。

大化元年に始まるこの改革を、大化の改新とよぶ。大化の改新は、聖徳太子以来の国の理想を実現するために、天皇と臣下の区別を明らかにして、日本独自の国家の秩序を打ち立てようとしたものだった。



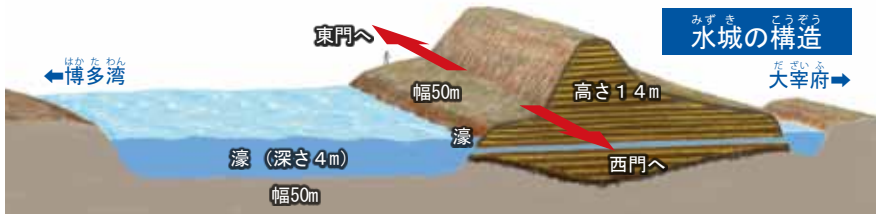
3 中臣鎌足は、大化の改新の功績により、のちに天智天皇から藤原の姓をたまわる。これが藤原氏の始まりである。

まとめにチャレンジ!

大化の改新によってなしとげられたことを箇条書きにしてみよう。



白村江の戦いの進行ルート 百済の救援要請を受け出兵したが、日本は唐・新羅連合軍に大敗した。



水城の構造

大宰府の守り「水城」 博多湾から上陸した敵をくい止め、大宰府を防衛するために築かれた水城。水城は土塁で、延長約1km、幅が約50mあり、内側に水をたたえていた。現在も一部が残っている。 →P. 64

14

律令国家への道

7世紀の後半、朝鮮半島で敗北したわが国は、どのような国づくりを進めたのだろうか。

1 防人とは、諸国から集められ、九州北部の沿岸と壱岐、対馬に配置された兵士で、3年交代で防衛の任についた。東国の兵士が多かった。 →P. 63

2 内陸部の近江に都を移すことによって、唐の海からの侵入に備えた。

白村江の戦いと国防の備え

7世紀のなかば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで、百済を滅亡させた。日本と300年の親交がある百済が滅び、半島南部が唐の支配下に入ることは日本にとっても脅威だった。そこで、百済を復興するための救援要請を受けた朝廷は、多くの兵と物資を送った。唐・新羅連合軍との決戦は、663年、半島南西部の白村江で行われ、2日間の壮烈な戦いののち、日本・百済側の敗北に終わった（白村江の戦い）。日本の軍船400隻は燃え上がり、空と海を炎で真っ赤に染めた。次いで、新羅は高句麗も滅ぼし、朝鮮半島を統一した。

百済からは、王族や貴族を始め、一般の人々までが日本に亡命してきた。そのうち一部は近江（滋賀県）、一部は東国に定住した。朝廷は彼らをあつくもてなし、政治の制度の運営についての知識を得た。

白村江の敗北は、日本にとって大きな衝撃だった。唐と新羅の襲来を恐れた日本は、九州に防人を置き、水城を築いて、国をあげて防衛につとめた。また、中大兄皇子は都を飛鳥から近江に移し、即位して天智天皇となった。天皇は国内の改革をさ

敗戦を教訓にした律令国家

7世紀なかば、東アジアは動乱の中にあった。強大な唐帝国に脅威を感じた朝鮮半島の国々は中央集権化を進めていた。しかし、百済、新羅、高句麗の3国は、古来、激しい抗争をくり返しており、唐の軍事介入を招いた。まず、唐・新羅軍は百済を滅ぼし、次いで高句麗を南北から挟み撃ちにして滅亡させた。日本は百済の救援に赴いたが、百戦錬磨の唐軍に対して、日本は各豪族軍の寄せ集めで作戦もまとまらず、大敗を喫した。敗戦後、天智天皇は国家の危機を感じて中央集権化と律令の整備につとめた。天智・天武天皇は東アジアの興亡と敗戦の経験を教訓に国づくりを進めたのだった。



藤原京（復元模型 奈良・橿原市教育委員会蔵）

らに進め、全国的な戸籍をつくった。

天武天皇と持統天皇の政治

天智天皇が亡くなったのちの672年、天皇の子の大友皇子と、天皇の弟の大海人皇子の間で、皇位継承をめぐる内乱がおこった。これを壬申の乱という。大海人皇子は、東国の豪族を味方につけ、機敏な行動で大勝利をおさめた。この争いの中で豪族たちは分裂し、政治への発言力を弱めた。こうして、天皇を中心に国全体の発展をはかる体制がつくられていった。

内乱に勝利した大海人皇子は、天武天皇として即位し、皇室の地位を高め、公地公民をめざす改新の動きを力強く進めた。天武天皇は、中国の律令制度も参考にして国家の法律をさらに整備し、国の歴史書（『古事記』『日本書紀』）の編纂に着手した。また、国を運営する役人の位や昇進の制度を整え、豪族たちをこの制度の中に組み入れていった。

天武天皇の没後、皇后の持統天皇が即位して、改革を受けついで。持統天皇は、都として、奈良盆地南部の地に、藤原京を建設した。これは、初めて中国にならってつくられた大規模な都の建設だった。ここに、聖徳太子の新政以来の律令国家をめざす国づくりが完成に近づいた。日本という国号が用いられるようになったのも、このころである。



まとめにチャレンジ

白村江の敗北後、日本はどのような対策を取ったか、箇条書きにしてみよう。

「日本」という国名のおこり

私たちの国の名前「日本」
これはどのような意味をもち、
どのようにしてできたのだろうか？

◎「太陽の恵みをいっぱい受け取る国」

私たちの国の名前は、「日本」（ニッポン、または、ニホン）です。では、「日本」とはどんな意味をもつ言葉なのでしょう。

「日本」は、「日」と「本」という2つの言葉（文字）から成り立っています。

「日」は、太陽のこと。太陽は、地球上のあらゆるものに光と熱を与え、命をはぐくみます。古代の日本人は、太陽の恵みを自覚していました。そして、人間の知恵や力をはるかにこえた、偉大な自然の「気」を感じ取っていたのです。

「本」は、「……の元」ということ。ですから、「日本」という国名は、607年の遣隋使の国書に「日出づる処」と書かれていたように、「昇る太陽の出るところの国」という意味になります。

これは、自分たちの国にゆるぎない自信をもち、その歴史にも誇りをもった古代のご先祖様が、わが国にもっともふさわしい国名として選んだものといえます。

◎「倭」から「日本」へ

「日本」という国名ができる前には、わが国は、周囲の国々から「倭」、「倭国」などとよばれていました。「倭」は、「人に従うありさま」、「背が曲がって低い」、「みに

くい」などの意味をもった漢字です。どう見ても、立派な国名とはいえません。

なぜ、こんな国名になったのでしょうか。それは、古代中国の人々が、わが国を軽く見て、あなどる気持ちで用いた国名だったからです。中国には、自分たちを世界の中心に位置するもっとも優れた国とし、まわりのすべての国々を、劣った国として見下す考え方が長くつづいていました。その考え方を、中華思想といいます。「倭」という国名も、そのような考え方に基づいていました。

日本人はしばらく、この国名をあまり気にとめないで、受け入れていました。しかし、国内の政治制度がだいに整い、国力ものびて、東アジアの国々の中でも重要な地位を占めるようになると、もっと自国にふさわしい名前があるはずだと考えるようになりしました。

◎1300年の歴史をもつ国号

7世紀の初め、聖徳太子の新政によって、それまで中国の王朝との交渉では、日本は服属国のような立場をとっていたのですが、それを改めました。そして、「天皇」という君主の称号を使い始めて、中国に対し、自主・対等の姿勢を示すことになりま

した。これが、「日本」という国名への更^{へん}にいたる出発点でした。

その後、大化の改新を経て、政治のしくみはめざましく整備されました。白村江の敗戦と壬申の乱は、わが国にとって深刻な危機でしたが、結果として、天智天皇や天武天皇のもとで国内体制の整備を大きく進めることになりました。

こうして、それまでの政治改革の成果をまとめた飛鳥浄御原令という法律で、「日本」という国名が公式に定められたと考えられています。唐代の正史の一つである『旧唐書』にも国号が「日本」と改まったことが記されています。

それから約1300年を経た今日まで、この国名はまったく変わることなく使われつづけています。中国や朝鮮半島の国々が、王朝が変わるごとに国名が変わってきたことと比較すると、それがいかに特別なことであるのかがわかります。わが国の国名が、この長い年月の間変わらなかったのは、その間、国がとだえたり、他の民族にとってかわられたりすることがなかったからです。わが国は、世界でもっとも長い歴史をもつ国です。

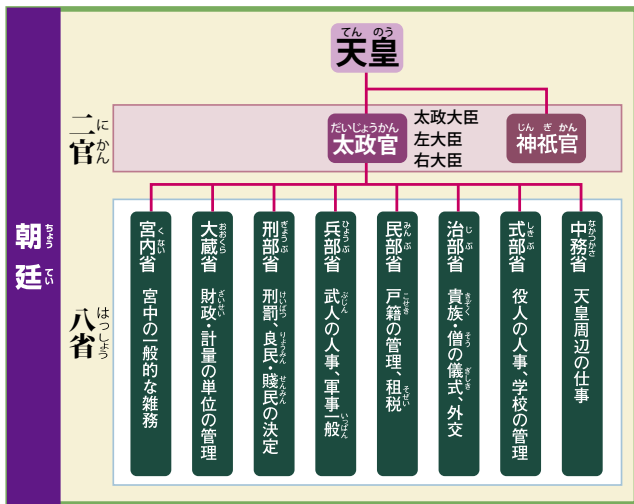


「日本」は、「太陽の昇るところ」という意味をもつ国名だ。

◎「ジャパン」の起源も「日本」

最後に、「日本」の発音について述べます。「ニッポン」と「ニホン」のどちらが正しい発音なのでしょう。実は、どちらでもよいのです。古くは「ニッポン」だったのが、短く「ニホン」と発音するようになり、両方の発音が並び行われるようになったからです。

また、古くは中国で、「ジッポン」という発音も行われていました。それを西洋の人々が耳で聞き取って、「ジパング」となり、さらには、英語で「ジャパン」ともよばれるようになりました。「ジャパン」の起源もまた、「日本」だったわけです。



律令政治のしくみ 律令制における中央行政組織。

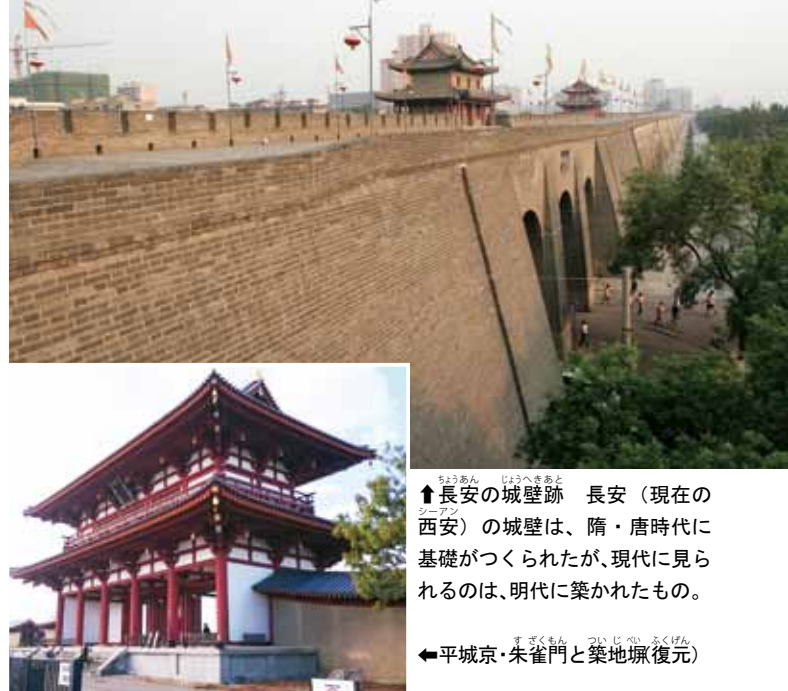


→ 1 章 扉

平城京と長安の違い

長安の都の外周は、高さ10m以上もある城壁で囲まれていた。皇帝の住まう宮城には、さらに高い城壁がめぐらされていた。平城京には城壁はなく、天皇の住まう宮殿も、築地塀がめぐらされているだけだった。

それだけではない。正方形や長方形に区切られた居住地域の一區画は、坊とよばれた。坊の中に居住していた有力者、役人、一般住民の総数は、長安で約100万人、平城京で約10万人だった。この坊の一つひとつが長安では城壁で囲まれ、夜間には鍵でとざされた。外敵の侵入を防ぐとともに、坊の中にいる人々をとりこめ、管理した。平城京では、外敵も住民の逃亡も想定していなかった。 → 1 章 扉



↑長安の城壁跡 長安（現在の西安）の城壁は、隋・唐時代に基礎がつくられたが、現代に見られるのは、明代に築かれたもの。
←平城京・朱雀門と築地塀復元

15 大宝律令と平城京

日本の古代律令国家のしくみはどのようなものだったのだろうか。



富本銭 683年鑄造
日本最古の貨幣とされ、国や民を富ませる本の意味がある。



和同開珎 708年鑄造
遷都のときから本格的に使われた。

701（大宝元）年、**大宝律令**がつけられた。律は刑罰を定めた法律で、令は政治のしくみと手続きを定めた法律である。律令に基づいて政治を行う国家を、**律令国家**とよぶ。大宝律令の制定により、日本の古代国家は、律令国家として完成した。

大宝律令では、律は唐にほぼならったものであったが、令は日本の実情に合わせてつくられた。たとえば、国政全般をつかさどる太政官のほか、神々の祭りをつかさどる神祇官が特別に置かれた。新羅は唐の律令が適用され、独自の律令をもたなかったのに対し、日本は、中国に学びながらも、独自の律令をつくりあげた。

律令国家の新しい都として、710（和銅3）年、奈良に**平城京**がつけられた。これよりのち、京都に都が移るまでのおよそ80年間を、**奈良時代**という。

平城京は唐の都の長安を手本にして設計された。ただし、日本の国情に合わせてつくられた部分もある。長安には防備のために強固な城壁が設けられていたが、平城京には城壁はなく、日本の平和な国情をあらわしていた。都には、碁盤の目のように道が通され、その北側の中央に、天皇の住まいや役所のある

平城宮が置かれた。東西2つの市では各地の産物が売り買いされ、唐の制度にならって和同開珎という独自の貨幣も発行された。平城京の繁栄ぶりは、「青丹よし奈良の都は咲く花の匂うがごとく今盛りなり」と歌われた。

奈良時代の日本の人口は約600万人で、平城京の人口は約10万人だった。朝廷の役人は約1万人で、そのうちの約200人の人々は、天皇から高い地位をあたえられた中央の有力な豪族だった。彼らは貴族とよばれ、朝廷で政治にたずさわった。国政は主な役人の合議によって進められた。

公地公民と班田收授法 律令国家のもとでは、公平な統治をめざして、すべての土地と民を国家が直接おさめる公地公民の原則が打ち立てられた。

この原則に基づき、人々に平等に土地を分ける、**班田收授法**というしくみが整えられた。この法では、まず、6年ごとに改められる戸籍に基づいて、6歳以上の男女には生活の基礎となる口分田があたえられ、死後は国に返還された。口分田の支給を受けた公民は、**租・調・庸**とよばれる税をおさめた。

ただし、この制度は唐にならったもので、日本の社会になじまない部分があり、実態に合わせる修正がたびたび行われた。

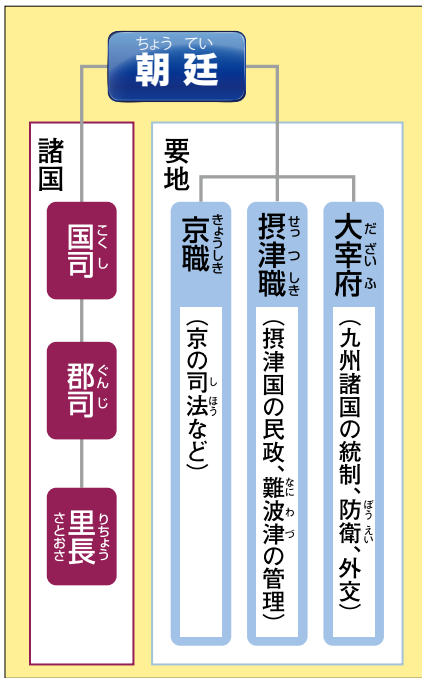
律令国家におけるおもな税

- 租** ▶ 収穫の約3%の稲をおさめる。地元でたくわえ、飢饉の救済用にあてた。
- 調** ▶ 絹・布・糸・綿・海産物など、その地方の特産物をおさめる。
- 庸** ▶ 労働の義務。実際には労働するかわりに一定量の布地を朝廷におさめる。
- 雑徭** ▶ 60日を限度に、地方で労働に従う義務。
- 兵役** ▶ 衛士…都の警備。防人…北九州の海辺を守る。

1 男子に2反（約2400㎡=24アール）、女子はその3分の2と定められた。

まとめにチャレンジ

日本の律令制度について①刑罰 ②行政組織③都のつくり方、の3点について説明してみよう。



地方政治のしくみ

16 記紀の編纂と大仏造立

記紀の編纂と大仏造立は、どのような目的でなされたのだろうか。



駅鈴 駅馬を使う資格のある役人が公務の旅であることを証明する鈴。(三重・本居宣長記念館蔵)

律令制度のもとで、地方は60あまりの国に分けられ、国ごとに朝廷から国司が派遣された。国の役所が置かれたところは国府とよばれた。朝廷は、地方の豪族を郡司や里長に任命した。郡司と里長は国司が監督した。中央と地方を結ぶ大きな道路には駅が設けられ、役人が乗りつぐ馬が用意された。

現在の福岡県には大宰府を置き、九州地方の統制や、外交の窓口、さらに沿岸防備の役目をあたえた。東北地方には、多賀城（現在の宮城県）と秋田城を築き、政治や軍事に当たった。

天武天皇は、律令国家のしくみが整うのに合わせて、国のおこりや歴史をまとめることを命じ、その編纂事業は次代の天皇に引きつがれた。712年に『古事記』が完成し、全3巻の中に、民族の神話と歴史がすじみち立った物語としてまとめられた。次いで、720年には『日本書紀』全30巻が完成し、中国の王朝にならった国家の正史として、歴代の天皇の系譜とその事績が詳細に記述された。

朝廷は、国司に命じて、地方ごとに伝説や地理、産物を調べて『風土記』をつくらせ、各地のようすを記録させた。

聖武天皇の治世になると、疫病や天災がたびたびおこった。税をのがれ

古事記と日本書紀

古事記は、文字通り「古の事を記した書物」の意味だが、日本書紀の「紀」は、帝王の事績を年代順につづった記録を意味する。『古事記』と『日本書紀』は、ほぼ同時期に完成していることから同じように思われがちだが、文体が異なり、神話の構成などもかなり違っている。『古事記』によれば、天武天皇が歴史は国家の基礎であるとの考えを示し、歴史書の編纂を命じたという。『日本書紀』は日本国の由来を流暢な漢文で記し、対外意識と独立心の高まりを感じさせる。

2つの歴史書(合わせて「記紀」とよぶ)は、天皇が日本の国をおさめるいわれを述べたもので、その中で語られる神話・伝承からは、当時の人々の信仰や政治の理想についての考え方を知ることができる。



大仏開眼供養のようす 寺崎廣業筆。(東京藝術大学提供)



大仏 盧舎那仏坐像 (奈良・東大寺蔵)

るため、口分田を捨てて逃亡する農民もあらわれた。朝廷は開墾を奨励し、743年には墾田永年私財法を出して、新しく開墾した土地を私有地することを認めた。この法律は、開墾者の権利を保護する規定を律令制度に付け加えるもので、人々の開墾への意欲をかきたて、耕地の拡大につながった。また、有力な貴族や寺院、地方豪族などは、この法律を生かして私有地を広げた。

聖武天皇と大仏造立

聖武天皇と光明皇后は、国ごとに国分寺と国分尼寺を置き、日本のすみずみにまで仏教の心をいきわたらせることによって国家の平安をもたらそうとした(鎮護国家)。都には、全国の国分寺の中心的な総国分寺として東大寺を建て、大仏造立を命じた。行基は、橋や用水路をつくるなどして多くの人々の信頼を集めた僧である。行基もまた、大仏造立に大きく貢献した。大仏開眼の儀式は、インド出身の高僧も加わって、盛大に行われた。

いっぼうで、これらの事業は、多くの資金を必要としたので、国家の財政は苦しくなった。

行基と大仏造立

行基は奈良時代の僧で、早くから民間に布教し、各地で橋をかけるなどの社会事業も行い、多くの信者を得ていた。もともと仏教は、国家の統一をうながし、国家を守るものとして導入され、庶民の信仰の対象ではなかった。そこで朝廷は行基の布教をおさえた。しかし、聖武天皇は大仏造立のために、「一枝の草、一にぎりの土をもって手伝おう」とする者があれば許すように命じ、行基の協力を求めた。行基の活動は、仏教が庶民の間に広まるさきがけとなった。



行基 (668~749) (京都・知恩院蔵)

1 聖武天皇のお后である光明皇后は、悲田院(貧しい人や孤児の保護施設)や施薬院(病人に薬や治療をほどこす施設)を建て、ご自身も病人の治療につとめられた。

まとめにチャレンジ!

聖武天皇が行ったことを3点あげてみよう。



◀法隆寺の五重塔
現存する世界最古の木造建築。670年に焼失したが、8世紀初めまでに再建された。

➡釈迦三尊像 光背
銘には、聖徳太子の冥福を祈って、623年に鞍作鳥（止利仏師）がつくったと書かれている。（奈良・法隆寺蔵）



正倉院 東大寺大仏殿の北西にある高床の校倉造りの倉庫。聖武天皇や光明皇后ゆかりの品などが収蔵されていた。



螺鈿紫檀琵琶
インドを起源とする五本の絃をもつ琵琶。シルクロードを通して、日本に伝えられた。世界中で唯一残っている貴重な宝物。（奈良・宮内庁正倉院蔵）

正倉院の御物
紺瑠璃杯 西アジア系と考えられるガラス製品。（奈良・宮内庁正倉院蔵）



月光菩薩像 日光菩薩と対になる像。ふくよかで神々しい天平の仏像の特徴をあらわしている。（奈良・東大寺蔵）

17

飛鳥・天平の文化

7～8世紀の文化にはどのような特徴があるのだろうか。



百済観音像 クスノキの木像。百済観音とよばれているが日本製。光背は仏の輝きを示す。（奈良・法隆寺蔵）

飛鳥文化

6世紀の飛鳥時代、百済を経てもたらされた経典や仏像は、自然崇拝だった日本人の心を揺るがし、一部の貴族が仏教を受け入れ始めた。それは目に見え、手に触れ、言葉で理解できる初めての宗教だったからだ。

6世紀末、都に天然痘がはやり、用明天皇も感染した。病床に伏した天皇は平癒を祈って薬師如来を信仰したため、仏教は初めて朝廷にも受け入れられるようになった。

推古天皇と、摂政の聖徳太子は斑鳩（奈良盆地西北部）の地に薬師如来像をおさめる法隆寺を建立した。焼失・再建されてはいるが、世界最古の木造建築である。仏教をあつく信仰する太子は崇仏派の蘇我氏とともに、飛鳥を中心に次々と寺院を建立した。この日本初の仏教文化を飛鳥文化とよぶ。仏像彫刻では釈迦三尊像・百済観音像などが代表作とされる。

遣唐使の派遣

7世紀初頭、唐がおこると、朝廷は遣唐使を十数回にわたり派遣した。

才能と意欲のある留学生が選ばれて海をわたり、唐の制度や文化を伝えた。阿倍仲麻呂のように唐の科挙に合格し、高官に抜擢された例もある。仲麻呂はあまりに優秀なため皇帝が帰国をなかなか許さず、ついに日本に帰ることなく亡くなった。一方、唐の高僧鑑真は日本に戒律（僧・信徒の規範）を伝えようとしたが、5度も難破し、やっとたどりついたときは盲目になって

いた。

▶1章扉・P.62

奈良時代には、仏教の広まりとともに、朝廷や貴族の保護のもとに多くの寺が建てられるようになった。

天平文化

このころはシルクロードをわたった西域文化が到達し、国際色が濃くなった。これを聖武天皇のころの年号から天平文化とよぶ。

この時代を代表する官寺では東大寺、薬師寺などがあり、私寺では鑑真のために建てた唐招提寺、藤原氏の氏寺である興福寺が名高い。仏像では東大寺の日光・月光菩薩像、四天王像、興福寺の阿修羅像などが仏教美術の傑作とされる。752（天平勝宝4）年に完成した高さ15mの東大寺の大仏は、世界最大の金銅仏である。

東大寺の正倉院は聖武天皇・光明皇后が大切にしていた品々がおさめられている。現在の中国やイランでは数が少なくなったり失われたりしたガラス器や楽器、唐三彩の逸品など貴重な文化財が多く、日本はシルクロードの「東の終点」とよばれる。

文学では『万葉集』が編纂され、古代から奈良時代までの4500首余の和歌が身分のへだてなく採録されている。作者は天皇・貴族から名もなき農民・防人まで多彩で、詩歌集に女性や庶民の作品まで採られているのは世界でも例がない。飛鳥時代の額田王、柿本人麻呂、奈良時代の大伴家持、山上憶良、山部赤人、大伴旅人らが優れた作品を残した。

万葉集の秀歌

熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな額田王
淡海の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしのいにしへ思ほゆ柿本人麻呂
かささぎのわたせる橋におく霜のしるきを見れば夜ぞふけにける大伴家持
世の中を憂しとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば山上憶良
田子の浦ゆうち出てみれば真白にぞ富士の高嶺に雪は降りける山部赤人
この世にし楽しくあらば来む世には虫に鳥にも我はなりなむ大伴旅人
水鳥の立ちの急ぎに父母に物言はず来にて今ぞ悔しき 防人

まとめにチャレンジ

飛鳥・天平の文化が、仏教文化として花開いたのはなぜか、説明してみよう。



桓武天皇 都を京都に移す。(滋賀・比叡山延暦寺蔵)

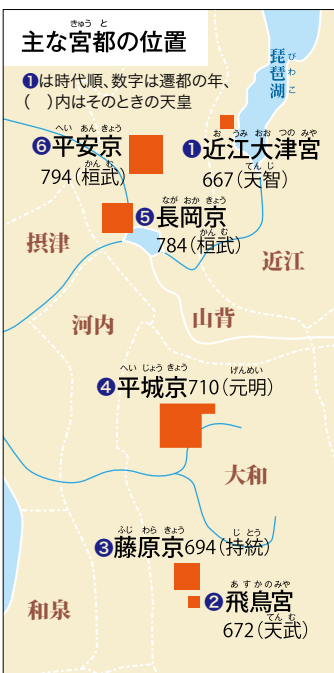


平安京 (復元模型) 東西約4.5km、南北約5.3km。朱雀大路がメインストリートだった。(京都市歴史資料館蔵)

18

平安京と 摂関政治

摂関政治はどのようにして 成立したのだろうか。



8世紀の中ごろから、貴族や僧侶の争いが激しくなった。桓武天皇は、寺院などの仏教勢力の影響が強い奈良の地をはなれ、都を移すことで政治を立て直そうと決意した。新しい都は、794(延暦13)年、交通の便利な今の京都の地につくられた。これが平安京で、明治天皇の東京遷都まで約1000年間、都となった。そのうち、鎌倉に幕府が開かれるまでの約400年間を平安時代とよぶ。

律令国家の立て直し

桓武天皇は、農民にとって大きな負担となっていた兵役の義務を(九州と東北を例外として)廃止し、郡司の子弟による新しい軍隊をつくった。これを健児制という(792年)。また、地方政治の乱れを監視するため、勘解由使を置いて国司や郡司の不正を取りしまった。さらに、戸籍が実態と合わなくなったので班田収授の制度を改めたり、労役でおさめる税である雑徭を半減させたりして農民の負担を軽くした。

このころ朝廷は、東北地方の蝦夷とよばれる人々を服属させようとし、蝦夷の激しい抵抗にあった。桓武天皇は、坂上田村麻呂を征夷大將軍(朝廷が認めた総大将)として軍勢を送り、802年、蝦夷の指導者アテルイを降伏させた。



藤原道長(966~1027) 紫式部日記絵詞 道長が天皇を迎えるため、舟遊びの準備をしているところ。(大阪・藤田美術館蔵)

この世をば わが世とぞ思ふ 望月の かけたることも なしと思へば (この世は、まるで自分の世のように思われる。満月が少しも欠けたところがないように、望みがすべてかなって満足だ)

道長の歌

摂関政治

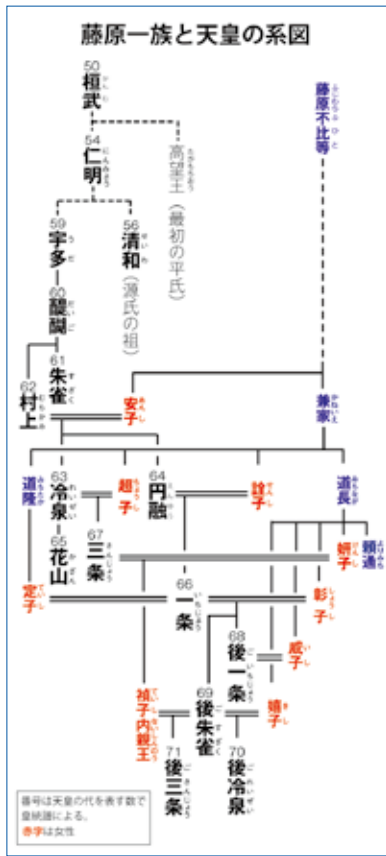
律令国家が立て直され、天皇の権威が確立し、皇位の継承が安定してくると、天皇が直接、政治の場で意見を示す必要が少なくなった。一方、藤原氏は、たくみにほかの貴族を退け、一族の娘を天皇の後とし、その皇子を天皇に立てることで天皇の外戚(母方の親族)となり、勢力をのぼした。藤原氏は、天皇が幼いころは摂政として、また成長したのちは関白として、9世紀末には国政の実権をにぎるようになった。これを、摂関政治とよぶ。

摂関政治の最盛期は、藤原道長とその子の頼通のころで、藤原氏は朝廷の高い地位を一族でひとりじめにした。

荘園の拡大

10世紀になると、戸籍の偽りなどにより、班田収授制はいきづまった。朝廷は方針を転換し、国司に公領からの税の確保を求めるほかは干渉せず、地方政治をまかせた。

有力者らはみずから土地を開墾し、藤原氏を始めとする中央の貴族や寺社に寄進した。この土地は朝廷や国司によって税を免除される私有地として承認された。有力者らはその土地の管理者となって力をたくわえていった。管理のための事務所や倉庫は「荘」とよばれたので、これらの私有地を荘園とよんだ。



まとめにチャレンジ

- ①桓武天皇の政治について、箇条書きにしてみよう。
②藤原氏はどうやって政治の実権をにぎったか、説明してみよう。



比叡山延暦寺と最澄 (767～822) 滋賀県大津市。788年に伝教大師最澄によって比叡山に創建された。(最澄像兵庫・一乗寺蔵 奈良国立博物館提供)



高野山金剛峯寺と空海 (774～835) 和歌山県伊都郡高野町。816年、弘法大師空海によって高野山に創建された。(空海像 京都・東寺蔵)



平等院鳳凰堂 めでたい鳥とされる鳳凰が翼を広げた形をしているので鳳凰堂とよばれる。(京都・平等院)



寝殿造 貴族の邸宅。寝殿を中心に、家族の居所や釣殿が廊下で結ばれている。(復元模型 国立歴史民俗博物館蔵)



男性 束帯。貴族男子の正装。位階によって色が変わり、10世紀末ごろは、四位以上は黒、五位は赤、六位以下は緑だった。



平安時代の貴族の服装

女性 女房装束。のちに十二単ともよばれる。着かざった衣装を御簾の下や半車からのぞかせて、美しさを競った。

19

平安文化

平安時代に国風文化が花開いたのはなぜだろう。

平安仏教の新しい動き

奈良時代の仏教は国家の保護を受けて栄えたが、経典の研究が中心となっていたので、やがて停滞し、都が平安京に移されると寺院は奈良にとどめ置かれた。このような時期に最澄と空海の2人の学僧が唐にわたり、仏教の新たな展開を学び、日本の仏教に新機軸をもたらした。

最澄(伝教大師)は比叡山(滋賀県)に延暦寺を開いて天台宗を広め、空海(弘法大師)は高野山(和歌山県)に金剛峯寺を開いて真言宗を広めた。学僧たちは密教の奥義を求めて、山中でひたすら修行に励みつつ、国家と万民の平安を祈った。しかし、やがて貴族の間に信者が広がると、加持祈祷に重きを置くようになり、寺院建立などでも支援を受けるようになった。

国風文化

894(寛平6)年、右大臣菅原道真の建言によって遣唐使が廃止されると、やがて唐風文化を基礎としつつ、日本独自の優雅で繊細な文化が発達した。これを国風文化とよぶ。

貴族たちは池などの自然を模した庭園のある寝殿造の屋敷に住み、服装も男性は束帯、女性は十二単などに変わった。絵画は自然や風俗をモチーフにした大和絵が襖や屏風を飾り、その大和絵から物語のある絵巻物が生まれる。鳥羽僧正の筆と伝えられる『鳥獣戯画』の軽妙な筆致は漫画の原形といえる。

遣唐使廃止の理由

遣唐使の航路には危険が伴い、優秀な人材が失われることがあった。日本と新羅の関係が悪化し、さらに危険な航路を選ばざるを得なくなった。

一方、平安時代には、唐の商船が日本に來航し、海外の珍しい文物が入るようになったため、危険を冒して渡航する切実さがうすれた。唐では内乱が続き、国が衰退していたことも、遣唐使の廃止につながった。

とりわけ重要なのは、仮名文字の発達である。とくに平仮名は貴族の女性の間にも広まり、仮名文字を用いた文学が生まれた。清少納言はしなやかな観察力で宮廷の暮らしや季節の移ろいをつづった随筆『枕草子』をあらわし、紫式部は貴族の恋を題材に世界最古の長編小説『源氏物語』を書いた。

和歌では醍醐天皇の勅命で紀貫之らが『古今和歌集』を編纂し、小野小町や在原業平など六歌仙といわれる歌人の名作などが収録された。後白河上皇は今様(はやり歌)を集めて『梁塵秘抄』を編纂し、かぐや姫の物語『竹取物語』もこのころ書かれた。

浄土教の広まり

10世紀末になると、庶民のあいだには社会不安から末法思想が広まった。都では放火・盗賊が横行し、比叡山の僧兵らが暴れた。地方では武士が台頭し、天災がたてつけにおこった。それにこたえるように比叡山天台宗の源信や空也らが登場し、念仏をとなえて阿弥陀仏に帰依すれば極楽浄土に生まれ変われるという浄土教を説いた。

貴族たちも極楽浄土にあこがれ、阿弥陀堂を建てて阿弥陀仏の像を奉納した。藤原頼通の平等院鳳凰堂(京都府)や奥州藤原氏の中尊寺金色堂(岩手県)がその代表である。

1 末法思想とは、釈迦の入寂後2000年が過ぎると教えは衰え、現世には救いがなくなるという厭世思想。それゆえに自力ではなく阿弥陀仏の力による救済(他力本願)の思想が生まれた。

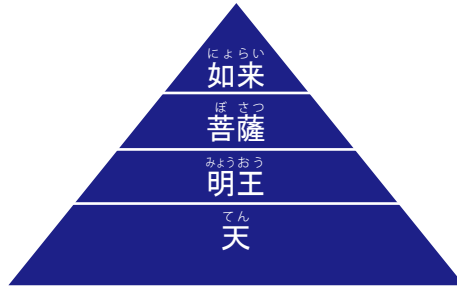
2 阿弥陀仏とはインドに生まれた「無限の寿命をもつ仏」。西方の極楽浄土からあまねく人々を見守り、救うといわれている。

まとめにチャレンジ

日本独自に発展した国風文化について、①建築②衣服③文学、に区分して説明してみよう。

仏像の見方

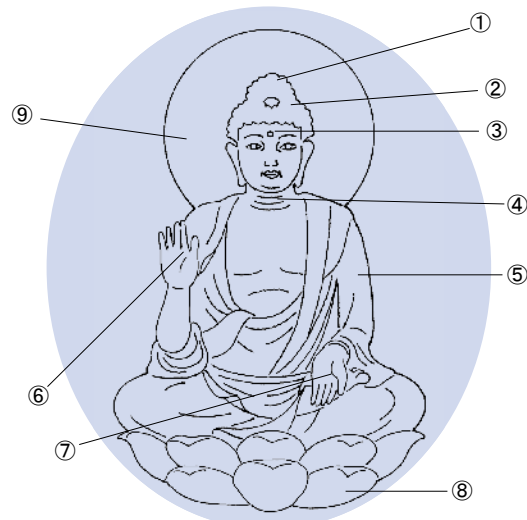
日本の**仏像**は、その位の高さに
よって、①如来、②菩薩、③明王、④
天、の4つの種類に分かれます。4種
類の仏様が分担して人々を守っている



如来 釈迦如来・薬師如来・大日如来・阿弥陀如来・弥勒如来など

如来は、悟りを開いた者、真理に到達した者、を意味する言葉です。一切の欲望をはな
れているので、衣服も布1枚を着けただけの、簡素な姿で表現されています。(大日如来
のみは教義が異なり、あてはまりません。)

如来は、もともとは釈迦如来のことでしたが、その後、仏教についての考え方が広がり、
さまざまな経典がつくられるにつれて、さまざまな如来像がつくられるようになりました。



【仏像各部の名称】

- ①肉髻 頭のとっぺんにあるこぶ(肉の隆起)。悟りを開いた者の身体的特徴。
- ②螺髪 修行のため手入れをせず、渦を巻いた髪の毛。
- ③白毫 眉間に生えた右回りに渦を巻いている毛。仏の慈愛の光をあらわす。
- ④三道 首に刻まれた3本の筋。過去から未来への輪廻をあらわす。
- ⑤衲衣 出家した修行者が着る着物。
- ⑥印 「こわがることはない」という手のサイン。
- ⑦印 「願いをかなえてあげる」という手のサイン。
- ⑧蓮華座 如来像や菩薩像に多く用いられる、蓮華の花をかたどった台座。
- ⑨光背 悟りを開いたとき、釈迦の体全体が光り輝いたことをあらわした飾り。

印 (手のサイン)



両手を重ねて瞑想する



人々に教えを説く



悟りの邪魔にな
る悪魔を地面を
さして追い払う

菩薩 弥勒菩薩・文殊菩薩・普賢菩薩・
地蔵菩薩・観音菩薩など

菩薩は、悟りを求め修行を
つづけている者を意味します。
まだ如来ではないので、古代
インドの貴族の服装と飾りを
身につけています。悟りを開
いた如来はおごそかな顔をし
ていますが、衆生(生きとし
生けるもの)を導く菩薩はや
さしい顔をしています。



弥勒菩薩半跏思惟像 (京都・広
隆寺) 宝



十一面観音像 (奈良・室生寺蔵 入江泰
吉記念奈良市写真美術館提供) 宝

明王 不動明王・愛染明王・
孔雀明王・馬頭明王など 明王は密教系の仏神で、悪魔を撃退する役目を
負い、怖い表情をしています。



不動明王坐像 (京都・東寺蔵) 宝



阿修羅像 (奈良・興福寺蔵) 宝

天 梵天・帝釈天・毘沙門天・四天王・十二神将・金剛力士・弁財天など

天は、仏を守る役目をする神々です。インドや中国の民族宗教の神々が仏教化したもの
といわれています。天部ともいい、もっとも数が多く、明王以外の仏神をすべて指します。
筋肉が隆々とし、憤怒相といって悪に対する怒りの表情のものもありますが、興福寺の阿
修羅像のように多面的な姿のものや、吉祥天・弁財天のような女性の神様もいます。

かな 仮名文字と女流文学

◎表音文字の発明

漢字が入ってきたのはいつであったか、正確なことはわかりません。2世紀ごろの土器に漢字らしい痕跡が見つかり、3世紀には大陸と文書のやりとりがあったという記録があります。大陸や朝鮮半島からの渡来人とともに漢字は入ってきたと考えられます。

私たちの先祖は漢字を学んで使用するだけに満足せず、漢字を用いて日本語（やまと言葉）を表現するという難題にチャレンジしました。こうして口伝えだった物語や歌謡の意味と音声を記録することに成功しましたが、それはたいへんな苦闘と英知のたまものだったのです。

漢字には表音（音声をあらわす）と表意（意味をあらわす）という2つの機能があります。「登」はトという音とノボルという意味をもっています。日本人はその両機能を使ってやまと言葉を表現しようとしてきました。その成果が、8世紀に完成した『万葉集』に見られます。

船乗世武登月待者……

（船乗りせむと月待てば）

漢字のもつ表意・表音の2つの機能を総動員していることがわかります。「せむ」



石山寺 紫式部源氏の間
紫式部は石山寺（滋賀県大津市）参籠中に『源氏物語』の構想を得たと伝えられている。（石山寺）

を「世武」、「と」を「登」にあてました。これが万葉仮名です。

◎仮名の発明と普及

名詞「船」や動詞「乗」は同じ意味の漢字をそのまま使えますが、漢語にはない助詞・助動詞・接続詞などは漢字の音を利用するしかありません。動詞・形容詞の送り仮名も同様です。こうして日本人は漢字を変形させた表音文字を発明しました。それが片仮名、平仮名です。

9世紀の初頭、平安時代の僧侶や学者は漢籍や經典の余白に、むずかしい漢字の読みや送り仮名を小さく書き入れました。万葉仮名では画数が多いため、省略文字を考案したのです。漢字の一部を借用して、世→せ、牟→ム、止→トとしました。これが片仮名です。

同じ9世紀後半、漢字を草書体にした平



源氏物語絵巻 紫式部が書いた源氏物語を題材にした絵巻。絵巻とは、紙または絹を横に長くつなぎ、情景や物語を連続して表現したもの。屋根を省略して室内を描く構図が特徴的である。（愛知・徳川美術館蔵）

仮名も発明し、たとえば波をくずして「は」という文字をつくりました。紀貫之は初めて平仮名で『土佐日記』、『古今和歌集』序文を書きました。

◎世界に誇る女流文学

漢字は激しく大仰な表現に適しますが、日本人らしい微妙な表現には適しません。たとえば「悲しい」は漢字で表現できませんが、「うら悲しい」「もの悲しい」の微妙な表現はできません。「豪雨」はあらわしても「そぼ降る雨」は表現不能です。

日本人が1000年ほど前に発明した仮名文字は、私たちの感性のこまやかさを表現できる素晴らしい表音文字なのです。仮名文字の発明によって、日本人の文章表現は飛躍的に豊かになりました。

平仮名は曲線の優美な字体から女手と呼ばれ、宮廷の女官たちに普及しました。彼女らは皇女や姫の家庭教師を兼ねるほどの

高い教養があり、優れた知性を競い合い、王朝文学の花を咲かせたのです。清少納言の随筆『枕草子』、紫式部の長編小説『源氏物語』や『蜻蛉日記』『和泉式部日記』『更級日記』などの日記文学は、世界の中でも、たいへん古い女流文学です。

また、片仮名は漢文の読みを示す補足的な文字として使われました。

◎秘密にされた女性の本名

女性は当時の慣習から本名をみだりに明かすことがないため、これら女流作家の本名もわかっていません。清少納言は父・清原元輔の一字（清）と誰かの役職名、紫式部は父の役職名（式部）と作中人物の紫の上にちなみ紫式部と呼ばれるようになったと言われています。日記文学の作者も、『蜻蛉日記』は藤原道綱の母、『更級日記』は菅原孝標の女とだけ伝えられています。



戦う武士の姿 後三年合戦絵巻 飛驒守惟久筆 (東京国立博物館蔵) 源義家らが、飛ぶ雁の列の乱れから敵の伏兵を知り、矢を射かけるようすを描いている(上に雁、下に伏兵)。

20

武士の台頭と院政

院政はどのようにして始まり、武士の台頭とどのように関係していたのだろうか。

1 武士を侍ともいうのは、貴族の近くにさぶらう(侍らう=佐る)者からきている。→P. 86

2 一族・一門をひきいる者(かしら・おさ)。もともとは、建物の屋根を支える木材(棟と梁)をさす。

3 桓武天皇の子孫である桓武平氏と、清和天皇の子孫である清和源氏が代表的な系譜である。→P. 82・86

4 藤原頼通の娘には天皇となる男子がでなかったため、母が藤原氏の出ではない後三条天皇が即位した。そのため藤原氏の影響力は大きく低下した。

武士の登場

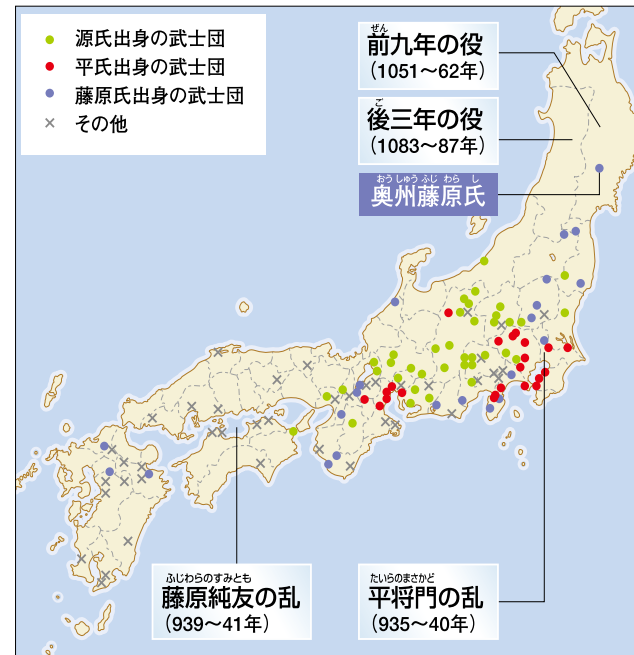
9～10世紀になると、私有地である荘園が広がって、国司の権限がおよばなくなった。都でも地方でも、盗賊が出没し、治安が乱れた。朝廷や中央の貴族たちは、武芸を職業にする者たちによって、宮中や貴族の屋敷を護衛した。また、地方でも、国司として赴任しそのまま住み着いた一族や、地元の豪族の中に、土地を守るためにみずから集団で武装する者があらわれた。こうして、武士が登場した。

武士は、皇族や中央貴族の血統をくみ、また、指導者としての能力に優れた者を棟梁として主従関係を結んで武士団をつくった。なかでも、天皇の子孫とされる源氏と平氏がひきいる武士団が、とくに有力だった。

10世紀の中ごろ、関東の豪族・平将門と、瀬戸内地方の国司だった藤原純友が、武士団をひきいて反乱をおこした。これらの反乱をしずめるのにも、中央の貴族は、武士の力に頼らなければならなかった。

院政

11世紀のなかばすぎ、170年ぶりに、藤原氏を外戚にもたない後三条



主な武士団の分布と、反乱がおこった地域

天皇が即位し、みずから政治を行った。これによって、藤原氏の勢いはおさえられた。天皇は、藤原氏の荘園をふくむ多くの荘園を整理する法令を出した。

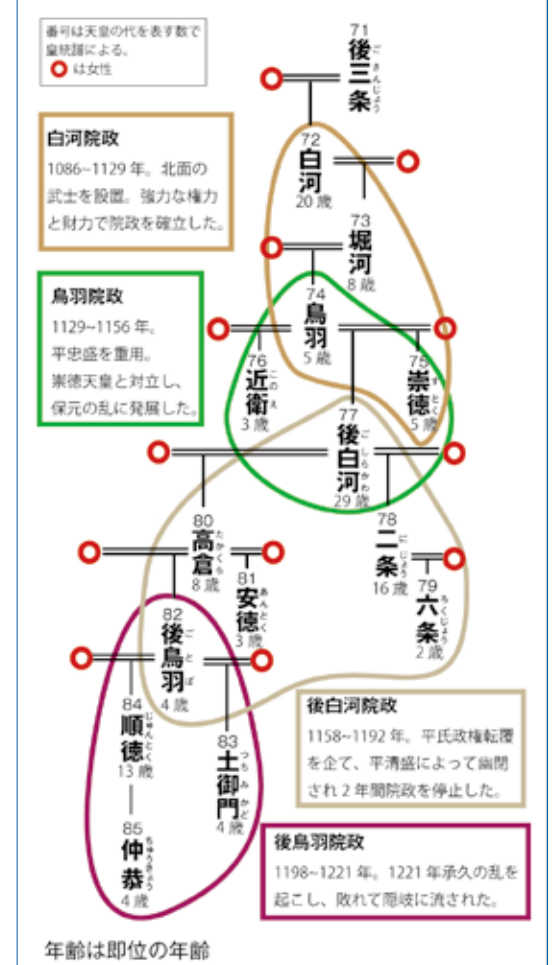
5 その流れを受けついで白河天皇は、14年間在位したのち、幼少の天皇に皇位を譲り、白河上皇として天皇の後ろだてになって政治の実権をにぎった。この政治を院政という。摂関政治は、天皇の母方の一族が実権をにぎる政治だったが、院政では、天皇の父や祖父が、朝廷のしきたりにとらわれない政治を行った。鎌倉幕府成立までの約100年間を院政期というが、そののちも院政はつづいた。

武士の台頭

院政が始まると、白河上皇は、平氏を中心とする武士団を、「北面の武士」として院の警護に重く用いたので、武士の台頭をうながした。

15 11世紀の後半には、東北地方で2回にわたって戦乱がおこり、関東の武士を率いてこれをしずめた源義家が、この地方の武士の信望を集めるようになった。

院政時代の天皇の系図



歴史の言葉

【上皇・法皇・院・院政】

上皇は太上天皇の略で、譲位した天皇の称号。持統天皇に始まる。譲位後の天皇が出家した場合は法皇とよぶ。院は上皇・法皇およびその御所をさし、院で行われた政治を院政という。

まとめにチャレンジ

- ①武士団の形成について、例をあげて説明してみよう。
- ②摂関政治から院政への移行は、天皇家の実権の回復であったことを文章で説明してみよう。

日本の天皇と中国の皇帝

●中国の皇帝から見た日本の天皇

984年、宋の皇帝太宗は、日本からやってきた一人の僧に面会しました。そこで日本国の天皇が一姓（一つの家系）であることを知った太宗は、深くため息をついて、こう言いました。

「日本国は、君主が久しく世襲し、また臣下も親のあとをついでいるという。これこそ、理想である。ところが、わが国は乱が絶えず、王朝は短期間で交替し、大臣、名家で後をつげたものは少ない。」

中国では、武力によって皇位を奪われることが当たり前のように行われてきたので、安定した皇位の世襲は驚きとともに大きなあこがれだったようです。→P.55

●中国の皇帝と易姓革命の思想

中国の皇帝は「天」の命令によってその地位を授けられ、皇帝の徳がおとろえたときに、「天命」は他の者に移るとされてきました。天命が革ることが「革命」、皇帝の姓（氏）を易めることが「易姓」、これを合わせて「易姓革命」とよびます。

この考え方は、前王朝をほろぼした征服者にとって都合の良いものでした。「前皇帝は悪政をかさねて徳がおとろえたため、天命が革り、自分が新しい王朝を建てたのだ」と言えば、武力によって皇位を奪うことが正当化されるからです。身分の低い者であろうが、異民族の出身者であろうが、

皇帝になれるとするのが、易姓革命の思想ともいえるのです。中国の皇帝は、「高枕短命」（枕を高くして寝る警戒心の乏しい皇帝は短命に終わる）という言葉にあるように、絶えず暗殺や謀反を警戒しなければなりませんでした。

●日本の天皇と天の思想

日本における「天」の思想は、中国とは異なり、神話に登場する「高天原」に由来します。天皇の称号に「天」がふくまれるのは、高天原の神々の中心であった太陽神天照大神の直系の子孫という意味からです。

日本では古代国家が完成し、律令制が導入され政治のしくみが整いました。そのうち天皇はしだいに政治の実権から遠ざかり、神々を祭る聖なる存在、あるいは国をおさめる権威となっていきます。そして、実際に政治を行うのは、摂政・関白・征夷大將軍などであり、天皇は彼らを任命し、政治の正統性を保証してきました。

歴史年表で、「元・明・清」などとあるのは、日本の「平安・鎌倉・室町」などの時代区分と似ていますが、その内実はまったく違います。日本では、政権の所在地が変わっただけですが、中国では、革命によって王朝が倒され、別の氏族や民族が支配者となり、まったく別の国がおこったことを意味するのです。

古代とはどんな時代か

裕樹君はお兄さんに古代の日本についてきました。



兄 第1章では、原始と古代を勉強したよね。原始と古代を分けるには、おおよそ、王や国家の誕生を基準にしているんだ。

弟 邪馬台国の卑弥呼の時代からかな？

兄 邪馬台国の女王卑弥呼が亡くなったとされる3世紀の中ごろ、大和では前方後円墳という独特の形をした古墳がつくられるようになった。やがて北は東北地方から南は九州まで、同じモデルの墓が広がっていった。そのころに日本という国家が誕生したと考えられるんだ。

弟 へー。そうなんだ。

兄 そして7世紀には聖徳太子が、十七条の憲法で日本の国のあり方を示した。古代は、天皇を中心とした日本という国が形づくられた時代なんだよ。

弟 なるほど。

兄 もう一つ大切なのは、日本は一度も王朝の交代がない国家といえるんだ。

弟 うわー、すごいんだね。

■時代比較の問題

次の2つの事項について、比較して、その違いをノートにまとめてみよう。

- (1) 縄文時代と弥生時代の社会や人々の暮らし
- (2) 弥生時代のムラと古墳時代のクニ
- (3) 日本の古来の神と仏教
- (4) 飛鳥・天平文化と国風文化

■人物比較

卑弥呼と聖徳太子は、時代の違いを反映して、中国の王朝とのかかわり方が異なっています。

2人を対比して、どこが違うかを考え、表にまとめてみよう。

■「ひとこと」作文

あなたが、古代の学習で、一番印象深かったことは何ですか。1つあげてみよう。

古代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字から400字程度の作文を書いてみよう。

<例> 天皇 国づくり 貴族 神話 仏教

■意見交換会

- (1) 日本の神話にあらわれた日本人の思想と、聖徳太子の十七条の憲法を比較して、共通点をみんなで出し合ってみよう。
- (2) 魏志倭人伝には、「卑弥呼」や「邪馬台国」という悪い字が当てられています。その理由を考え、意見を出し合ってみよう。
- (3) 日本は中国の律令制度を取捨選択して取り入れました。なぜそのようにしたのか、その理由を話し合ってみよう。

▶100字用語解説

歴史豆辞典 (第1章のまとめ)

じょうもん ど き 縄文土器	1万数千年前 ～ 紀元前4世紀	日本列島の人々がつくった世界最古の土器の一つ。表面に縄目の文様が付けられたものが多いので縄文土器とよばれる。多くは深い、人々は土器を炊きに用いる技術を発明した。この土器が用いられた時代を縄文時代という。
やよい 弥生文化	紀元前4世紀 ～ 紀元後3世紀	弥生土器が用いられた時代を弥生時代とよび、この時代の農耕文化を弥生文化という。この時代には稲作の広まりとともに全国に広まった鉄器など金属器もつくられるようになり、それらは農耕用具や武器として用いられた。
や ま たい こ く 邪馬台国	3世紀前半	『魏志倭人伝』に、倭の大国として記されている国。3世紀前半ごろまでの日本について書かれた「倭人伝」には、30あまりの小国を従え、女王卑弥呼がこれをおさめていたと記されている。
や ま と ち ゅ う て い 大和朝廷	3世紀後半 ～ 7世紀	大和(奈良県)の豪族を中心とする連合政権。3世紀後半に成立し、小国を合わせて統一国家をつくる動きが生まれた。その勢力の広がりは前方後円墳の広がりによって知ることができる。
しょうとくたい し 聖徳太子	574～ 622年	6世紀末、中国全土を統一した隋の脅威に対し、岐路に立たされた日本にあらわれた若き指導者。、まず国内の改革に着手し、冠位十二階の制度を取り入れ、十七条の憲法を定めた。その上で、隋との対等な外交を進めた。
たい か かいしん 大化の改新	645～ 652年	日本で最初に立てられた年号である大化元年に始まる改革。中大兄皇子(のちの天智天皇)と中臣鎌足は蘇我氏を滅ぼし、公地公民を打ち出すなど、新しい政治のしくみをつくった。
じんしん 壬申の乱	672年	天智天皇崩御ののち、皇位継承をめぐり争われた内乱。天智天皇の弟・大海人皇子はこの内乱に勝利し、天武天皇として即位して、律令国家の完成に向けて法律や歴史書の編纂に着手した。
たいほうりつりょう 大宝律令	701年	刑罰(律)と政治のしくみと手続き(令)を定めた法律。これに基づき政治を行う国家を律令国家とよび、日本は中国に学びながら独自のものをつくりあげ、その制定により日本の古代国家は律令国家として完成した。
へいじょうきょう 平城京	710～ 794年	律令国家として新しく奈良につくられた都。こののち、京都に都が移されるまでの80年間は奈良時代という。唐の都の長安を手本に、基盤の目のように道が通され、その北側に天皇の住居や役所のある平城宮が置かれた。
ほんでんしゅうじゆのほう 班田収授法	7世紀後半 ～ 8世紀	公平な統治をめざして整えられたしくみ。律令国家のもと、すべての土地と人民を国家がおさめる公地公民の原則が打ち立てられ、この原則に基づき、人々に平等に土地を分けるしくみとして整えられた。
こんでんえいねん し ざいほう 墾田永年私財法	743年	新しく開墾した土地を私有地することを認めた法律。この法律は、人々に開墾への意欲をかきたて、耕地の拡大につながった。また、有力な貴族や寺院、地方豪族などは、この法律により私有地を広げた。
とうだい じ 東大寺の大仏	752年	聖武天皇の命により造立された仏像。聖武天皇は国ごとに国分寺と国分尼寺を置き、その総国分寺として都に東大寺を建てた。大仏造立を命じ、日本のすみずみにまで仏教の心をいきわたらせ、国家の平安をもたらそうとした。
へいあんきょう 平安京	794年	京都につくられた都。桓武天皇は奈良の地をはなれ、京都に都を移すことで政治を立て直そうとした。以後1000年にわたり京都が都となったが、そのうち鎌倉に幕府が開かれるまでの約400年間を平安時代という。
せつかんせい じ 摂関政治	9世紀後半 ～ 11世紀後半	天皇にかわり国政の実権をにぎり行われる政治。一族の娘を天皇の后とし、その皇子を天皇に立てることで勢力をのびた藤原氏は、天皇が幼いころは摂政として、成長してからは関白として国政の実権をにぎった。
いんせい 院政	11世紀後半 ～ 12世紀末	天皇の後ろだてとなって行われる政治。白河天皇は幼少の天皇に皇位を譲り、白河上皇と号して天皇の後ろだてになった。摂関政治では天皇の母方が政治の実権をにぎったが、院政では父や祖父が政治を行った。

第2章

中世の日本

かまくら むらまち
鎌倉・室町時代

はかたわん
福岡県博多湾の海岸線に、
こんな石塁がある。
いつ、何のために
つくったのだろう？



せきるい
石塁（復元）



ひろき
裕樹君

鎌倉時代のことを
えが
描いた絵巻物に、
こんな絵があるわ。
武士が座っているのは、
上の写真の石塁では
ないかしら？



みちよ
道代さん



→P. 88・89・90

もうてしゅうらいえびば
蒙古襲来絵詞（宮内庁三の丸尚蔵館蔵）

第1節 武家政治の始まり



21

平氏の 繁栄と滅亡

平氏は繁栄から滅亡へ、どのように進んだのだろうか。

いづくしほじんじや 敵島神社（広島）
あつく信仰した。日本三景の一つ、安芸の宮島として有名。1996年、世界文化遺産に登録。

ほうげん 平清盛像 保元・平治の乱で勢力をのばし、平氏政権を樹立した。（京都・六波羅蜜寺蔵）



保元・平治の乱

1156（保元元）年、後白河天皇と崇徳上皇の間で、激しい対立がおこった。

これに、勢力争いをしていた藤原氏の兄弟や、有力な武士たちが二手に分かれて加担し、戦いになった（保元の乱）。戦乱は小規模だったが、都を舞台とした天皇・上皇の争いの解決に、武士が大きな力を発揮した。この乱は武士が政治への発言力を増していくきっかけとなった。藤原氏出身の僧・慈円が書いた『愚管抄』という歴史書では、この乱から「武者の世」に移ったとしている。

保元の乱ののち、勝者の後白河天皇（のちに上皇）を支えた貴族の間の勢力争いから、1159（平治元）年に再び戦いがおこった（平治の乱）。この乱で、平清盛が源義朝を破り、平氏が武士の中でもっとも有力な勢力となった。

平氏の繁栄

平清盛は後白河上皇との関係を深め、武士として初めて朝廷の最高位である太政大臣にまでのぼりつめた。また、娘や妻の妹を、宮中や院に入れ、朝廷との結びつきを深めた。一族も多数、朝廷の高



日宋貿易 清盛は、大輪田泊を開いて瀬戸内海の航路を整備した。



壇ノ浦の戦い 源義経が指揮する源氏に平氏は敗れ、安徳天皇は入水、一族は海の藻屑となって平氏は滅亡した。（山口・赤間神宮蔵）

い地位につき、多くの荘園を手に入れ、全国の半分近くの地方をおさえた。

さらに清盛は、大輪田泊を整備して、宋の商船を招くなど、日宋貿易に力を尽くし、莫大な利益をあげた。こうして平氏は、「平氏にあらずんば人にあらず」（平氏の一族でない者は人ではない）といわれるほど栄えた。

源平合戦と平氏の滅亡

しかし、平氏の栄華も長くはつづかなかった。平氏はやがて後白河上皇との対立を深め、上皇の院政を停止して、清盛の娘が産んだ10歳の安徳天皇を皇位につけた。後白河上皇の皇子である以仁王がこれに反発し、平氏の追討をよびかけた。これにこたえて、平氏の支配に不満をもつ武士が、各地で次々と兵をあげた。

平治の乱で討たれた源義朝の子の源頼朝は、鎌倉を拠点として関東の武士と主従関係を結び、しだいに力をたくわえていった。頼朝は朝廷の命を受けて弟の義経らを派遣し、平氏の追討に向かわせた。義経は、幼い安徳天皇とともに都から落ちのびていた平氏を各地の合戦で打ち、1185（文治元）年、ついに壇ノ浦でほろぼした。これら、源氏と平氏の一連の戦いを、源平合戦とよぶ。これは、わが国では初めての全国規模の戦乱だった。

1 『平家物語』→p.103によると、全国66か国のうち、30か国あまりにおよんだ。

2 現在の兵庫県神戸港の古い名称。泊とは船が停泊するところ。

3 907年に唐が滅亡したのちの内乱を経て、960年に建国した。

4 現在の山口県下関市。関門海峡の東端をのぞむ海岸で、源平合戦の最後の舞台となった。

まとめにチャレンジ

藤原氏の政治体制と平氏の政治体制には共通点がある。両者の共通点を、「外戚」と「荘園」の2つの言葉を使って説明してみよう。

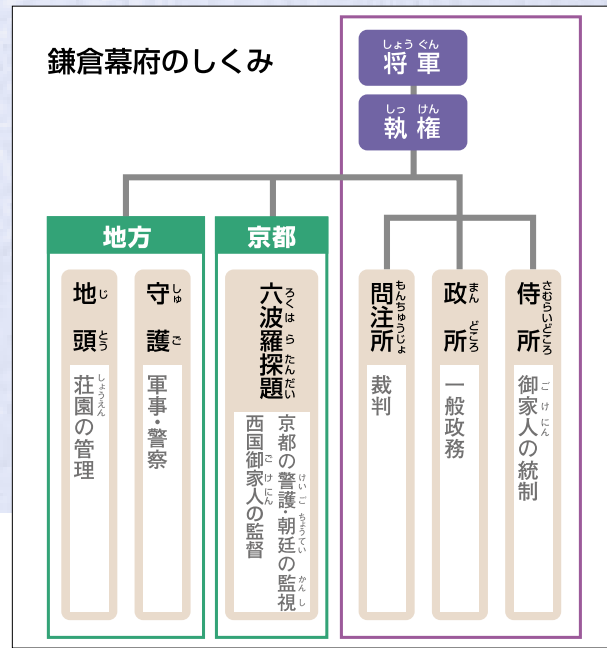


源頼朝と伝えられている肖像画。写実性の高さから、このころ発達した似絵の中でも傑作といわれている。(京都・神護寺蔵)



空から見た当時の鎌倉(復元模型)。南は海に面し、三方を山に囲まれた鎌倉は天然の要塞であり、防衛しやすく、幕府を置くのに適した場所だった。(千葉・国立歴史民俗博物館蔵)

鎌倉幕府のしくみ



歴史の言葉

【征夷大将軍・幕府】

征夷大将軍は、8世紀の末に朝廷の支配のおよんでいない地方を征討するために、臨時に天皇から任命された、軍隊の総指揮官をさす律令制の官職だった。鎌倉幕府以後は、武家政権の首長の称号となり、単に将軍とよばれるようになった。幕府のよとの意味は、幕営(幕を張った陣営)のことで、次いで将軍の住居をさすようになり、転じて武家政権を示す言葉となった。鎌倉幕府には9人、室町幕府と江戸幕府には15人の将軍が任命された。

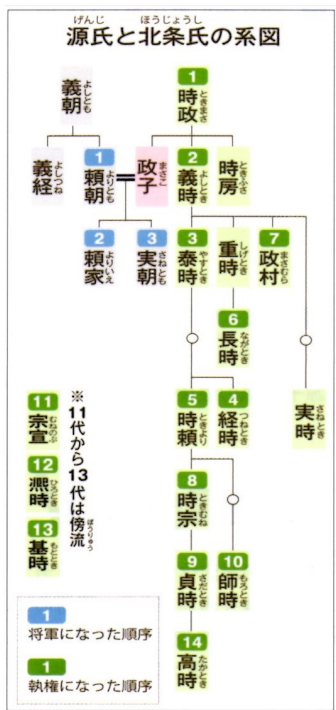
御成敗式目 (一部要約)

- 一、守護の職務は、京都御所の警備の指揮および反乱者と犯罪者の取りしまりである。
- 一、地頭は荘園の年貢を横取りしてはならない。
- 一、20年間土地を支配していた場合、その土地の権利を認める。
- 一、女性に子供がない場合、律令は認めていないが、その領地を養子に相続させることは慣例として認められる。

22

鎌倉幕府の武家政治

初めての武士の政権である鎌倉幕府は、どんな特徴もっていたのだろうか。



鎌倉幕府の成立

平氏滅亡ののち、源頼朝は、1185(文治元)年、地方の国ごとに守護を、荘園や公領には地頭を置くことを朝廷に認めさせた。守護は、軍事や警察の仕事につき、地方の政治にも関与した。地頭は、年貢の取り立てや、土地の管理などを行った。一方、源義経が兄である頼朝と対立し、平泉(岩手県)の奥州藤原氏のもとにのがれると、頼朝はその勢力を攻め滅ぼして、東北地方も支配下に入れた。

1192(建久3)年、頼朝は朝廷から征夷大将軍に任命された。頼朝は鎌倉に、簡素で実際的な武家政治の拠点を築いた。これを鎌倉幕府とよび、鎌倉に幕府が置かれた約140年間を、鎌倉時代という。

鎌倉幕府は、将軍とその家来の武士である御家人の主従関係によって成り立っていた。御家人は将軍から先祖伝来の領地を保護されたり、新しい領地をあたえられるなどの御恩を受け、そのかわり将軍に忠誠を誓い、いくさのときには命をかけて戦って、奉公に励んだ(御恩と奉公)。

執権政治

頼朝の死後、幕府の主導権をめぐる争いで有力な御家人が次々に滅び、頼朝の妻・政子の生家である北条氏が実権をにぎった。源氏の

将軍は、3代目の実朝が暗殺されてとだえた。そののちは、京都から藤原氏や皇族などをむかえ、名ばかりの将軍にした。家柄は一御家人にすぎなかった北条氏は、将軍を補佐する執権の地位について、幕府の政治を動かした(執権政治)。

承久の乱

そのころ京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、朝廷の勢力を回復するため、1221(承久3)年、北条氏を討つよう全国の武士に命令を出した。しかし多くの武士は幕府に結集し、またたくまに朝廷軍を打ち負かして京都を占領した。これによって、後鳥羽上皇は隠岐(島根県)に移された(承久の乱)。承久の乱ののち、幕府は京都に六波羅探題を置いて、朝廷を監視し、交渉にもあたらせ、さらに、西日本の御家人を監督した。

御成敗式目

執権となった北条泰時は、1232(貞永元)年、武家社会の慣習に基づいて、初めて武家の独自の法律である御成敗式目(貞永式目)を定めた。これは、御家人に向けてその権利や義務、裁判の基準をわかりやすく示すためのもので、その後の武士の法律の根本になった。



後鳥羽上皇(1180~1239) 天皇の位を譲った後も、上皇として院政を行い力をふるった。(大阪・水無瀬神宮蔵)

まとめにチャレンジ

鎌倉幕府の武家政治はどのようにして確立していったのだろうか。次の言葉を使ってまとめてみよう。「守護」「地頭」「征夷大将軍」「御家人」

武士のおこりと鎌倉幕府

武士団はどのようにして生まれたのか。鎌倉幕府を支えた「御恩と奉公」とは、どのような関係だったのだろうか

● 軍事を職業とする貴族の台頭

平安時代には、公地公民制度が衰退し、朝廷から任命された国司が管理する土地が少なくなっていました。農地を切り開き、土地をたくさん所有していた農民は、国司による税の取り立てをまぬがれようとして、自分の土地を貴族や寺社の荘園の名義にしました。しかし、そのため、境界線で土地争いがおこっても、そこが自分の土地であると証明してくれる公的な権力がなくなりました。

そのころ、都では、武芸を専門とする家柄の貴族が台頭してきました。いずれも天皇の血筋を引く源氏と平氏です。彼らは家業として、日夜、弓や騎馬の技をみがき、主に天皇・皇族や上流貴族の警護の任にあたっていました。

朝廷は、外敵への備えや、地方の争乱を鎮圧するため、軍制の強化を必要としました。そこで、武芸を家業とする軍事貴族である源平両氏を中心に、軍事集団が編成されました。彼らは、東国地方の国司や鎮守府将軍に任じられ、抗争の最前線で手柄を立てると、ますます「兵の家」として発展していきました。これが、武士の始まりと考えられます。

● 平氏政権から鎌倉幕府へ

源氏や平氏が赴任する先では、各地で所領争いがおこっていました。力の強い者が、他人の所領を奪ってしまうことも珍しくありませんでした。そこで、領主は襲撃をおそれ、たがいに武装しました。彼らは、都から下ってきた強力な軍事貴族に、自分の所領を守ってくれるよう求めました。こうして、源氏や平氏のもとに地方の領主が服従するようになり、武士団が結成されていたのです。

やがて、いくつもの争乱を勝ち抜いた平氏は、朝廷に莫大な寄進をするなどして結びつきを強め、清盛の時代には、朝廷で最高位の太政大臣に出世しました。しかし、平家政権にもかげりが出てきます。平家一門は、中央の貴族社会になじんで、地方の武士団の要望や不満にあまり気づかずにいたからです。

一方、少年期から東国に流刑されていた源頼朝は、東国地方の武士が何を望んでいるのか、よく観察していました。源平合戦に勝利して鎌倉幕府をひらいた頼朝は、武士たちの所領を保証し、土地争いを公平に裁くなど、武士団の要望にこたえました。



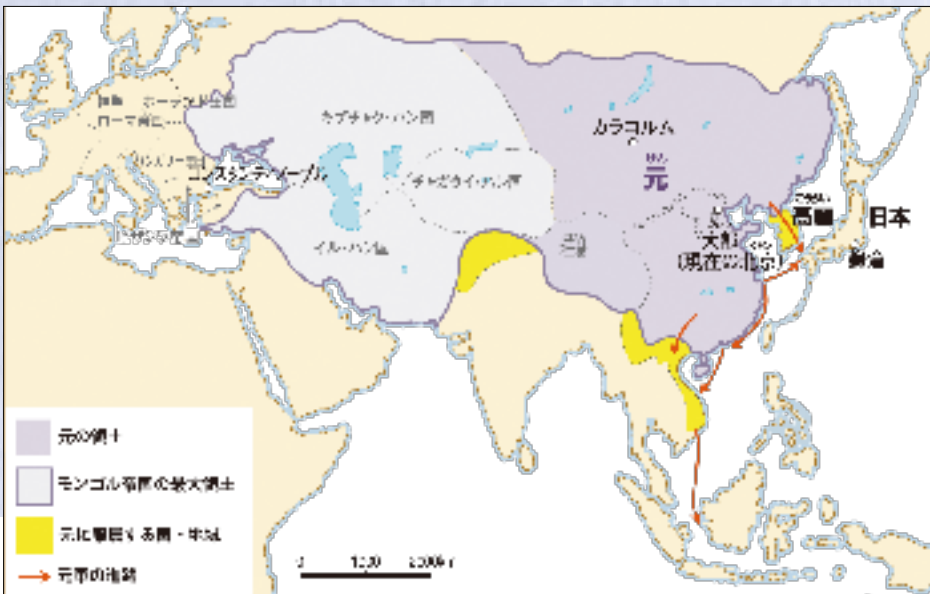
一遍上人絵伝 時宗を開いた一遍が旅をしながら教えを広げていくさまを描いたもの。これは、一遍が有力武士の邸を訪ねている場面。当時の鎌倉武士の生活のようすが細かく描かれている。(神奈川・清浄光寺蔵)

● 「御恩と奉公」

鎌倉幕府と武士（御家人）は、「御恩と奉公」の関係で結ばれていました。謡曲『鉢の木』の物語を見てみましょう。5代目執権・北条時頼が、身分を隠して諸国のようすを観察していたときのことで、上野国（群馬県）の佐野のあたりで突然の雪に降られ、近くの民家を訪ねました。その家は、暖を取る薪も食べ物もない貧しさでした。しかし、家の主人佐野常世は、時頼だとは知らぬまま、こころよくむかえ入れました。常世は、見も知らぬ旅人を暖めるため、大切にしていた鉢植えの梅・松・桜を囲炉裏にくべて精一杯もてなしました。

「ご覧の通りの貧しさですが、私はかつてはこのあたりの領主でした。今は領地を奪われ、この有り様です。しかし私は武士です。幕府に一大事があって、いざ鎌倉というときは、いつでも駆けつけられるように、馬と武具だけは手放しておりません。」

鎌倉に帰ったあと、時頼は関東の御家人に緊急の召集命令を出しました。すると、常世は武具に身を固め、鎌倉に馳せ参じてきました。時頼は、常世の奉公、忠義心を誉め、領地を取り戻してやり、さらなる領地を恩賞として授けました。このような主従関係によって、鎌倉幕府は支えられていました。



1400年ごろの世界 モンゴル帝国は、一時期、西アジア、ロシアにまで勢力をのばしていた。

▶フビライ・ハン(1215~94) チンギス・ハンの孫。モンゴル帝国第5代ハン(ハンはモンゴル語で君主の意味)で、国号を元と定めて皇帝となる。



北条時宗 (1251~84)
(鎌倉・円覚寺蔵)



23 元寇

日本はなぜ元の襲来をはね返すことができたのだろう。

1 フビライに仕えたイタリア人マルコ・ポーロは、『東方見聞録』で日本を「黄金のジパング」としてヨーロッパに紹介した。

フビライの国書
(1268年)

わが祖先が天下を領有して以来、その威を恐れ徳を慕う異国は数え切れない。高麗もわが東の藩属国として、あたかも君臣、父子のようにしている。日本は高麗に近接し、過去には中国と交流していたようだが、朕が即位してからまだ一度も使いをよこさない。武力を用いるのは朕の本意ではないが、日本の王は、その点よく考えよ。
(「蒙古国牒状」)

モンゴル帝国 13世紀の初め、モンゴル(蒙古)の高原で、チンギス・ハンが遊牧民の諸部族を統一し、モンゴル帝国を建てた。モンゴル帝国は、無敵の騎馬軍団を各地に侵攻させ、またたくまに西アジアから中国まで、ユーラシア大陸の東西にまたがる広大な帝国を築いた。この動きに、ヨーロッパ人もおびえ、モンゴル人を恐れた。モンゴル帝国5代目の皇帝フビライ・ハンは、大都(現在の北京)という都をつくり、国号を元と称した。

元の襲来(元寇) フビライは、東アジアへの支配を拡大し、独立を保っていた日本も征服しようとしてきた。フビライは、まず日本にたびたび使いを送って、服属するように求めた。しかし、朝廷と鎌倉幕府は一致して、これをはねつけた。幕府は、執権の北条時宗を中心に、元の襲来に備えた。

元・高麗連合軍は、1274(文永11)年に対馬・壱岐を経て博多に襲来した(文永の役)。さらに7年後の1281(弘安4)年には、大船団を仕立てて日本をおそった(弘安の役)。日本側は、略奪と残虐な暴行の被害を受け、元軍の新奇な兵器にも悩まされた。しかし、鎌倉武士は、これを国難として受けとめ、果敢に戦った。元軍は、のちに「神風」とよばれた暴風雨にも



蒙古の襲来(文永の役)で元軍と戦う御家人 右の武将は一騎打ちの騎馬戦法で、元軍は火薬と集団戦法を用いた。蒙古襲来絵詞(東京・宮内庁三の丸尚蔵館蔵)

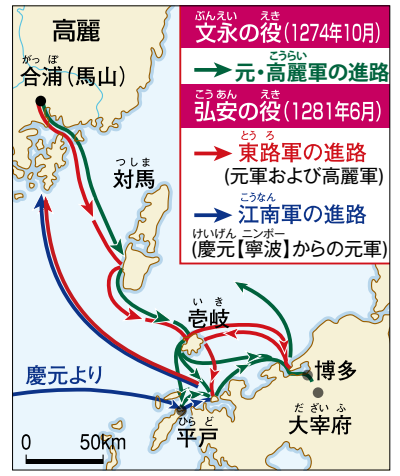
おそわれて、敗退した。こうして日本は、独立を保つことができた。この2度にわたる元軍の襲来を、元寇という。こののちもフビライは、数回にわたり日本侵攻を計画したが、実現しなかった。

5 **鎌倉幕府のおとろえ** 元との戦いで、幕府を支える御家人は多くの犠牲をはらった。しかし、外敵との戦いだったので、新しい土地を獲得することはなく、幕府は十分な恩賞となる土地をあたえることができなかった。また、文永の役(1274年)の後、幕府は御家人に防壁の建築や異国警固番役を命じるなど、外敵への備えを強化した。これによって御家人には負担が重くのしかかり、幕府に対する不満がつつあった。

10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

このころ、御家人たちは、兄弟による分割相続のくり返しで、領地がしだいにせまくなり、生活の基盤が弱まった。その上、商工業の発達とともに、武士も貨幣(銅銭)を使うことが多くなり、領地を質に入れたり、売ったりする者もあらわれた。

幕府は、御家人を救うために、徳政令を出して、領地をただで取りもどさせようとした。しかしそうすると、御家人に金を貸す者がいなくなって、かえって御家人を苦しめる結果となった。こうして、鎌倉幕府の支配は、かげりを見せ始めた。



元軍の進路

永仁の徳政令(一部)
1297(永仁5)年

- 領地を質に入れたり売買したりすることは、御家人の窮乏のもとである。今後禁止する。
- 御家人以外の者が御家人から買い取った土地は、売買から何年たつていようとも、御家人に返さなければならない。

まとめにチャレンジ!

日本が、強力な元軍の2度にわたる襲来を撃退することができた勝因は何だろうか。箇条書きにしてみよう。

元寇と朝鮮半島

◎元寇の日本占領を阻止した武士たち

1274（文永11）年、3万人あまりの元の大軍が対馬にあらわれたとき、これをむかえ撃ったのは、宗助国にひきいられた80余騎の武士でした。助国を先頭に武士たちは元軍の中に飛び込み、奮戦したのち全員討ち死にしました。

元軍が博多湾に侵入してくると、日本の武士は命を惜しまず勇敢に戦いました。元軍は、夕暮れがせまると湾内の船に引きあげ、翌朝には撤退していきました。

1281（弘安4）年、2度目に襲来したときの元軍は、朝鮮半島からの軍勢と中国大陸からの軍勢を合わせて14万人の大軍でした。中国大陸からの軍勢は、武器のほかに、農具や生活用品まで軍船に積み込んでいました。九州の一部を占領し、そこに定住するつもりだったのです。

元軍の軍船は平戸（長崎県）に集結し、博多湾をめざして、伊万里湾（佐賀県）入り口の鷹島という島に到達します。

これに対して武士たちは、全力をあげて、船で元軍の大船団に戦いをいどみました。一昼夜におよんだ鷹島沖での海戦で、元軍の被害は大きく、船団は鷹島周辺の海にくぎ付けとなりました。しかもこの直後、台風が元軍をおそい、元軍の軍船はたがいに衝突して破損し、船団の大部分が荒波にのみこまれてしまいました。

こうして、2度にわたって襲来した元軍は、ついに日本を占領することができませんでした。

◎朝鮮半島に対する見方を変えさせた元寇

最初の元寇で元軍は、対馬・壱岐や博多で、民家に火をかけ、飛び出してきた人を、老人、女性、子供の区別なく残忍な仕方で殺害したり、捕虜として連れ去ったりしました。

今日でも壱岐には「ムクリコクリ」という言葉があります。ムクリとはモンゴル兵、コクリとは高麗兵のことです。親は泣く子を黙らせるとき、「泣いているとムクリコクリが来るぞ」と言います。

古代から朝鮮半島は、そこを通じて大陸の文化が日本に入ってくる大切な架け橋でした。しかし、朝鮮半島から大軍が襲来した元寇の恐怖の体験は、日本人の朝鮮半島に対するイメージを変えました。のちの明治時代に、政府は「朝鮮半島がロシアの勢力圏に入ると日本の安全が脅かされる」と警戒心を抱きました。そこには、元寇の体験が影を落としていたのかもしれない。

日本人の名字の由来

◎日本人の名字

現在、日本の名字の数は、約12万とされています。もっとも多い名字は、佐藤、鈴木、高橋、田中、伊藤、渡辺などです。

佐藤という名字の起源は、藤原秀郷から5世の後裔にあたる藤原公清が左衛門尉という官職についたのを記念して、佐藤と名乗ったのが始まりでした。その子孫が関東各地から東北まで広がり、首藤、後藤、尾藤、伊藤などの名字を生み出しました。

鈴木（鈴がなる木）は熊野神社の神官に由来し、高橋は、天と地を結ぶ高い階（階段）を意味しています。この2つは、いずれも神道に関係しています。このほか、服部、玉造など、古代以来の職業に由来する名字もあります。

しかし、もっとも多いのは、土地の名前と結びついた名字で、中世に爆発的に増えたものです。

◎土地に由来する名字

一所懸命という言葉は、今では一生懸命と書くことも多いのですが、もともとは「一つの所（土地）に命を懸ける」という意味で、武士たちが、みずから切り開いた土地や先祖伝来の土地を命がけで守り抜くさまを表現したものです。

このように武士となった地方の有力者は、もともとは天皇の血筋を引く皇族や藤原氏などの貴族が地方に派遣されてそのま

ま住みついた者の子孫であることが多く、「源」「平」（いずれも天皇の子孫）や「藤原」などの姓をもっていました。

しかし、彼らが代々、みずから切り開いた土地に領主として在住するようになると、姓とは別にその土地の地名を自分の名字（苗字とも書く）として名乗るようになります。自分の支配する土地に対する強い愛着のあらわれと見ることができます。これが、大多数の日本人の名字の起源です。

たとえば、源氏の一族である武田氏は、先祖の源義清が常陸国の武田（現在の茨城県ひたちなか市武田）に住みついたことが名字の由来で、のちに武田氏は甲斐国（山梨県）に移り住み、有名な戦国大名である武田信玄を生みます。したがって、信玄の姓は「源」、名字は「武田」となります。武田一族は、住みついた土地の名前をとってさらに分かれ、青木、大井、下条、柳沢、などの名字が生まれました。

日本人の名字には、このように地名に由来するもののほか、在住する土地の特徴をあらわした山本、谷口、小林、松本など、土地の位置・形状に由来するものも多く見られます。

自分の名字の由来を調べてみよう。



第2節 武家政治の展開



楠木正成 (1294 ~ 1336) (東京・皇居前広場) 後醍醐天皇のよびかけに応じて拳兵し、河内の千早城で鎌倉幕府の大軍と戦った。相手の不意をつく奇抜な戦術は、後世、物語などで語りつがれている。兵庫の湊川で戦死。楠公ともよばれる。



後醍醐天皇 (1288 ~ 1339) 鎌倉幕府を滅ぼし、朝廷に政治の実権を取りもどそうと試みた。(神奈川・清浄光寺蔵)

24

建武の新政と南北朝の時代

建武の新政は、なぜ短い期間しかつづかなかつたのだろうか。



足利尊氏 (1305 ~ 58) 一時は後醍醐天皇に従い功臣として一字をたまり「尊氏」と改名したが、その後、反旗を翻し、天皇と対立した。(京都・等持院蔵)

鎌倉幕府の滅亡

鎌倉幕府の支配がゆらぎ始めると、北条氏はいっそう権力を集中しよう

として、かえって御家人の反発を強めた。

14世紀の初めに即位した後醍醐天皇は、天皇みずからが政治を行う天皇親政を理想とし、その実現のために、討幕の計画を進めた。初めは計画がもれて2度も失敗し、後醍醐天皇は隠岐(島根県)に移された。

後醍醐天皇の皇子の護良親王や、河内(大阪府)の豪族だった楠木正成らは、近畿地方の新興武士などを結集して、幕府とねばり強く戦った。

やがて、後醍醐天皇が隠岐から脱出すると、形勢は一転した。幕府軍からは御家人の脱落がつづき、足利尊氏が幕府にそむいて、京都の六波羅探題をほろぼした。ついで新田義貞も朝廷方につき、大軍をひきいて鎌倉を攻め、1333(元弘3)年、ついに鎌倉幕府は滅亡した。

建武の新政

後醍醐天皇は京都にもどると、天皇親政を目標とし、公家と武家の力を

合わせた新しい政治を始めた。幕府滅亡の翌年の1334年に、

此比都ニハヤル物
夜討① 強盗 謀略②
召人③ 早馬④ 虚騒動⑤
生首⑥ 還俗⑦ 自由出家⑧
俄大名⑨ 迷者⑩
安堵 恩賞 虚軍⑪
本領ハナルル訴訟人⑫
文書入リタル細葛⑬
追従⑭ 讒人⑮ 禅律僧⑯
下克上⑰ スル成出者⑱ …

(『建武年間記』より)

①夜のどろぼう ②にせもの天皇の命令書 ③囚人
④急ぐ使いの早がけの馬 ⑤意味のない騒動 ⑥切つてま
もない首 ⑦僧から一般人にもどること ⑧一般人が勝手に
僧になること ⑨急に大名になる人 ⑩路頭に迷う人
⑪自分の領地の安堵(保障)や恩恵を得るために、実際には
いくさをしていないのにやったということ ⑫領地をばな
れて訴訟のために上京する人 ⑬ツツラまたは竹であんだ
細いかご ⑭こびへつらう人 ⑮他人をおとしめるために
事実を曲げて悪くいう人 ⑯禅宗や律宗の僧。宗教家で
ありながら政治に介入した者が多くいた ⑰身分の低い者
が高い者を倒し、とつてかわること ⑱成り上がった人

二条河原の落書 落書とは、匿名で政治や時の権力者に対する批判を書き、人目に触れるようにしたもの。1334(建武元)年とされる時期に、京都の二条河原にかかげられたこの落書は、建武の新政の混乱ぶりを批判している。

① 鎌倉時代以後、武家に對して、天皇の近くに仕える貴族らを公家とよんだ。

年号を建武と改めたので、これを建武の新政(建武の中興)という。

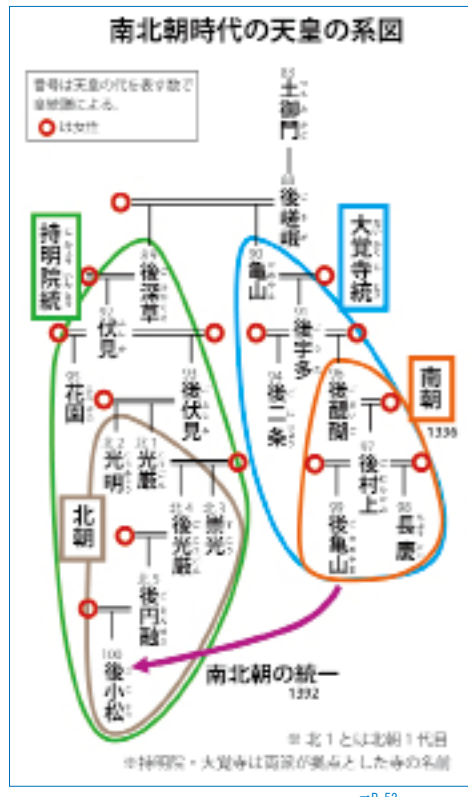
しかし、建武の新政は、武家社会の慣習を無視して領地争いに介入したり、貴族の慣例である世襲制を否定した人材登用を行ったりしたため、当初から政治への不満を多く生み出すことになった。

そのようなときに、足利尊氏が武家政治を再興しようと兵をあげ、建武の新政はわずか2年あまりで崩れてしまった。

南北朝の争乱

1336(建武3)年、足利尊氏は京都に新しい天皇を立て、建武式目を定めた。これは、京都に幕府を開き、鎌倉時代初期の北条泰時らの政治を手本とする、幕府政治再興の方針を明らかにしたものだ。一方、後醍醐天皇は吉野(奈良県)にのがれ、ここに2つの朝廷が並び立つ状態が生まれた。両者は別々の年号を使った。

吉野に置かれた朝廷を南朝、京都の朝廷を北朝といい、この両者はそれぞれ各地の武士によびかけて、約60年間も全国で争いをつづけた。この時代を南北朝時代という。

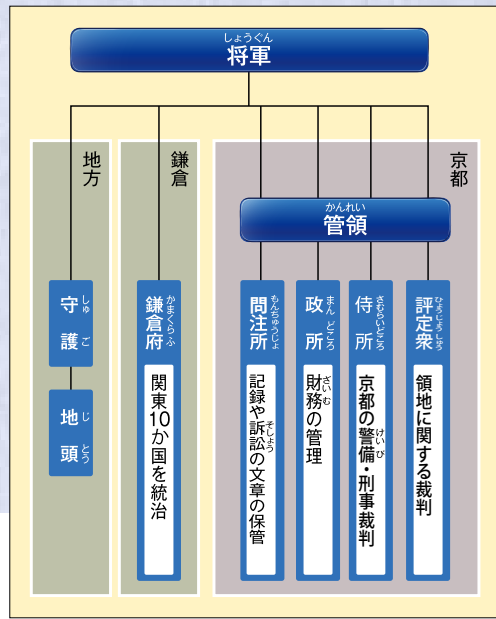


まとめにチャレンジ

①後醍醐天皇が建武の新政で目標とした政治はどういうものだったか。②建武の新政が短期間で崩壊した理由は何か。それぞれ説明してみよう。



花の御所 洛中洛外図屏風 3代将軍足利義満が京都室町に造営。邸宅には四季の花や木が植えられ、栄華をほこったのでこの名がある。この絵はのちの時代に描かれたものである。(山形・米沢市上杉博物館蔵) →P.123



室町幕府のしくみ 幕府から荘園の年貢の半分を取
ることを認められた守護は勢力を強め、やがて守護
大名に成長した。




これらの守護大名の中には、武田氏、今川氏、島津氏など、のちに戦国大名 →P.110 として生き残った者もいるが、赤松氏、土岐氏、斯波氏など、多くは戦国時代までに衰亡した。

「日本国王」になった足利義満

明は民間人の貿易を禁止する海禁政策を取っていた。明との貿易のためには、明の皇帝の冊封を受けて国交を開いた上で、明へ朝貢し、これに対して明からの返礼を受けるという形式をとる必要があった。義満は明の皇帝にたびたび国書をもった使いを送り、1402(建文4)年、「日本国王」に任命された。

「国王」という称号は、古代以来、中国の服属国であることを示すもので、明は義満に金印と明の曆をあたえた。曆を受けとることは、服属を認める象徴的行為だった。



足利義満 (1358~1408)
(京都・鹿苑寺蔵)

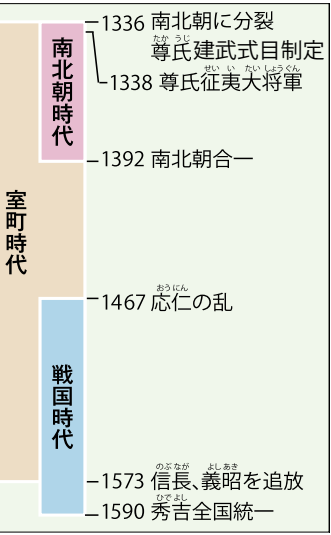


「日本国王之印」(木印)
(山口・毛利博物館蔵)

25 室町幕府と守護大名

室町幕府は、武士の政権として、どのような特徴をもっていたのだろうか。

1 南北朝時代、室町時代、戦国時代の始まりと終わりは、次のような関係になっている。



室町幕府の成立

足利尊氏は、1336(建武3)年に建武式目を制定し、新しい幕府の方針とした。次いで、1338(暦応元)年には、北朝の天皇から征夷大將軍に任じられ、京都に幕府を開いた。のちに尊氏の孫の義満が京都の室町に邸宅を建て、そこで政治を行ったので、この幕府を室町幕府とよび、政治の中心を足利氏が占めていた237年間を室町時代という。

足利尊氏が京都に幕府を開いたのは、地の利のよさと、尊氏支持の有力な武士団が畿内にあつたためである。さらに、足利氏は、鎌倉時代から有力だった武士たちを、天皇の力を利用して従わせようとした。

室町幕府は、将軍の補佐役として管領を置いた。管領には、足利一族の有力な守護大名があつた。また関東地方をおさめるために鎌倉府が置かれたが、大きな権限をもっていたので、しだいに京都の幕府から独立するようになった。

守護大名

室町幕府は、地方の守護に、国内の荘園や公領の年貢の半分を取り立てる権限をあたえ、守護の力を強めて、全国の武士をまとめようとした。守護は、荘園や公領を自分の領地に組み入れ、地元の

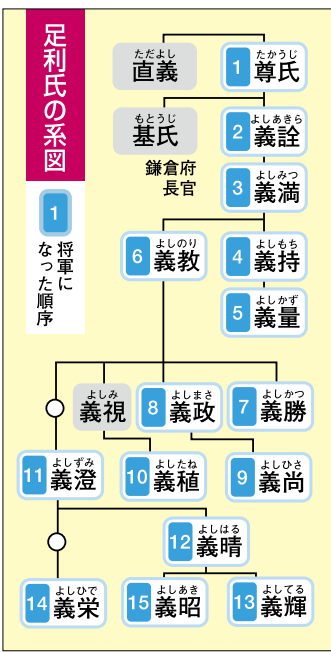
武士を家来にした。さらに、国司の権限も吸収して、それぞれの国を支配する守護大名に成長した。

室町幕府は将軍の力が弱く、守護大名による連合政権の性格をもっていたが、3代将軍義満の時代には、足利将軍家の力がもっとも大きくなり、幕府の最盛期となった。

義満は、南朝の勢いがおとろえたのを見はからい、1392(明德3)年、南北朝の合一を実現し、戦乱をおさめた。さらに、地方の有力な守護をおさえたり、ほろぼしたりして、支配を安定させた。

義満は、武家の最高位である征夷大將軍と、公家の最高位である太政大臣を歴任した。室町幕府は、課税権、市政権、裁判権など、朝廷の権限の多くを吸収して、統一政権の性格を強めた。

他方で、義満は明との貿易の利益のために明との国交を望んだ。しかし、明との国交を開くには、明の皇帝の冊封を受けることが必要だった。義満は明の皇帝に「日本国王」の金印をもらい、自らを「日本国王臣源道義」と名乗って、臣下として屈従する姿勢を見せた。



室町幕府の特徴として、「管領」と「守護大名」の2つについて説明してみよう。



倭寇 徒党を組んで沿岸部をおそった。左側が明船、右側が倭寇。
(東京大学史料編纂所「倭寇図巻」)



遣明船をモデルに描いた船 真如堂縁起絵巻(京都・真正極楽寺蔵)

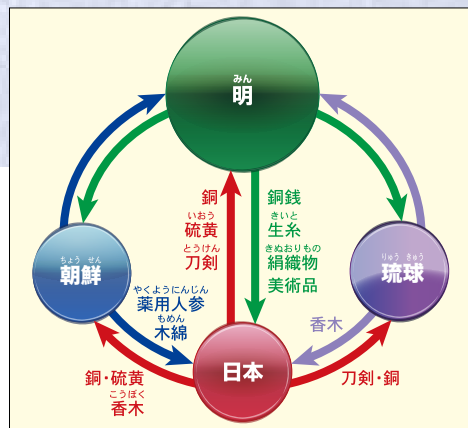
勘合 明の皇帝の代がかわるごとに日本国王に100枚がわたされ、遣明船1隻につき1枚持参した。中国側の台帳と照合し、割印がびたり合うと、正式な使者として認められた。



16世紀の倭寇は大部分が中国人で、彼らは明の海禁政策をかいくぐり、貿易や海運を行ういっぽう、中国の沿岸を荒らし回ったため、明は国力を弱めた。またこの時期、鉄砲やキリスト教宣教師が倭寇の船によって日本に到達した。



首里城 復元された尚氏の宮殿。



東アジアの交易圏

26 日明貿易と朝鮮・琉球

勘合貿易はどうして始まり、東アジアの交易圏はどのようにして形成されたのだろうか。

1 朝鮮側の史料には、朝鮮の民が日本人の服を着て徒党を組み、乱暴をはたらく者が多く、倭寇のうち日本人は10～20%に過ぎない、と書かれている。

2 16世紀の中ごろ、勘合貿易が停止すると、再び倭寇がさかんになった。

倭寇と勘合貿易

14世紀後半から15世紀にかけて、東アジアは大きく動いた。中国では、1368(応安元)年、漢民族の王朝である明が建国され、元が北方に追われた。明は、日本に、倭寇の取りしまりを求めてきた。

倭寇とは、かつて元の襲撃を受けた対馬・壹岐や松浦地方を根拠地とする武装貿易船団で、日本人のほか朝鮮人が多数ふくまれていた。彼らは、ときには数百人にもおよぶ船団を組み、朝鮮半島や中国大陸の沿岸に上陸して密貿易や略奪行為を行ったり、他の船舶に対して海賊行為をはたらいたりした。

1404(応永11)年、当時の室町幕府の将軍、足利義満は、倭寇を取りしめることを条件に、明との貿易(日明貿易)を始めた。

この貿易は、倭寇と区別するために、明の皇帝が支給した合い札の証明書(勘合)を使ったので、勘合貿易とよばれる。日本は刀剣・銅・硫黄・蒔絵などを輸出し、明から銅銭・絹織物・書画などを輸入して、室町幕府の重要な財源となった。

朝鮮と琉球

朝鮮では、倭寇撃退に成果をあげた李成桂が高麗を倒し、1392(明徳3)年、朝鮮(李氏朝鮮)をたてた。朝鮮も、日本に、倭寇の禁止と通交を求めてきた。幕府がこれに応じた結果、日朝貿易

が始まった。ところが、日本側の貿易船があまりにも多かったので、のちに、朝鮮は対馬の宗氏に貿易の独占権をあたえ、日本からの使節を受け入れる窓口として倭館をもうけた。日本は、銅、硫黄、染料などを輸出し、朝鮮から木綿を輸入した。

琉球では、北山・中山・南山の3つの勢力が、それぞれ城(グスク)を拠点にして対立していたが、1429(永享元)年、中山の尚氏が3つの勢力を統一して、琉球王国をつくりあげた。

琉球王国は、明が民間貿易を禁止する海禁政策をとるなかで、明の冊封を受け、日本、朝鮮、さらには遠く東南アジアから各地の産物を明にもたらず中継貿易で活躍し、繁栄した。こうして、15世紀中ごろには、東アジアの海上交易のネットワークができあがった。

蝦夷地

蝦夷地(北海道)では、アイヌとよばれる人々が、狩猟や漁業を行っていたが、14世紀ごろに、津軽(青森県)の十三湊を拠点にした交易が始まり、鮭・昆布・毛皮などをもたらした。それらの産物は、日本海をって畿内へも運ばれるようになった。

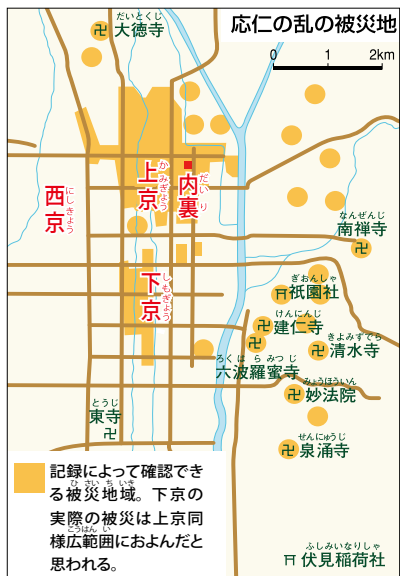
3 木綿は麻よりも保温性がよく、日本で生産されていなかったもので、応仁の乱(1467～1477年)のころよりさかんに輸入された。

まとめにチャレンジ

勘合貿易について、①誰がどの国との間で始めた貿易か、②どういう方法で行われたか、③何が輸出入されたか、説明してみよう。



略奪する足軽たち 足軽は軽装、徒歩の兵士で、応仁の乱のころからさかんに活躍し、しだいに戦力の中心となっていた。真如堂縁起絵巻・部分図(真正極楽寺蔵)



京都の被災地図 平安時代から毎年つづいた祇園祭も応仁の乱により中断された。



徳政碑文(奈良市柳生) 徳政一揆で借金帳消しの成果を刻んだ碑文。京都では多くの金融業者が襲撃を受け、幕府に衝撃を与えた。碑文は、「正長元年以前の神戸4か郷の借金はすべて帳消しとなった」という意味で、農民が一揆の成果を書き記したものと考えられている。→P.106



※正長元年ヨリ
サキ者カンヘ(神戸)四カ
カウニ(四箇郷に)ヲ井メ(負目)アル
ヘカラス(べからず)

27 応仁の乱と下剋上

応仁の乱の前後で、日本の社会はどのように変化したのだろうか。

いつまでも栄えると思っていた都が、今や打つて変わってキツネやオオカミのすみかになってしまった。誰がこんなことを予想したのだろうか。…応仁の乱は、仏教も政治もともに破壊し、多くの家々が失われてしまった。…「汝や知る 都は野辺の夕雲雀、上がりを 見ても 落つる涙は」(おまえは知っているだろうか、都はすっかり 焼け野原になってしまった。夕方、都からヒバリが飛び立つのを見ても、涙がとめどなく落ちてしまう) 『応仁記』より(一部要約)

京都の惨状の記述

応仁の乱

室町幕府の3代将軍足利義満の死後、しだいに幕府の権力はおとろえ、守護大名の力が強くなっていった。中でも大きな勢力をもつ細川氏と山名氏は、幕府の実権を争っていた。

8代将軍足利義政は、弟の義視をいったん後継者に決めながら、実子の義尚が生まれると、わが子に将軍の位を譲ろうとした。これがもとで将軍家の跡つぎ争いがおこったが、それに管領家の跡つぎ争いが連動して、細川勝元と山名持豊(宗全)が対立し、1467(応仁元)年、応仁の乱が始まった。全国の武士が細川の東軍と、山名の西軍に分かれ、両軍で20万をこえる兵が、京都を主な戦場として戦った。

戦いは11年間もつづき、他所から入ってきた盗賊による略奪や暴行もさかんに行われた。その結果、京都は荒れ果て、大半が焼け野原になってしまった。

応仁の乱は、従来の体制がくずれ、日本の社会が激しく変化するきっかけになった。室町幕府の将軍の権威はおとろえ、有名無実となった。それにともない、幕府に支えられた守護大名の権力も、しばしば家臣団に奪われた。社会全体に、身分の下の者が実力で上の者に要求を認めさせたり打ち勝ったりする、下剋上とよばれる風潮が広がるようになった。

自力救済と一揆

政府が機能せず、治安を守ってくれず警察権力も存在しなかったため、武士はもちろんのこと、僧侶から庶民にいたるまで、あらゆる階層の人々がみずからの生命と財産を守るため武装した。法律や権力に頼らず、自分たちのことは自分たちで解決するという自力救済の思想が行きわたった。

同じことは農村でもみられ、地域の自衛のために農民は武装した。このようにして、侍でも農民でもあるような武士が多数生まれた。彼らは地侍とよばれた。

この時代の人々は、一揆とよばれる固く結束した組織をつくって、共同で行動した。1428(正長元)年には徳政(借金帳消し)を要求する農民一揆がおこった。山城国(京都府)南部では、1485(文明17)年、有力な武士(国人)を指導者に民衆が団結して守護大名を追放し、8年にわたり自治を行った(山城国一揆)。

加賀国(石川県)では、一向宗(浄土真宗)の信徒が、固い宗教的信念に結ばれて、1488(長享2)年から100年近く自治を行った(一向一揆)。日本はこののち、戦国大名が出現し、たがいに力を争う戦国時代に入っていった。

1 都が荒廃したため、貴族や文化人の多くが地方に避難し、地方の有力者はこれをもてなした。こうして京都の文化が地方に広がり、各地に京都を模した町がつくられるようになった。

2 一向一揆の指導者は、蓮如だった。その教えは「御文」というわかりやすい文書につづられ、多数の信者を獲得した。京都に本願寺を再興するなど、教団隆盛の基礎を築いた。

まとめにチャレンジ

応仁の乱の結果、日本の社会はどのように変化したか、箇条書きでまとめてみよう。



田植え風景 月次風俗図屏風 楽器の調べに合わせて男たちが首頭をとることで、女性たちの苗を植える間隔を指揮している。(東京国立博物館蔵)



鍛冶職人 職人尽絵 (埼玉・喜多院蔵)



馬借 石山寺縁起絵 巻馬を利用した運送業者。都に近い滋賀県の坂本、大津などが馬借の拠点として有名。(滋賀・石山寺蔵)

28

中世の都市と農村の変化

中世の都市と農村には、どのような変化が生まれたのだろうか。

1 鎌倉時代から室町時代初期には月に3回開催される三斎市が主であったが、応仁の乱ののちには物品の生産と流通の量が増加し、月に6回開催される六斎市が多くなった。取引には、中国から輸入した銅銭が使われた。

2 朝廷や貴族・寺社に仕えていた職人や商人は、座とよばれる同業者の組合をつくり、営業税をおさめるかわりに、生産や販売を独占する権利が認められた。

農業の発達

中世の農業には、さまざまな技術の改良があり、生産性が高まった。米と麦の二毛作が普及し、牛馬耕が広まった。灌漑用に水車を利用し、刈草や牛馬のふんを肥料に使う工夫もなされた。

また、商品作物の栽培がさかんになり、桑・コウゾ・ウルシ・エゴマ・藍など、手工業の原料となる作物がつけられた。繊維では、麻の栽培に加えて、16世紀になると、朝鮮から伝わった綿の栽培も始まった。

手工業・商業の発達

手工業では、地元の特色を生かした特産品がつけられた。京都の西陣織、博多の絹織物、美濃の和紙、灘の酒、能登の輪島塗などが有名である。また、すき・くわなどの農具や刀をつくる鍛冶職人、なべ・かまなどの日用品をつくる鋳物職人もあらわれ、生活を向上させた。

農業や手工業の発達につれ、商業も活発になった。交通の要地や寺社の門前などで、定期市が始まった。産業がさかんになると、物資の輸送を管理する問丸、馬に荷物を乗せて運ぶ馬借、高利貸を営む土倉や酒屋などが活躍した。

室町時代の各地の特産品



輪島塗の朱漆塗り瓶子 (石川・美麻奈比古神社蔵)



都市と農村の自治

産業や交通の発達にともない、各地に商人や職人が集まって住む都市が形づくられた。日明貿易の拠点として栄えた港町の堺(大阪府)や博多(福岡県)では、富をたくわえた有力な商人の合議によって町の政治が行われ、自治都市としての性格を備えた。京都では、裕福な商工業者である町衆が、地域ごとに自治のしくみをつくった。

自治の動きは農村でもおこった。近畿地方やその周辺では、名主や地侍などとよばれた有力な農民を指導者として、荘園の枠をこえた村のまとまりが生まれた。農民は、村の神社や寺などで寄合(会合)を開き、林野の共同利用、用水路の管理、祭りなどの行事、村の掟などを相談して決めた。こうした農民の自治組織を惣という。

惣が発達すると、領主のむやみな介入をしめ出し、年貢の納入を惣が一括して行う地下請や、犯罪捜査と裁判を惣独自に行う自検断が行われるようになった。

また、いくつもの惣が目的を同じくして結束し、幕府に借金を帳消しにする徳政令の発布や、武士の地元からの追放、関所を取りはらうことなどを求め、武器をとって立ち上がることもあった。これを土一揆という。

一、寄合に、一度よびかけて出席しない者には罰金を支払わせる。(二四四八年)
一、惣の森で木のなえを切った者は村人としての身分を奪う。(二四四九年)
一、よそ者を保証人もないのに村内に住まわせてはならない。(二四八九年)

惣の掟の例

まとめにチャレンジ

この時代の都市や農村では、どのようにして自治のしくみが形づくられていったか、都市について100字程度、農村について200字程度でまとめてみよう。



法然 (1133 ~ 1212)
(京都・知恩院蔵)



親鸞 (1173 ~ 1262)
(京都・西本願寺蔵)

29

鎌倉文化

鎌倉時代の文化にはどのような特色があったのだろうか。



日蓮 (1222 ~ 82)
(東京・池上本門寺蔵)



道元 (1200 ~ 53)
(福井・宝慶寺蔵)

見わたせば
花も紅葉もなかりけり
浦の苫屋の
秋のゆふぐれ



西行法師
(1118 ~ 90)



源実朝
(1192 ~ 1219)



藤原定家
(1162 ~ 1241)

鎌倉時代の和歌の代表的作品

おお海の
磯もとどろによするは
われてくだけて
さけてちるかも

願はくは
花の下にて春死なむ
そのきさらぎの
望月のころ

鎌倉新仏教

鎌倉時代、仏教はより深く民衆に浸透していった。戦乱や災害、飢餓に

おびえる民衆の心を救うために、源信、空也につづく行動的な僧たちが比叡山からあらわれた。法然は浄土宗を開き、一心に「南無阿弥陀仏」と念ずれば誰でも極楽浄土に生まれ変わる」と説いた。その弟子の親鸞はさらにつきつめて、善人よりも罪深い悪人こそ罪の深さを知るゆえに救われると説き、浄土真宗(一向宗)の基礎を築いた。時宗の一遍は念仏の札を配り、踊り念仏で諸国をめぐる。これらの新仏教はいずれも人智の小ささと仏心の大きさを知った上での他力本願の思想である。「ただ念仏を唱えて、すべてを仏意にまかせよ」という教えは、修行や学問に縁のない民衆には大きな救いだった。

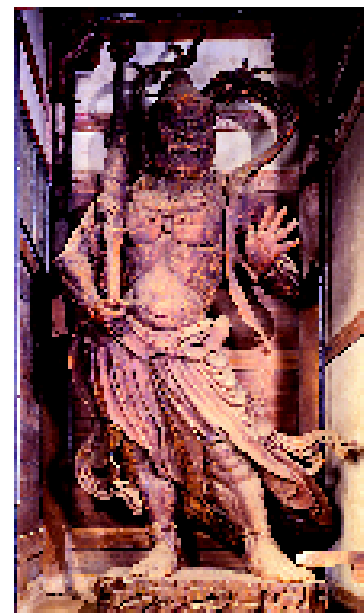
日蓮は法華経を仏教の最高の教えだとして「南無妙法蓮華経」を唱えれば人も国家も安泰になると説いた(日蓮宗)。宋から帰国した栄西と道元は、禅宗を伝えた。栄西は臨済宗を開き、いかなる凡夫にも仏性があり、それを自覚すればそれが悟りだと説いた。道元は曹洞宗を開いて、ひたすら坐禅を組むことで自力で悟りを得られると説いた。自己鍛錬を要する禅宗は武士の気風に合うため、鎌倉幕府に保護された。

鎌倉時代の文学と美術

武家政治を象徴する美術は、彫刻によくあらわれている。写実的で力強



重源上人坐像 (奈良・東大寺蔵)



金剛力士像 阿形像 (左)、吽形像 (右) (奈良・東大寺蔵)

い造形が、運慶・快慶とその弟子たちによって生み出された。東大寺南大門の金剛力士像は隆々たる筋肉と憤怒の表情で見られる者を圧倒した。興福寺(法相宗)にある古代インド仏教の学者無著とその弟子世親の像も運慶の作とされる。

重源上人坐像(東大寺)は写実的な肖像彫刻の傑作である。上人は源平の戦いで焼けた奈良の寺院を復興するために、諸国をめぐる資金を集めた。重源によって宋の建築様式で再建された東大寺南大門は、高さ25mをこえるわが国有数の山門である。

源平の戦いは深く民衆の心をとらえた。勝った源氏より敗れた平氏への哀惜の情が強く、平氏滅亡を描いた『平家物語』は、盲目の琵琶法師の弾き語りでも広く全国で親しまれた。

貴族社会では和歌がいつそう洗練され、藤原定家らによって新感覚の『新古今和歌集』が編纂された。武士を捨てて諸国を遍歴した西行や、私家集『金槐和歌集』を編んだ3代将軍実朝など、異色の歌人が輩出している。

随筆文学では鴨長明の『方丈記』、吉田兼好の『徒然草』が争乱の世の無常をつづった。

絵画では「平治物語絵巻」などの絵巻物や、似絵とよばれた写実的な肖像画に優れた作品が多い。

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。おごれる人も久しからず、只春の世の夢のごとし。たけき者も遂には滅びぬ。偏に風の前の塵に同じ。
(『平家物語』の冒頭)



琵琶法師 慕婦絵 (京都・西本願寺蔵)

1 「南無」とは、「信じておたの頼みます」という意味。

まとめにチャレンジ!

浄土宗や浄土真宗はなぜ民衆に広まり、栄西や道元の禅宗はなぜ武士の間に広まって鎌倉幕府にも保護されたのか、200字程度でまとめてみよう。



金閣 足利義満が1397年に建てた山荘。建物自体に金箔を貼ったので、金閣寺とよばれるようになった。(京都・鹿苑寺)

銀閣 足利義政が1482年に造営を始めた山荘。黒漆塗りで、金閣に対比して銀閣と称されるようになった。(京都・慈照寺)

石庭 枯山水庭園の代表的な例。禅の文化の象徴として広く世界的に有名。(京都・龍安寺)

書院造 東求堂同仁齋 將軍 義政が東山の別荘に設けた書齋。書院造の代表作。(京都・慈照寺)



秋冬山水図 雪舟筆 (東京国立博物館蔵)

30

室町文化

室町時代の文化にはどのような特色があったのだろうか。

1 平安時代からある民間芸能。猿楽は滑稽味のある言葉やしぐさで楽しませる遊芸で、神楽の夜などに招かれて余興として演じられた。田楽は田植えを励まし、はやして踊った芸能で、貴族たちまで熱狂した。



能面・小面 若い女性を演じるときに使われるもの。(愛知・徳川美術館蔵)

北山文化と 東山文化

3代將軍足利義満は京都の北山に金閣を建て、8代將軍足利義政は東山に銀閣を建てた。室町時代の文化は、この2つの山荘が象徴する2つの時期に分けられる。

金箔が光り輝く金閣は3層の異なる建築様式からなる。1層が寝殿造、2層が書院造、3層が仏堂様式で、それぞれ公家文化、武家文化、仏教文化をあらわし、王朝文化から武家文化への過渡期を象徴している。

芸能では義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥の父子が、大衆芸能だった猿楽・田楽を能として大成させた。能の合間に演じられた狂言は民衆の生活をよくあらわしていた。

能・狂言は武家屋敷や寺社に招かれて演じられ、この時代を代表する芸能になった。足利義満のころの文化を北山文化とよぶ。

將軍義政の建てた銀閣では王朝風の寝殿造が姿を消し、1層が書院造、2層が禅宗風の仏殿と、渋い武家風に変わった。

武家の屋敷の中には、畳と襖、障子を取り入れた書院造や、書画を鑑賞する床の間が生まれた。

義政が保護した簡素な文化は、のちの時代の質素で落ち着いた侘び寂びの文化につながった。茶の湯には、集団による賑や

かな茶会のほか、茶室でひっそり楽しむ侘び茶があった。禅宗寺院では枯山水とよばれる簡素な庭園が好まれた。龍安寺の石庭や、苔寺とよばれた西芳寺の庭がその典型である。

絵画では雪舟が明の水墨画の技法を学び、日本の山水画を確

5 立した。人々が集まって和歌を歌いつぐ連歌は絶頂期をむかえ、宗祇が名高い。これらを東山文化とよぶ。

地方や庶民に 広がる文化 戦乱によって多くの公家や僧が地方にのがれたため、京の文化が地方に

10 伝えられた。上杉氏が保護した下野国の足利学校は学問の中心となった。各地の寺院では、武家や庶民の子供の教育が始まり、識字率の高まりによってお伽草子とよばれる絵本がよく読まれ、浦島太郎や一寸法師などの昔話が親しまれた。

15 交通や産業も発達し、庶民の生活は豊かになった。鎌倉時代に栄西が中国からもちこんだ茶を飲む習慣が庶民の間に広がった。味噌や醤油も普及し、庶民の食卓は豊かになった。住まいでは、それまで寝床の意味であった「床の間」が、書や絵を飾る「床の間」に変わった。年中行事として盆踊りなどが始まったのもこの時代とされる。

20 鎌倉時代に生まれた浄土宗、日蓮宗、禅宗は、戦乱の無常感に打ちひしがれる庶民の間に広がり、のちにはそれぞれの宗派が教団として拡大した。

2 関東管領で守護大名だった上杉憲実が1432(享4)年、現在の栃木県足利市に復興させた関東の最高学府。学生は奥州や琉球など全国から集まり、儒学・易学・医学・兵学を学び、学費は無料。学内には薬草園もあった。

まとめにチャレンジ

室町文化においては華美をきそわない簡素な文化が生まれたが、その例を3つあげてみよう。

一揆と合議の伝統

一揆とはどのようなものだったのか。一揆と合議の伝統は、室町時代以降の政治にどのような影響をあたえただろうか。

●一揆の始まり

一揆とは、「揆を一にする（気持ちを一にする）」という意味で、人々が、共通の目的のために寄せ合をもち、立場の違いをこえて平等な資格で一致団結することをあらわす言葉です。

平安時代の末、寺院の僧侶が訴訟などの共同の行動をとるとき、団結を神仏に誓うために、行動の趣旨を書いた紙を焼いて水に混ぜ、全員で回し飲みをしました。これが一揆の始まりと言われます。

●鎌倉幕府と一揆

鎌倉時代、執権となった北条泰時は、1225（嘉禄元）年、評定会議を設置し、執権をはじめ有力御家人や幕府役人の代表による会議でものごとを決定しようとした。1232（貞永元）年、幕府は御成敗式目を完成させ、評定会議は、この法律にもと基づいて裁判を行うことになりました。御成敗式目が完成した際、評定会議は次のような文書を作成しています。

「会議で訴訟について議論をするときは、訴えた人や訴えられた人が自分と親しいからとか、好きか嫌いかで判断してはならない。また、会議では周囲の人に遠慮したり、地位の高い人を恐れたりせず、ただ道理だけに基いて発言するべきである。会議の

決定が結果として正しいものであらうと間違ったものであらうと、その決定は一同全員の責任である。」

評定会議では、全員がこの文書に署名しました。これは、評定衆が一致団結して公平な裁判を行うことを神仏に誓ったもので、まさしく一揆の結成でした。一揆とはこのように、正しい決定をめざしてメンバーの全員が徹底的に議論しようとする「合議」の精神をふくんだものでした。

●広がる一揆と農村の自立

応仁の乱によって幕府や守護大名の力がおとろえてくると、村の農民は、一揆を結成して行動方針を合議し、武装して実力で自分たちの村を守ったり、支配層に対して要求を通そうとするようになりました。

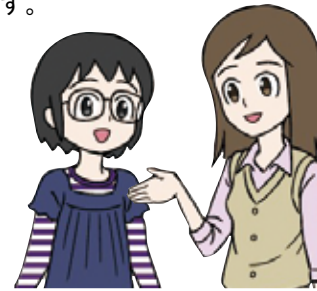
1428（正長元）年、近江国（滋賀県）に始まった農民一揆は徳政（借金の帳消し）を要求し、京都の高利貸しを襲撃しました。このような、農民などの民衆が結束して借金の帳消しを求める一揆を徳政一揆とよびます。

「合議」と「満場一致」を特徴とする一揆は、農民に限らず、武士・僧侶から職人にいたるまでのすべての階層において、人々が社会的に行動するときの集団のあり方となりました。

中世とはどんな時代か

■時代区分についての姉妹問答

次に紹介するのは、史子さんとお姉さんの問答です。



史子さん お姉さん

妹 中世に、武士が政治をうごかすようになってきたのね。

姉 武士は、もともと貴族の身辺警護をしていたの。でも、それだけでは終わらなかった。中世の特色といえるわね。

妹 じゃあ、中世は、武士が活躍し始めたときから始まると考えていいのかしら？

姉 12世紀、皇族・貴族が争った保元・平治の乱をきっかけに、平氏が頭角をあらわした。その後の鎌倉幕府の成立で、はっきりと武士の時代になったわけ。じゃ、その中世が終わるのはいつ？

妹 16世紀、信長・秀吉の天下統一による、と習ったよ。

姉 そうね。細かく言うと、1573年に信長が京都から足利義昭を追い出して、室町幕府が倒れたときとしてもいいわね。中世とは12世紀後半から16世紀後半までの400年間と考えたらわかりやすいよ。

妹 中世には、天皇は結局どういう立場にあったのかしら？

姉 源平が武士の棟梁となったのは、それぞれが天皇の末裔だったからよ。天皇が政治

の表舞台から退いても、そのまま影響力はつづいていた。将軍は天皇によって任命されたのよ。

■時代比較の問題

次の2つの事項について比較して、その違いをノートにまとめてみよう。

- (1) 平氏政権と鎌倉幕府
- (2) 鎌倉文化と室町文化
- (3) 古来の仏教と鎌倉新仏教

■人物比較

北条時宗と足利義満は、当時の中国とのかかわり方が異なっています。2人を対比して、表にまとめてみよう。

■「ひとこと」作文

中世の時代を学んで、あなたは何がもっとも強く印象に残りましたか。

中世とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。

<例> 武士 戦乱 和風文化 下剋上

■意見交換会

- (1) 貴族の政治と武家の政治は、どこがちがうだろうか。出し合ってみよう。
- (2) 中世にできた惣のルールで、今の日本でも見られるところを出し合ってみよう。

▶100字用語解説

歴史豆辞典 (第2章のまとめ)

ほうげん へいじ らん 保元・平治の乱	1156～ 1159年	後白河天皇と崇徳天皇の対立からおこった争乱（保元の乱）。この争乱では藤原氏の兄弟や有力な武士たちが二手に分かれて加担。後白河天皇方が勝利したが、そのうち貴族間の勢力争いから再び戦乱がおこった（平治の乱）。
しゅご じとう 守護・地頭	12世紀末 ～ 15世紀	源頼朝が地方統治のために置いた役職。守護は国ごとに置かれ、軍事や警察の仕事をし、地方の政治にも関与した。地頭は荘園や公領に置かれ、年貢の取り立てや土地の管理などを行った。
かまくらぼくふ 鎌倉幕府	1192～ 1333年	源頼朝が鎌倉に置いた幕府。朝廷から征夷大将軍に任命された頼朝が、簡素で実際的な武家政治の拠点とした。本格的武家政権である鎌倉幕府は約140年間つづき、その時代を鎌倉時代という。
ごけいじん 御家人	鎌倉時代	将軍に仕える家来の武士。鎌倉幕府はその主従関係によって成り立ち、御家人は将軍から先祖伝来の領地を保護されたり、新しい領地をあたえられるなどした。そのかわりに将軍に忠誠を誓い、いくさのときは命をかけて戦った。
しゅげんせいじ 執権政治	13世紀	将軍を補佐する執権が行った政治。頼朝の死後、有力な御家人が次々と滅ぶ中、頼朝の妻・政子の実家である北条氏が実権を握った。北条氏は藤原氏や皇族をむかえて名ばかりの将軍とし、その執権として政治を動かした。
じょうきゅう らん 承久の乱	1221年	後鳥羽上皇が北条氏討伐の兵をあげながら敗れた戦い。朝廷の勢力を回復するため、上皇北条氏を討つよう全国の武士に命令を出したが、武士の多くは幕府に結集し朝廷軍を打ち負かし、敗れた上皇は隠岐に移された。
ごせいばいしきもく 御成敗式目	1232年	武家の独自の法律。執権となった北条泰時が武家社会の慣習に基づき、貞永元年に定めたことから貞永式目ともいう。御家人の権利や義務、裁判の基準がわかりやすく示され、その後の武士の法律の手本となった。
げんこう 元寇	1274年 ・ 1281年	2度にわたる元軍の襲来。モンゴル帝国5代目皇帝フビライ・ハンは同国の国号を元と称し、東アジアへの支配を拡大。日本も征服しようと企て、大船団を仕立てて日本を襲ったが、鎌倉武士はよく戦い、元軍は敗退した。
えいにん とくせいらい 永仁の徳政令	1297年	幕府が御家人を救うため、質に入れられたり、売ったりした領地をただで取り戻させようとして出した令。しかし、そうなると御家人に金を貸す者がいなくなり、かえって御家人を苦しめる結果となった。
けんむ しんせい 建武の新政	1333～ 1336年	公家と武家を統一した新しい政治。鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇は天皇親政を目標とした新しい政治を始め、年号を建武と改めた。しかし、武家社会の慣習を無視したり、貴族の慣例を否定したため、政治への不満を生み出した。
なんぼくちょう そうらん 南北朝の争乱	1336～ 1392年	京都と吉野の2つに分かれた朝廷による戦い。武家政治の再興を目指した足利尊氏により京都に立てられた北朝の朝廷と、吉野に逃れた後醍醐天皇による南朝との間で約60年間、全国にわたる争いがつづいた。
むらまちぼくふ 室町幕府	1336～ 1573年	北朝の天皇から征夷大将軍を任じられた足利尊氏が京都に開いた幕府。そのうち、足利義満が京都の室町に御殿を建て、そこで政治を行ったことから、この名称がある。足利氏が将軍だった時代を室町時代という。
しゅご だいにょう 守護大名	14世紀 ～ 15世紀	それぞれの国を支配するまでに成長した守護。室町幕府は将軍の力が弱かったため、地方が守護さまが主権をあたえて力を強め、全国の武士をまとめようとした。そのため、室町幕府は守護大名による連合政権の性格をもった。
かんこうぼうえき 勘合貿易	15世紀 ～ 16世紀	足利義満が倭寇を取り締まることを条件に明との間で始めた貿易。この貿易では、倭寇と区別するため、明の皇帝が支給した合札の証明書（勘合）が使われたのでこのように呼ばれ、室町幕府の重要な財源となった。
おうにん らん 応仁の乱	1467～ 1477年	将軍家と管領家の跡継ぎ争いから、細川勝元と山名持豊の対立によって始まった争乱。全国の武士が細川の東軍と、山名の西軍に分かれ、京都をおもな戦場として、その争いは11年間もつづき、京都は荒れ果て大半が焼け野原になった。

第3章

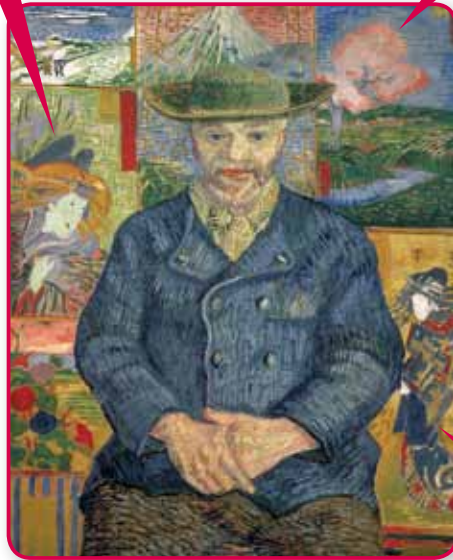
近世の日本

あづちもやま えど
安土桃山・江戸時代

三浦屋の高尾
歌川豊国 (1769~1825) 画



五十三次名所図会 石薬師
歌川広重 (1797~1858) 画



タンギー爺さん ゴッホ (1853~90) 筆



雲龍打掛の花魁 溪斎英泉 (1790~1848) 画

江戸時代の浮世絵だね。
「タンギー爺さん」は、
少し後の時代に
フランスで描かれた絵だ。



ひろき
裕樹君



みちよ
道代さん

あら、うしろに
日本の浮世絵みたいなものが
見えるわ！
どういうことかしら？



主な戦国大名 (16世紀ごろ)



上杉謙信 (1530~78)



毛利元就 (1497~1571)



北条早雲 (1432~1519)

31

戦国大名

戦国大名は新しい型の統治者として、どのような特徴をもっていたのだろうか。

1 おもな戦国大名には、相模(神奈川県)の北条氏、越前(福井県)の朝倉氏、駿河(静岡県)から三河(愛知県東部)を支配した今川氏、越後(新潟県)の上杉氏、甲斐(山梨県)の武田氏、安芸(広島県)をはじめ中国地方一帯から九州、四国にまで勢力をおよぼした毛利氏などがある。

戦国大名の出現

応仁の乱のころから守護大名の力がおとろえ、下剋上の風潮に乗って、実力のある家臣や地侍は、みずからの力で守護大名を倒し、一国を支配するようになった。こうした新しい型の領主を戦国大名という。

すでに、南北朝の動乱のころから、農村社会では、権威のおとろえた幕府や守護の支配をはなれ、農民の自治組織(惣)によって運営される自立的な村(惣村)が形成された。いくつかの惣村が共通の利益のために一揆を結んだり、地元の武士(国人)を中心に結束して、自分たちの主張を通すこともしばしばあった。

惣村は、境界争いなどを調停し、外敵から守ってくれる、より強い実力者を求めた。戦国大名という新しい統治者は、このような要求にこたえる形で登場してきた。

戦国大名は、領国内の武士を家来に組み入れて強力な家臣団をつくり、ほかの大名との戦いに備えた。主君への反逆や謀反は機敏な行動として評価されることもあり、必ずしも不名誉とはされなかった。戦国大名の出自はさまざまで、甲斐の武田信

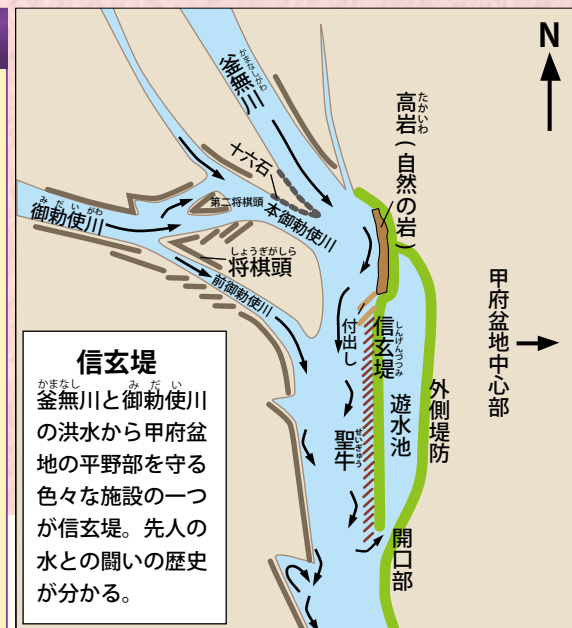
戦国大名と分国法

戦国大名は、領国内の領民をおさめたが、力による一方的な支配ではなかった。それは、分国法の条文によくあらわれている。

たとえば、甲斐の戦国大名武田信玄が定めた分国法にある「喧嘩両成敗法」は、もともと農村社会で受けつがれた慣習法で、戦国大名はこのような慣習法も利用して領内の争いを裁定した。

また、越前の戦国大名朝倉氏がつくった分国法には、「1年に3度くらいは、有能で正直な者に申しつけ、国内を巡視させて領民の申し出を聞き、そのことを参考にして政治の改革をしていくのがよい」と書かれていた。

領民の意見が領国の経営には不可欠であり、戦国大名はその声を吸収し、政治に反映させることで、よき統治者になることができた。



信玄堤 釜無川と御勅使川の洪水から甲府盆地の平野部を守る色々な施設の1つが信玄堤。先人の水との闘いの歴史が分かる。



武田信玄 (1521~73) (高野山持明院蔵)

玄は守護大名、越後の上杉謙信は守護代、安芸の毛利元就は国人から戦国大名となった。

城下町と領国経営

戦国大名が従来の幕府を背景にした守護大名と異なる点は、領国経営の

5 実力を備えることが求められたことである。実力がなければ、すぐに家臣や領民から見限られ、別の実力者に首がすげかえられることもあった。

戦国大名は、守りのかたい山や丘に山城を築き、一ノ丸、二ノ丸、三ノ丸と幾重にも守りを固め、濠をめぐらして合戦に備えた。ふもとの平地に屋敷をかまえ、その周囲に家臣団や商工業者を住まわせて、城下町とした。城下町は、領国の政治、経済、文化の中心になった。

また、戦国大名は、領国を豊かにするために、大規模な治水工事をし、耕地を広げて農業をさかんにした。鉱山の開発や商業の保護、交通制度の整備などにも力をそそいだ。家臣の取りしまりや、領民の保護と支配のために、掟書などの名称でよばれる独自の法律(分国法)を定めた例も少なくない。戦国大名の領国支配が強まるにつれ、荘園は衰退していった。このようにして、各地で実力を養った戦国大名が勢力をのぼし、たがいに激しく争った約100年間を戦国時代という。

2 大名が指揮して行った大規模治水工事には、武田信玄の信玄堤のほか、伊達政宗の貞山堀、北条氏房の荒川堰などが知られる。今も各地に遺構あり、水利施設として役立つている。

3 代表的な鉱山に石見銀山(島根県)がある。14世紀に発見された豊富に銀を産出する鉱山で、ここで多くの銀貨がつくられた。戦国時代には大内・尼子・毛利氏がつぎつぎと取り合い、江戸時代には江戸幕府が奉行をおいて直接に経営した。

まとめにチャレンジ

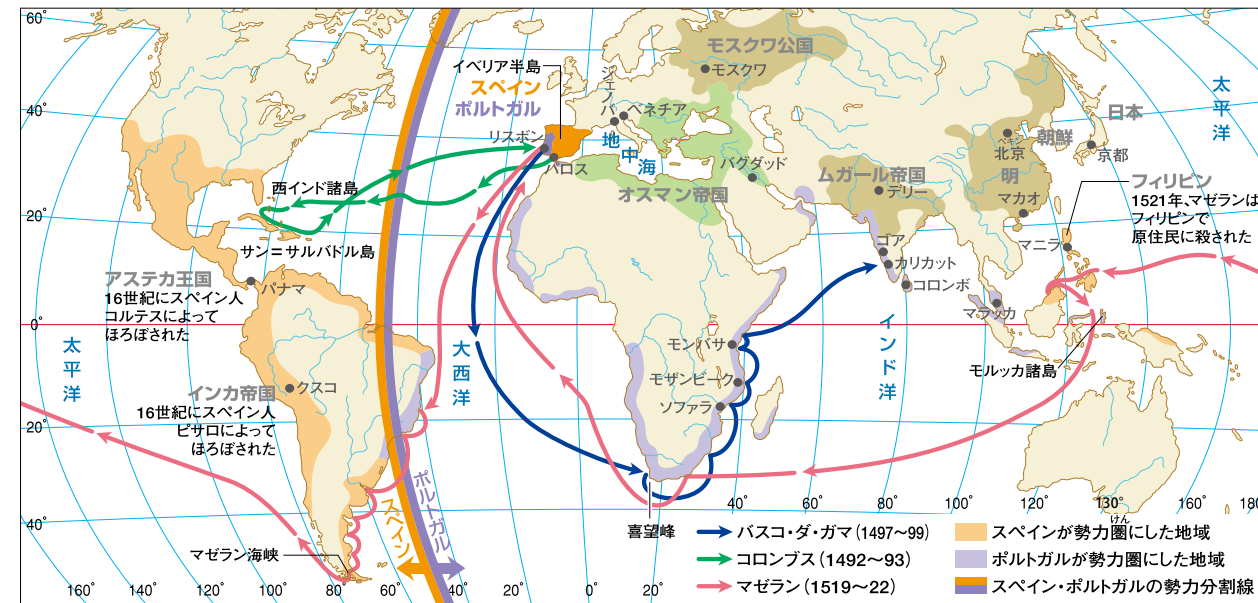
守護大名と戦国大名にはどのような違いがあるのか、200字以内でまとめてみよう。



ローマ教皇へのイエズス会設立の請願
イエズス会は、とくにアジアでの布教に力を入れた。



コロンブスの西インド諸島到達 スペイン女王の援助で大西洋を西へ航海してたどりついた。彼は生涯、自分の上陸した場所をインドだと信じていた。



地球を二分しようとしたポルトガルとスペイン
16世紀に入ると、太平洋でも両国の航海・探検活動の境界が定められた。

32

ヨーロッパ人の世界進出

ヨーロッパ人はなぜ世界に進出し始めたのだろうか。

1 宗教改革を求めた「プロテスタント(抗議する者)」は新教ともよばれ、これに対しローマ教会を総本山とする「カトリック(普遍)」は旧教ともよばれることもある。

2 カトリック男子修道会の一つ。創立者はスペイン人のイグナチウス・ロヨラら6人で、ローマ教皇の信認を得てゴア(インド)に基地を築き、アジア布教乗り出した。イエズス会は「イエスの会」を意味する。

キリスト教世界とイスラム教世界

中世ヨーロッパのキリスト教世界ではローマ教皇を頂点とするカトリック教会が絶大な権力をもっていた。他方、イスラム教徒のアラビア人も勢力を広げ、8世紀以降は西アジアから地中海を経て、イベリア半島までを支配した。この時代、イスラム教諸国は学問や芸術においても、軍事力においても、キリスト教諸国よりはるかに先進国だった。

しかし、イベリア半島では15世紀末に、キリスト教徒がイスラム勢力を追い出し、スペインとポルトガルが支配するキリスト教圏に戻った。

16世紀初め、ドイツのルターらがカトリック教会の腐敗を批判し、教会に頼らずに個人が聖書を通じて神と直接向かい合うべきだとする改革運動をおこした。これを宗教改革という。彼らはプロテスタントとよばれた。その勃興に危機感をもったカトリック教会の内部からも改革運動がおこり、イエズス会が創立されるなど海外への布教に積極的に乗り出した。

大航海時代

15世紀末から、ポルトガルとスペインは国をあげて海外進出をはかった。オスマン帝国などイスラム勢力が地中海の制海権をにぎっていたので、東方への物資の輸入ルートがはばまれていた。当

時のヨーロッパで肉料理の必需品は胡椒などの香辛料だった。それらをアラビア人の商人から購入しなければならなかったが、「金1g=胡椒1g」といわれるほど高価だった。両国は胡椒を直接買いつけるため、主産地インドへの新たなルートを求めた。ポルトガルはアフリカの西海岸を南下してインドに向かう航路の発見に乗り出した。これに対しスペインはイタリア人のコロンブスを派遣して、大西洋をどこまでも西へと向かわせた。このようにしてヨーロッパ人がアジアの植民地を求め大航海時代が始まった。

ポルトガルとスペインによる地球分割計画 1492年、コロンブスは西インド諸島に到達した。ヨーロッパ人によるアメリカの「発見」である。彼はそこをインドと信じ込んだため、北米大陸の先住民はインディアンとよばれた。2年後の1494年、ローマ教皇は大西洋を東西に分け、東半球で発見されるものはすべてポルトガル王に属し、西半球で発見されるものはすべてスペイン王に属すると取り決めた。これをトルデシヤス条約という。

ポルトガルが派遣したバスコ・ダ・ガマは1498年、アフリカ南端の喜望峰を経てアフリカ東岸を北上し、インドに到達する新航路を発見した。



ヨーロッパ人がアジアに求めた香辛料 ①肉桂(シナモン)、②丁香(クローブ)、③胡椒(グリーンペッパー、ホワイトペッパー)など。

ヨーロッパ人による新航路の開拓 (ス)はスペイン、(ポ)はポルトガル

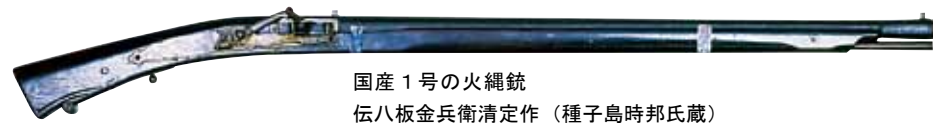
年	出来事
1492	コロンブス(ス)、大西洋を横断しアメリカ大陸に到達
1498	バスコ・ダ・ガマ(ポ)、アフリカ南端の喜望峰を回り、インドに到達
1522	マゼラン(ス)、南米大陸の南端を経て太平洋からフィリピン到達、世界一周を達成
1534	旧教のイエズス会創立

まとめにチャレンジ!

15~16世紀、ヨーロッパ人が海外に進出した大航海時代に、彼らが目的としたことを2つあげてみよう。



堺の鉄砲鍛冶 和泉名所図会 (江戸時代の作) 種子島でポルトガル人から購入した2挺の鉄砲を日本人は研究し、その高い技術力によってわずか数年の間に量産を始め、急速に普及した。(東京・国立公文書館蔵)



国産1号の火縄銃
伝八板金兵衛清定作 (種子島時邦氏蔵)



南蛮屏風 狩野内膳筆 長崎に入港したポルトガル船が、貿易品を荷あげするところ。南蛮貿易のようすが描かれている。カピタン(船長)の行列と、出むかえる宣教師たちの姿もある。右上に南蛮寺が見える。(兵庫・神戸市立博物館蔵)

33

ヨーロッパ人の来航

ヨーロッパ人がもたらした鉄砲とキリスト教は、日本社会にどのような影響をあたえたのだろうか。



フランシスコ・ザビエル (1506 ~ 52)

(兵庫・神戸市立博物館蔵)

1 フランシスコ・ザビエルはイエズス会創立者の一人。マレー半島のマラッカを拠点にして布教活動をしていて、ヤジローという日本人の青年武士に出会い、その旺盛な知識欲に驚いて日本に興味をもち、布教する決意を固めたといわれている。

鉄砲の伝来とキリスト教の布教

1543 (天文12) 年、シャム (現在のタイ) からポルトガル人を乗せた中国船が、暴風雨にあつて種子島 (鹿児島県) に漂着した。彼らは日本に来た最初のヨーロッパ人だった。領主の種子島氏はポルトガル商人から鉄砲2挺を高額で買い取り、刀鍛冶に研究を命じた。

やがて、堺 (大阪府) など各地で刀鍛冶が鉄砲の生産を始めると、戦国大名たちが新兵器としてさかんに求め、日本はたちまち世界一の鉄砲生産国となった。さらに戦国大名が鉄砲を採用したことは戦術の方法を大きく変え、全国統一を早める結果をもたらしした。

鉄砲伝来の6年後の1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に到着し、キリスト教の布教を開始した。その後もポルトガルの商人とともにやってきた宣教師たちは熱心に布教し、キリスト教は西日本を中心に急速に広がった。宣教師は孤児院をつくるなどして人々の心をとらえた。戦国大名は、ポルトガル商人がもたらす珍しい舶来品を珍重した。

南蛮貿易

16世紀末にはスペインの武装商人もアジアにあらわれ、フィリピンを征服して貿易の根拠地とした。彼らは日本では南蛮人とよばれ、

日本に火薬・時計・ガラス製品などヨーロッパの品々や、中国産の生糸や絹織物をもたらした。彼らは世界有数の銀の産出国だった日本から銀を手に入れ、貨幣に鋳直してアジア各地との交易に用いた。これを南蛮貿易という。その後、日本人も南蛮貿易に乗り出し、東南アジアの各国に定住して日本町をつくった。

キリシタン大名

南蛮貿易の利益に着目した西日本の大名たちの中にはキリスト教を保護し、自ら洗礼を受ける者もあらわれた。これをキリシタン大名という。最初のキリシタン大名となった九州の大村氏は、長崎を開港してイエズス会に寄進した。天然の良港だった長崎は、南蛮貿易と布教の拠点となって急速に発展し、その後もヨーロッパとの窓口となった。

イエズス会はキリシタン大名の保護を受けて長崎・山口・京都などに教会 (南蛮寺) を建て、キリスト教はさらに広がった。1582 (天正10) 年、3人のキリシタン大名が4人の少年使節をローマ教皇のもとに送った (天正遣欧少年使節)。少年たちは3年かけてローマに着き、教皇に謁見して大歓迎を受けた。それによって、ヨーロッパでは日本に対する関心が高まった。



中浦ジュリアン 原マルチノ

伊東マンショ (主席) 千々石ミゲル

天正遣欧少年使節 九州のキリシタン大名によって派遣され、帰国して豊臣秀吉にローマでの見聞を伝えたが、そのときすでにキリスト教は禁じられていた。上記氏名中、カタカナは洗礼名。このの中浦ジュリアンは長崎で殉教、千々石ミゲルは棄教して日蓮宗に改宗した。(京都大学附属図書館蔵)

まとめにチャレンジ!

南蛮貿易におけるヨーロッパ、中国からの輸入品と、日本の主な輸出品をそれぞれあげてみよう。



長篠合戦図屏風 この戦いで織田・徳川連合軍は最新の武器である鉄砲を多数そろえ、当時最強といわれた武田軍を破った。(愛知・徳川美術館蔵)



織田信長 (1534 ~ 82)
(愛知・長興寺蔵 写真協力・豊田市郷土資料館)



豊臣秀吉 (1537 ~ 98)
(大阪・逸翁美術館蔵)

34

信長と秀吉の全国統一

織田信長と豊臣秀吉はどのように全国統一を進めたのだろうか。

織田信長の台頭

日本人が広く国外に目を向けるようになる一方、国内では群雄割拠する有力な戦国大名が、我れ先にと京都にのぼり、朝廷の信任によって全国の統治者になろうと競い合っていた。

その中で尾張(愛知県西部)の織田信長が斬新な戦略と京都に近い地の利を生かして頭角をあらわした。1560(永禄3)年、駿河(静岡県)の今川義元を桶狭間で破った信長は、やがて京都にのぼると足利義昭を将軍に擁立して全国統一に乗り出した。

その後、信長は義昭と対立するようになり、1573(天正元)年、義昭を京都から追放した。ここに、室町幕府は230年の歴史の幕をとじた。

信長は敵方の大名についた比叡山延暦寺を全山焼き打ちにし、浄土真宗の一向一揆も降伏させた。これによって、その後、仏教勢力の政治への発言力が弱まった。

信長は1575(天正3)年、当代最強といわれた甲斐(山梨県)の武田勝頼の騎馬軍団を鉄砲隊で打ち破った(長篠の戦い)。その翌年、信長は京都に近い琵琶湖畔に壮大な安土城を築いた。信長は政治に発言する仏教勢力をおさえる一方で、万里の波濤をこえてやってきたキリシタン宣教師の勇気を称えた。

信長は、楽市楽座の政策をとって城下の商工業者に自由な営

業を認め、流通のさまたげとなる関所を廃止した。

このように信長は旧来の政治勢力や社会制度を打破し、全国統一への道を切り開いた。しかし、1582(天正10)年、家臣の明智光秀の謀反にあい、京都の本能寺で自害した(本能寺の変)。

豊臣秀吉の全国統一

織田信長の事業を受けついで全国統一をなしたのが、重臣の羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)であった。備中(岡山県)高松城の毛利軍と対陣していた秀吉は、本能寺の変を知ると直ちに毛利氏と和を結び、いち早く軍を引き返して、京都の天王山で明智光秀を討った。

1583(天正11)年、秀吉は信長の安土城をモデルにした壮大な大阪城の築城に着手し、全国を統治しようとする意思を示した。

1585(天正13)年、秀吉は関白に任ぜられ、その翌年、朝廷より「豊臣」の姓を賜った。秀吉は天皇の名により全国の大名に、停戦して秀吉に服属することを命令し(惣無事令)、諸大名を次々と平定していった。1590(天正18)年、秀吉に歯向かう大名がいなくなって戦火は止み、秀吉の全国統一事業は完成した。翌年、関白を養子秀次に譲り、太閤になった。



大阪城 秀吉時代のおもかげを伝えている。(「大坂夏の陣図屏風」大阪城天守閣蔵)

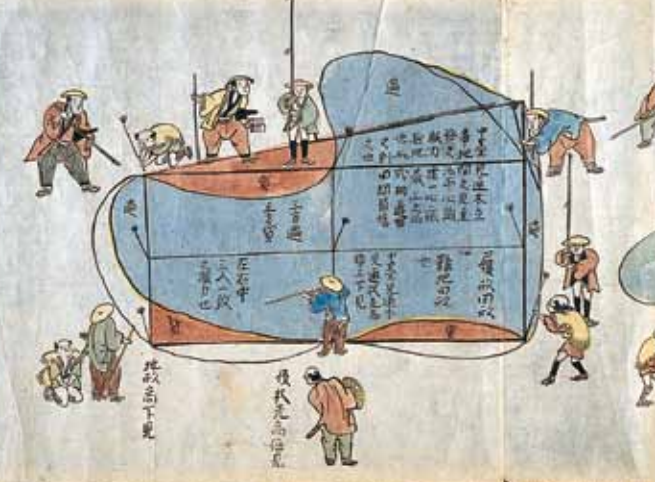
1 関白の職を子弟に譲った人物を太閤という。

まとめにチャレンジ!

織田信長が行った大きな改革を2つあげてみよう。



信長は「天下布武」の印判を書状に押し、武力で天下をとる決意をした。



検地図絵(江戸時代の作) 役人が田の面積を測っているようですが、描かれている。太閤検地もこのような方法で行われたようだ。(秋田・玄福寺蔵)

刀狩令 1588年(一部要約)

一、各地の百姓が、刀や短刀、弓、槍、鉄砲、その他の武器をもつことをかく禁止する。そのわけは、百姓が不必要な武器をもっていると、年貢や税を出ししがり、おのずと一揆をくだして、大名から土地をあたえられている家臣に対して、不法のふるまいをする者が出て、もちろん処罰される。そうすると、その者の田や畑は耕されず、領地がむだになってしまつからだ。そこで、大名や家臣、代官は、以上の武器をすべて集め、さし出しなさい。

二、とり集めた刀や短刀などはむだにしてはならないので、このたび建てさせている京都の方広寺の大仏のクギやかがいに使う。そうすれば、現世はもちろん、あの世まで百姓が助かることになる。

一、百姓は農具だけをもって、ひたすら農業に打ちこんでいれば、子孫の末まで長く暮らしを保つことができる。じつに国内が安らかとなり、人々が幸せになるもつである。

35
秀吉の政治と朝鮮出兵

秀吉の政治は、どのような特徴をもっていたのだろうか。

1 土地の等級は、上田、中田、下田、下々田などであらわした。石高は、それぞれの等級での耕地1反(約10アール)あたりの米の収穫高に面積をかけて計算した。

2 バテレンとはキリスト教の神父のこと。伴天連とも書いた。ポルトガル語のパードレ(神父)に由来する。

秀吉は1582(天正10)年から各大名に命じて米の収穫高を正確に調べさせ、土地の等級と石高を示す検地帳を作成した。これを太閤検地という。検地によって荘園領主だった中央貴族などの権利は奪われ、荘園制度は崩壊した。農民は土地私有権を認められるかわり、その領主たる大名に年貢をおさめることとなった。

1588(天正16)年、秀吉は刀狩令を発して農民や寺院から刀・弓・槍・鉄砲などを没収した。農民が耕作に専念することによって、子々孫々までの安泰を保証し、領内の自衛・治安と国防は武士の役割とした(兵農分離)。

秀吉はキリスト教の保護者であったが、1587(天正15)年、突如としてバテレン追放令を発し、キリシタンの禁教政策に転換した。しかし、貿易による利益を重視して、南蛮商人の入港は引きつづき認められたため、禁教政策は不徹底なものとなり、バテレンの追放も実現しなかった。秀吉は庶民の信仰までは禁じなかった

ので、キリシタン信徒はその後も増えつづけた。フィリピンを拠点にしていたスペインの宣教師たちは、キリスト教を広めるため、南アメリカやアジアと同じように、武力によって中国や日本を征服する計画を立てていたといわれる。

バテレン追放令 1587年(一部要約)

一、日本は神国なので、キリシタンの国から邪教(キリスト教)を伝えることは許さない。

二、バテレンが地元の人々を近づけて信者にし、彼らをそのかして神社や寺院を打ちこわしているのは、これまでに一度もなかった悪事である。

三、バテレンを日本に住まわせることはできないので、二十日以内に準備して帰国せよ。

四、ポルトガル・スペイン船が貿易に来るのは事情が違うので、今後も自由に売り買いしてよい。

五、仏教をさまたげない者は、商人はもちろん、誰でもキリシタン国と自由に行き来してよい。

キリスト教宣教師の影響力を警戒して出されたもの。しかし、実際にはバテレン追放は実現しなかった。

朝鮮出兵

全国を統一した秀吉は明を征服して都を移し、インドまでも支配するという壮大な野望を抱いた。1592(文禄元年)年、秀吉は15万の大軍を朝鮮に送った(朝鮮出兵)。加藤清正や小西行長などの武将にひきいられた秀吉の軍勢は、たちまち首都の漢城(現在のソウル)を落とし、朝鮮北部にまで進んだ。しかし、朝鮮側の李舜臣がひきいる水軍の活躍、明からの援軍などで敗勢となり、明との和平交渉のために兵を引いた(文禄の役)。

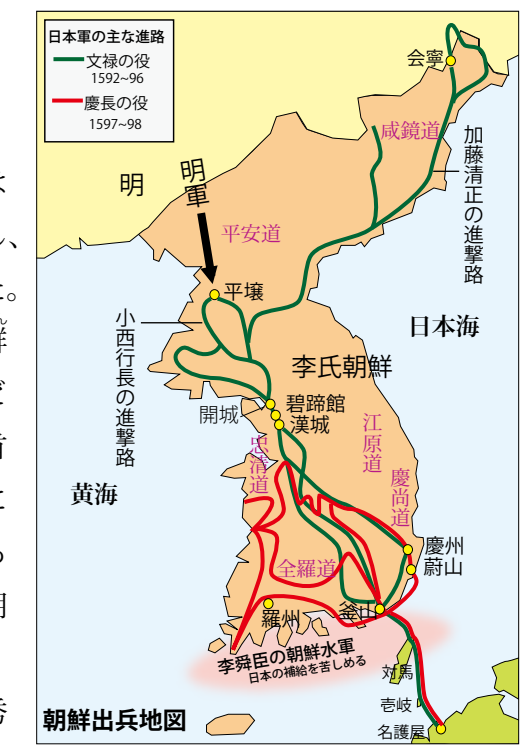
1597(慶長2)年、明との交渉が決裂し、秀吉はふたたび約14万の大軍を派遣した。だが、明の反撃で今度は朝鮮南部から先に進むことができず、翌年、秀吉が死去したため、撤兵した(慶長の役)。

2度にわたる戦いによって、朝鮮の国土や人々の生活は荒廃した。また、この出兵に莫大な費用と兵力を費やした豊臣家の支配はゆらいだ。

このとき徳川家康は朝鮮出兵に賛成し、九州まで出陣したが渡海することはなかった。

秀吉とフェリペ2世

ちょうど秀吉が天下統一をなしとげたころ、スペインでは、国王フェリペ2世がイスラム勢力を打ち負かし絶頂期にあった。アジアに派遣されたスペイン人宣教師たちは、中国の武力征服を遂行し、日本の利用価値を書簡でフェリペ2世に説いた。しかし秀吉と同じ1598年にこの世を去ったので、征服計画は実現しなかった。



3 朝鮮出兵で多くの朝鮮陶工が日本に連れてこられた。薩摩焼の沈寿官、有田焼の李参平、萩焼の李勺光らが陶磁器の技術を日本に伝えた。

まとめにチャレンジ!

関白となった豊臣秀吉が、全国統一に向けて行った大きな政策を3つあげてみよう。

宣教師の見た日本人

◎「傑出した国民」「良い素質」

16世紀、日本にやってきたキリスト教の宣教師たちは、極東の島に思いがけず、文明化した誇り高い民族を発見しておどろきました。何よりも、下層の日本人でさえ、盗みがないことや、読み書きができることに強い印象を受けました。

神父ザビエルは、ゴア（インド）の教会へ送った書簡にこう書いています。

「日本人は私が遭遇した国民の中では、もっとも傑出している。異教徒の中で日本人にまさるものはあるまいと考える。彼らは総体的に良い素質を有し、悪意がなく、交わってすこぶる感じがよい」

「日本人はたいがい貧乏である。しかし、武士たると平民たるとを問わず、貧乏を恥辱と思っている者は一人もない」

◎ヨーロッパをしのぐ豊かさ

布教長トルレスは、日本人の暮らしが自給自足して豊かだと言います。

「この国の豊かさはスペイン、フランス、イタリアをしのいでいる。キリスト教国にある一切のものが、この国にある。彼らの長所を数えてゆけば、紙とインクのほうが先に尽きてしまうであろう」

オルガンチーノ神父は、日本人を知るにつれて、さらに高い評価をしています。

「私たちヨーロッパ人はたがいに賢明に

見えるが、日本人と比較すると、はなはだ野蛮であると思う。私は本当のところ、毎日、日本人から教えられることを白状する。私には全世界でこれほど天賦の才能をもつ国民はないと思われる」

◎ヨーロッパと日本の文化の違い

ただし、誰もが日本人を良く言ったわけではありません。布教長カブラルは、日本人を司祭に登用せず、ラテン語も学ばせまいとした心の狭い人でした。彼は冷淡にこう言っています。

「彼ら日本人教徒が（修道会に入って）共同の、そして従順な生活をしているのは、ほかに生活手段がないからだ」

しかし、東インド管区巡察師ヴァリニャーノは、カブラルのような態度は布教のさまたげになるとして解任し、こう述べました。

「日本人は、外国人の支配に耐えしのぶほど無気力でもなければ無知でもない。日本の教会の統括は日本人にゆだねるよりほかに考えるべきではない」

『日本史』を書き残したフロイス神父は、日本と西洋がまったく正反対である点を列挙して「日本人は罪人を平然と斬首するが、家畜を殺すと仰天する」と首をかしげています。

彼らにとって日本はやはり「不思議の国」だったのです。

秀吉はなぜバテレンを追放したか

◎高山右近の棄教拒否

日本は昔から多神教の国であり、異国の新しい宗教に対してもひらかれていました。信長も秀吉もキリスト教を優遇したため、南蛮貿易が盛んになり、大きな利益がもたらされたのです。その秀吉が、なぜバテレン追放令を出したのでしょうか。

1587（天正15）年6月、追放令が出される前夜、博多で秀吉に対して、随行の僧侶たちがバテレンやキリシタン領主らの所業について訴えたと言われます。バテレンは領主をそそのかして領民を強引に入信させ、領内の神社や寺を壊し、神官や僧侶を追い出していると言いました。

それを聞いて激怒した秀吉は、ただちに陣営内にいるキリシタン大名・高山右近に書状を送り、「キリスト教を棄てるか、領国を追放されるか」と迫りました。右近は「信仰を守り、追放を受け入れる」と返答しました。秀吉は即座に右近の領地召上げと追放を命じました。

◎宣教師コエリヨへの詰問

一方、平戸から会いに来た宣教師コエリヨにも使者を送り、次のように詰問しました。

①なぜ領民を強引に改宗させるのか、②なぜ神社仏閣を破壊するのか、③なぜ牛馬

の肉を食うのか、④なぜポルトガル人は多くの日本人を奴隷として買って連れ帰るのか。コエリヨは、秀吉を納得させる答えを出せませんでした。秀吉は側近の大名たちの前で、これまでのキリシタン保護の姿勢から一転して「バテレンの説く掟は悪魔のものだ。いっさいの善を破壊するものだ」と激しく批判し、「バテレン追放令」を布告しました。

この布告は高札によって広く全国に伝えられました。秀吉の布告は外国人バテレンの国外追放が主眼であって、一般領民の信仰の自由までは禁じてはいません。このため、コエリヨは司祭たちに、イエズス会員は日本にとどまり、各地に潜伏するように命じました。

◎スペイン船の不覚

1596（慶長元）年、土佐沖で難破したスペイン船サン・フェリーペ号の航海長が奉行に対して「われらはまず宣教師を送り込んで先住民を改宗させ、つづいて軍隊が入って多くの王国を征服してきた」と脅したという風説が広まりました。このために秀吉はキリタン取り締まりを強化したので、殉教者が出るまでになりました。一向一揆のような権力に反抗する宗教勢力の台頭をおそれていたからです。



唐獅子図屏風 狩野永徳筆 金地の背景に唐獅子が堂々と歩き、天下統一をめざす武士の気風を伝えている。(宮内庁三の丸尚蔵館蔵)



洛中洛外図屏風 狩野永徳筆 織田信長から越後の有力な戦国大名である上杉謙信に贈られたもの。都のようすが細かく描かれている。(米沢市上杉博物館所蔵 上杉本 左隻) P.94

36

桃山文化

桃山文化にはどのような特徴があるのだろうか。



千利休 (1522~91) 長谷川等伯筆 (京都・不審庵蔵)

1 千利休は堺の豪商の生まれで、信長・秀吉に仕え、当代第一級の茶人として知られた。茶道具の目ききで、茶道家元・千家の始祖。多くの弟子を輩出したが、秀吉と対立して切腹を命じられた。

大名と大商人の文化

戦国時代を實力で勝ち抜いた戦国大名たちは、その権勢を誇るように雄大な文化を生んだ。これらの文化は信長の安土城と秀吉の伏見城(桃山城)にちなんで安土桃山文化、または単に桃山文化とよび、信長・秀吉が活躍した時代を安土桃山時代とよぶ。

信長、秀吉らが築いた城には壮麗な天守閣があった。天守閣は司令塔・展望台とされるが、権勢を象徴する装飾の性格が強い。信長の安土城の内装は金箔がほどこされ、「殿中ごとごとく金なり」と称えられた。金箔の地に濃彩の絢爛豪華な襖絵や屏風絵を描いたのは狩野永徳ら狩野派の絵師たちであった。秀吉が建てた大阪城の障壁画も彼らの作品である。

堺の茶人で茶の湯を完成した千利休は、こうした華やかな趣味に背を向けるように、狭い茶室で静かにたしなむ侘び茶を始めた。茶室の内装はすべて土壁で、床の間には竹の花入れをかけ、茶碗は京都の楽焼を好んだ。利休の確立した茶道は日本人の間に「侘び」という美意識をはぐくんだ。また、室町時代に生まれた華道は、初代池坊専好によってこの時期に完成された。

庶民の生活と文化

庶民の間にもこの世を楽しむ風潮が広まった。小唄が流行し、三味線の伴奏で浄瑠璃がうたわれ、これに合わせて人形浄瑠璃が生まれ

た。出雲大社の巫女と称する出雲阿国が始めたかぶき踊りは、江戸期に確立する歌舞伎の源流となった。

衣服は活動的な小袖が一般的になり、麻にかわって木綿の衣料が普及し始めた。木綿は着心地がさっぱりして丈夫な上、色が柄を染められるという特性があった。

南蛮文化

南蛮貿易や宣教師の布教活動がさかになって、天文学・医学・航海術が日本に伝わり、活版印刷によって『聖書』や『イソップ物語』などが出版された。南蛮人や南蛮風俗をテーマにした屏風絵が描かれ、衣服・工芸・食文化にも南蛮趣味が広がった。南米原産のタバコの移入によって喫煙の風習も始まり、トランプ遊びも広まった。このほか、カステラ、パン、マント、ジュバンなどさまざまな分野で南蛮語が新しい日本語になった。

こうして西洋人が日本に伝えた異国情緒ある文化を南蛮文化とよぶ。南蛮貿易で巨利を得た豪商が堺や博多などにあらわれ、南蛮文化を支え、広げた。南蛮文化の隆盛はその後の禁教のため短期間で終わったが、その一部は日本社会に定着し、中国やインドのさらに向こうに広大な異文化があるということを知らせた。それによって日本人は世界の見方を広げた。



茶室「待庵」 2畳の茶室で、千利休の茶室としては現存する唯一のもの。(京都・妙喜庵)

2 出雲阿国は派手な衣装で踊り、大きな刀をもち、かぶき者とよばれた奇抜な男装で、茶屋遊びなどを演じて喝采をあげた。

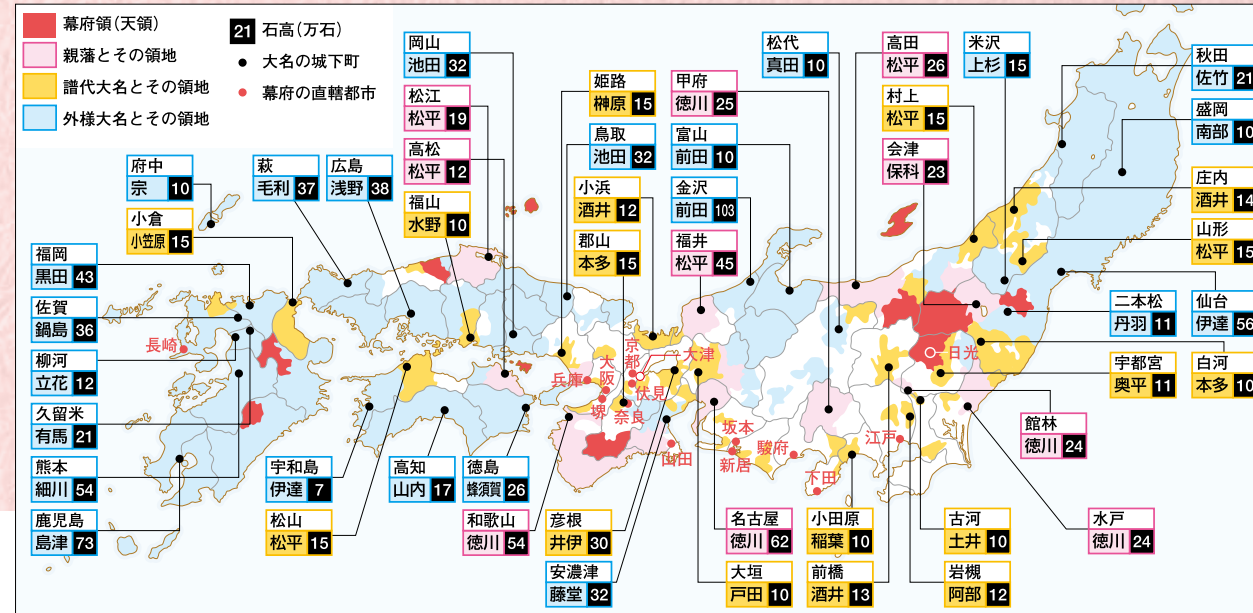
まとめにチャレンジ!

桃山文化の特色を、建築・絵画・茶道華道の3つの分野に分けて述べてみよう。



徳川家康 (1543~1616) 狩野探幽筆 (大阪城天守閣蔵)

関ヶ原合戦図屏風 (六曲一雙 関ヶ原町歴史民俗資料館)



江戸初期の主な大名の配置 (1664・寛文4年当時) 外様大名を江戸からできるかぎり遠ざけながら、親藩や譜代大名をさびのように配置して監視しているようすがわかる。天領には鉱山や山林の豊かな地域が多い。

役職制度が整った。将軍といえども独断専行を慎み、評定とよばれる合議での意見を尊重して政治が行われた。

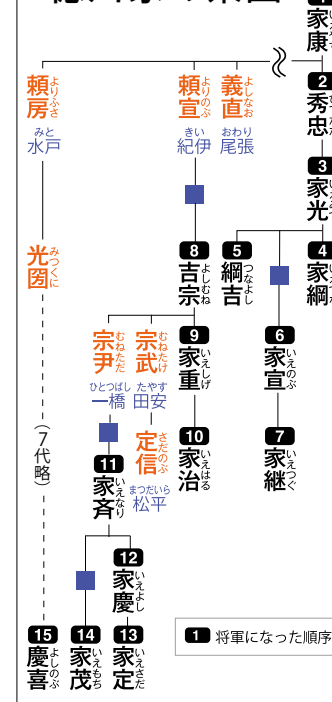
将軍と大名の関係

江戸時代の大名は将軍から1万石以上の領地をあたえられた武将をさし、将軍と主従関係を結んだ。幕府は全国260あまりの大名を徳川一族の親藩、関ヶ原の戦い以前からの家臣である譜代大名、関ヶ原の戦い以後に徳川氏に臣従した外様大名の3つに分け、幕府に反抗しにくいように配置した。大名の領地と、領地をおさめる組織を藩という。

1615 (慶長20) 年、幕府は武家諸法度を定め、許可なく城を新築したり、大船を建造したり、大名家が無断で婚姻することなどを禁じた。大名に不始末があれば、領地没収のお家取りつぶしや、領地を入れかえる国替を行った。また、大名が1年ごとに領地と江戸を往復する参勤交代の制度を定め、大名が国元にいる間は妻子を江戸屋敷に置いて人質にするなど巧みに統制した。将軍は江戸城の改築・修理や全国の河川の工事などを命じ、多大な負担をあたえることで財政力を殺ぐこともあったが、日常の領地経営はそれぞれの大名に任された。

こうして、大名が領地と領民を自由におさめることによって、それぞれの地域で地方色豊かな文化が育った。

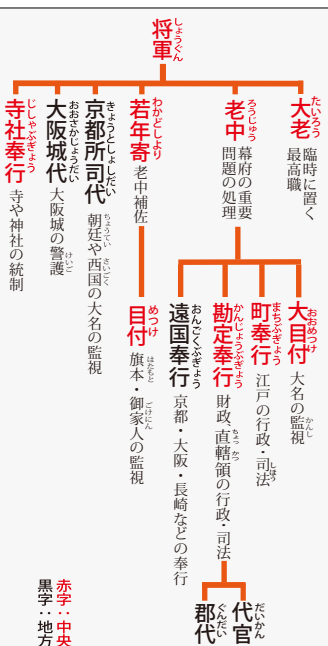
徳川家の系図



37

江戸幕府の成立

江戸幕府は大名をどのように統制したのだろうか。



江戸幕府のしくみ

徳川家康と江戸幕府

豊臣秀吉の次に最大の実力者となったのは、徳川家康であった。秀吉は大阪の近くに家康のような実力者がいることを警戒して、家康の所領を本拠地の三河地方から関東に移した。家康は、辺境の地の江戸を開拓して町づくりを進め、実力をたくわえた。秀吉の死後、家康は多くの有力武将を味方につけて1600 (慶長5) 年、秀吉の重臣だった石田三成を中心とした西国の対抗勢力を「天下分け目の決戦」となった関ヶ原の戦いで破った。

1603 (慶長8) 年、家康は朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開いた。1615 (元和元) 年の夏、豊臣秀吉の遺児秀頼を大阪城に攻め滅ぼし (大阪夏の陣)、全国支配を完成させた。

徳川氏が将軍として15代にわたって統治し、大規模な戦乱のなかった約260年間を江戸時代という。

江戸城は将軍直属の旗本と御家人が守った。将軍直轄の天領 (幕領ともいう) と旗本の知行地を合わせると約700万石で、幕府は全国石高の約4分の1の支配地を有した。また、幕府は外交と貨幣製造の権限を独占した。幕府のしくみは、3代将軍徳川家光のころには、老中を筆頭に若年寄・目付・奉行などの

→朱印状 トンキン（現在のベトナムの都市）へ行く貿易船であることを証明している。（東京・前田育徳会蔵）



朱印船 異国の港についた朱印船が3隻の手こぎ舟に引かれて岸に寄っていくようす。浜には民族衣装を着た出むかえの人々が集まっている。（愛知・情妙寺蔵）



朱印船の航路と日本町 貿易にたずさわる日本人は東南アジア各地に定住し、日本風に生活できる町を形成したが、鎖国後、自然消滅した。



島原の乱 島原陣図屏風 原城に立てこもる反乱軍を攻撃する幕府軍。（福岡・朝倉市秋月郷土館蔵）

歴史の言葉

【鎖国】

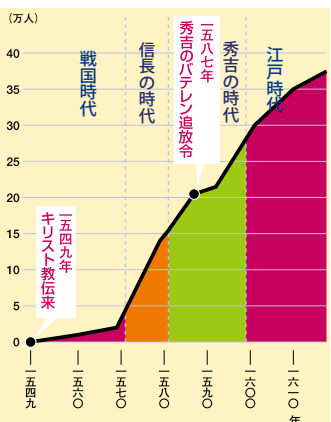
「鎖」はくさり、「鎖国」は国をとざすことを意味するが、言葉が強すぎて実態に合わない。幕府はポルトガル、スペインと断交しただけで、国をとざすつもりはなかったし、鎖国という言葉を使ったこともない。鎖国という言葉は、長崎通詞の志筑忠雄がドイツ人ケンペルの『日本誌』の一部を翻訳し、『鎖国論』（1801年）というタイトルをつけたのが始まりで、歴史用語として使われるようになったのは、明治以後である。

38

朱印船貿易から鎖国へ

幕府が貿易重視からキリスト教の禁止へと転換したのは、どうしてだろうか。

1 1611（慶長16）年、朱印船に乗ってシャム（タイ）にわたり、タイの日本町を中心に東南アジアで活躍した人物。



キリスト教信者の増加 (五野井隆史『日本キリスト教史』より作成)

朱印船と日本町

徳川家康は貿易を奨励し、西日本の大名や長崎・堺の大商人などの貿易船に朱印状をあたえて、海賊船ではないことを保証した。朱印船は安南（ベトナム）、呂宋（フィリピン）、シャム（タイ）など東南アジア各地に出かけて、活発な活動を展開した。

現地に住みついた人々による日本町の人口は、合わせて1万人におよんだ。大阪の陣に敗れて亡命した浪人などもおり、そのなかには山田長政のようにシャムの国王から高い官位をあたえられた者もいた。

貿易重視からキリスト教の禁止へ

家康はキリシタン禁教よりも南蛮貿易の利益を優先したため、信者が増えていった。幕府はこれを脅威と感じ始め、その対策に苦慮した。遅れてアジア貿易に参入したオランダとイギリスは「スペインとポルトガルは日本を征服しようとしているが、われわれプロテスタントは交易だけで布教はしない」と弁明して、日本との貿易に食い込んできた。

幕府は1612（慶長17）年からキリスト教禁止令を3回発令し、スペインとポルトガルの来航を禁止した。1635（寛永12）年には、日本人の海外への渡航も帰国もすべて禁止して統制を強化した。

島原の乱と鎖国

1637（寛永14）年、九州の島原と天草地方で農民とキリスト教信徒の百姓など約4万人が、キリシタン大名だった小西行長の遺臣らとともに一揆をおこした。島原藩主・松倉勝家の重税と過酷なキリシタン弾圧に抗議する人々は、15歳の天草四郎時貞を総大将にたてて決起した。これを島原の乱という。激しい抵抗に手を焼いた幕府は翌年、約12万人の大軍を送り、3か月かけてようやく鎮圧した。

島原の乱を教訓として幕府は、キリスト教の禁止政策をいっそう強めた。幕府は、全住民を寺の宗門改帳に登録させ、キリスト教徒ではないことを証明する寺請状を寺に出させた。これを寺請制といい、今に残る檀家制度の始まりとなった。また、キリスト教徒でない証しとして踏み絵を使った。

1639（寛永16）年、徳川家光は5回目の禁令を出して、オランダと中国以外の外国船の入港を禁じた。さらに、1641年、オランダ商館を平戸から長崎の出島に移して封じ込めた。

対オランダ・中国以外との貿易と出入国をきびしく制限するこの制度は、のちに鎖国とよばれた。鎖国は完全に国を閉ざしたのではなく、そのねらいは、日本からキリスト教の影響を排除し、幕府が貿易と海外情報を独占することであった。

2 この一揆で籠城して最後まで抵抗した1万9000人は全滅したが、幕府軍も戦死者1130人、負傷者8000余人の犠牲を出した。幕府は島原藩の責任を追及し、藩主・松倉勝家を江戸に護送して処刑した。



踏み絵 イエス・キリストの像などを役人の前で踏ませて、キリスト教徒でない証しとした。（東京国立博物館蔵）

まとめにチャレンジ

江戸幕府がキリシタン容認から禁止に転じて鎖国に踏み切った理由を書いてみよう。



長崎の出島 寛文長崎図屏風 扇形の埋め立て地で、東西70m、扇形の長辺が190mだった。オランダ商館や通訳の家、倉庫などが並んでいた。(長崎歴史文化博物館蔵)



オランダ商館の宴会 唐蘭館絵巻より「宴会図」 母国の生活様式をもちこんだオランダ商館の内部のようす。食卓上の肉、ワイン、猫を抱いた日本女性も見える。(長崎歴史文化博物館蔵)



朝鮮通信使来朝図 使節は1607年から1811年まで計12回来日した。(神戸市立博物館蔵)



松前藩とアイヌの人々との交易の儀式 (復元模型・北海道開拓記念館蔵)



出島でのオランダ人との交易のようす(唐蘭館絵巻より「商品計量図」川原慶賀筆 長崎歴史文化博物館蔵)



琉球交易図 琉球の那覇港が貿易船でにぎわうようすが描かれている。(滋賀大学経済学部付属史料館蔵)

39

鎖国日本の4つの窓口

鎖国下でも、幕府の統制のもとで貿易は活発に行われたが、それはどのようなしくみだったのだろうか。

17世紀の中ごろ、明が国内の反乱によってほろび、女真族が建国して清となった。

倭館 正式には草梁倭館といい、日本人居住区の面積は10万坪で、出島の25倍だった。対馬藩から派遣された役人や、商人、留学生など約500人が住み、貿易などにたずさわった。(下図)



出島の貿易

長崎の出島には、オランダ船がヨーロッパから時計・書物など数々の文物をもたらし、さらに中国(清)に立ち寄って生糸・綿織物・書籍を買い込んで運んできた。日本からは初めのころは銀や銅、のちには伊万里焼などの工芸品が輸出された。幕府はオランダ商館長に「オランダ風説書」を提出させ、海外の情報を集めた。長崎には中国船も来航し、唐人屋敷から提出される「唐船風説書」でアジアの情報を得た。

朝鮮・琉球・蝦夷地

徳川家康は対馬領主の宗氏を介して、秀吉の出兵で断絶していた朝鮮との国交を回復した。朝鮮からは將軍の代がわりのたびに朝鮮通信使とよばれる使節が將軍を表敬訪問した。宗氏は朝鮮の釜山に置かれた「倭館」を活動の拠点とした。

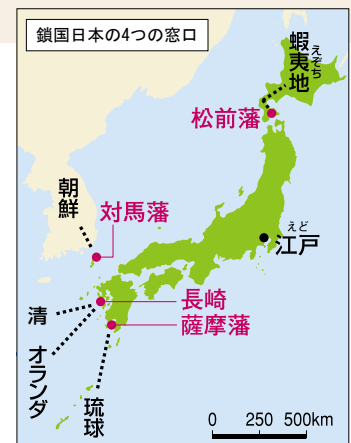
1609(慶長14)年、薩摩藩は琉球王国に兵を送って尚氏を服属させた。琉球は清の冊封も受けていたので、双方の支配に服し、將軍の代がわりには江戸に使節を送るなど二重外交をつづけた。清に朝貢して得られた物資と情報は薩摩藩を通じて幕府にももたらされた。

蝦夷地(北海道)の南部を支配した松前藩は、漁労に従事するアイヌとの交易権を独占し、海産物や熊・アザ

ラシの毛皮などを入手した。アイヌは千島列島や樺太、満州などとも交易をしており、彼らを通して蝦夷錦とよばれる中国産の織物も流入した。1669(寛文9)年、アイヌは松前藩の商人の不正な交易のやり方に反発し、シャクシャインを頭領として蜂起したが松前藩の反撃により敗北した。

4つの窓口

このようにして、鎖国下の江戸時代には、長崎、対馬、薩摩、松前の4つの窓口が外国に開かれていた。それらを通して貿易が行われ、世界の情報も入ってきた。幕府は貿易を統制し、利益や情報を独占しようとしたが、多くの藩でも「オランダ風説書」などを入手していた。各藩は独自に海外の情報に接していた。



まとめにチャレンジ!

鎖国によって日本は、海外情報入手する窓口をすべて閉じたわけではなかった。開いていた主な窓口を4つあげ、それぞれについて簡単に説明してみよう。



江戸時代の農村の様子 農耕春秋図屏風 取り入れた稲を効率よく脱穀する千歯こき(中央奥)や、風をおこして米ともみがらを吹き分ける唐箕(手前)など、改良された農具が見られる。(福島・会津酒造歴史館蔵)

身分制度と百姓・町人

江戸時代には、「士農工商の4つの身分があった」といわれることがある。しかし、「工」(手工業者)と「商」(商人)の間には身分上の区別はなかった。「士農工商」は中国の古い書物にある言い方にすぎず、江戸時代に実際に行われていた身分制度は、武士、百姓、町人の3つの身分を区別するものだった。

江戸時代の身分制度は、職業による身分の区分であり、血統による身分ではなかったから、その区別はきびしいものではなかった。百姓や町人から武士に取り立てられる者も、反対に武士から町人などになる者もいた。武士の家でも、長男が家をつげば、二男・三男は農家の養子になることもあった。

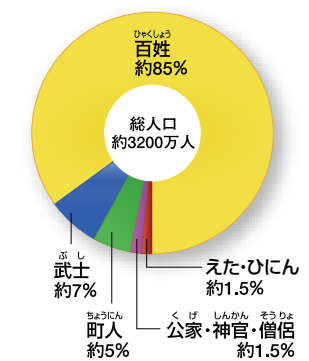
町人は、城下町に住んでいる、武士以外のさまざまな職業の人をさし、百姓は、村に住んでいる人々をさした。したがって、城下町で営業する鍛冶屋は町人で、「村の鍛冶屋」は百姓であり、漁業や林業に従事する人々も百姓だった。だから「百姓＝農民」とは限らないことに注意したい。



職人としてはたらく町人 近世職人絵巻 村から城下町へ出た農家の息子たちは職人の家に住みこんで技術を学び、やがて一人前になると独立を許された。(江戸東京博物館蔵)

40 江戸の社会の平和と安定

江戸時代の身分制度の実態は、どのようなものだったのだろうか。



江戸時代末の人口の割合 (関山直太郎『近世日本の人口構造』(吉川弘文館)より作成)

身分制度

江戸幕府は秀吉の刀狩の方針を受けつぎ、武士・百姓・町人を区別する

身分制度を定めた。それによって、争いのない穏やかな社会秩序に基礎を置く、平和で安定した社会をつくり出した。

武士は名字・帯刀の名誉を有し、治安・国防と行政事務にたずさわった。百姓・町人は生産・加工・流通にかかわり、幕府および藩の財政をささえた。このように異なる身分の人々が相互依存しながら江戸時代の豊かな時代をささえていた。

武士と百姓・町人を分ける身分制度は必ずしも厳格に固定されていたわけではなく、武士が百姓や町人になり、町人が武家の養子になることもあった。そのほか、公家や神官・僧侶などの人々がいた。

これとは別に、えた・ひにとよばれる身分が置かれた。これらの身分の人々は、農業のほかに、牛馬の死体処理、武具の皮革製品などの特殊な工芸に従事し、特定の地域に住むことが定められるなどきびしい差別を受けた。

村と百姓

江戸時代の村では、有力者が名主(庄屋)、組頭、百姓代などの村役人

となり、年貢の徴収、入会地の調整、用水・山野の管理など、村全体にかかわる仕事を行った(村請)。村の自治は中世以来の惣の伝統を受けつぎ、寄合の合議によって行われた。

村人は五人組に組織され、年貢の徴収や犯罪の防止に連帯責任を負った。村には「結」「催合」などさまざまな相互扶助の慣行があった。また、重大な犯罪を犯した者や、寄合で定めた掟を守らない者には村八分の制裁が加えられた。

幕府は年貢を安定的に確保するため、原則として田畑の売買を禁じた。百姓は年貢をおさめることを当然の公的な義務と考えていたが、不当に重い年貢を課せられると、結束して軽減を訴えた。これを百姓一揆という。一揆は暴動の形をとることはめったになく、たいていは領主との団体交渉だった。大名はできるだけ要求を受け入れて穏やかにことをおさめようとした。

城下町と町人

城下町では、武士と町人の住む地域は区別された。武士は城を守るように住まい、町人は街道にそって下町を形成した。大工町、鍛冶町、呉服町のように職業別に集まり住むこともあった。商人がおさめる冥加金・運上金とよばれる営業税は、藩にとって年貢米とともに重要な収入源だった。また、町の有力者が町役人となり、一定の自治を行った。

1 結や催合も鎌倉時代にさかのぼる村落の労働互助組織で、結は農村、催合は漁村・山村に多かった。結は短い期間に集中する田植え、稲刈り、屋根ふきなどを共同で行う組織。催合は網元を中心とした漁業のための共同組織である。

2 村の住民が、火事と葬式の手助けを除き、その人物との交際や取引を断つこと。

3 町役人は町人から職業別

に選ばれ、合議に基づく自治を行った。武士身分の町奉行が町役人をまとめていた。ただし、自治に参加できるのは営業税を納め店を構えた町人であり、長屋住まいの職人や奉公人がその下で働いていた。

まとめにチャレンジ!

江戸時代の武士・百姓・町人の3つの身分について要点をまとめてみよう。



湯島聖堂での講義 (東京大学史料編纂所蔵)



徳川綱吉 (1646 ~ 1709) 生類憐みの令で庶民を悩ませたが、戦国以来の殺伐とした気風を戒め、儒教や仏教にのっとって弱者をいたわろうとした。(愛知・徳川美術館蔵)



燕子花図屏風 (右隻) 尾形光琳筆 (東京・根津美術館蔵)



近松門左衛門 (1653 ~ 1724) 重徳 筆 (兵庫・柿衛文庫蔵)



松尾芭蕉 (1644 ~ 94) (三重・芭蕉翁顕彰会蔵)

41

綱吉の文治政治と元禄文化

上方を中心に花開いた元禄文化の特色はどのようなものだったのだろうか。

「生類憐みの令」が廃止されると、獄中や遠島からぞくぞくと囚人が解放された。犬や猫をいじめた者や釣りをしただけの者、ウナギ料理の罪でとらわれた者まであった。家宣は「禁令に触れて罪人にされた者は何十万…」と述べて、受刑者の多さを嘆いた。



新井白石 (1657 ~ 1725) (早稲田大学図書館蔵)

綱吉の文治政治

17世紀のなかばになると、戦国時代の荒々しい気風も弱まった。5代将軍徳川綱吉は1687(貞享4)年、生類憐みの令を発し、あらゆる生き物の殺生を禁じた。犬や猫でも虐待したら島流しになるなど行きすぎた処罰は批判を浴びて「犬公方」とよばれたが、いっぽうで綱吉は湯島聖堂を建てて儒学の普及につとめ、学問による統治をめざす文治政治を行った。信仰心のあつい綱吉は多くの寺社の造営や修理を行ったが、これらにかかる費用で幕府は財政難におちいった。

綱吉没後の1709(宝永6)年、6代将軍家宣はただちに生類憐みの令を廃止した。寺社の建設も当分中止させたうえ、新井白石を登用して財政立て直しの儉約政策に着手した。

元禄文化

綱吉の時代には産業が発展し、大名をしのぐ豪商もあらわれた。経済力をつけた町人は、大阪や京都を中心に、日々の暮らしを豊かにする新しい娯楽や文化を生み出した。これを元禄文化という。

大阪の井原西鶴は庶民の浮世の欲望を肯定的に描いた『日本永代蔵』などの小説を書いた。当時の小説は浮世草子とよばれた。近松門左衛門は歌舞伎や人形浄瑠璃の台本作者として『曾根崎心中』『心中天網島』など、人間らしく生きようとするゆ

えに身を滅ぼす悲劇を描いた。松尾芭蕉は連歌の発句を発展させて俳諧(俳句)を完成させた。

絵画では江戸初期の俵屋宗達の画風を引きついで尾形光琳が、装飾性豊かな屏風絵を大成させ、菱川師宣は町人の風俗を描いた浮世絵を確立した。浮世絵は版画として手に入れやすい値段で売り出され、多くの庶民に親しまれた。

学問の発達

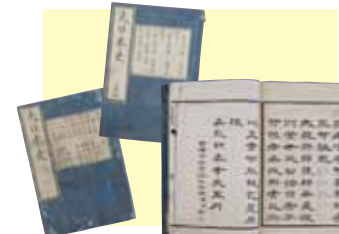
江戸時代には秩序を重んじて社会を安定させる学問として儒学が奨励された。幕府は、儒学の中でも正邪をきびしく問い社会道徳を基礎づける朱子学を重視し、林羅山らを登用した。水戸藩主徳川光圀は朱子学と尊王論に立って『大日本史』の編纂に着手し、のちの国学の成立にも影響をあたえた。

いっぽう、陽明学の中江藤樹は朱子学を空論と批判し、学んだら実践せよ、と説いた。山鹿素行・伊藤仁斎・荻生徂徠らも解釈の学に堕した朱子学を批判し、論語の原義を学べとなえた。

自然科学の分野でも日本独自の発達が見られた。宮崎安貞は経験と科学を生かして『農業全書』を著し、長く農学のバイブルとされた。関孝和は独力で代数学を編み出し、円周率を算出した。この和算とよばれる日本式数学は、きこりや樽職人までが楽しみ、しかも世界的水準をこえていた。



見返り美人図 菱川師宣筆 (東京国立博物館蔵)



『大日本史』徳川光圀の命により水戸藩で編纂された歴史書。(茨城県立歴史館蔵)

まとめにチャレンジ

元禄文化を代表する3人の人物をえらんで説明してみよう。

武士と忠義の観念

◎赤穂浪士の討ち入り

赤穂藩（兵庫県）の浪士47人が江戸・本所松坂町（墨田区両国）の旗本・吉良上野介私邸に討ち入り、吉良の首級をあげたのは1702（元禄15）年12月14日のことでした。前年の3月、江戸詰め赤穂藩主浅野内匠頭は殿中で吉良上野介に斬りかかる刃傷事件をおこし、即日、切腹を命じられました。赤穂浪士たちの討ち入りは、内匠頭だけが一方的に処罰されたことへの抗議の行動でした。

赤穂藩主の切腹後、お家取りつぶしとなって、家老・大石内蔵助らは城下を去りました。しかし、主君の仇討ち（復讐）を誓う決死の47人は、苦心の末、吉良上野介を討って主君の恨みを晴らしました。彼らの処分をめぐる幕府の評定所では、「藩主に殉ずる忠義」という意見と「幕命を不服とする謀反」とする意見が激しく対立しました。結局、幕府の命令に従わなかった

罪は重くして死罪と決まりました。しかし、世論を考慮しつつ浪士たちの忠義の心もくんで、斬首から名誉ある切腹に格上げされ、全員自決して果てました（討ち入り前に1人逐電して実数は46士）。武士はいかにあるべきか、彼らの行動は幕政を揺るがす大問題であったのです。

◎私を捨て、公に尽くす精神

主君の無念を晴らすために命を捨てた赤穂浪士の行動は、豊かさと安逸にふける元禄時代の人々に衝撃をあたえました。武士のきびしい精神性だけでなく、庶民にも忠義の道の尊さを突きつけたからです。

主君への忠義をつらぬいた赤穂浪士47人は「義士」と称えられ、芝居や講談の『忠臣蔵』として長く愛されてきました。しかし、忠義とは単純な忠義心だけを意味していませんでした。もし暗君があらわれて愚かなふるまいをすれば、家臣が座敷牢に閉じ込める「主君押し込め」の慣行もありました。忠義はより大きい公益のためにこそあったのです。

このように忠義とは、自己の属する共同体を守るため、「私」をこえて「公」のために最善を尽くすことを意味します。幕末に日本が外国の圧力にさらされたとき、武士の忠義の観念は、藩の枠をこえて国家全体のために発揮されたのです。



赤穂浪士の討ち入り（兵庫・赤穂市立歴史博物館）

二宮尊徳と勤勉の精神

◎はたらきつつ学ぶ

二宮尊徳（幼名・金次郎）は1787（天明7）年、現在の神奈川県小田原市の農家に生まれました。父が病死したため、長男の金次郎が14歳で家督をつぎました。一家を支えながら金次郎は学問を忘れませんでした。『大学』などの漢籍（漢文で書かれた中国の書籍）を読みながら山で刈った柴や夜なべして編んだ草履を売り歩いたといわれます。戦前、政府はその勤勉・節約・忍耐の精神を学び広めるため、全国の小学校に金次郎の銅像を建てました。

◎「積小為大」の信念

16歳で母も亡くして一家は離散し、金次郎は伯父の家に預けられました。伯父は灯油を惜しんで夜の読書を禁じましたが、金次郎は自分でつくった菜種油を灯して勉強しました。金次郎は「積小為大」（小さいことでも積み重ねると大を為す）という信念で、何事も無駄にせず、工夫をこらしました。田植えのあとに捨てられた苗を拾い集め、植えて、何俵もの米を実らせました。

◎605町村の復興

農業指導者・経営者に成長した金次郎は二宮家を再建し、頼まれて小田原藩家老・服部家の財政を5年で回復させました。小田原藩主の命を受けた金次郎は6尺（182cm）、25貫（94kg）の巨軀をもつ



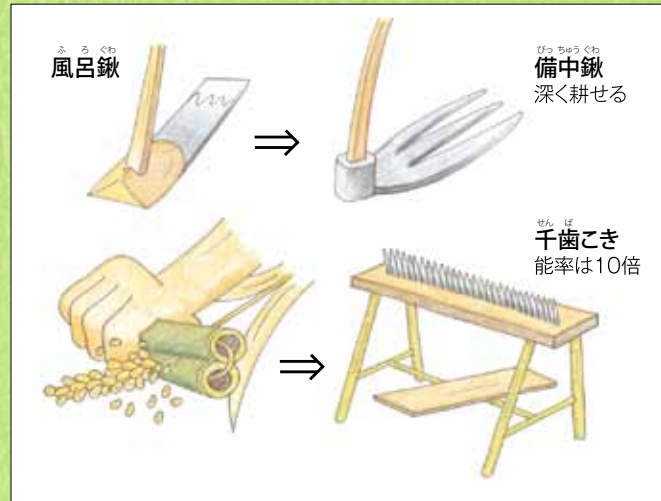
二宮尊徳（1787～1856）

て下野国桜町領（栃木県内）の新田開発や荒れ地の再生に駆け回りました。金次郎はみずから田畑に入って実地指導し、用水堰をつくり、治水を行い、橋をかけ、605町村を復興させました。天保の大飢饉では1人の餓死者も出ませんでした。その功績ははかりしれません。

二宮尊徳は単に勤勉を説いただけでなく、合理的な考えをもち、金銭の使い道をよく心得た財政家だったのです。スケールの大きい社会運動家でもありました。「徳を以って徳に報ゆる」という尊徳の精神は明治維新後も引きつがれ、近代国家建設のバックボーンとなりました。



江戸時代の代表的な農機具 (江戸東京博物館蔵)

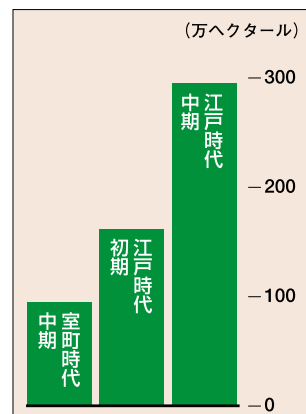


農機具の変化

42

農業・産業・交通の発達

江戸時代の前半に、農業・産業・交通はどのように発達したのだろうか。



田畑の面積の増加 (『土地制度史II』より作成)

1 今日、日本各地で見られる広々とした水田風景は、この大開発の時代に生まれた。

2 米の生産高は上がったが、年貢は据え置かれたため、実際の年貢率は収穫高の3割程度まで軽減した。

大開発の時代

平和な社会が到来し、人々は安心して生活の向上をめざしてはたらい。幕府や大名も、農地の拡大につとめ、干潟や河川敷などを中心に、新田の開発が大規模に行われた。江戸幕府が開かれてから100年の間に、全国の田畑の面積は、およそ2倍近くに増加した。

大開発にともない、田畑を深く耕せる備中ぐわ、脱穀のための千歯こぎが用いられるなど、農機具の改良も行われ、農作業の能率が向上した。肥料も、干鰯や油粕を購入して用いるようになり、土地の生産力が高まった。

農村における商品作物の栽培もさかんになり、染料の藍や紅花、油をとる菜種、織物の麻が生産された。18世紀には綿の栽培が全国に広がり、養蚕も普及した。

産業と交通の発達

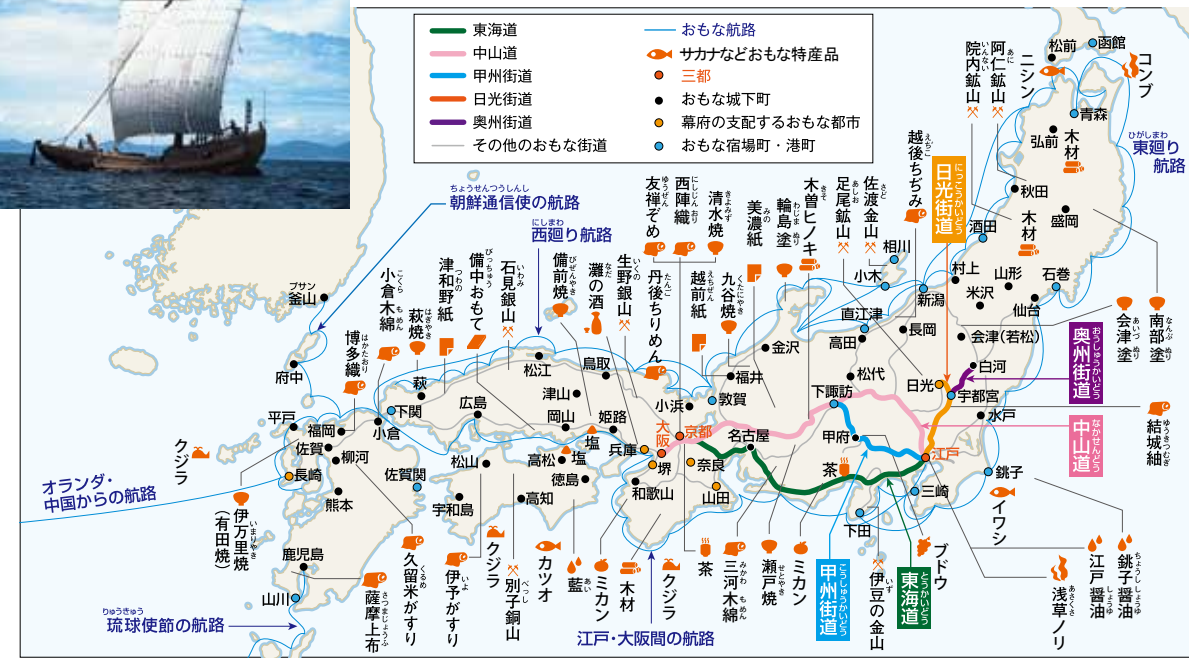
江戸をはじめ、各地で城下町の建設が進むと、家屋建築のための木材の需要が高まり、林業がさかんになった。

また、肥料の干鰯を大量に生産するため、房総(千葉県)では網を使ったイワシ漁がさかんになった。土佐(高知県)沖のカツオ・クジラ漁、蝦夷地(北海道)でのニシン・コンブ漁、瀬戸内海沿岸の製塩業も発達した。

鉱山の開発も進み、佐渡(新潟県)の金山、生野(兵庫県)の銀山、足尾(栃木県)や別子(愛媛県)の銅山が有名になった。幕府の統制のもと、金・銀・銅で貨幣がつけられ、銀・銅



菱垣廻船 近年復元されたレプリカで、実際に就航できる。(大阪・なにわの海の時空館蔵)



江戸時代の交通路と都市および各地の特産品

は国外にも輸出された。

家康が江戸幕府の始まりに計画した日本橋を起点とする五街道は約160年後に完成した。参勤交代のために日本橋から始まる一里塚を建て、ヒノキ・マツを植えて目印とし、2~3里ごとに宿場町を整備した。関所を置いて人々の通行を管理する一方、手紙を運ぶ飛脚の制度をつくり、通信の便宜をはかった。

三都の繁栄

江戸は「将軍様のお膝元」とされ、商人や職人が多数集まり、18世紀の初めには、人口100万をこえる世界最大の都市となった。

大阪は、米、木綿、醤油、酒などのさまざまな物産の集散地となり、「天下の台所」とよばれて栄えた。各藩は、大阪に蔵屋敷を置き、年貢米や特産品の売却を商人に委託した。大阪に集められた物産の多くは、菱垣廻船や樽廻船によって江戸に運ばれ、清酒や織物などは「下りもの」として珍重された。

京都は、「帝のおはすところ」として1000年の首都であり、神社、仏閣など古い文化を誇った。また西陣織や漆器・武具・蒔絵など、高級な工芸品を生産する手工業都市でもあった。

江戸・大阪・京都を合わせて三都といい、三都はたがいに競い合い、補い合って栄えた。

3 17世紀初頭、日本の銀輸出货量は年間200トンにも達したといわれ、同時期の世界の銀の総産出量の3分の1近くと推定する資料もある。



広島藩蔵屋敷(模型) 手前が堂島川で、蔵屋敷の内側まで「船入り」とよばれる入り江がつけられていた。(大阪歴史博物館蔵)

まとめにチャレンジ

江戸・大阪・京都の三都は日本を代表する大都市だったが、それぞれ機能が異なっていた。3つの町の特徴を示す言葉をあげて説明してみよう。



寺子屋のようす 一掃百態 渡辺華山筆 (愛知・田原市蔵)

寺子屋の教育

寺子屋では、読み・書き・算術に加えて、教訓、社会、地理、歴史、礼儀作法、実業などを教えた。女子には裁縫や活け花も教えた。寺子屋は、徳の育成を重んじた。孝行、正直、心のもち方の大切さを教え、敬語と言葉づかい、勉強のときの姿勢や、食事のとり方などの礼儀作法をしつけることに力が注がれた。教科書は往来物とよばれ、7000種類以上が今日でも残っている。寺子屋の教師は手習師匠とよばれた。全国の師匠の3人に1人が、女性だった。師匠は、全身全霊を傾けて教えた。

43

教育・文化の普及

江戸時代に、教育と文化はどのように全国に普及していったのだろうか。



フォン・シーボルト (1796~1866) は、ドイツの医師、博物学者。1823年にオランダ商館医として来日し、5年間の滞在中、江戸まで商館長の出府に随行し、多くの動植物を採集している。→P.141

寺子屋

桃山時代に日本を訪れたキリスト教宣教師は「日本では女子供まで字が読める」というおどろきの報告をしている。江戸時代になると庶民の子も読み書きを学び、後期には江戸の識字率は50~60%と世界最高のレベルにまで高まり、この当時、ロンドンやパリの識字率をこえていたといわれている。

江戸時代の庶民教育の場は寺子屋だった。寺や自宅を開放して僧侶や浪人らが教師役にあたり、寺子屋は全国に約1万5000軒以上あった。江戸や大阪の大きな寺子屋には、500人から600人の寺子がいた。男女とも7歳か8歳で入学し、4年から5年で修了した。

藩校と私塾

武士の子弟はそれぞれの藩校で学んだ。藩校は全国で280余あり、文武両道で鍛えられた。水戸の弘道館、長州の明倫館、薩摩の造士館など名門がたくさんあり、多くの逸材を世に送った。

そのほか、緒方洪庵の適塾、フォン・シーボルトの鳴滝塾、吉田松陰の松下村塾などの私塾が全国にあった。優れた学者のもとに向学心に燃えた若者たちが集まり、蘭学や医学などを懸命に学び、日本の近代化に貢献した。

おもな藩校と私塾一覧

設立	所在地	藩校
1641	岡山	花鳥教場
1697	米沢	興讓館
1719	萩	明倫館
1736	仙台	養賢堂
1755	熊本	時習館
1773	鹿児島	造士館
1784	福岡	修猷館
1789	秋田	明徳館
1792	金沢	明倫堂
1799	会津	日新館
1805	鶴岡	致道館
1841	水戸	弘道館



水戸の弘道館

設立	指導者	私塾 (所在地)
1648	中江藤樹	藤樹書院 (近江)
1709	荻生徂徠	護園塾 (江戸)
1817	広瀬淡窓	咸宜園 (日田)
1838	緒方洪庵	適塾 (大阪)
1857	吉田松陰	松下村塾 (萩)

(松陰が教育開始)

代表的な私塾

新しい学問の発展

即した実学が花開いた。

石田梅岩は私塾を開放し、勤勉・儉約・正直・孝行など庶民の生き方をわかりやすく説いた(石門心学)。本居宣長は『古事記』など日本の古典の研究を通して、儒教や仏教など「漢意」の影響を受ける以前の日本人の「大和心」の美しさを明らかにした。また、皇室の系統が絶えることなくつづいていること(万世一系)が日本が万国に優れている理由であると説き、国学の礎を築いた。

8代将軍の徳川吉宗はキリスト教と関係のない洋書の輸入を初めて許したため、ヨーロッパの学問をオランダ語で学ぶ蘭学が発展した。

華岡青洲は全身麻酔薬「通仙散」を開発し、無痛の乳がん手術に成功した。杉田玄白と前野良沢はオランダ語の解剖書を苦心して翻訳し、『解体新書』をあらわして外科医学に貢献した。平賀源内は独力で摩擦発電機・耐火布・寒暖計をつくり、天文学の麻田剛立は天明6年の日食を予言して的中させた。

伊能忠敬は蝦夷地をふくむ日本全国を歩いて測量し、初めて正確な日本地図をつくった。また、最上徳内らは千島列島まで足をのびして踏査した。

寺子屋などの庶民の教育の普及によって、全国で町人や農民の生活に



緒方洪庵 (1810~63) (大阪大学適塾記念館蔵)



本居宣長 (1730~1801) はるか古代の日本人の精神のありようを探求した。(三重・本居宣長記念館蔵)



『解体新書』の扉 1774 (安永3) 年出版。杉田玄白は人体の解剖図を見て西洋医学の正確さにおどろいた。(兵庫・神戸市立博物館蔵)

まとめにチャレンジ!

当時の藩校・寺子屋・私塾について説明してみよう。

正確な日本地図をつくった伊能忠敬

地球の大きさを知りたいという科学的探求の精神と、国防の必要が結びついて生まれた精緻な日本地図の物語。

◎50歳で天文学者に

弟子入り

伊能忠敬は1745（延享2）年、上総国小関村（現在の九十九里町）の網元の家に生まれました。

幼くして母を亡くし、18歳のときに佐原村の伊能家へ婿入りしました。伊能家は酒造業などを営んでいましたが、学問好きの忠敬は家業のかたわら和算や暦学に興味をもち、江戸から書籍を取り寄せて勉強しました。

50歳のとき、忠敬は家督を息子にゆずって江戸に出ました。そして幕府のお抱え天文学者・高橋至時の門をたたき、天文学や暦学の基礎を身につけました。

至時や忠敬は地球の子午線上の1度（南極と北極を結ぶ緯度1度）の長さを実測し、地球の大きさを知りたいという夢を抱いていました。そのチャンスは、思いがけなくやってきました。

当時、日本の近海には英・米・露などの艦船が出没しており、とくにロシアは樺太、千島、蝦夷地に頻りに姿をあらわしていました。1800（寛政12）年、幕府から蝦夷地の測量を命じられた忠敬は、助手たちや機器運搬の馬と人夫をひきいて江戸を発ちました。30日目にやっと蝦夷地に入り、箱館（函館）を基点にして東南海岸にそつ



量程車 動輪の回転数を歯車で数え、距離を測る。（千葉・伊能忠敬記念館蔵）



伊能忠敬（1745～1818）
（千葉・伊能忠敬記念館蔵）

で測量を開始しました。

◎命がけの測量

忠敬の導線法という測量術は、さまざまな器具を使って角度・距離を測りながら進んでいくものです。複雑な地形では縄を用い、平地では量程車をころがして測ります。忠敬は1歩が69cmという正確な歩幅で歩くことができたといわれ、歩きながら測定すると、効率よく1日平均4里（15.71km）ずつ進みました。日中は太陽、夜は恒星を目印にして位置を確認していました。

蝦夷地の測量は命がけでした。尖った大岩が立ち並ぶ海岸の難所を通り抜け、草鞋がすり切れるほどの距離を歩きました。

江戸にもどった忠敬は、蝦夷地の東南海岸部分と奥州街道の地図を完成し、幕府に提出しました。部分的ではありましたが、

伊能忠敬のつくった日本地図・大日本沿海輿地全図（現在）の日本地図（右下）と比較してみれば伊能忠敬の測量がきわめて正確だったことがわかる。（東京国立博物館蔵）

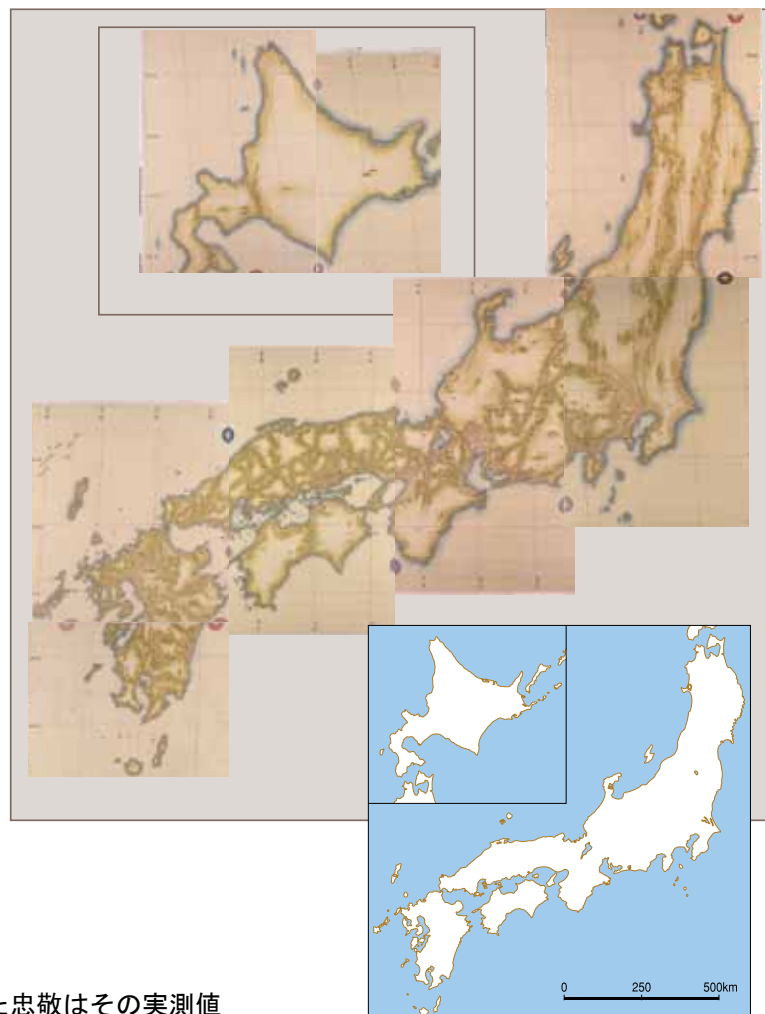
日本の国土の形と位置を初めて明らかにした画期的な実測図でした。

忠敬は地球の子午線1度の長さを28.2里（110.75km）と算出しました。その数値はのちに幕府が入手したフランスの天文学者ジェローム・ラランドの書いた『天文学』にある数値とまったく同じでした。

◎伊能図の完成

全国を測量して回った忠敬はその実測値をもとにして日本全図の作製にとりかかりました。しかし、その完成を見ないままに1818（文政元）年、74歳の生涯を終えました。忠敬が測量のために蝦夷地から九州まで歩いた約3万5000kmは、地球を1周するほどの長さでした。日本全図は幕府の暦局の人々によって1821（文政4）年に完成し、『大日本沿海輿地全図』、別名「伊能図」とよばれました。

幕末に来日したイギリス海軍の将校は、日本を後進国と侮っていましたが、伊能図を見て「西洋の技術も使わずに、な



んと正確なのか」とおどろき、測量は必要ないと引き上げてしまいました。

1828（文政11）年、オランダ商館の医師フォン・シーボルトが帰国時に伊能図の写本を持ち出そうとして発覚しました（シーボルト事件）。地図の国外持ち出しは国禁だったため、幕府天文方・書物奉行の高橋景保ら十数人が連座し、シーボルトは国外追放、景保は獄死しました。

伊能図は、和算の水準の高さ、科学をきわめようとする実証精神、困難にめげない不屈の魂の記念碑なのです。



町火消し 家屋が密集する江戸の町にとって、一番怖いのは火事だった。出火に備え町人自身による防火組織が生まれた。(東京・消防博物館蔵)



徳川吉宗 (1684~1751) 江戸徳川家の直系が絶えたため、紀州藩主から8代将軍となった。(東京・徳川記念財団蔵)

44

幕府の政治改革

18世紀からの経済状況の変化に、幕府はどのように対応したのだろうか。

1 吉宗は米を中心とする経済を重視したので、米将軍とあだ名された。新田開発により一定の増収はあったが、そのぶん米価が下がるというジレンマに悩まれ、改革効果はさほどなかった。



田沼意次 (1719~88) 田沼意次は、吉宗の引退後、老中に取り立てられた田沼意次は、吉宗と反対に商業・流通の活性化によって財政を豊かにしようと考えた。

享保の改革

18世紀に入ると、年貢米に依存する幕府財政は、米価に左右されて絶えず不足がちで、旗本・御家人への俸禄にもこと欠くようになった。

1716 (享保元) 年、8代将軍となった徳川吉宗は「世直し」をとえ、率先して粗衣粗食を実行して、家臣や町人に儉約令を出した。諸大名には石高の100分の1の米を幕府に上納させる「上米の令」を発した。さらに新田開発を進め、米の増収につとめた。百姓には作柄にかかわらず5公5民の年貢を義務づけて幕府の財政立て直しに成果をあげたが、百姓の負担は増えた。1732 (享保17) 年の大飢饉では、西日本を中心に一揆と打ちこわしがおこった。

吉宗は目安箱をもうけて庶民の意見を吸い上げ、町奉行に大岡越前守忠相を抜擢して改革にあたらせた。大岡の進言で吉宗は、公事方御定書をつくって裁きを公平にし、貧民のために小石川養生所をもうけ、町火消し「いろは四十八組」を組織した。これら将軍吉宗の新しい政治を享保の改革という。

田沼時代

幕府の緊縮政策はしばしば景気の停滞を招いた。1772 (安永元) 年、吉宗の引退後、老中に取り立てられた田沼意次は、吉宗と反対に商業・流通の活性化によって財政を豊かにしようと考えた。



青木昆陽 (1698~1769) (早稲田大学図書館蔵)

江戸中期、儒学と蘭学に通じた青木昆陽は、関東一円に甘藷(サツマイモ)を普及させた功績で知られる。将軍吉宗は昆陽に、飢饉に備え天候不順でも安定して収穫できる作物の研究を命じた。甘藷は薩摩で栽培されている根菜類だが、低温にも強かった。これに着目した昆陽は、薩摩から種イモを取り寄せ、農園で試作をくり返し、やせた寒冷地での栽培に成功した。幕府は甘藷の栽培を奨励し、そのおかげで多くの人々が天明の大飢饉などを生き延びた。昆陽は「甘藷先生」とよばれ敬愛された。



上杉鷹山 (1751~1822) (早稲田大学図書館蔵)

米沢藩(山形県)藩主上杉鷹山は、藩財政を立て直した名君として知られる。鷹山はみずから粗衣粗食につとめ、武士である家臣に農作業を命じた。鷹山は和紙・絹織物・漆器の産業をおこし、藩財政を再建した。鷹山は以下の家訓をのこした。
①藩は代々引きつぐもので、現藩主の私物ではない、②民は藩に属するもので、藩主の私物ではない、③藩主は民のために立てた者で、藩主のために民があるのではない。「なぜならば、なさねばならぬ何事も、ならぬは人のなさめなりけり」という言葉も有名だ。

田沼は商人組織の株仲間を公認し、彼らの利益の独占を認めるかわりに多額の運上金(営業税)を徴収した。新田を増やすため、印旛沼(千葉県)の干拓に商人の資金を出させた。また、蝦夷地(北海道)を開発し、海産物の流通ルートを開いた。

5 1783 (天明3年)、浅間山が大噴火した。そのため天候不順による大飢饉が発生し、100万人近い餓死者が出た。(天明の大飢饉)。各地で一揆がおこり、田沼は権力争いの中で老中をやめさせられた。田沼意次が政治の中心にいた約20年間を田沼時代という。この時期、青木昆陽や上杉鷹山のように、さまざまな改革を行った人々もいた。

寛政の改革

1787 (天明7) 年、11代将軍家斉のとき、幕府は白河藩主・松平定信のとき、幕府は白河藩主・松平定信を老中首座に任命した。定信は凶作や飢饉に備えて農村に備蓄米制度を定めた。一方、都市に流れこんだ百姓に資金をあたえて帰村させ、農村の再生につとめた。さらに借金苦の旗本や御家人を救うため、商人からの借金を帳消しにさせた。そのかわり武士には儉約を徹底させ、学問・教養・武術を奨励した。昌平坂学問所を幕府直轄として朱子学を学ばせ、それ以外を異端の学とした。こうした6年間にわたる定信の政治を寛政の改革という。しかし、株仲間を制限するなどの統制経済はふたたび景気の停滞を招き、庶民の不満がつのった。



松平定信 (1759~1829) 白河藩主で、8代将軍吉宗の孫。凶作や飢饉への備えを指導し、天明の大飢饉のときも藩内には餓死者を出さなかった。(福島・南湖神社蔵)

2 江戸町人は幕府への意見や不満を目安箱とは別に狂歌・落首であらわした。定信の登場には「田や沼やよごれた御代を改めて清くぞする白河の水」と町人は歓迎した。しかし、さかんに文武を奨励する定信にいやげがさしたか「世の中にか(蚊)ほどうるさきものはなしぶんぶぶんぶ(文武文武)と夜も眠れず」「白河の清きに魚の住みかねてもとの濁りの田沼恋ひしき」という狂歌も詠まれた。

まとめにチャレンジ!

享保の改革、田沼時代、寛政の改革について箇条書きにしてみよう。



芝居小屋 歌舞伎を上演する常設劇場。小屋といっても常設の立派な建物で、芝居茶屋から拵席に料理が運ばれたり、花道で役者を間近に見せたりなど、観客を楽しませる工夫を次々に考え出した。(江戸東京博物館蔵)



富嶽三十六景・神奈川沖浪裏
富嶽三十六景は、さまざまな距離、方角から見た富士山を素材として連作にしたもの。葛飾北斎画(東京国立博物館蔵)



東海道五十三次・庄野 歌川広重画(東京国立博物館蔵)



おかげ参り 伊勢神宮への集団参拝のようす。(文政度御陰群参絵巻 神宮徴古館農業館蔵)

45

化政文化

江戸を中心に開花した化政文化には、どんな特徴があったのだろうか。

花開く町人文化

江戸時代の文化の盛衰は幕府の経済政策と密接なかかわりがあった。寛政の改革と19世紀前半の天保の改革では財政再建のため、幕府が緊縮財政をとり節約を奨励したので経済が勢いを失った。

しかし、2回の改革にはさまれた文化・文政の25年間は緊縮政策がゆるみ、経済の活性化にともなって町人文化が花開いた。これを化政文化とよぶ。その文化の中心は巨大な消費都市の江戸であった。

俳諧では与謝蕪村が斬新な感覚で自然を詠み、小林一茶は田園の暮らしを温かく平易な言葉で詠んだ。町人たちの間では、政治や世相を風刺する川柳や狂歌がはやった。また草双紙とよばれるさし絵いりの本がはやり、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』や式亭三馬の『浮世風呂』など、庶民の暮らしをユーモラスに描き出した滑稽本が好まれた。滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』や上田秋成の『雨月物語』など歴史や伝承を素材にした読本もよく読まれた。子供たちは桃太郎や舌切雀のお話に夢中になった。子供向けの本は朱色の表紙が使われていたので赤本とよばれた。

このような大衆文芸の広がりをもたらしたのは貸本屋であった。19世紀の初め、江戸には600軒以上の貸本屋があり、貧

しくて本に親しめる時代が来ていた。また、今日の新聞にあたる瓦版もあらわれ、市中でおきた事件や天変地異を知らせた。

人々はあくせくすることなく、落語や人形浄瑠璃、歌舞伎、相撲を楽しんだ。観光旅行をかねた伊勢詣でや四国八十八か所巡礼がさかんになり、旅の道中で見聞したさまざまな情報が全国に広がるきっかけとなった。

浮世絵の海外への影響

絵画では多色刷りの版画技術が発達し、浮世

絵(錦絵)の黄金時代をむかえた。喜多川歌麿は美人画に筆をふるい、東洲斎写楽は個性的な役者絵を多く残した。写楽は活躍期間が短く忽然と消えたため、謎の画家とされている。その後、葛飾北斎が奇抜な構図と華麗な色彩で「富嶽三十六景」など風景画の傑作を描き、北斎の影響を受けた歌川広重は「東海道五十三次」「名所江戸百景」など雄大な風景画で名をなした。浮世絵は19世紀後半、ゴッホらフランス印象派の画家にも大きな影響をあたえた。

庶民に人気があった浮世絵に対し、武士や教養のある町人が好んだのは、池大雅、円山応挙らの、文人画とよばれる渋く静かな水墨画であった。

江戸時代の版元(耕書堂)北斎画「鳶屋の店先」(東京・たばこと塩の博物館蔵)

1 安藤広重ともいう。

まとめにチャレンジ!

江戸時代には、大衆が広くいろいろな情報を受け取っていましたが、その手段となったものを3つあげてみよう。

町人が育てた歌舞伎

◎河原の小屋掛け

江戸時代の初期、京都・鴨川の四条河原では、出雲阿国のかぶき踊りが上演され、人気をよんでいました。やがて阿国を真似た踊りを見せる芝居小屋がぞくぞくと生まれました。芝居小屋は河川敷に建てられ、屋根もない粗末なものでしたが、現代につづく大衆芸能の歌舞伎はここから始まったのです。大阪は道頓堀、江戸は京橋川の河原が歌舞伎の中心地でした。

町人は、荒々しく活力あふれる踊りに魅せられ、芝居小屋は大繁盛しました。やがて、歌舞伎は市中の芝居小屋へ進出するまでになりました。ところが、幕府は風紀の乱れを恐れ、演目を統制し、違反すれば市外追放にしました。享保の改革や寛政の改革など、幕府が儉約政策をとったときは、歌舞伎の上演禁止令を出しました。

しかし、歌舞伎は町人に支持され、いくらか取りしまっても不死鳥のようによみがえりました。江戸・大阪・京都には常設館がつくられました。幕府は、女役も男優が演じることを条件に上演を認め、それが今日にいたる歌舞伎の伝統となりました。

◎東の荒事、西の和事

歌舞伎が大きく成功したのは近松門左衛門や鶴屋南北らの台本作家と、歌舞伎の名優たちの創意工夫のたまものでした。



くまど 隈取り



はんしろうまげ 半四郎髷

江戸の市川團十郎は、顔を赤・青・黒で隈取る化粧をし、舞台を踏みとどろかす激しい所作と大見得を切る芸で観客を魅了しました。これは荒事とよばれ、代表作には「鳴神」「勸進帳」などがあります。

関西の坂田藤十郎は、和事とよばれる人情話をしっかりと演じて客の心をつかみました。和事の代表作には「曾根崎心中」「冥土の飛脚」などがあります。

こうした中からやがて年間出演料が1000両をこす役者が生まれ、千両役者とよばれました。

常設館には観客席にも屋根ができ、花道・回り舞台・引幕などの工夫がこらされました。人気役者は人々のあこがれの的になり、役者絵が飛ぶように売れました。市川海老蔵が好んだ海老茶色、佐野川市松の市松模様、岩井半四郎の半四郎髷など役者のファッションが流行しました。

西洋のオペラやバレエは王侯貴族の庇護を受けて発展し、能楽は武士階級によって保護されてきましたが、歌舞伎は町人たちが幕府の取りしまりにも屈せず育てた大衆芸能だったのです。

エコロジー都市 江戸

◎百万都市の江戸

江戸は開府当時は15万人ほどといわれていたが、120年後には100万人をこえました。当時、ヨーロッパ最大の都市フランスのパリが54万人ですから、江戸は世界一の大都市でした。

これだけの住民が暮らすための衣・食・住はどうしていたのでしょうか。江戸の町は膨大な人口を養うために資源を無駄にしない合理的な都市機能を備えていたのです。

◎完備された上水道

家康は1590（天正18）年から井之頭池を水源とする水道敷設を命じ、これがのちに神田上水とよばれました。多摩川から引いた玉川上水と合わせると、主要な上水道だけで総延長が150kmになりました。この時代、イギリスのロンドンは江戸より約30年遅れて30kmの上水道ができました。パリ市民は19世紀末まで生活排水で濁ったセーヌ川から汲みあげた水を買って生活していました。

江戸の下水道は未発達でしたが、糞尿は農家が肥料として買い取り、金銭や作物で支払っていました。民家には大小便に分けたトイレがあり、品質ごとに単価が異なりました。栄養価の高い大名屋敷の糞尿は高価で取り引きされ、汲取り権の入札をする



つみ うたがわひろしげ 玉川堤（歌川広重画）

専門の間屋までありました。

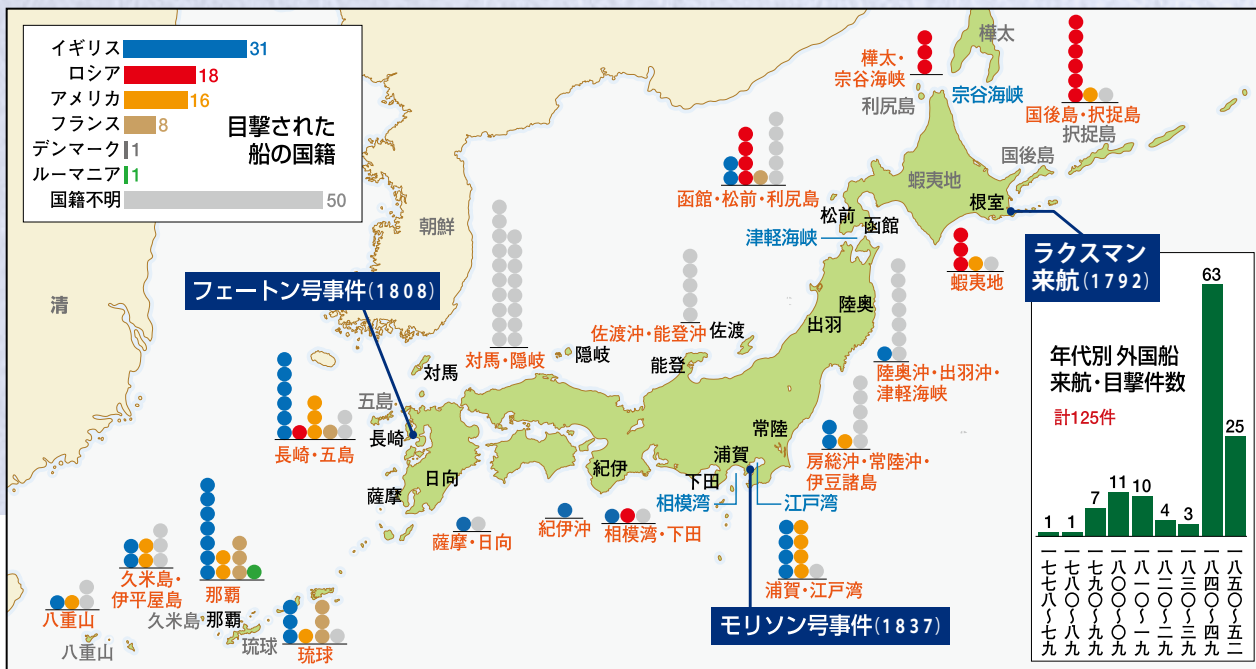
読本作家であり『南総里見八犬伝』を書いた滝沢馬琴は、その日記に汲取り権について「1人あたり年間干し大根50本」と記しています。

◎無駄のない資源再生システム

江戸市中のゴミは定期的集められ、船で運ばれて、江戸湾の埋め立てに使われました。また、古い帳簿などの紙クズや、こわれた鍋、包丁、傘、釘、茶碗にいたるまで回収し、修理して再利用しました。

衣類は貴重品なので何度も仕立て直されました。古着商が日本橋や神田川べりに軒をつらねて繁盛し、その組合には行商人もふくめて1100人も加盟していました。

江戸時代はこのように高度に発達したりサイクルをふくむエコロジー社会でした。どんな不作のときも米価は2倍をこえず、そば代も銭湯代も200年間据え置きという安定した社会がつづいたのです。



欧米諸国の船が目撃された数 1778~1852年 (講談社『再現日本史』より作成)

46

幕府政治の動揺

外国船の接近と、国内の飢饉や反乱によって、幕府政治の動揺はどのようにあらわれたのだろうか。

- 1 小林一茶の俳句「春風の国にあやかれおろし舟」は、レザノフの来航を背景にしている。
- 2 そのため、1837年、アメリカの商船モリソン号が日本人漂流民を届けるため浦賀(神奈川県)にやってきたとき、幕府はこれを打ちはらった(モリソン号事件)。→P. 158
- 3 陽明学は明の王陽明が唱えた儒学の一派。社会の不正に対し、行動することを重んじた。この学徒には、中江藤樹、熊沢蕃山がいる。→P. 133

外国船の接近

18世紀の末ごろから、日本列島の海域に欧米諸国の船が出没するようになった。ロシアはしばしば日本に接近を試み、1792(寛政4)年にラクスマン、1804(文化元)年にはレザノフが派遣されて幕府に通商を求めた。幕府が鎖国を理由に拒否すると、樺太や択捉島にある日本人の居留地を襲撃した。この報告が届くと、国内ではロシアに対する危機感が高まった。

1808(文化5)年、イギリスの軍艦が長崎港に侵入し、日本人をおどろかせた(フェートン号事件)。その後、イギリスやアメリカの船が沿岸に出没したため、幕府はますます鎖国体制を強めて1825(文政2)年、異国船打払令を出した。

天保の改革

19世紀前半の天保年間にはしばしば凶作に見舞われた。1837(天保8)年、多くの餓死者が出た大阪では、陽明学徒の大塩平八郎が豪商らの米の買い占めに怒り、決起した。町人や百姓をひきいて米商人をおそい、米や金を強奪して貧しい人々に分けあたえた。だが、暴動は1日で鎮圧され、大塩は自害して果てた。人々は、大塩の義挙に涙し、幕府は大塩が大阪町奉行所の元与力だったことに大きな衝撃を受けた(大塩平八郎の乱)。

1841(天保12)年、老中首座になった水野忠邦は、農村再



大塩平八郎 (1793~1837)
大塩が米の買い占めを批判した相手の大阪町奉行は老中・水野忠邦の弟だった。暴動が、大砲まで持ち出す大がかりなものだったことも幕府の衝撃を大きくした。(大阪歴史博物館蔵)



大塩の乱で燃える大阪の町 (出潮引汐奸賊聞集記)



水野忠邦 (1794~1851)
(首都大学東京図書情報センター蔵)



印旛沼の干拓 忠邦は、外国船による江戸湾封鎖に備え、房総半島の銚子(千葉県)から江戸へいたる水路を開こうと印旛沼の干拓を行った。「印旛沼保定記」(東京大学史料編纂所蔵)

海防論の展開

建と商業抑制に取り組んだ。人返しの法をつくって都市の農民を農村に帰し、農民が商業に手を出すことを禁じた。物価を下げるため株仲間の解散を命じ、儉約令を出して歌舞伎や大衆向け文芸を取りしまった。これを天保の改革という。忠邦は歳入を増やすため江戸・大阪周辺の領地を幕府直轄地にして大名・旗本を国がえにしようとしたが、強引すぎるやり方は反発を買った。忠邦の政治は2年あまりしかつづかず、かえって幕府の権威は傾いた。

この時期、欧米諸国の接近に脅威を感じて、国防を説く人々が出てきた。林子平は『海国兵談』をあらわし、江戸湾がロンドンのテムズ川と海でつながっていると述べて、海防論を展開した。水戸藩の儒学者、会沢正志斎は、將軍後見職の一橋慶喜(のちの15代將軍)に、結束して外国と戦う姿勢を示すよう説いた。蘭学者の高野長英は、異国船打払令を批判して投獄され、渡辺華山も幕府を批判して幽閉された(蚕社の獄)。

一方、国防への関心が高まるとともに、日本の周辺地域の探検も進んだ。間宮林蔵は幕府の命で蝦夷地(北海道)から樺太にかけて踏査し、新たな海峡を発見した(間宮海峡)。これにより樺太が島であることが明らかになった。

4 財政が困窮していた薩摩藩(鹿児島県)と長州藩(山口県)でも改革が行われた。これらの藩では、下級武士からも有能な人材を登用し、商人からの借金を棒引きにするとともに、特産物の生産を奨励した。藩財政の立て直しに成功した薩長両藩は発言力を強め、幕末には幕府に対抗する勢力になっていった。

まとめにチャレンジ!

幕末、日本列島近辺に、ひんぱんに外国船が出没したが、それに対する幕府の対応を書いてみよう。

浮世絵とジャポニスム

世界で花開いた江戸の文化

◎浮世絵と日本ブーム

1878（明治11）年にパリ万国博覧会が開かれ、そこで日本の浮世絵が紹介されると、空前の日本ブームが巻きおこりました。印象派の画家たちは、浮世絵の明るい色彩や大胆な構図や線描に魅了され、熱心に模写しました。モネは、自宅に池や太鼓橋のある日本庭園をつくり、水面の睡蓮や生い茂る草花を描きました。



歌川広重・画「亀戸梅屋敷」(左)と、それを模写したゴッホの梅の木の絵(右)

浮世絵の影響は表面的な日本趣味や技法だけにとどまりません。印象派は観念的だった宗教画を否定し、人々の生活や自然の中に美を見出そうとしました。ありのままの人間や自然の姿を題材にした浮世絵が大きな影響をあたえたのです。

このように、日本の芸術が西洋に与えた影響をジャポニスム（フランス語で「日本流」）といいます。ジャポニスムはその後、ポスターやガラス工芸など、西洋美術の多様な分野におよびました。

◎ゴッホと歌川広重

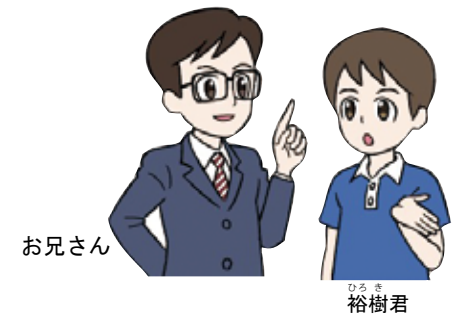
上の2枚の絵を見てください。左は、歌川広重の「亀戸梅屋敷」（1856～58年ころ）で、右は1887（明治20）年のゴッホの模写です。この年に、ゴッホが描いた

たのがこの章の扉ページにある「タンギー爺さん」です。背景にある6枚の浮世絵は、画商のタンギー爺さんの壁に貼ってあったものと思われます。6枚のうち、上段の真ん中と右が広重の絵です。ゴッホは弟テオ

「印象派の画家たちはみな日本の絵を愛し、影響を受けている。私たちはフランスの日本人だ」

明治の日本人は身近にある浮世絵の価値を知らず、輸出する陶磁器の包み紙として海をわたったものもありました。パリ画壇に強い衝撃をあたえたのは、陶磁器よりもその包み紙だったのです。西洋美術を必死で学んでいた明治の日本人は、自国の伝統美術の価値を西洋人の目で再発見したのでした。

近世とはどんな時代か



■時代区分についての兄弟問答

弟 近世は、戦国時代から江戸時代の末までだね。鎌倉幕府や室町幕府と同じ武家政権だし、中世とは何が違うんだろう？

兄 違いはたくさんあるけど、農村の利害や、家臣団の要望を調整する戦国大名の時代が始まったんだ。

弟 戦国大名が「領国経営者」タイプのリーダーだった、という話につながるんだね。

兄 江戸幕府の職名には、「老中」とか「年寄」とかあるだろ。農村社会のリーダーを「老」「年寄」とよんだ名残りだよ。

弟 江戸時代は農村の自治を認めたの？

兄 全国に約260の藩があったが、各藩とも主に農村の政務は有力な農民にまかせて、大名は治安の維持や大規模開発を受けもったんだ。

弟 しかも、戦争もないし、鎖国してたし、安全な国だったんだよね。だから、旅にも出られたし、商売も繁盛。

兄 そうだな。商工業の発達によって町人が豊かになったおかげで、絵画・茶道・陶器・漆器などの工芸、俳諧・人形浄瑠璃・歌舞伎など、今に残る庶民の文化が花開いたんだ。

弟 学校もたくさんあったんだよね。たしかキリスト教に無関係なら洋書も輸入できたんでしょ。衣食住もリサイクルして、自給自足ができて平和で…。黒船が来なければ、今も江戸時代がつづいていたのかな？

■時代比較の問題

- (1) 秀吉の刀狩を基準に、①刀狩以前の時代、②刀狩以後の時代、に分けると、どのような違いがあるだろうか。
- (2) 鎖国を基準に、江戸時代を、①鎖国以前、②鎖国以後、の2つの時代に分けて、それぞれの時代の特徴をあげてみよう。

■人物比較

キリスト教を優遇した織田信長と、鎖国政策を実施した徳川家光の違いを、まとめてみよう。

■「ひとこと」作文

近世の時代を学んで、あなたは何にもっとも強く印象づけられましたか。

近世とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」にあてはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。

<例> 鎖国 平和 町人文化

■意見交換会

- (1) 江戸時代は200年以上にわたって、平和な時代がつづきました。そういう社会をもたらした要因をあげてみよう。
- (2) 江戸時代に花開いた町人文化は、政治や経済とどのような関係があるのだろうか。考えを出し合ってみよう。

▶100字用語解説

歴史豆辞典 (第3章のまとめ)

せんごくだいみょう 戦国大名	15世紀 ～ 16世紀	ぼくふ 幕府にたよらず、みずからの力で一国を支配する新しい型の領主。戦国大名は領国内の武士を家来に組み入れ、強力な家臣団をつくり、ほかの大名との戦いに備えた。こうしてたがいにはげしく争った時代を戦国時代という。
トルデシヤス 条約	1494年	トルデシヤス条約は大西洋でのスペインとポルトガルの活動範囲を東西に分けるために取り決めた条約。東半球で発見されたものはすべてポルトガル王に、西半球で発見されたものはすべてスペイン王に属すると決め、たがいの勢力圏とした。
てっぽうでんらい 鉄砲伝来	1543年	戦国時代、日本にきた最初のヨーロッパ人によって伝えられた。国内の生産が始まると、鉄砲は新兵器として注目され、それまでの戦闘の方法を大きく変えて、全国統一を早めるという結果をもたらした。
ほんのうじ 本能寺の変	1582年	京都・本能寺でおこった事変。全国統一への道を切り開いた織田信長が、家臣の明智光秀にそむかれ本能寺で自害した。光秀は同じく信長の家臣だった豊臣秀吉に討たれ、信長の全国統一の道は秀吉によって受けつがれ完成された。
たいこうけん ち 太閤検地	1582年～	豊臣秀吉(太閤)が行った検地。各地の米の収穫高と土地の等級を示す検地帳を作成し、農民に土地の所有権を認めた。兵農分離が進み、農民はその土地を治める大名などに年貢を納めることになった。
ちようせんしゅつべい 朝鮮出兵	1592年 ・ 1597年	全国統一後の秀吉による朝鮮への出兵。緒戦は優勢だったが、李舜臣の水軍や明の援軍などもあって敗勢となり兵を引いた。その後ふたたび出兵したが、秀吉の死により引きあげた。この2度の出兵により豊臣氏の支配はゆるいだ。
せき が はら 関ヶ原の戦い	1600年	秀吉の死後、徳川家康が、西国を中心とする対抗勢力を関ヶ原で破った戦い。家康は秀吉によって領地を東海地方から関東地方に移されていたが、そこで力をたくわえ、多数の武將を味方につけ、石田三成などの西国勢を打ち破った。
え ど ぼく ふ 江戸幕府の成立	1603年	関ヶ原の戦いで勝利した家康が領地である江戸に開いた幕府。朝廷から征夷大将軍に任じられて江戸幕府を開いた家康は、さらに大阪城を攻めて豊臣氏をほろぼし、以後15代にわたって全国を統治した。この時代を江戸時代という。
ぶ けい しよ ぼつ と 武家諸法度	1615年	幕府の統治のために定めた決まりごと。無断で城を改築したり、許可なく大名家同士で婚姻することを禁じた。大名家に不始末があれば、領地を没収するお家取りつぶしや、領地を入れかえる国がえなどを行った。
さ じ こ く 鎖国	1639年	外国から国を守り、キリスト教の影響を排除するためにとられた制度。キリスト教徒や百姓などがおこした島原の乱以後、幕府はキリスト教の取りしまりをいっそう強化するとともに、貿易と出入国をきびしく制限した。
きやうほう 享保の改革	1716～ 1745年	第8代将軍・徳川吉宗が、その在位中の約30年にわたって行った新しい政治。吉宗は大名や旗本に儉約令や上米の令を出したほか、新田開発を奨励して幕府財政を立て直した。また、目安箱をもうけるなどさまざまな改革を行った。
た ぬま お き つ ぐ 田沼意次の政治	1772～ 1786年	老中・田沼意次の行った政治。発展する商業・流通に着目して幕府財政を豊かにしようとした。商人から運上金をおさめさせ、印旛沼の干拓や蝦夷地の開発を試みた。意次が政治の中心にいた時代を田沼時代という。
かんせい 寛政の改革	1787～ 1793年	幕府から老中に任命された白河藩主・松平定信が行った政治。定信は凶作や飢饉に備えて農村に倉を設けさせ、農村再建につとめた。武士には学問を奨励し、昌平坂学問所を幕府直轄とし、旗本に朱子学を学ばせた。
お おしおへい は ち ろ う 大塩平八郎の乱	1837年	元大阪町奉行所の役人だった大塩平八郎が町人や百姓をひきいておこした乱。凶作による飢饉で、大阪でも餓死者が出るなか、大商人の米の買い占めに怒った大塩平八郎が、米や金を貧しい者に分けあたえようとした。
てん ぽ う 天保の改革	1841～ 1843年	老中首座となった水野忠邦の行った改革。忠邦は松平定信以上に徹底した農村再建と商業抑制に取り組んだほか、物価を下げるため株仲間解散を命じた。また、儉約令を出し、歌舞伎や大衆向けの文芸も取りしまった。

第4章

近代の日本と世界 (I)

ばくまつ めいじ
幕末から明治時代



みやこじま
沖縄県の宮古島にある
せきひ
石碑だそうよ。

「勇氣」「決断」と書いてある。
どうということかしら？



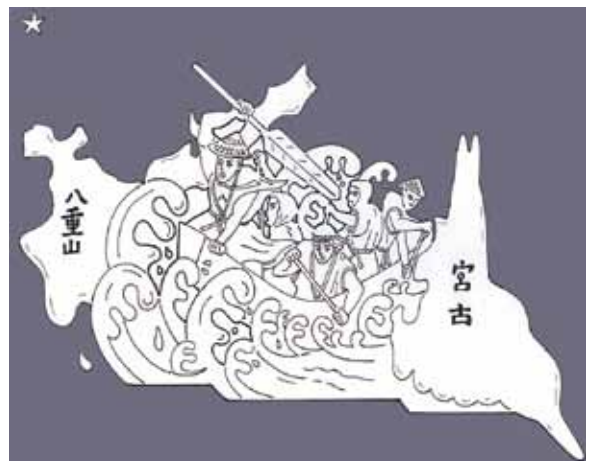
ふみこ
史子さん

久松五勇士記念碑 (写真提供 沖縄・宮古島市・市役所)

5人の男が小舟に乗って、
あらなみ
荒波をこいでいる。
やえやま
宮古から八重山へ行く
という意味らしい。
かがや
星が輝いているね。



まさと
正人君



石碑の絵を拡大した絵



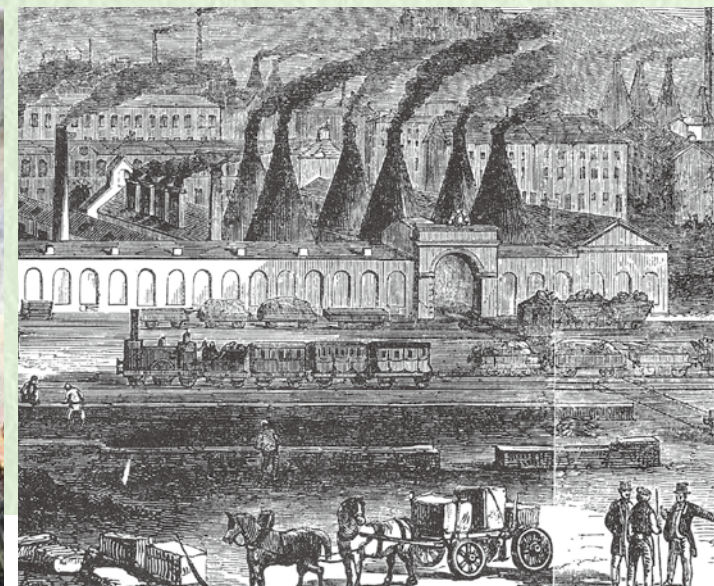
イギリスの名誉革命(1688年) 議会にむかえられた国王が、即位に先立ち、議会の決めた法を守ることを約束している。



アメリカの独立宣言(1776年) アメリカ東海岸の13のイギリス植民地の代表が集まり、本国からの独立宣言に調印している。



バスチーユ牢獄を襲う市民(1789年) 重税に苦しむパリ市民が、圧政の象徴であるバスチーユ牢獄を襲撃した。



イギリスの産業革命 1840年ごろのシェフィールドの製鉄工場。煙突から出る煙で空がどんより曇っている。

47

市民革命と産業革命

ヨーロッパの近代国民国家はどのようにして生まれたのだろうか。

- 1 憲法によって君主の権限を制限し、国民が選んだ代表が政治を運営する国家のしくみ。
2 国家の権力を、立法・司法・行政の3つに分け、それぞれ独立させるしくみ。



ナポレオン (1769 ~ 1821) 国内の不安定な政局と対外戦争の危機のなかで、フランス国民は強力な指導者を求めた。軍人のナポレオンはこれにこたえて台頭し、一時は皇帝の位についた。

市民革命

17世紀後半からの約100年間に、ヨーロッパの政治に新しい動きがおこった。イギリスでは、政治や宗教の対立から、国王と議会の間で長い抗争がつづいていた。1688年、宗教政策などをめぐって対立が激化し、議会はオランダから新しい国王をむかえたが、旧国王は外国に亡命し、流血を見ることはなかった。これを名誉革命という。これによって、議会制度の基礎が固められ、イギリスは立憲君主制の国家となった。

イギリスの植民地だったアメリカは、本国の国王から課せられる重税と弾圧に抗議して、武器をもって独立戦争をたたかった。1776年、アメリカは独立宣言を発表、その後、合衆国憲法を制定し、三権分立の国家体制を確立した。

1789年、重税に苦しむパリ市民がバスチーユ牢獄を襲撃したのがきっかけとなり、国王や貴族に対する都市市民や農民の反乱が各地でおこった。フランス革命の始まりである。革命勢力は身分の特権を廃止し自由・平等をうたう人権宣言を発表した。革命勢力は、自分たちの主張に従おうとしない国王・王妃を処刑するなど過激化していった。革命の混乱の中で70万人の国民が殺されたといわれている。フランスの周辺諸国は革命の広がりを恐れて干渉した。それに対抗してナポレオンが権力を

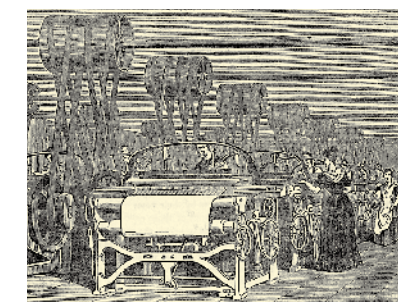
をにぎり、ヨーロッパ諸国を一時的に支配した。これによってフランス革命の精神がヨーロッパに広がった。これらの政治的 reforms は、人々が平等な市民(国民)として活動する社会をめざす近代国民国家を生み出したので、市民革命とよばれている。

ヨーロッパの産業革命

18世紀になると、ヨーロッパの人々の生活に変化がおこった。人々は、従来の毛織物にかわって、インド産の木綿を原料にした軽くて丈夫な綿織物の衣服を好んで着用するようになった。綿製品は、衛生的で安価なことでも人気があり、簡単な道具を用いた手作業では、生産が間に合わないほどだった。

このような需要を背景に、18世紀の後半にイギリスでは、綿糸をつくる紡績業や、綿糸で布を織る綿織物業の分野で、すばやく大量に製品を製造できる機械が次々と発明された。また、石炭を燃料とする蒸気機関も改良され、紡績機や織機などの動力として用いられるようになった。人々は大きな工場に集められ、機械のそばで集団で働いた。生産力は飛躍的に増大し、社会の需要を満たすとともに、新しい需要をつくり出していった。このような生産方法の大革命を産業革命という。

産業革命は、19世紀にはフランス、ドイツ、アメリカにも広がっていった。市民革命や産業革命を達成した欧米の国々は、世界各地に進出する動きを加速させた。



ランカシャーの織物工場 蒸気機関の導入でさまざまな生産工程が動力化された。

かつてのイギリスは、田園が広がり、馬車がのどかに行きかう農業中心の社会だった。しかし、産業革命の結果、黒い煙を吐き出す工場が建ち並ぶ都市が出現し、鉄道も発達して、工業中心の社会に変化していった。

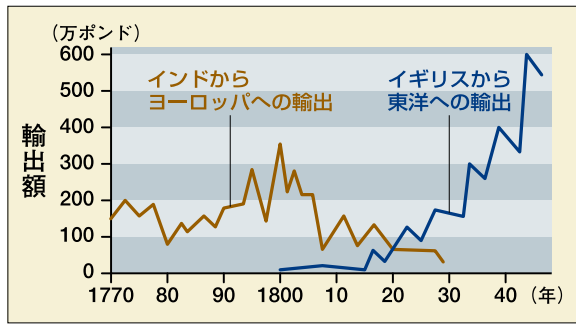
まとめにチャレンジ!

①市民革命について、「国王」「市民(国民)」の言葉を使って、②産業革命について、「機械化」「生産力」の言葉を使って説明しよう。



19世紀後半のヨーロッパ列強のアジア進出地図 貿易の拠点となる港湾都市もヨーロッパ各国がそれぞれ確保している。

→セポイの反乱 インドを支配するイギリス人をインド兵がおそったが、鎮圧された。イギリスはインドを植民地にした。



綿織物の輸出額の推移 産業革命とともに、インドからの製品輸出はほとんど消滅している。



48

欧米列強の アジア進出

欧米列強は、どのようにアジアに進出したのだろうか。

1 1600年に設立された、イギリス国王からアジア貿易の独占権をあたえられた会社。

2 イギリスは自国の製品と競合するインド産の品目を、時には400%にもものぼる高い関税をかけてしめ出した。

イギリスによる インド支配

産業革命と市民革命をなした欧米諸国は、安い原材料を大量に確保するため、また、大量生産された自国の商品を売る市場を求めて、アジアに進出した。欧米列強の先頭に立っていたのは、イギリスだった。

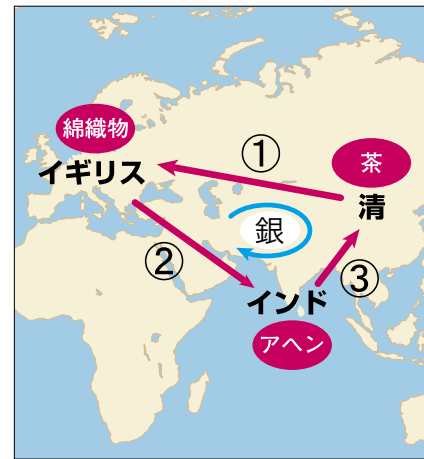
インドに進出したイギリスは、イギリス東インド会社が主体となって、大量生産した綿織物をインドに売りこんだ。インドの手工業は、安価なイギリス製品との競争に負けておとろえ、多数の職人が失業した。

1857年、東インド会社に雇われていたインド兵の反乱（セポイの乱）をきっかけに、不満をもっていた手工業者や農民が合流し、全国的な反乱となった。これを武力で鎮圧したイギリスは、インド全土を支配下におさめ、植民地とした。

軍事力の格差

16世紀から18世紀にいたる300年間に、ヨーロッパでは国家が相争うことが多くなっていった。その間に産業革命が始まり、鉄砲、大砲、軍艦などの軍事技術も発達し、ヨーロッパとアジア諸国との軍事力の格差が広がっていった。

日本では、17世紀の初めに成立した江戸幕府が、軍事技術



↑アヘンをめぐる三角貿易
①茶を購入してイギリス本国で売りさばき、②イギリスの安い綿製品をインドに売り、③アヘンを栽培させて清に売った。



←ケシの実 イギリスはインドの高原地帯でケシを栽培させ、アヘンに精製した。今日、日本をふくむ多数の国で、ケシの栽培は固く禁じられている。

↑アヘン戦争の図 中国の帆船を砲撃するイギリス艦(右端)は最新の蒸気船で、産業革命によって生じた西洋とアジアの力の差を象徴している。(東京・財団法人東洋文庫蔵)

の発達をむしろ抑制して平和な社会をつくっていた。

19世紀に入ると、軍事力で圧倒的優位に立つヨーロッパ人は、アジア諸国を次々に植民地化していった。

アヘン戦争と イギリスの中国進出

18世紀になると、ヨーロッパ人に紅茶を飲む習慣が広まった。とくにイギリスでは、清から輸入する茶は生活必需品となり、代価として多額の銀を清に支払った。そのため、イギリスはインド人に麻薬のアヘンをつくらせ、これを密かに清に輸出したため、今度は清から銀が大量に流出した。

清がアヘンの輸入を禁止すると、イギリスは自由貿易を口実に軍艦を派遣して戦争をしかけ、1840年、アヘン戦争が始まった。圧倒的な力をもつイギリスの海軍が海上を封鎖して、1842年、清は香港の割譲などをふくむ屈辱的な南京条約に調印した。清は多額の賠償金に苦しみ、他の欧米列強とも不平等条約を結ばされた。

こうして清は次第に半植民地の状態に置かれるようになっていった。この情報は日本にもたらされ、大きな衝撃をあたえた。

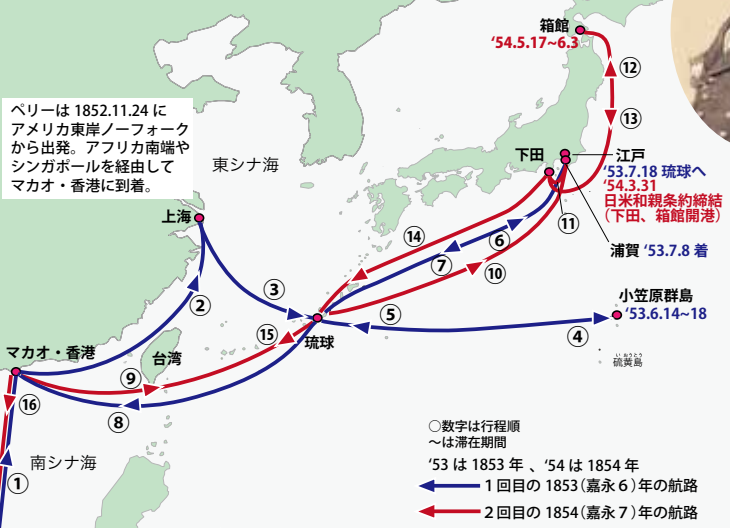


インドのアヘン倉庫 広大なケシ畑と大規模な工場で生産されたアヘンが格納、管理されていた。

まとめにチャレンジ!

- ①アジア諸国は、欧米諸国の進出を受けてどのようになったか、一語で答えてみよう。
- ②そのときの欧米諸国の進出の方法は、どのようなものであったか説明してみよう。

ペリーの2回の来航



マシュー・C・ペリー
(1794～1858) (神奈川・横浜開港資料館)



日本人が写生した黒船 細密な観察は、来航へのおどろきの中にも西欧文明に対する研究心がうかがわれる。(神奈川・横浜開港資料館蔵)



ペリーは日本人をどう見たか

「読み書きが普及しており、見聞を得ることに熱心である。…彼らは自国についてばかりか、他国の地理や物質的進歩、当代の歴史についても何がしかの知識をもっており、われわれも多くの質問を受けた」
「日本人がひとたび文明世界の過去・現在の技術を有したならば、機械工業の成功をめざす強力なライバルとなるであろう」

「日本人は一所懸命にはたらくが、時々祭日をもって埋め合わせをし、また夕方や暇なときには勝負事や娯楽に興じる」
「若い娘は姿よく、とても美しく、立ち居振るまいはたいへん活発で自発的である。それは、彼女たちが比較的高い尊敬を受けているために生じる、品位の自覚から来るものである」
(ペリーの『日本遠征記』より)

ペリー提督・横浜上陸の図
1854年2月、ペリーの第2回来航。前年を上回る7隻(のちに9隻)の艦隊をひきつれ、約500名の兵士が儀仗兵のいでたちで上陸。その整然とした隊列の動きは、さらに日本側を威圧した。(神奈川・横浜開港資料館蔵)



タウンゼント・ハリス
(1804～78)

来日から2年ごしの粘り強い交渉で通商条約を結ばせた。(静岡・玉泉寺ハリス記念館蔵)

2 「攘」は「攘つ」で、武力で排除すること、「夷」は外国をさす。外国を打ちはらうこと。

まとめにチャレンジ!

日本に来航したペリーが、幕府に要求したことを2つ、箇条書きにしてみよう。

49

ペリーの来航と開国

日本が開国せざるを得なくなったいきさつは、どのようなものだったのだろうか。

1 ペリーは幕府が開国を拒否した場合でも、蒸気船の燃料の貯蔵のために琉球の港を占拠する考えだった。



阿部正弘 (1819～57)
福山藩主で、水野忠邦のあとを受けて老中首座となった。(広島・福山誠之館同窓会蔵)

ペリーの来航

1853(嘉永6)年6月、4隻の巨大な軍艦(黒船)が、江戸湾の入り口の浦賀(神奈川県)沖に姿をあらわした。ひきいるのはアメリカの海軍提督ペリーで、大統領の国書をたずさえていた。

幕府はやむなく国書を受け取った。国書には太平洋を航行する蒸気船が食糧や水を補給したり台風で遭難したりしたとき、日本の港に入ることを認めよと記されてあった。ペリーは回答を得るため、翌年また訪れることを告げて立ち去った。

老中阿部正弘の苦悩

ペリーが去ったあと、老中・阿部正弘は、未曾有の国難に直面して頭を悩ませた。要求を拒否し、外国船を武力で打ち払う攘夷は、圧倒的な軍事力の差のもとで不可能だった。外交は幕府の専権事項だったが、阿部は慣例を破り、朝廷をはじめとして諸大名から幕臣に至るまで、国防についての意見を求めた。その一方で、お台場(砲台を据えた人工の島)をつくらせ、大船建造の禁を解いた。諸大名らに名案はなかったが、幕政に対する発言力を強め、朝廷の権威が高まり、幕府の統制力は低下していった。

日米和親条約とハリスの来日

1854(安政元)年1月、ペリーは再び神奈川沖にやってきた。交渉の



井伊直弼 (1815~60)

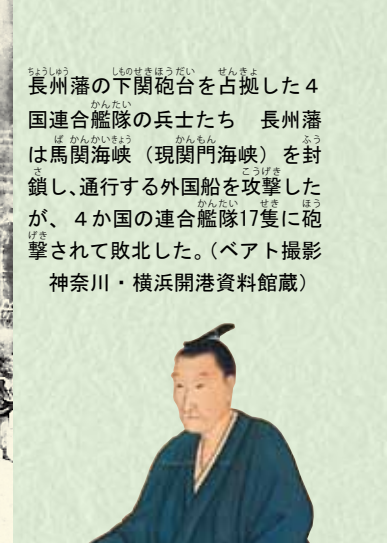
先祖は徳川家康側近だった彦根藩主。(東京・豪徳寺蔵)



徳川斉昭 (1800~60)

(茨城・徳川ミュージアム蔵)

桜田門外の変 (江戸東京博物館蔵)



吉田松陰 (1830~59)

辞世の句「身はたとひ 武蔵の野辺に朽ちぬとも 留めおかし 大和魂」(山口県文書館蔵)

50

尊王攘夷運動の展開

幕末の尊王攘夷運動は、どのような経過をたどっていったのだろうか。

この条約により、外国の金貨銀貨が日本で通用するようになった。ところが、金銀の交換比率が日本でおよそ1対5、外国で1対15と、約3倍の差があったため、金貨が大量に海外に流出し、国内経済を混乱させる原因となった。

日米修好通商条約

第4条 すべて日本に輸入・輸出する商品は別に定めるとおり、日本政府へ関税をおさめること。
第6条 日本人に対して法をおかしたアメリカ人は、アメリカ領事裁判所で取り調べのうえ、アメリカの法律によって罰すること。(一部要約)

日米修好通商条約の締結

幕府は、朝廷の許可を得られないまま、1858(安政5)年、日米修好通商条約を結び、箱館(函館)、神奈川、新潟、兵庫(神戸)、長崎の5港を開いた。

その後、日本は諸外国と同様の条約を結んだが、これらの条約は、日本における外国人の犯罪を日本側で裁くことができず(領事裁判権)、日本に輸入関税率を自由に決定する権利(関税自主権)のない、不平等条約だった。

尊王攘夷運動

幕府が朝廷の意向を無視して通商条約に調印したことに対し、外国に屈服したとの批判がわき上がった。その批判は朝廷をもち立てる尊王と、外国を打ちはらう攘夷の要求が結びついて日本の独立を守ろうとする尊王攘夷運動に発展していった。条約の締結を推進した幕府の大老・井伊直弼は、1858年から翌年にかけて幕府の外交方針を批判して尊王攘夷をとなえる公家、大名、志士たちを大量に処罰した。前水戸藩主の徳川斉昭は永蟄居を命ぜられ、長州藩(山口県)の吉田松陰や越前福井藩の橋本左内は斬刑に処された。これを安政の大獄という。

1860(万延元)年、井伊直弼は江戸城に出勤する途上、桜田門の近くで、安政の大獄に憤った水戸藩などの浪士たちに暗殺された(桜田門外の変)。最高責任者が暗殺されたことにより、幕府の権威は一挙に失われた。

かつて関ヶ原の戦いに敗れて領地を縮小されていた長州藩は、幕府批判勢力の中心だった。吉田松陰は、松下村塾という私塾で、弟子たちに尊王攘夷を説いて大きな感化をおよぼしていた。松陰が安政の大獄で処刑されると、その弟子であった高杉晋作や木戸孝允らが藩を動かすようになり、長州藩は一部の公家と結んで、朝廷を強硬な攘夷論へと導いていった。

攘夷を決行した長州藩と薩摩藩

朝廷の攘夷の要求に押された幕府は、1863(文久3)年、各藩に攘夷を行うよう命じた。これを受けて長州藩は攘夷を決行したが、翌年、報復にやってきた米・英・仏・蘭の軍艦の圧倒的な火力によって敗北を喫した(下関戦争)。

長州藩と並ぶ有力な攘夷勢力は、薩摩藩(鹿児島県)だった。薩摩藩は、幕府の開国方針を支持していた。しかし、1862年に薩摩藩がおこしたイギリス人殺傷(生麦事件)に報復するために、鹿児島に来襲したイギリス艦隊と戦った。艦隊の砲撃により鹿児島城下は炎上した。しかし、薩摩藩は善戦して、艦隊にかなりの被害をあたえた(薩英戦争、1863年)。

以後、イギリスは薩摩藩士の気概に一目を置くようになり、薩摩藩に接近していった。

外国と戦争をした薩長両藩の攘夷派の武士たちは、単純な攘夷論では国を救えない、わが国は西洋文明を積極的に取り入れ、軍事力の近代化をはからねばならないと考えるようになった。

対馬事件

(ロシア軍艦対馬占領事件)

外国の脅威は北からもやってきた。1861(文久元)年2月、ロシアの軍艦ポサドニック号が、突然、対馬の浅茅湾に来航した。360人のロシア兵が島の一部を占拠し、島民殺害事件までおこした。ロシアの目的は、イギリスに対抗して対馬を太平洋進出の軍事基地にすることだった。幕府はイギリスの力を借りて退去させたが、半年にわたる日本の領土を占拠されたこの事件は、幕末の人々に国防の重要性を認識させた。

まとめにチャレンジ!

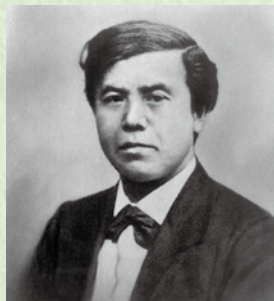
- ①米国と結んだ日米修好通商条約にふくまれていた2つの問題点を書いてみよう。
- ②尊王攘夷派の武士たちと幕府の方針の違いを説明してみよう。



第2次長州征伐の図
(山口・下関市立長府博物館蔵)

51

薩長同盟と 王政復古



木戸孝允 (1833~77)

江戸幕府は、どのようにして滅亡したのだろうか。

長州藩の攘夷派で、桂小五郎の名前でも知られる。京都の薩摩藩邸で西郷隆盛と薩長同盟を結んだ。



大久保利通 (1830~78)

薩摩藩の倒幕派として、王政復古を推進し、のちに明治新政府の中心的指導者となった。



孝明天皇 (1831~66)

攘夷の固い意志をもち、朝廷と幕府は連合して西洋列強に対処すべし、という公武合体の立場を支持した。



大政奉還 将軍・徳川慶喜が重臣を二条城に集め、政権を朝廷に返上する決意を告げている。
(郷田丹陵筆 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)



高杉晋作 (1839~67)

高杉は、身分にとられない奇兵隊を組織するなどして、長州藩の攘夷運動を主導した。

薩長同盟と倒幕運動

1863 (文久3) 年、幕府は、長州藩の勢力と、これと結んだ急進的攘夷派の公家を朝廷から追放し、薩摩・会津 (福島県) などの有力な藩を中心とした指導体制をつくった。長州藩は、挽回を試みて京都で挙兵したが翌年、幕府側に敗れた (禁門の変)。

幕府はさらに、諸藩を指揮して長州藩を攻め、これを降伏させた (第1次長州征伐)。薩摩藩は長州藩にかわって朝廷への影響力を強めた。

長州藩では高杉晋作が、幕府に屈服した藩政府に対する反乱をおこし、木戸孝允らと藩の主導権を奪い返した。長州藩は再び幕府批判の立場に転じた。薩摩藩では、西郷隆盛や大久保利通らが藩政の実権をにぎり、薩英戦争の経験から、イギリスと接近し、軍備の強化につとめた。

1866 (慶応2) 年、土佐藩 (高知県) 出身の坂本龍馬は、外国に対抗できる強力な統一国家をつくる必要性を説き、それまで対抗していた薩長に同盟を結ばせるために、西郷隆盛と木戸孝允を引き合わせた。この薩長同盟で、長州は薩摩から新式の武器を入手し、幕府の第2次長州征伐に反撃し大勝した。薩長両藩は提携して倒幕をめざす密約をした。こうして、尊王攘



坂本龍馬 (1835~67)

土佐藩を脱藩した浪人で、公家や有力な藩のあいだを倒幕を説いて回り、薩長同盟を成功させた。(高知県立歴史民俗資料館蔵)

夷は、倒幕運動へと変化していった。

江戸幕府の滅亡

1866 (慶応2) 年、第14代将軍が死去したあと、徳川慶喜が第15代将軍となった。朝廷では、幕府に好意的だった孝明天皇が突然崩御し、翌年、14歳の明治天皇が即位して、朝廷内部では倒幕派が優勢となった。

1867 (慶応3) 年10月、慶喜は、徳川家が幕府という形で政権を維持することはもはや不可能と見て、政権を朝廷に返上した (大政奉還)。慶喜の目的は、天皇の権威のもとに諸大名による議会体制をつくり、徳川家はその議長の立場に立つことであった。

慶喜の意図を見抜いた薩摩藩の西郷隆盛や大久保利通は、公家の岩倉具視や長州藩の木戸孝允らと結んで、朝廷の実権をにぎる名門の公家を味方に引き入れる工作をたくみに行った。その結果、同年12月、朝廷は王政復古の大号令を発し、天皇を中心とした新政府を組織することを宣言した。彼らはつづいて、朝廷に慶喜の官位と領地の返上 (辞官納地) を命令させた。こうして鎌倉幕府以来700年ちかくつづき、江戸幕府の時代には約260年にわたった武家による政治は幕をとじた。



徳川慶喜 (1837~1913)

実父は水戸藩の徳川斉昭。(千葉・松戸市戸定歴史館蔵)

まとめにチャレンジ!

①薩長同盟と、②王政復古について説明してみよう。



江戸城無血開城 談判する西郷隆盛(左)と勝海舟(右)。勝は開明的な幕臣で徳川慶喜の信頼もあつかった。(結城素明筆 東京・聖徳記念絵画館蔵)



会津城炎上に落胆し自刃する白虎隊士 会津藩では老若男女が徹底抗戦。少年隊士の悲劇は、今も地元で語りつがれる。(白虎隊記念館蔵)



明治天皇 (1852~1912) 自らも皇后とともに宮中の古いきまりを改革し、進んで西洋化を受け入れ、模範を示した。五箇条の御誓文の発布 右側に明治天皇。天皇に代わって神前で御誓文を朗読するのは、新政府副総裁の三条実美。(乾南陽筆 東京・聖徳記念絵画館蔵)



東京に入る天皇 1000年以上つづいた都が、京都から東京に移った。(東京都立中央図書館蔵)

52

明治新政府

明治維新にあたって、どのような国づくりの方針が示されたのだろうか。



錦の御旗 天皇の命を受けた正当な軍勢であることを示す旗。(東京国立博物館蔵)

戊辰戦争と旧幕府軍の抵抗

天皇のもとにつくられた明治新政府の指導者に任命されたのは、倒幕派の公家と武士たちであった。徳川慶喜は加えられず、新政府に領地の返上を命じられた。旧幕府軍はこの命令に怒り、1868(慶応4)年1月、京都の鳥羽・伏見で、薩長両藩を主体とする新政府軍に戦いを挑んだが敗れた(鳥羽・伏見の戦い)。西郷隆盛のひきいる新政府軍は、天皇の軍隊(官軍)であることを示す錦の御旗を先頭に押し立てて進軍し、江戸を占領した。その際、新政府軍の西郷隆盛と幕府側の勝海舟が話し合い、江戸城は無血開城された。徳川慶喜は恭順の意をあらわした。しかし、徹底抗戦を主張する幕臣たちは彰義隊を結成して上野の山に立てこもった。新政府軍の大村益次郎は、新式砲(アームストロング砲)の砲弾を撃ちこんでこれを敗走させた(上野戦争)。幕府を支えてきた会津藩の前藩主・松平容保は、奥羽越列藩同盟の諸藩と連携して、新政府軍に対する徹底抗戦の姿勢を示した。新政府軍は、圧倒的な火力を用いてこれを破った。翌年5月、幕府側の最後の拠点であった箱館(函館・北海道)の五稜郭が新政府の手に落ち、旧幕府軍の抵抗は終わった。この1年半におよぶ内戦を戊辰戦争という。

近代国家建設の基本方針

明治新政府は、旧来のやり方を改め、近代国家の建設に着手した。このよ

五箇条の御誓文 (原文はカタカナ)

- 一、広く会議を興し、万機公論に決すべし
- 一、上下心を一にして、盛に経綸を行ふべし
- 一、官武一途庶民に至るまで各其志を遂げ、人心をして倦まざらしめん事を要す
- 一、旧来の陋習を破り、天地の公道に基くべし
- 一、知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし

うにして、幕末から明治時代にかけて行われた一連の改革を明治維新とよぶ。

1868(慶応4)年3月、明治天皇は、公家や諸侯らとともに神々に誓約するというかたちで、明治新政府の基本方針を示す五箇条の御誓文を発せられた。そこには、会議を開いて世論に基づいた政治を行うこと、言論活動を活発にすることなどがうたわれていた。これによって、日本が西洋の文明を取り入れ、近代的な立憲国家として発展していく道筋が切り開かれた。

同年9月、新政府は年号を慶応から明治へ改元し、以後、一人の天皇に一つの年号をあてる一世一元の制を定めた。また、江戸は東京と改称され、明治天皇は京都から東京に移り、翌年、東京は新しい首都とされた。こうして、東京は、近代日本の政治の中心地となった。

近代的憲法に基づいて政治が行われる国家を立憲国家という。三権分立、選挙で選ばれた議会、法律による統治などのしくみを特徴とする。日本は、1889(明治22)年の大日本帝国憲法の制定によって、立憲国家となった。

まとめにチャレンジ!

明治天皇が新しい国づくりの大方針として明らかにした「五箇条の御誓文」のうち、とくに重要なものを2つあげてみよう。



廃藩置県の布告1869（明治2）年
（小堀鞆音筆 東京・聖徳記念絵画館蔵）

廃藩置県を武士はどう受けとめたか

北陸の福井藩に、アメリカ人のグリフィスという人が藩校の教授として来ていた。廃藩置県の知らせが東京から届いたとき、失業することになる藩の武士たちは憤慨して大騒ぎとなった。しかし、その渦中にあっても、教え子の武士たちは「これからの日本は、あなたの国やイギリスのような国々の仲間入りができる」と意気揚々と語ったことが、グリフィスの日記に書かれている。
旧幕臣の福沢諭吉は「一身にして二世を経るが如し（まるで一生に2つの人生を生きる思いだ）」と述べ、廃藩置県の知らせを聞いたら死んでもよいと、感激して友人に書き送った。先見の明のある武士は、改革の必要性をよく理解していたのである。

53

廃藩置県と四民平等

明治政府を中心とする中央集権国家と四民平等は、どのようにして実現したのだろうか。

版籍奉還

戊辰戦争に勝利したとはいえ、新政府は諸藩の連合体で、その基礎は不安定だった。新政府内では各藩の意向を常に配慮する必要があり、日本国全体の立場から改革を行うには困難がつきまどった。また、国内が多数の藩に分かれたままでは、いつ何どき外国勢力につけこまれぬとも限らず、国内の統一は急務だった。

そこで、新政府の中心となっていた薩摩、長州、土佐、肥前（佐賀県・長崎県）の4藩は、1869（明治2）年、藩主が願い出てその領地（版）と領民（籍）を天皇に返還し、他の藩もあいついでこの動きに従った（版籍奉還）。

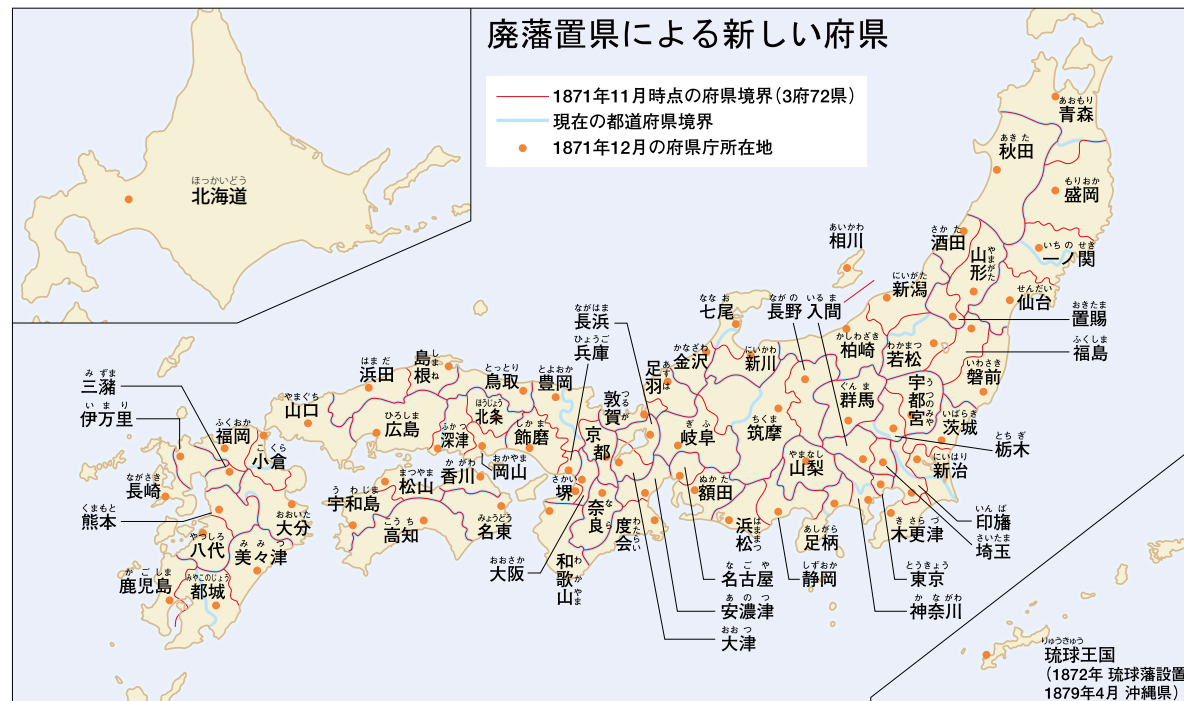
この版籍奉還によって、全国の土地と領民は朝廷（新政府）のものとなった。ただし、軍事と徴税の権限は実質的に各藩に残されていた。

廃藩置県

1869（明治2）年、政体書に基づく太政官制ができた。政治を主導する内閣の始まりである。1871（明治4）年に太政官制は改組され、太政大臣・右大臣・参議からなる閣議が指導力を発揮できるようになった。大久保利通ら新政府の指導者たちは、薩摩、長州、土佐の3藩から集められた天皇直属の約1万の御親兵を背景に、7月、東京に滞在していた元藩主たちを皇居（もとの

太政官（新政府）を構成する要人

- | | | | |
|-------------------|--|--|---|
| 参議
右大臣
太政大臣 | 三條実美
岩倉具視
木戸孝允
西郷隆盛
大隈重信
板垣退助 | 大久保利通
副島種臣
山県有朋
勝海舟
江藤新平
大木喬任
伊藤博文 | 大蔵卿
外務卿
陸軍卿
海軍卿
司法卿
文部卿
工部卿 |
|-------------------|--|--|---|



江戸城）に集め、天皇の名において廃藩置県の布告を言わされた。新政府は、藩の反乱を恐れていたが、予想に反して、大きな混乱は起こらなかった。

新政府は、地方組織として県をつくり、旧藩主にかわる統治責任者として府知事・県令（後の県知事）を派遣した。新政府は軍事と徴税をふくむ日本の政治全体の権限をもち、ここに日本は統一された中央集権国家となった。

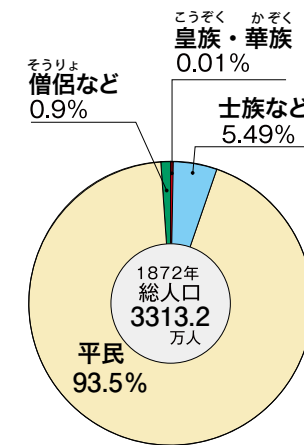
武士は失業したが、武士の禄は、その後しばらく、新政府が肩がわりして給付した。

四民平等

いっぽう政府は、四民平等をかかげ、人々を平等な権利と義務をもった国民にまとめあげていった。まず、従来の身分制度を廃止し、藩主と公家を華族、武士を士族、百姓や町人を平民と分類した。武士は身分の象徴であるチョンマゲや帯刀を禁止された。他方平民にも名字をおおやけに名乗ることを許し、すべての人の職業選択、結婚、居住、旅行の自由を保障した。

1871（明治4）年には、解放令が出され、えた・ひにとよばれた人々も平民となり、同等な地位を獲得した。だが、これらの人々への社会のなかでの差別は根強く、その後も長く消えず、さまざまな形で残った。

1871（明治4）年7月、全国に3府（東京府・京都府・大阪府）302県が置かれ、半年後には3府72県に統合された。1888（明治21）年にはほぼ現在の区分に整った。



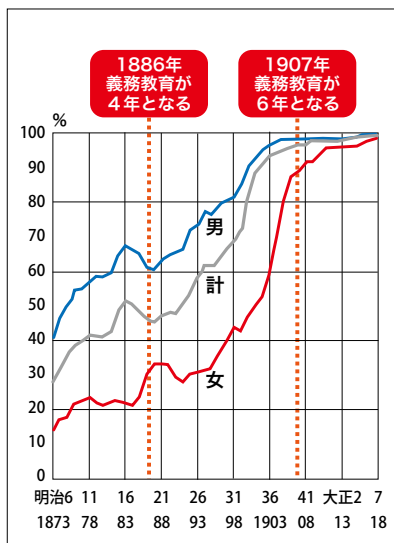
華族・士族・平民の人口割合
『近現代日本経済史要覧』三和良一・原朗編 東京大学出版会

まとめにチャレンジ!

①廃藩置県によって武士の立場はどのように変わったか説明してみよう。
②新政府の要人（P.166）の明治2年の時の年齢を調べてみよう。



小学校の授業風景 アメリカにならった授業のようす。学校制度をすばやく全国に整備したのは明治維新の大きな功績の一つで、西欧文明を取り入れて社会を急速に発展させる基礎となった。(国立教育政策研究所教育図書館蔵)



小学校の就学率の変化 基礎教育の必要性を国民がよく理解し、努力して、世界有数の教育大国となった。



最初の徴兵検査に集まった若者たち 当初、徴兵令にはさまざまな免除規定があったので、実際には徴兵された者は農家の二男、三男が多かった。



地券 土地の所有者を確定し、土地の公的な価値評価を面積によって金銭価値として算出している。(横浜開港資料館蔵)

54

学制・兵制・税制の三大改革

明治維新の三大改革は、どのようにして進められたのだろうか。

学制の発布

明治政府は、3つの強力な制度改革、すなわち学校制度(学制)・徴兵制度(兵制)・租税制度(税制)の改革をおし進め、平等な国民によって構成される近代国民国家建設の基盤を固めた。この三大改革は、やがて国民の側から、就学・兵役・納税の三大義務として、5 広く一般に理解されるようになった。

1872(明治5)年、学制が発布された。「学事奨励に関する仰せ出だされ書」では、男女の区別なく国民はすべて教育を受けて自立せよとたわれた。小学校は義務教育となり、江戸時代の寺子屋の多くが小学校に転換されたため、わずか数年で 10 2万6000校の小学校が設置された。就学率は、初めは50%以下だったが、その後急増し、明治末年には100%近くに達した。

徴兵令の公布

兵制では、1873(明治6)年に徴兵令が公布された。新しく採用された軍事制度に基づき、東京・仙台・名古屋・大阪・広島・熊本 15 に鎮台(のちの陸軍師団)が設置された。20歳に達した男子は、士族・平民の区別なく兵役に服することになった。徴兵令は、西洋の制度を取り入れ、四民平等の考えに基づく国民軍をつくるための改革だった(国民皆兵制度)。

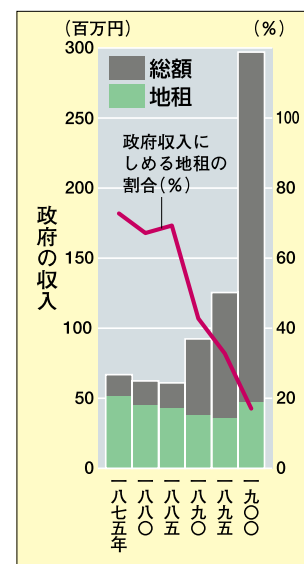
徴兵令はどのように受けとめられたのだろうか。江戸時代に 20

は、武器を帯びて戦うのは武士に限られていたが、これは武士の名誉であり、特権でもあった。徴兵制は、士族からは特権を奪うものとして反発を買い、平民からは一家の若い働き手を出すのが負担であり、始めのころは不満を生んだ。

地租改正

1871(明治4)年、政府は、農民が田畑に何を作付けするかは自由であると、翌年には、田畑の売買も認めると宣言した。さらに政府は、全国の地価(土地の価格)を定め、土地所有者を確定して、彼らに地券を交付した。地券には所有者・面積・地価・地租(税金)などが記されている。そして、1873年、地券をもとに政府は地租改正とよばれる税制改革を行った。

江戸時代の年貢は、収穫高に基づいて米を物納するもので、税率も各藩でまちまちであった。地租改正により、地価の3%にあたる地租を貨幣でおさめる制度に改められたので、全国の土地に一律に課税することが可能になった。地租改正は、土地を保有する農民に、土地所有権を正式に認め、納税の義務を課すものだった。地租は、後年、民間産業が発達して企業の法人税や個人の所得税が政府収入に占める割合が大きくなるまで、安定した歳入を政府にもたらした。こうして、わが国は近代国家として歩んでいくための財政基盤を固めることができた。



政府収入の中での地租の変動 5年ごとに見ても金額に大きな変動はなく、国にとって安定した財源になっているのがわかる。『本邦主要経済統計』より)

1877(明治10)年には2.5%に引き下げられた。

まとめにチャレンジ!

学制・兵制・税制の三大改革のそれぞれの要点を説明してみよう。

明治維新とは何か

一国の統治者たちが、みずからその身分を廃止して新しい国家をつくれた世界に例のない改革は、なぜ実現できたのか。

◎欧米列強の植民地化をまぬがれる

欧米列強は、1800年には地球の陸地の約35%を支配していましたが、第一次世界大戦が始まる1914年ごろには、その支配圏は約84%にまで拡大していました。明治維新は、この間におこったできごとです。もし、明治維新で中央集権国家をつくらなかったら、日本は欧米列強の支配下に組み入れられていたでしょう。

このような欧米列強による領土拡大政策は、帝国主義とよばれます。日本が独立を維持して、大国の仲間入りをはたすまでの歴史は、こうした帝国主義の時代におこったことでした。

◎江戸幕府から明治政府への転換

ペリーが来航し開国を要求してから、わずか15年後に江戸幕府は倒れ、明治政府が成立しました。李朝（李氏朝鮮）が倒れたのは、欧米列強がおし寄せてきてから44年後、清朝は72年後でした。

わが国が新しい時代に対応する政治体制への切りかえを比較的早くすることができたのはなぜでしょうか。その大きな要因のひとつは江戸時代の日本の政治のしくみのなかにあったと考えられます。江戸時代は、

武家政権の時代であり、江戸幕府が政治の実権をにぎっていました。

それにもかかわらず、江戸幕府の将軍（征夷大將軍）を任命するのは天皇であり、武士は天皇に仕える身分であるという関係はわかりませんでした。権威と権力は独占されるものではなく、権威は天皇に、権力は幕府に帰属するものとされました。このように、日本には2つの中心がありましたがそれが幕末の危機を回避するのに役立ちました。列強の圧力が高まると幕府の権威はおとろえましたが、天皇を日本の統合の中心とすることで、政権の移動が短期間でスムーズに行われたのです。

◎武士の犠牲による改革

江戸時代を通じて、社会を運営する中心となった身分は武士でした。武士は、幕末の欧米列強による軍事的脅威に敏感に反応し、とくにアヘン戦争で大国の清が敗れたことに強い危機感をいだきました。

薩摩と長州の2つの有力な藩は、どちらも、幕末に欧米諸国と戦争をしましたが、その結果、欧米と日本の軍事力の差を痛切に認識し、両藩の指導者たちは、欧米に抗するために西洋文明を積極的に学ぶとい



小林虎三郎 (1828~77)
(新潟・興国寺蔵
長岡市立中央図書館)



国漢学校の図 長岡懐旧雑誌（北方文化博物館蔵）

う方向に政策を転換しました。

明治維新によって身分制度は廃止され、四民平等の社会が実現しました。職業選択の自由が認められ、自由に経済活動ができるようになりました。武士の特権はなくなり、武士の身分そのものが消滅しました。

明治維新は、フランス革命のように、市民が暴力で貴族の権力を打倒した革命ではありません。武士の身分を廃止したのは、ほかならぬ武士の身分の人々によって構成された明治新政府でした。あるフランス人の学者は、次のように述べています。

「日本の特権階級であった武士は、ほかの階級によって倒されたものではありません。外国の圧力の前に、みずから革命を推進し、そのためみずからを消滅させるという犠牲をはらったのです。革命といっても、それはある階級がほかの階級を倒すという、普通の意味の革命ではありません。武士たちの望みは、日本という国の力をよびさますことだったのです」

（モーリス・パンゲ『自死の日本史』より）

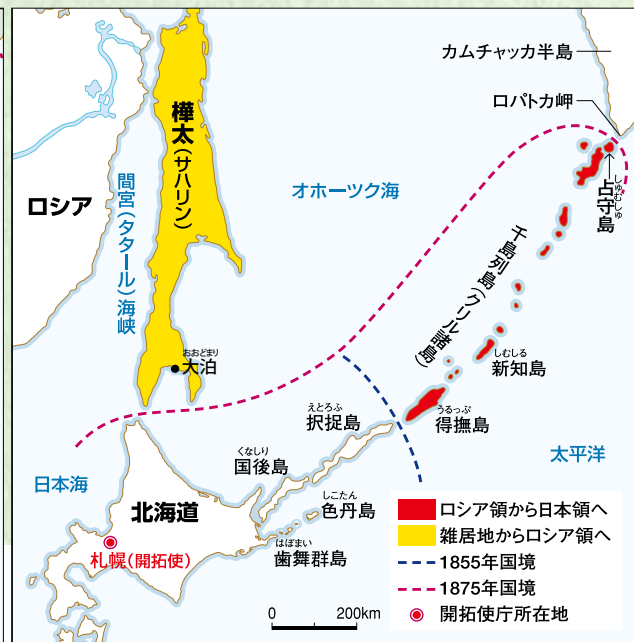
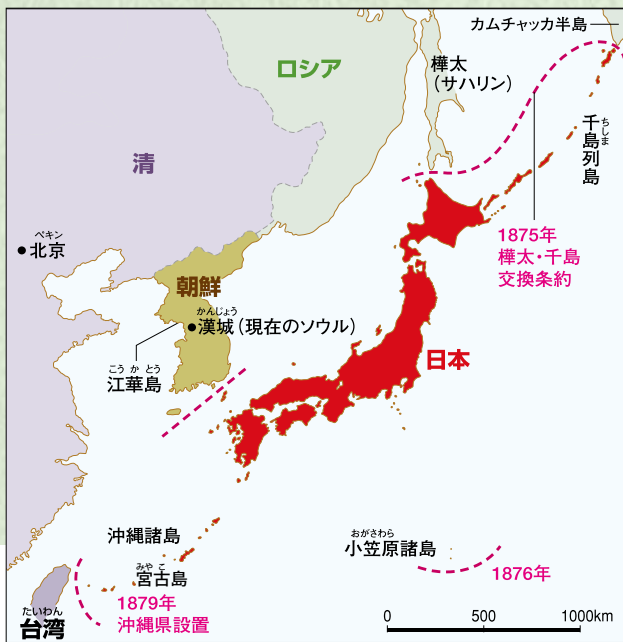
明治維新は、公のためにはたらくことを自己の使命と考えていた武士たちによって実現した、世界に例を見ない改革でした。

◎明治維新と教育立国

明治維新の改革において、新しい国づくりの基礎とされたのは教育でした。教育を重視する思想は江戸時代から引きつがれたものです。

長岡藩（新潟県）は、幕府の味方をして戊辰戦争に敗れ、戦乱と洪水の被害が重なって、深刻な食料不足に悩まされていました。その苦しみを見かねて、親類筋の藩から米百俵が見舞いとして送られてきました。しかし、藩政の責任者だった小林虎三郎は、一粒の米も藩士に分配せず、将来の人材育成のため、国漢学校という藩の学校を開校する資金に回してしまいました。

将来に備えて資源を人づくりに重点的に配分するような思想（米百俵の精神）が、日本の近代化を成功させるもとになったのです。



近隣諸国との国境画定 現在の日本の国土の範囲は、おおむねこのときに決まった。

樺太・千島交換条約 (1875年) 歯舞、色丹、国後、択捉の北方4島は、この交換条約以前から日本領として確定していた。



台湾の原住民 いくつもの部族に分かれ、言語や習慣もさまざまであったが、いずれも勇敢であった。



琉球国王を「琉球藩王」に任命する文書をもって那覇港に入った清の使節団一行 (山田真山筆 東京・聖徳記念絵画館蔵)

55

近隣諸国との国境画定

近隣諸国との国境は、どのようにして画定していったのだろうか。

北方の領土画定

明治維新をなした日本は、近代国民国家の建設をめざした。近代国家が成り立つ要件は、明確な国境線をもつ領土、国民、国民を統治する政府の3つである。国境があいまいなままだと、政府は国民の生命や財産を保障したり、国民としての平等な権利をあたえる範囲を決めることができない。北方の樺太 (サハリン) には、早くから日本人が入っていた。1679 (延宝4) 年には松前藩の陣屋が大泊に設けられるなど開拓が始まっていた。

1855年、幕府はロシアと日露和親条約を結び、現在の北方領土の北端、択捉島と得撫島の間を国境と定めた。樺太はそれまでどおり国境を決めず、両国民の混住の地とされた。

イギリスは、もし日本がロシアと戦争をすれば、樺太はおろか北海道まで奪われるだろうと明治政府に警告してきた。明治政府はロシアとの衝突をさけるために、1875 (明治8) 年、ロシアと樺太・千島交換条約を結んだ。その内容は、日本が樺太の全土をロシアに譲り、そのかわりに千島列島 (クリル諸島) を日本領にするというものだった。

太平洋方面では、1876 (明治9) 年、日本は小笠原諸島を日本領とし、各国の承認を得た。小笠原諸島にイギリス船が自

国の国旗を立てていたが、アメリカが反対した。

台湾出兵と琉球処分

日本は、清との国交樹立のため、1871 (明治4) 年、国際法の原理に基づく、両国対等の関係を定めた日清修好条規を結んだ。

琉球は、江戸時代から清と日本の両方に服属していた。同じ1871年の7月、日本政府は琉球を鹿児島県の管轄に置いた。同年10月、琉球御用船が難破して台湾に漂着し、琉球島民 (宮古島の住民) 54人が現地人に殺害された。日本はその責任を清に問うたが、清は台湾の住民を「化外の民」(国家統治のおよばない者) であるとして、責任を回避した。そこで日本政府は、台湾の住民を罰するのは日本の義務であるとして、1874 (明治7) 年、台湾に兵を送った (台湾出兵)。この衝突は、近代国民国家の概念をまだ十分に理解していない清と、日本との考え方の違いからおこった事件であった。

清との協議の結果、問題は解決したが、清はこれにより、琉球島民を日本国民と認めた。日本はそこで、1879 (明治12) 年、琉球を正式に日本の領土とし、沖縄県を設置した (琉球処分)。日本はこうして、近隣諸国との間の国境をほぼ画定することに成功した。

華夷秩序と国際法秩序

古代以来、中国の皇帝は、周辺国の王を臣下として冊封し、影響下に置く華夷秩序を維持してきた。冊封された国々の外交は制約された。一方、欧米では、それぞれの国家を、領土・国境をかくてい画定した独立国と見なし、対等に国交を結ぶ万国公法 (国際法) 秩序を築いてきた。日本は黒船来航以来、欧米型の国家をめざし、万国公法 (国際法) 秩序に組みこまれていたため、華夷秩序体制下の台湾・琉球や朝鮮との間に摩擦を生んだ。

まとめにチャレンジ!

①樺太・千島交換条約で決まった内容と、②琉球が日本の領土 (沖縄県) になるまでの経緯を説明してみよう。

琉球処分とは何か

◎琉球王国の形成

奄美や沖縄を中心にした南島地域の人々の主な祖先は、縄文時代に九州からわたっていった人々です。その地域の言語は琉球方言とよばれ、日本語の方言の一つです。

この地域では、漁労採集の生活から11世紀ごろ、農耕社会に移行しました。各地には按司といわれる首長が生まれ、城（グスク）を構えて相争いました。やがて、北山（今帰仁）、中山（浦添）、南山（糸満）の3人の王が対立するようになります。中山王の尚氏は、浦添から首里に首都を移し、15世紀前半には3つの山を統一しました。これが琉球王国です。

◎「一種の奴隷解放」

琉球は、薩摩と清国に両属し、人々には薩摩への毎年の貢納のほか、清国から迎える使節の接待の費用も大きな負担でした。薩摩と清国への両属する状態を終わらせたのが琉球処分でした。これを高く評価して、沖縄学の父といわれる伊波普猷は「琉球処分は一種の奴隷解放だ」と表現しました。

しかし、琉球王国の内部は琉球処分に賛成し、沖縄県として近代化していこうとする日本派と、これに反対して清国の救援で琉球王国を復活させようとする清国派とに分裂し、沖縄県設置後も両者の対立はつづき、激しく争いました。両派の対立は日清戦争のときピークでしたが、戦争で日本が勝利したことによって清国派がなくなり、

長くつづいた対立は終わりました。

こうして明治政府は日清戦争後、沖縄の近代化に本格的に取り組み、行政組織を整え、土地の所有権を明確にするための土地整理事業などを行いました。1909（明治42）年、沖縄県会が設置され、また1912（明治45）年には衆議院議員選挙法が沖縄にも施行され、県民は国政にも参加できるようになりました。そして1920（大正9）年には他府県と同じ自治制度が導入され、本土と平等の統治を受けることになったのです。しかしそれでも所得水準は低く、高等教育機関もない状態が長くつづきました。



伊波普猷 (1876～1947)
著書に『沖縄歴史物語』『校訂おもしろさうし』など。民俗学・歴史学・言語学の研究を通じて、沖縄学の基礎を築いた。

日本の近代化とアイヌ

◎アイヌの人たちの文化と生活

蝦夷地（北海道）では、日本本土が農耕社会に変わってからも、狩猟採集の社会を維持しました。蝦夷地の人々は、本土から移住してきた人々の影響を受け、樺太からやってきた人々と交わり、アイヌといわれる人々になっていきました。彼らは文字を持たず、日本語とは違うアイヌ語を話していました。

12世紀から13世紀にかけて、熊を殺しその魂を神のもとに送り返すイヨマンテという祭りや、独特の音楽など、特色のあるアイヌ文化を形成しました。アイヌの人たちは、コメや衣服、漆器などの生活必需品を、彼らが狩猟採集によって得たサケ、コンブ、毛皮などと交換する交易によって手に入れていました。江戸時代末には人口は約2万人でした。

◎アイヌの保護と国民化

明治政府は、本土から屯田兵を入植させて北海道の開拓につとめました。アイヌに対しては農業のやり方を指導して、農耕民となることをすすめました。すでに江戸幕府は、アイヌの人口を増やすために、若い男女に結婚を奨励しました。医療施設を置き、天然痘を防ぐための種痘を実施しました。

政府も、幕府の人口増加政策を受けつぎ、定住生活を送るように指導し、死者が出たときに家を焼きはらう慣習を禁止しました。また、文明開化の観点から、男の耳環と女

の入墨を禁止しました。さらにアイヌの子弟に文字を教えるために学校を設立し、親に金銭をあたえて、子供を学校に行かせるように指導しました。学校では給食を提供し、入浴させて身体を清潔にすることを教えました。

しかし、アイヌの人々は、新たに導入された近代的土地所有制度によって認められたわずかな土地も、不利益な条件で賃貸したり手放したりしました。そこで、明治政府は、1899（明治32）年、「北海道旧土人保護法」を制定し、農業を希望するアイヌに5町歩（約5万㎡）の土地をあたえました。そして、契約に慣れていないアイヌが和人に土地を取られないように、相続以外の土地の譲渡を禁止しました。このように、明治政府はアイヌを日本国民として保護しました。

◎アイヌ文化振興法へ

ところが、この法律の下では、農耕に適さない土地を含めてあたえられるなどの問題もありました。そして、戦後の農地改革によってアイヌの土地のほとんどが没収されたため、この法律は、アイヌ保護法としての存在意義をなくしてしまいました。また、「旧土人」という呼称がしだいに差別的な意味合いを持つようになったため、1997（平成9）年に廃止されました。代わりにアイヌ文化振興法が制定され、アイヌ語や舞踊、工芸などのアイヌ文化を振興していくことになりました。



↑岩倉使節団の要人たち 左から木戸孝允、山口尚芳、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通。サンフランシスコにて。

←岩倉使節団の出発風景 小舟に乗せて沖合の外国船に向かうところ。(山口蓬春筆 東京・聖徳記念絵画館蔵)



さいごうたかもり 西郷隆盛 (1827~77) キヨソネ筆 征韓論にやぶれ鹿児島に引退したのち、西南戦争で反乱軍の中心となり戦死する。(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)



せいなんろん 征韓論をめぐる閣議の紛糾 明治維新の中心人物たちが朝鮮への対応をめぐる真二つに割れた。(鹿児島県立図書館蔵)



西南戦争 (田原坂激戦の図) 官軍との最大の激戦になった熊本県北部での戦闘のようす。ここでの官軍勝利が戦いの流れを決めた。(早稲田大学図書館蔵)

56

岩倉使節団と 征韓論

岩倉使節団が世界を見てきたことは、その後の日本の国づくりにどのような影響をあたえたのだろうか。

1 岩倉使節団にはアメリカで勉強するために5人の若い女子留学生が随行していた。のちに女子教育に貢献した津田梅子 (P.17 (1864~1929)) はわずか6歳だった。

2 日本の国書の中にあつた「皇」「勅」「朝廷」などの文字は、中国の皇帝のみが属国に対して使うことのできるもので、日本が朝鮮を属国にする野望を示すものであると朝鮮側は主張した。

岩倉使節団

1871 (明治4) 年、廃藩置県のと、明治政府は、岩倉具視を全権大使と

する使節団を、アメリカとヨーロッパに派遣した(岩倉使節団)。使節団には、大久保利通、木戸孝允ら政府の主要メンバーの半数が参加し、条約改正の予備交渉と欧米文明の視察を目的としていた。使節団は、約2年におよぶ見聞をもとに、日本の遅れをおよそ40年と見積もり、近代産業の確立(富国)を優先して欧米に追いつくべきだと考えた。

朝鮮との外交と征韓論

朝鮮との外交では、明治政府は、維新直後の1868 (明治元) 年、新たに国交を結ぶため、使節団を派遣した。しかし、朝鮮は外交関係を結ぶことを拒否した。1873 (明治6) 年、日本に対する朝鮮の態度を無礼だとして、士族たちの間で、武力を背景に朝鮮に開国をせまる征韓論がわきおこった。

廃藩で失業した士族たちは、明治政府が行う西洋技術や文化の導入政策は、彼らが受けついできた武士の気概と日本のよき国柄を損なうとして不満を抱いた。彼らが期待をかけたのは、岩倉使節団の留守を預かっていた西郷隆盛だった。西郷は政府にあって近代国家をつくる改革を進めながらも、士族たちに社会的な役割と名誉をあたえねばならないと考えていた。

西郷は、自分が使節として朝鮮に行くことを強く主張し、政府の決定を取りつけた。西郷自身は、死を覚悟した交渉によっ

て、朝鮮に門戸を開かせようと考えていた。

政府の分裂と西南戦争

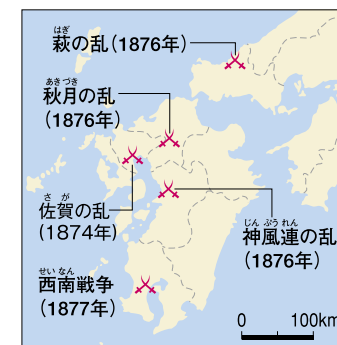
しかし、西欧諸国の強大な軍事力を目のあたりにして帰国した岩倉具視と大久保利通らは、国力の充実を先に図るべきであると考え、出兵は欧米の干渉を招くと恐れた。そこで岩倉らは、朝廷や政府内で工作し、閣議で正式に決まっていた西郷の使節派遣を延期した。これに怒った西郷と板垣退助らは政府の役職を辞任した。西郷を慕う鹿児島士の多くは彼とともに帰郷した。

1876 (明治9) 年、政府は、士族に給付していた禄を、一時金と引きかえに打ち切った(秩禄処分)。同年、廢刀令が発せられた。刀を取り上げられ武士の誇りを傷つけられた怒りを爆発させた士族は、熊本、福岡、山口などで反乱をおこした。しかし、徴兵を主体とした政府軍には近代的装備、火力、通信手段、指揮能力があり、これらの反乱をすべて鎮圧した。

鹿児島の士族は政府に対する不満はきわめて強く、1877 (明治10) 年、彼らは県政を掌握したが、政府の西郷暗殺の噂などに激昂し、西郷を総指揮官として兵をあげ、東京に向かったが、鎮台の置かれた熊本城攻略に失敗し、九州各地でも敗れ、追いつめられて西郷の自刃で戦いは終わった(西南戦争)。これ以後、反乱はなくなり、国民皆兵体制が定着していった。

3 こののち、1875年、日本の軍艦雲揚号が朝鮮の江華島沖を測量して威圧した。朝鮮側がこれを砲撃し交戦となった(江華島事件)。日本は翌76年、日朝修好条規を結んで朝鮮を開国させた。この条規は「朝鮮は自主の国である」とうたった。ただし、日本が欧米から受けていた領事裁判権の不利を朝鮮に押し付けた。

士族の反乱



まとめにチャレンジ!

岩倉使節団の主な目的を2つあげてみよう。



殖産興業に関する
大久保利通の建白書
1874（明治7）年

そもそも国の強弱は人民の貧富によるものであり、人民の貧富は物産の多少とかかわりがある。そして物産の多少は人民が工業にはげむかどうかにか根差すが、そのおおもとは、どこの国でも政府の指導奨励によるのである。

（『大久保利通文書』より一部要約）

錦絵「富岡製糸場工女勉強の図」1872（明治5）年に群馬県の富岡に設置された官営模範工場。全国から士族の子を工女として募集した。技術を習得した工女は出身地へもどり機械製糸の指導者となった。生糸は当時の日本の主要な輸出品目であり、輸出総額の約70～80%以上を占める時期もあった。



新橋停車場 現在のJR新橋駅よりやや海よりの汐留にあった。1872（明治5）年、新橋～横浜間に、日本初の鉄道が開通した。



市中にあふれる文明開化「東京繁栄車往来之図」右上は1868（明治元）年、外国人用に建てられた築地ホテル。道には乗合馬車、人力車や木製の三輪自転車が走りかう。（東京都立中央図書館蔵）

57 殖産興業と文明開化

政府の殖産興業政策と文明開化はどのように進んだのだろうか。



屯田兵による北海道開拓 屯田兵とは、平時は開拓農民としてはたらき、有事の際には即座に兵士として出動できる予備兵力の制度で、主に北海道内陸部の農地拡大に貢献した。（高村真夫筆 東京・聖徳記念絵画館蔵）

殖産興業

明治改元以後も、欧米列強によるアジアの植民地化は進められたが、政府は、日本を欧米諸国に支配されない強い国にしようとして、「富国強兵」を合い言葉に、国家の建設にはげんだ。

1868（明治元）年、政府は、幕府が経営していた鉱山や造船所を官営にした。交通と通信の方面でも、1869（明治2）年に電信制度、1871（明治4）年に郵便制度がしかれ、さらに翌1872（明治5）年には、新橋～横浜間に鉄道が開通した。西郷らが政府を去ったあと、政府の中心となった大久保利通は、政府資金の投入により近代産業を育成する殖産興業に乗り出した。外国の機械を購入し、技術者を招いて、製糸、紡績、炭鉱、銀鉱、銅鉱、造船、セメントなどの官営工場をつくり、のちに民間にはらい下げて、工業発展の基礎とした。日本は、江戸時代にすでに技術の成熟があり、国民の勤勉さと結びついて、近代産業が発展する条件が備わっていた。また政府は、1869（明治2）年、蝦夷地を北海道と改称し、開拓使という役所を置き、士族や屯田兵を入植させて、開拓に力を入れた。

文明開化

政府は1867（慶応4）年、奈良時代からつづいてきた神仏習合の慣習

を改めようと考え、神社から仏教色をなくす神仏分離令を定めた。1870（明治3）年、日本古来の神道を天下に布教せよとの大教宣布の詔が発せられた。政府はこれによって、神道による国民意識の統合をはかろうとした。しかし、そのために各地で寺院や仏像を破壊する過激な動きがおこった（廃仏毀釈）。行きすぎた動きを見た政府は、神道・仏教・儒教の3教により国民の意識を統合する方針に切りかえた。

1873（明治6）年には太陽暦が採用され、1日が24時間、1週間が7日間で、日曜日が休日とされた。キリスト教の信仰も認められるようになった。廃藩置県の前年から、福沢諭吉の『学問のすすめ』などの啓蒙書が出版された。身分ではなく実力がものをいう社会の中での、独立自尊の精神の大切さが説かれて、広く読まれた。多くの新聞や雑誌も発刊され、欧米諸国の生活や風俗、思想を紹介するようになった。

人々の生活にも大きな変化が生じた。東京などの都市では、帽子・洋服の着用、牛肉食、ランプの使用が広がった。レンガづくりの洋風建築の街並みにガス灯がとまり、人力車や馬車が走る文明開化の光景が出現した。



食の文明開化 牛鍋（すき焼き）を食べる男。①ざんぎり頭②ワイシャツ③新聞④シルクハット⑤洋傘。（仮名垣魯文『安愚楽鍋』のさし絵より 横浜開港資料館蔵）

太陰暦から太陽暦に
わが国の暦は、月（太陰）の満ち欠けに合わせた太陰暦が用いられていた。1872（明治5）年11月9日、改暦の詔が出され、欧米諸国で使われている太陽の運行に合わせた太陽暦が採用された。こうして旧暦の明治5年12月3日は、新暦の明治6年1月1日になった。

まとめにチャレンジ!

明治政府の殖産興業政策が順調に進められた条件を2つあげてみよう。

幕末・明治期の日本人の生き方

幕末から明治にかけて日本を訪れた外国人は、日本人のマナーのよさやモラルの高さに強い感銘を受けた。

◎礼儀正しさ

幕末から明治初めにかけて横浜で英字新聞を発行していたイギリス人、ジョン・ブラックは、日本人の礼儀正しさについて次のように述べています。

「一民族として、日本人はみな柔和で、礼儀正しく、かなりの独立心を持っている。(中略) 通りがかりに休もうとする外国人はほとんど例外なく歓迎され『おはよう』という気持ちのよい挨拶を受けた。この挨拶は、道で会う人、野良で働く人、あるいは村民からたえず受けるものだった。」(『ヤング・ジャパン』1)

◎無償の親切

1863(文久3)年にスイスの遣日使節団長として来日したアンベールは、日本人の代償を求めない親切さについて、次のように書きました。

「親切で愛想がよいことは、日本の下層階級全体の特性である。私は、よく長崎や横浜の郊外を歩き回って、農村の人々に招かれ、その庭先に立ち寄って、庭に咲いている花を見せてもらったことがあった。そして、私がその花を気に入ったと見ると、彼らは、一番美しいところを切り取って東にし、私に勧めるのである。私がそのかわりに金を出そうといくら努力しても、無駄

であった。」(『絵で見る幕末日本』)

1878(明治11)年に日本の隅々まで旅行したイギリス人旅行作家イザベラ・バードも、雇った馬子(馬で人や荷物を運ぶ職業の人)の親切さを記録しています。

「ついきのうも、革ひもが一本なくなり、もう日は暮れていたにもかかわらず、馬子は一里引き返して革ひもを探してくれたうえ、私がわたしたかった何銭かを、旅の終わりににはなにもかも無事な状態で引きわたすのが自分の責任だからと、受け取ろうとはしませんでした。」(『イザベラ・バードの日本紀行・上』)

◎争いのない社会

1877(明治10)年に来日し、東京大学の動物学教授をつとめたアメリカ人、エドワード・モースは、日本人の行儀のよさ、穏やかさに感嘆しています。

「大学を出て来た時、私は人力車夫が4人いる所に歩みよった。私は米国の辻馬車屋がするように、彼らもまた揃って私の方



イザベラ・バード (1831~1904)
イギリスの女性旅行家。明治時代の日本各地を旅行し、紀行文を書いた。



人力車 1890(明治23)年に来日したラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は、1869(明治2)年に創案された人力車で横浜市内の神社仏閣を巡るうちに、日本の美しい自然と穏やかな日本人の魅力に惹かれ、日本に帰化した。

に駆けつけるかなと思っていたが、事実はそれに反し、一人がしゃがんで長さの異なった麦藁を4本ひろい、そして籤を抽くのであった。運のいい一人が私をのせて停車場へ行くようになって、他の三人は何らいやな感情を示さなかった。汽車に間に合うために、大いに急がねばならなかった。途中で、私の人力車の車輪が前に行くお互いに邪魔したことを微笑で詫びただけで走り続けた。私は即刻この行為と、わが国でこのような場合に必ず起る罵詈雑言を比較した。」(『日本その日その日』1)

◎簡素でこころ豊かな生活

長崎海軍伝習所の教官であったヴィレム・カッテンディーケは、幕末日本の民衆について次のように描写しました。

「民衆はこの制度の下に大いに栄え、すこぶる幸福に暮らしているようである。日本人の欲望は単純で、贅沢といえただ着

物に金をかけるくらいが関の山である。(中略) 上流家庭の食事とても、至って簡素であるから、貧乏人だとて富貴の人々とさほど違った食事をしているわけではない。」

「日本人が他の東洋諸民族と異なる特性の一つは、奢侈贅沢に執着心を持たないことであって、非常に高貴な人々の館ですら、簡素、単純きわまるものである。すなわち大広間にも備え付けの椅子、机、書棚などの備品が一つもない。」(『長崎海軍伝習所の日々』)

幕末から明治にかけて来日した多くの外国人は、日本人が、過剰な欲望をもたず、簡素ながら、豊かで幸せな生活をしていたと観察しています。

日本人の礼儀正しさや無償の親切、争いのない社会といった特質は、明治以降の近代化を進める精神的基盤となりました。しかし、同時に近代化は絶えず新たな欲望を喚起させてきたので、日本人の簡素でこころ豊かな生活は失われていきました。



鹿鳴館での舞踏会のような文明国であることを示すため井上馨外務大臣が推進した欧化政策の象徴となった。(渡辺木版美術画館蔵)

フランス料理と黒の喪服

外国の客を招いて行われる晩餐会では、インドではインド料理というように、その国の民族料理を出すのが国際的な慣例である。ところが、日本では今でも、皇居の晩餐会で、日本料理ではなくフランス料理で客をもてなしている。また、江戸時代まで、葬儀の喪服は白い服だったが、皇室が西洋にならって黒服を着るようになったので、民間にも次第に広がった。いずれも、不平等条約改正のため、日本が文明国であることを示そうとした、涙ぐましい努力の名残りにある。

58

条約改正への苦闘

幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約を、日本はどのように改正しようとしたのだろうか。



井上馨 (1835~1915)
長州藩出身。外務卿として不平等条約の改正につくした。

1 外国人が犯罪を行ったとき、その外国の領事が犯罪者を裁判にかけられる権利を領事裁判権という。治外法権の一つである。

不平等条約の問題点

幕末に日本が欧米諸国と結んだ条約は、日本人の誇りを傷つける不平等条約だった。第1に、日本人に対して罪を犯した外国人を裁く権利は、日本の裁判所ではなく、相手国の領事裁判所にあった(領事裁判権)。第2に、他のアジア諸国と同様、関税自主権を日本にあたえていなかった。欧米諸国との法的な差別を解消する条約改正は、明治の日本人の悲願であり、日本外交最大の課題となった。

1872(明治5)年、岩倉使節団はアメリカとの間で条約改正の予備交渉を行おうとした。しかし、刑法などの法律が整備されていないことを理由に、相手にされなかった。

そこで日本は、関税自主権の回復に条約改正の重点を置いて各国と交渉した。アメリカは日本に同意したが、イギリスとフランスが反対し、交渉は失敗に終わった。1877(明治10)年、イギリス商人が麻薬のアヘンを密輸する事件があった。イギリスは領事裁判権を行使し、アヘンは薬として輸入したのだから条約違反ではないとの判決を下した。判決の不公平は日本人を怒らせた。日本は領事裁判権の撤廃要求に交渉の重点を切りかえた。

鹿鳴館とノルマントン号事件

1883(明治16)年、政府は東京の日比谷に鹿鳴館という洋風建築物を

年	条約改正の歩み
1872	岩倉使節団、準備不足で交渉断念
1887	井上馨の欧化政策に国民が反発し挫折
1889	大隈重信の外国人裁判官任用案が発覚。国民の怒りを買ひ、爆弾を投げられ片足を失う。案は撤回
1894	陸奥宗光、イギリスの治外法権撤廃に成功
1911	小村寿太郎が関税自主権の回復に成功 (人名はいずれも外務大臣)

条約改正に関する
外務大臣・陸奥宗光の議会演説
(1893年)

「条約改正の目的、否、日本外交の目的は、国として受けるべき権利は受け、国としてつすべき義務を全うすることにあります。すなわち、日本帝国が、アジアの中にありながら、欧米各国から、他のアジアの国が受けられない特別の待遇を受けようというのでありますから、それならば、日本国内でも他のアジアの国にはない政策、方針を行い、日本人民も他のアジアの国にはない特別な進取の気性を示さねばならないのであります。」
(国会議事録より要約)
* 治外法権の撤廃と引きかえに、日本の内地を開放し、外国人の自由な活動を認めることの意義を強調したのも。

つくり、外国人を招いてさかんに舞踏会を開いた。日本も欧米なみの文明国であると世界に誇示し、条約改正を有利に進めようとする試みだった。1886(明治19)年、ノルマントン号事件がおきた。審査をしたイギリス領事裁判所は、船長を禁固3か月という軽い罰にしたので、国民の反発はさらに強まった。

40年がかりの条約改正

欧米諸国はそれでも、条約改正に応じようとはしなかったが、日本は対等な国になろうと努力を重ねた。1889(明治22)年、日本が憲法を制定した動機の一つは条約改正だった。

やがて、最大の強国イギリスは、こうした日本の近代化の努力を認め、また極東に進出してきたロシアに対抗するためもあって、日本との条約交渉に応じた。交渉の責任者だった陸奥宗光外務大臣の努力が実を結び、日清戦争が始まる前の1894(明治27)年、日本は国内での自由な居住・旅行・営業を外国人に認めるのと引きかえに、治外法権が撤廃された(日英通商航海条約)。その後、日清戦争に日本が勝利したのち、アメリカをはじめ各国とも領事裁判権を廃止した。関税自主権の回復はさらに遅れ、日露戦争に日本が勝利した後の1911(明治44)年に、アメリカとの間の交渉に成功した。岩倉使節団の交渉から40年の歳月が経っていた。

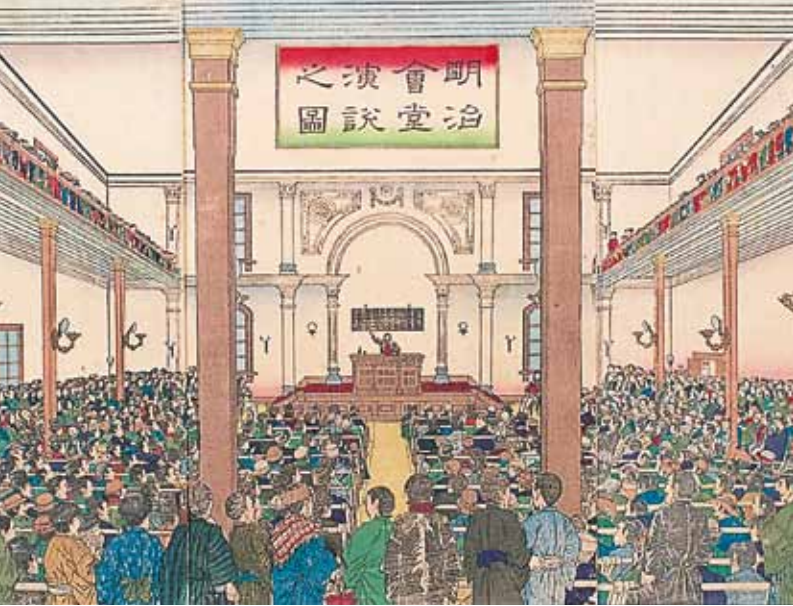
2 イギリスの汽船ノルマントン号が和歌山沖で暴風雨のため沈没。このとき船長以下、イギリス人船員は救命ボートで脱出した。しかし、日本人乗客は放置されて25人全員が溺死した。

陸奥宗光の功績

駐米公使兼駐メキシコ公使であった陸奥は、メキシコに働きかけ、1888年、通商条約を締結した。これは日本がアジア以外の国と結んだ最初の平等条約で、関税自主権を確立し、領事裁判権を互いに認めたものである。日本はこの実績をもとに、西洋諸国との条約改正に成功していった。

まとめにチャレンジ!

英国が日英通商航海条約を日本と結んだ理由を2つあげてみよう。



自由民権派の演説会につめかけた聴衆
明治会堂演説之図（大分県立先哲史料館蔵）

民撰議院
設立の建白書
(1874年)



板垣退助
(1837~1919)

今日、政権の中心がどこにあるかを考えてみると、上の天皇にあるのではなく、下の人民にあるのではなく、有司（一部の役人）のもとにある。彼らは天皇を尊び人民を大切にすると口では言うが、実際には多くの法令を出し、絶えず変更している。……これでは国家は崩壊してしまう。これを救う唯一の道は、言論を張り、民撰議院（国会）を設立することである。
(板垣退助『自由党史』より)

江戸の会読と民権派の憲法草案

明治前期には各地に学習結社がつくられ会読が行われていた。会読は、江戸時代に私塾や藩校で行われていた方法で、翻訳された法律や政治経済の西洋書物の内容をめぐって討論を行い相互に批判し合うというもの。会読の場では、他人の意見に従うのではなく、道理に従う討論を行うことが求められた。このような会読を通じて西洋の立憲主義の思想を学習し、各地で私擬憲法といわれる民間の憲法草案を作成していった。その総数は全国で3000件にもおよんだ。
民間の主な憲法草案には次のようなものがある。

- ・日本憲法見込案（内藤魯一）
- ・東洋大日本国憲法（植木枝盛）
- ・日本憲法見込案（立志社）
- ・日本帝国憲法<五日市憲法>（千葉卓三郎）
- ・若倉貞視憲法綱領（井上毅）

いずれも日本は立憲君主制の国家であるとの趣旨の規定が盛り込まれていた。
たとえば、五日市憲法草案には次の規定が盛られていた。
■国帝の身体は神聖にして侵すべからず又責任とする所なし（以下略）
■国帝は立法行政司法の三部を総轄す



大隈重信（1838~1922）

佐賀出身。政府内で国会の早期開設を主張し、慎重派の伊藤と対立した。伊藤に追われ立憲改進黨を組織する。のちに板垣の自由党と合流し、首相となる。



伊藤博文（1841~1909）

長州藩の下級武士の出身。伊藤のつくった憲法草案は、まず天皇の地位を明らかにした上で、立憲君主制の国家であることを明らかにしている。

59

自由民権運動と
政党の誕生

自由民権運動はどのようにして始まり、政党の誕生につながっていったのだろうか。

1 これは、1869年に設けられた建白書制度を利用したものだ。この制度は、身分や男女を問わず誰でも政府に意見を述べるができるもので、このうち1890年の国会開設まで20年間つづき、国会開設後は議会への請願制度に受けつけられた。



オッペケベ節 自由民権思想を広めるために川上音二郎が歌って流行した。「権利幸福きらいな人に、自由湯をば飲ませたい」など節をつけて歌った。（早稲田大学演劇博物館蔵）

自由民権運動の始まり

1868（明治元）年に発布された五箇条の御誓文は、会議を開き、世

論に基づいて政治を行うことを国の根本方針として宣言した。

1874（明治7）年、前年の征韓論をめぐる政変で政府を去った板垣退助らは、民撰議院設立の建白書を政府に提出した。その中で、国民が政治に参加できる国会の開設を求めた。

建白書の提出とともに、板垣は高知県に土族中心の政治結社である立志社をつくった。板垣らは、政府が、薩摩・長州などの出身者からなる藩閥政府であると批判し、これに対抗して、国民の自由な政治参加を主張する運動を始めた。この動きは全国に広まり、自由民権運動とよばれた。

政党の結成

1878（明治11）年、政府は地方議会として府県会を開設した。自由民権派は地方議会に進出し、各地に政治団体をつくり、全国的な結びつきを強めていった。1880（明治13）年には、大阪に代表者が集まって国会期成同盟を結成し、新聞や演説会を通して活動を広げていった。

自由民権運動が盛り上がるなかで、国会開設の時期について、政府の内部でも意見が分かれた。1881（明治14）年、参議の大隈重信は、2年後に国会を開設し、政党内閣制を実現するこ

とを主張した。伊藤博文は、時期尚早として、大隈を政府から追い出した（明治14年の政変）。同時に、政府は、10年後に国会を開設することを国民に約束した（国会開設の勅諭）。国会開設に備えて政党の結成があいつぎ、板垣退助は1881（明治14）年に自由党を、大隈重信は翌年立憲改進黨を組織した。

政府と民間の憲法準備

地方の志ある人々の中には、自分たちで外国の文献を研究し、憲法草案をつくるグループもあらわれた。これら民間の憲法草案は、すべて立憲君主制をめざす内容で、一般国民の向学心と知的水準の高さを示すとともに、国民の強い愛国心をあらわすものでもあった。

条約改正と近代国家の建設のために、憲法と国会が必要である点では、政府も自由民権派も違いはなかったが、自由民権派は早急に事を進めようとし、政府は慎重に進めようとしていた。政府は伊藤博文をヨーロッパに派遣して、プロシアなどの憲法を調査・研究させた。帰国した伊藤は、井上毅らとともに憲法草案づくりに取りかかった。伊藤たちは、ヨーロッパの憲法を参考にした上で、日本の伝統的な宗教や文化を土台とする憲法草案をつくった。伊藤博文は、1885（明治18）年には内閣制度を創設し、みずから初代の内閣総理大臣に就任した。

まとめにチャレンジ!

明治政府に対して国民の中から出てきた要求を3つあげてみよう。



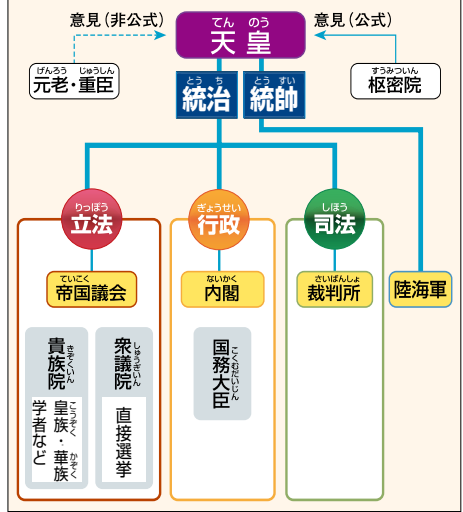
大日本帝国憲法の発布 1889（明治22）年2月11日、前年10月に完成したばかりの皇居新宮殿で、天皇が憲法原本を総理大臣の黒田清隆に手わたした。（東京・憲政記念館蔵）



憲法発布式桜田之景 祝賀の観兵式にのぞむ天皇を乗せた馬車が、皇居を出るところを描いており、周囲では憲法の誕生を祝う人々が、お祭り騒ぎをくり広げている。（東京都立中央図書館蔵）

大日本帝国憲法の主な条文

- 第1条 大日本帝国は万世一系の天皇これを統治す
- 第3条 天皇は神聖にして侵すべからず
- 第4条 天皇は国の元首にして統治権を総攬し、この憲法の条規によりこれを行ふ
- 第5条 天皇は帝国議会の協賛をもって立法権を行ふ
- 第11条 天皇は陸海軍を統帥す
- 第20条 日本臣民は法律の定むる所に従い兵役の義務を有す
- 第29条 日本臣民は法律の範囲内において言論著作印行集会および結社の自由を有す
- 第55条 ①国務各大臣は天皇を補弼しその責に任ず
②すべて法律勅令その他国務に関する詔勅は国務大臣の副署を要す
- 第57条 ①司法権は天皇の名において法律により裁判所これを行ふ



大日本帝国憲法による立憲国家のしくみ

教育勅語

国民は、父母に孝行し、兄弟は親しみあい、夫婦は仲むつまじく、友人は信じあい、つつしみ深く、高ぶらず、民衆に広く愛をおよぼし、学問を修め、技術を学び、かくして知能を啓発し、徳と才能をみがき、世のため人のため進んで尽くし、憲法を重んじ法律に従い、もし国家や社会の非常事態がおきれば、義勇の心を發揮して、国の命運を助けなければならない。（現代文で要約）



帝国議会 第一回帝国議会の衆議院。300議席のうち自由民権派が171議席をしめた。首相は長州藩閥の代表、山県有朋。（東京・憲政記念館蔵）

60

大日本帝国憲法と立憲国家

大日本帝国憲法は、どのような内容だったのだろうか。

1 憲法の第3条が、その条文にあたる。条文の意味は、天皇に政治責任を問うことはできないというもので、その裏には、天皇は政治的決定権をもたないという意味をふくんでいた。

大日本帝国憲法の発布

1889（明治22）年2月11日、大日本帝国憲法が発布された。この日は、前夜からの雪で東京市中が一面の銀世界となったが、祝砲がとどろき、山車が練り歩き、仮装行列がくり出し、祝賀行事一色となった。

大日本帝国憲法は、まず天皇が日本を統治すると定めた。その上で実際の政治は、各大臣の輔弼（助言）に基づいて行うものとし、天皇に政治的責任を負わせないこともうたわれた。国民には兵役と納税の義務があるとともに、法律の範囲内での言論・集会・結社・居住と移転・信教などの自由が保障された。また、国民は選挙権をもち衆議院議員を選ぶことになった。法律や予算の成立には議会の承認が必要とされた。議会に

憲法を賞賛した内外の声

憲法が発布されると、政府批判の論陣を張ってきた新聞も、「聞きしにまさる良憲法」、「実に称賛すべき憲法」などと称えた。また、憲法は翻訳されて、世界各国に通告された。イギリスの新聞は、「東洋の地で、周到な準備の末に、議会制憲法が成立したのは何か夢のような話だ。これは偉大な試みだ」と書いた。イギリスのある学者は、日本の憲法が古来の歴史と習慣をもととした穏健な立場でつくられ

ていることがもっとも賛成できる点である、と述べた。ドイツのある法律家は、議会を両院に分け、衆議院のほかに貴族院を設けた知恵を高く評価した。その理由は、どの国でも下院（衆議院）は急進的になるものだが、その暴走による社会不安を和らげるには、国に対する責任感と良識のある人々からなる上院（貴族院）が欠かせない、というものだった。

は、国民の選挙による衆議院のほか、華族や功労ある学者および官僚出身の議員などからなる貴族院が置かれた。

衆議院選挙と帝国議会

翌1890（明治23）年には、初めての衆議院選挙が行われ、第1回帝国議会が開かれた。これによって日本は、立憲政治は欧米以外には無理だと思われていた時代に、アジアで最初の議会をもつ本格的な立憲国家として出発した。

教育勅語の発布

同年、議会の召集に先立ち、天皇の名によって「教育ニ関スル勅語」（教育勅語）が発布された。これは、父母への孝行、学問や公共心の大切さ、そして非常時には国のために尽くす姿勢など、国民としての心得を説いた教養で、1945（昭和20）年の終戦にいたるまで、各学校で用いられ、近代日本人の生き方に大きな影響をあたえた。

教育勅語 明治になって、旧来の道徳と新たな道徳が入り交じり、道徳のあり方が混乱した。そこで、国民の指針となるよう、14の徳目を天皇の言葉として短くまとめたものである。学校の儀式で読み上げられた。また、多くの言語に翻訳され、海外にも知られた。

2 選挙権は満25歳以上の男子で、直接国税15円以上をおさめる者に限られていた。当時、イギリス、フランス、アメリカなどこの国でも、身分や納税額などによって選挙権は制限されていた。

まとめにチャレンジ!

大日本帝国憲法は、天皇の地位をどのように定めているか、説明してみよう。

福沢諭吉の

『学問のすすめ』と「脱亜論」

日本・朝鮮・清国の3国が、連帯して西洋のアジア進出に対抗することを主張してきた福沢は、なぜ、のちに「脱亜論」を書くことになったのだろうか。

◎「一身独立して、一国独立する」

福沢諭吉は、幕末から明治30年代にかけて活躍した啓蒙思想家です。福沢は、1872（明治5）年に『学問のすすめ』を発表し、「一身独立して、一国独立する」という名言をのこしました。日本人一人ひとりが独立心をもつことが、日本を西洋列強と対等に付き合うことのできる、自立した国家にするもとだ、というのです。福沢は、政治はお上りするものとし、その言う通りにすればよいと考える、独立心のない人々を批判して、こう書きました。

「独立の気力なき者は、恥ずべきときに恥じず、論ずべきときに論ぜず、人さえ見ればただ腰を屈する。国内のことならばそれでよいとしても、いま外国と交わるの日においては、一人の損失、一人の恥辱では済まない。それは一国の損失、一国の恥辱である。」

◎「火事」から日本を守るには

福沢は、同じ考えのもと、お隣の朝鮮も、外国に侵されない、独立した国になることを望みました。東アジアの3国が、自国の国民を啓蒙するとともに、

社会のしくみを一日も早く近代化し、たがいに手を取り合って西洋のアジア進出に対処していかなければならない、と考えた

のです。しかし、現実には、福沢の望み通りには進みませんでした。

アヘン戦争以後の清は、イギリス、フランス、ロシアなど西洋列強によって国土を侵されてきましたが、政治や社会のしくみの近代化が立ち遅れていました。朝鮮は、その清を宗主国とする冊封体制にとどまっていた。南下政策をとるロシアが朝鮮半島をねらっていることに対しても、近代的な国防のしくみを十分につくることができ

ませんでした。また、日本が開化政策をとっていることを、「西洋かぶれ」と反発した勢力もありました。福沢は、このような隣り近所の国々のあり方を見過ごすことができませんでした。



福沢諭吉 (1834~1901)

「いま西洋が東洋に迫るそのありさまは、火事が燃え広がるのと同じである。この火事から日本という家を守るには、日本の家だけを石造りにすればすむというものではない。近隣に粗末な木造家屋があれば、類焼はまぬかれないからである。」

日本・朝鮮・清という、おたがいに隣り合う家屋の安全のためには、隣の家の主人をなかば強制してでもわが家に等しい石造りの家をつくらせることが必要である。これが福沢の考え方でした。

◎朝鮮近代化の挫折と「脱亜論」

朝鮮政府の中には、自国の置かれている危さに気づいている政治家もいました。その一人が金玉均でした。福沢は、金玉均たち開化派にはたらきかけ、朝鮮政府が近代化政策を進めるのを支援しました。

朝鮮王朝によって15世紀に発明されながら十分には普及していなかったハングル文字を、国民教育のために使用することを勧めたのも福沢でした。

しかし、朝鮮政府の中には、開化派に反感をいだく守旧派の政治家たちもたくさんいて、開化派が進めようとする近代化政策に反対しました。朝鮮を属国と見ている清は、朝鮮に軍事的な圧力をかけ、朝鮮の近代化政策に干渉しました。1884（明治



時事新報 1882(明治15)年に福沢諭吉が創刊した新聞。1885年3月16日付に「脱亜論」が掲載された。

17)年、金玉均たちの開化派は、日本を後ろ盾として、国の近代化をはかるためのクーデターをおこしました。清は「属邦保護」を名目に干渉し、軍隊によって鎮圧しました（甲申事変）。

近代化が十分に進まない東アジアの状況に対して、福沢はなかば絶望しました。そして、甲申事変のすぐあとに、「脱亜論」という論文を発表し、「わが国は、もはやこのような朝鮮や清と連携して西洋の進出に対抗することはできない。これからは、西洋諸国のやり方に従って、付き合うしかない」と主張しました。しかし、すぐに強硬な姿勢をとったわけではなく、その後も朝鮮や清の覚醒を期待しつつ、ねばり強く言論活動をつづけました。

金玉均は李朝における支配階級・両班の出身で、科擧試験に合格した役人だった。世界の大勢を知り、朝鮮の自立と近代化の必要を痛感した金は、同志を集めて開化派(独立派)を結成し、日本の明治維新にならった改革を進めようとした。「日本がアジアのイギリスになるならば、わが国はアジアのフランスになる」というのが、彼の口癖だった。



金玉均 (1851 ~ 94)

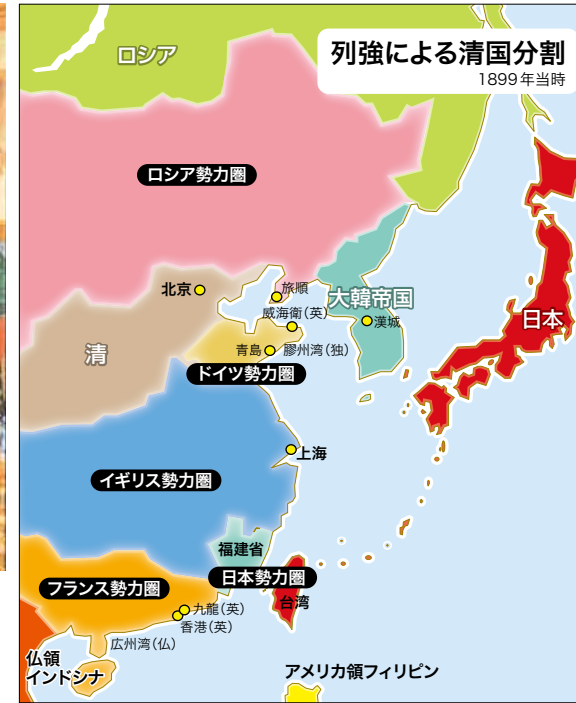
1884年、開化派は清仏戦争の機会をとらえて、事大党の政権を倒すクーデターに決起し政権奪取に成功したが、3日後、朝鮮を支配下に置きたい清は軍隊を朝鮮に送り開化派を弾圧した。日本は開化派を守ることができず、金玉均は日本に亡命した。10年後、彼の上海滞在中、李朝の刺客に暗殺された。



長崎事件 1886(明治19)年8月、清国北洋艦隊の定遠、鎮遠などの軍艦4隻が修理のため長崎港に入港した(写真は鎮遠)。上陸した500人の水兵は酔って乱暴をはたらき、警察官と騒乱となり、双方に死傷者が出た(長崎事件)。事件後、清は日本側に無礼を謝罪せず、逆に高圧的な態度に出た。この事件は、1884(明治17)年の甲申事変と合わせて、清国に対する恐れと怒りが国民に広がった。



下関講和会議(1895年) ①総理大臣の伊藤博文、②外務大臣の陸奥宗光、③中国側の全権代表の李鴻章。(永地秀太筆 東京・聖徳記念絵画館蔵)



朝鮮、台湾と、台湾に近い福建省が日本の勢力圏であった。

がり、日本は陸戦でも海戦でも清を圧倒し、勝利した。日本軍と清軍は、ともに近代化した装備をもっていた。しかし、清軍に比べて日本軍は訓練・規律が行き届いており、戦う意欲も高かった。清の国民は政府との一体感をもたなかったのに対し、日本の国民は政府の方針をわがことと受け止め戦いに協力した。この違いが、戦いの勝敗を分けた。

下関条約と三国干渉

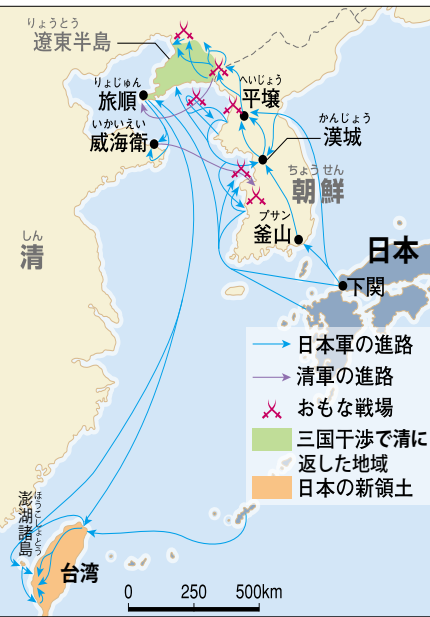
1895(明治28)年、日清両国は下関条約を結び、清は朝鮮の独立を認めるとともに、日本政府の財政収入の約3倍に当たる賠償金3億円あまりを支払い、遼東半島や台湾などを日本に譲りわたした。古代からつづいた東アジアの華夷秩序は崩壊し、清はたちまちにして欧米列強の分割の対象となった。しかし、日本が簡単に欧米列強と対等になることは許されなかった。東アジアに領土的野心をもつロシアは、ドイツ、フランスを誘って、強大な軍事力を背景に、遼東半島を清に返還するよう日本にせよ。これを三国干渉という。

拒否する力をもたない日本は、遼東半島を手放さざるを得なかった。3年後、ロシアはこの半島の旅順・大連を租借し軍事基地をつくった。日本は、「臥薪嘗胆」を合言葉に、ロシアに對抗するため官民あげて国力の充実につとめるようになった。

61

日清戦争と三国干渉

日清戦争とは、どのような戦争だったのだろうか。



日清戦争の主な戦場 威海衛は清国海軍の根拠地、旅順には陸軍の要塞があった。日本は24万の兵力と6万トンの艦船で、63万の兵力と8.5万トンの艦船をもつ清国と戦った。

朝鮮をめぐる日清の抗争

日本は、朝鮮の開国後、その近代化を助けるべく、軍隊の制度改革を援助した。ところが、1882(明治15)年、まだ改革のおよばない部隊に属する一部の朝鮮軍人が、冷遇されたと不満をもち、暴動を起こした(壬午事変)。宗主国である清はこれに乗じ、数千の軍隊を派遣してただちに暴動を鎮圧し、日本の影響力を弱めた。

1884(明治17)年には、日本の明治維新にならって近代化を進めようとした金玉均らのクーデターがおこったが、このときも清の軍隊は、これを鎮圧した(甲申事変)。

朝鮮における清との勢力争いに2度敗北した日本は、清との戦争を予想して、急速に軍備を拡張し、やがてほぼ対等な軍事力をたくわえるにいたった。

日清戦争と日本の勝因

1894(明治27)年、朝鮮の南部で、東学とよばれる民間宗教の団体を中心とした農民の暴動(甲午農民戦争)がおこった。農民軍は、外国人と腐敗した役人を追放しようとし、一時は朝鮮半島の一部を制圧するほどであった。

た。わずかな兵力しかもたない朝鮮王朝は、清に鎮圧のための出兵を求めたが、日本も清との申し合わせに従って軍隊を派遣したため、日清両軍が衝突して日清戦争が始まった。

戦場は朝鮮のほか、満州(現・中国東北部)の南部などに広

最初に政党内閣

日清戦争後の1898(明治31)年、進歩党の大隈重信と自由党の板垣退助は協力して憲政党を組織し、日本初の政党内閣を成立させた。しかし、大隈内閣は半年もつづかなかった。

まとめにチャレンジ!

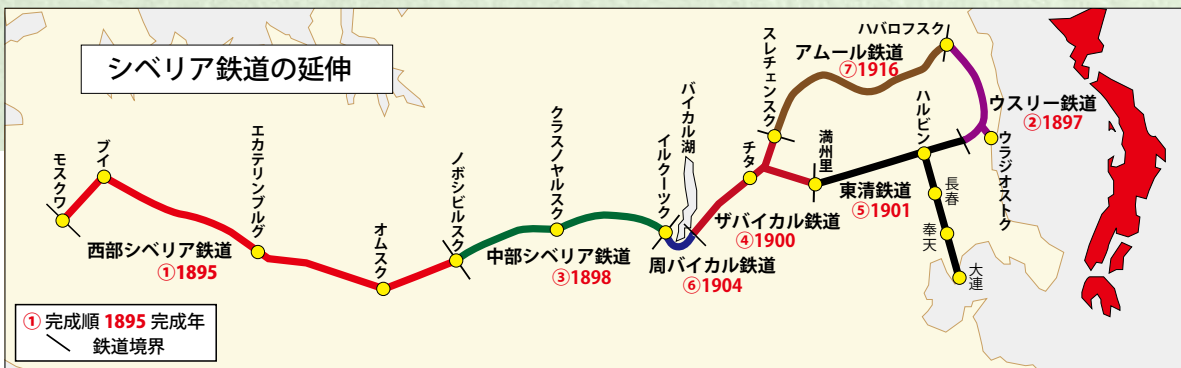
日清戦争とはどのような戦争だったのか、原因と経過と結果をまとめてみよう。



義和団事件（「義和団民大戦天津紫竹林得勝図」東京都立中央図書館蔵）



シベリア鉄道の建設



62

日英同盟

日本はなぜ、自国の安全保障のために日英同盟を選択したのだろうか。

- 1 ロシアが朝鮮のすぐ北に建設した港町のウラジオストクは、ロシア語で「東方を征服せよ」という意味だった。
2 義和拳という武術を学んでいたため、この名がある。
3 各国の外交官などが北京に籠城したとき、会津出身の柴五郎が指揮する日本軍の勇敢さと規律のよさが世界に報道され、のちの日英同盟を実現させる一要因となった。

義和団事件とロシア

19世紀の末、ロシアは不凍港を求めて東アジアに目を向け始めた。

1891年には、大陸を横断して東の玄関ウラジオストクにいたるシベリア鉄道の建設に着手した。さらに、朝鮮半島に入って

1900年、清で義和団事件がおこった。義和団とは、伝統宗教の流れをくむ民間の自衛組織で、外国人を排斥した。山東省で蜂起した数万人規模の義和団は、宣教師や外交官を殺害し、北京の各国公使館を包囲した。日本軍を主力とするイギリス、ロシアなど8か国が軍隊を派遣し、これを鎮圧した。この事件の翌年、清と各国との間に北京議定書が結ばれた。事件が終息すると各国の軍隊は引きあげたが、ロシアは満州に建設中の東清鉄道を保護する名目で送り込んだ2万の兵を撤退させず、英米日の抗議を無視して居座りつづけた。

日英同盟の締結

南下するロシアに日本は危機感を抱いた。伊藤博文、井上馨らは、ロシアと戦争をしても勝てないから交渉をして満州はロシアの勢力圏に、朝鮮半島は日本の勢力圏にすることで妥協しようとして主張した（満韓交換論）。山県有朋、桂太郎、加藤高明、小村寿太

日露条約の問題点（小村意見書から）



小村寿太郎（1855～1911）外務大臣として日露戦争を支えた外交のベテラン。列強どうしの関係をたくみに利用して日本の国益を守った。

1 一時的には東洋の平和を維持できるであろうが、ロシアの侵略主義は到底これに満足しないから、長期的な保障とはならない。2 シベリアは、将来は別として、現状では経済的利益は小さい。3 最近清国人は、上下ともに日本に対して友好

的な感情をもってきているが、ロシアと結ぶと清国人の感情を害して、清国における日本の利益を損ずることになる。4 英国の海軍力に対抗しなければならなくなる。

日英同盟の利点（小村意見書から）

1 アジアにおける英国の目的は領土拡張でなく、現状維持と通商利益であり、英国と結べばロシアの野心を制して、比較的長く東洋の平和を維持できる。2 したがって、日英条約は平和防衛的なものとして国際世論からも支持される。3 英国と結ぶと清国はますます日本を信頼するようになり、日本の利益を増進する。4 韓

国問題を解決するためには、他の強国と結んで、ロシアがやむをえず日本のいうことを聞くようにするほかはない。英国は同盟を結ぶのにもっとも適当な国である。5 英国と結べば、日本の経済についての国際的信用を高める。また、英国人は、同盟国の共通利益ということで、日本に財政上、経済上の便宜をはかるだろう。6 大英帝国とシベリアでは、日本にとっての通商上の価値は比較にならない。7 ロシアの海軍は、英国の海軍よりも弱く、対抗するのが容易である。



日英同盟の更新を記念する絵はがき（三越提供）

郎らは、日本に接近してきたイギリスと同盟を結んでロシアと戦うべきであると主張した。

論争に決着をつけたのは、外交官の小村寿太郎が提出した意見書だった。それは、日露と日英のどちらの同盟が日本の国益になるかを論じ、日英同盟をとるべきであると主張したものであった。小村意見書は、政府の方針として採択され、それに基づいて交渉した結果、1902（明治35）年、日英同盟が締結された。日英同盟はこののち20年間、日本の安全と繁栄に大きく役立った。

日露開戦へ

日本の10倍の国家予算と軍事力をもっていたロシアは、満州の兵力を増強し、鴨緑江河口の龍岩浦に軍事基地を建設し始めた。このまま黙視すれば、ロシアの極東における軍事力は、日本が太刀打ちできないほど増強されるのは明らかだった。政府は手遅れになることを恐れて、ロシアとの戦争を決意した。

4 三国干渉で日本の影響力が弱まり、政治が混乱する朝鮮に、ロシアは兵を入れた。朝鮮国王は混乱の中で身の危険を感じてロシア公使館に移った。1年後に国王は王宮にもどったが、それ以後も朝鮮の政治に対するロシアの干渉はつづいた。

まとめにチャレンジ!

日本がロシアとの同盟を結ばず、英国と同盟を結んだ理由を3つ以上あげてみよう。



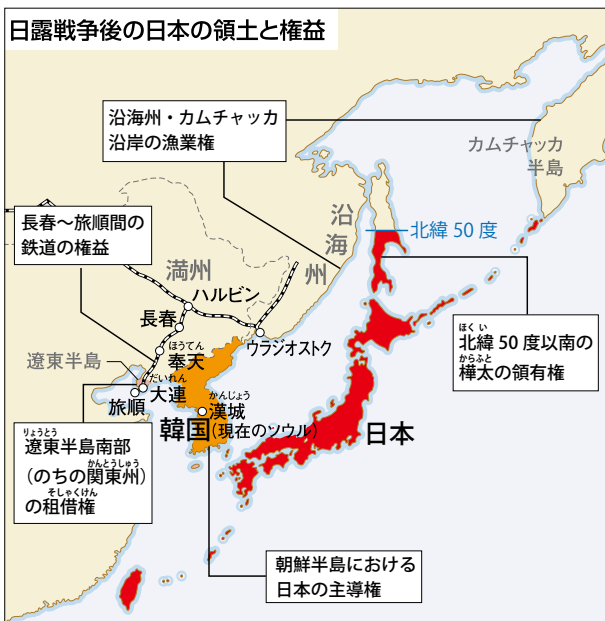
陸軍	歩兵	騎兵	火炮	総兵力
ロシア	1740個大隊	1085個中隊	12000門	約207万人
日本	156個大隊	54個中隊	636門	約20万人

海軍	戦艦	装甲巡洋艦	巡洋艦	総トン数
ロシア	11	12	—	約45万トン
日本	6	6	12	約26万トン

赤文字は極東の兵力。ただし海軍の表では小型艦を除く隻数。ロシアの上段艦船数はバルチック艦隊の隻数。ロシアは開通したシベリア鉄道を使って、本国から兵員や武器・弾薬の補給を行う余裕があった。奉天会戦以後、日本はそれらを補充する余力がなかった。



水師營の会見。乃木希典(中列左から2人目)は、死闘をくり広げたロシアのステッセル中将(乃木の向かって右)を、「昨日の敵は今日の友」と厚遇した。これが世界中に報道され、敵将を思いやる日本の武士道として感銘をあたえた。(東京・乃木神社)



ロシアには、専制政治に対する不満から革命運動が強まり、戦争中止への機運が生まれた。両国のようすを見たアメリカ大統領セオドア・ルーズベルトは、日露間の講和を仲介した。アメリカのポーツマスで開かれた講和会議の結果、1905(明治38)年9月、ポーツマス条約が結ばれた。



ポーツマス講和会議(1905年)
①ロシア代表ウイッテ②アメリカ大統領ルーズベルト③日本代表小村寿太郎。小村は日本の国力を冷静に見ながら、ウイッテ相手に最大限の譲歩を引き出した。

この間、李氏朝鮮は、1897年に国号を大韓帝国(韓国)と改めていたが、この条約で日本は朝鮮半島の主導権をロシアに認めさせた。さらに、日本は中国の遼東半島南部(のちに、日本は関東州とよぶ)の租借権を取得し、南満州にロシアが建設した鉄道の権益を譲り受け、南樺太の領有を認めさせた。いっぽう、賠償金を得ることはできなかったため、戦争をつづけようにも国力が限界に達しているという事情を知らない国民の一部は、これを不満として日比谷公園周辺で暴動をおこし、内務大臣官邸や交番などを襲撃した。政府は戒厳令を敷いて暴動を鎮圧した(日比谷焼き打ち事件)。

- 1 日本の勝利を歓迎したトルコのイスタンブールでは、東郷や乃木にちなんで、通りにトローゴ・ソカタ(東郷通り)、ノギンソカタ(乃木通り)という名をつけた。フィンランドは東郷の顔写真を入れた「アミラール(提督)」というビールをつくった。
- 2 日清戦争後、すでにドイツ皇帝ウィルヘルム2世などが主張していた。

世界を変えた日本の勝利

日露戦争は、日本の生き残りかけた戦争だった。日本はこれに勝利して、自国の安全保障を確立した。近代国家として生まれて間もない日本の勝利は、西洋列強の植民地にされていた諸民族に、独立への希望を抱かせた。また、ロシアに圧迫されていたトルコ、フィンランド、ポーランドの人々に国家防衛の勇気をあたえた。しかし他方、黄色人種は将来、白色人種の脅威となるという黄禍論が欧米に広がるきっかけにもなった。

まとめにチャレンジ!

国力の小さかった日本が、ロシアに勝利することができた理由を2つ以上あげてみよう。

63 国家の命運をかけた日露戦争

日露戦争はどのように戦われ、日本の勝利はどのような影響を世界にもたらしたのだろうか。



日本を勝利に導いた秋山兄弟の秋山好古(左、1859~1930)は奉天会戦などで騎兵隊を指揮してロシアのコサック騎兵と戦い、日本騎兵の父といわれている。弟の秋山真之(右、1868~1918)はアメリカ留学後、連合艦隊の参謀として、日本海海戦の完勝の戦術を作成した。

奉天会戦と日本海海戦

1904(明治37)年2月、日本はロシアに国交断絶を通告し、日露戦争の火ぶたを切った。戦場になったのは朝鮮と満州だった。乃木希典のひきいる陸軍部隊は旅順要塞を攻略し、苦戦の末に港内のロシア旅順艦隊を全滅させた。各地で勝利した日本軍は北進して、1905年3月、奉天会戦に勝利した。しかし損耗が激しく、ロシア軍を追撃できなかった。

ロシアは、1904年10月、バルト海からバルチック艦隊を派遣した。アフリカ回りの大航海をした艦隊は、途中で燃料(石炭)を補給しなければならなかったが、日英同盟を結んでいたイギリスの植民地や中立国からは港に貯蔵する良質炭を補給できず、修理もできなかった。1905年5月、東郷平八郎司令官ひきいる日本の連合艦隊は、バルチック艦隊を対馬海峡にむかえ撃ち、たくみな戦術でこれを全滅させ、世界の海戦史に残る勝利をおさめた(日本海海戦)。

ポーツマス条約

日本海海戦に勝利したとき、日本は海外からの借金と国債でまかなった国家予算の8年分に当たる戦費を、すでに使い切っていた。長期戦になれば、ロシアとの国力の差が戦力の差となつてあらわれ、形勢が逆転するのは明白だった。いっぽう負け戦つづきの

にちろ 日露戦争を戦った日本人

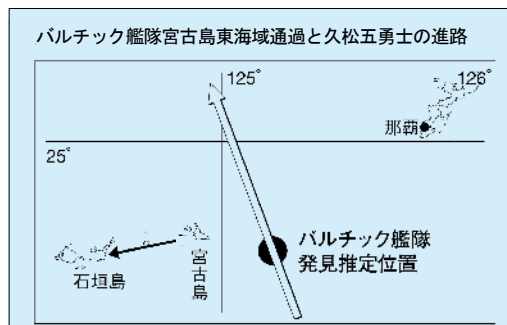
日本国家の命運をかけた日露戦争。
その最後の決戦となった日本海海戦を戦ったのは、
日本の軍人や指導者だけではなかった。

◎久松五勇士

ロシア海軍のバルチック艦隊は、1905（明治38）年5月、インド洋からマラッカ海峡を経て、極東を目指していました。迎え撃つ日本の連合艦隊は、バルチック艦隊がどこにいて、どのコースをとってやって来るのか、判断できませんでした。

日本人で最初にバルチック艦隊と遭遇したのは、沖縄県宮古島の若い漁師でした。一刻も早く東京の大本営に知らせなければなりません、あいにく宮古島には通信施設がありません。役場に長老が集まって相談し、通信施設のある八重山諸島の石垣島まで使いを出すことになりました。これを引き受けたのが、久松地区に住んでいた5人の青年でした。彼らはトビウオ漁から帰ったばかりで疲れていたのですが、お国の一大事と、役目を引き受けたのです。

5人は、サバニとよばれる丸木舟に乗って、夜の荒海を15時間、170キロの距離



離を必死に漕いで、石垣島の東海岸に着き、さらに30キロの山道を走って、5月27日午前4時ごろ、八重山通信局に飛び込みました。こうして「敵艦見ゆ」の電報が那覇を經由して東京の大本営に伝えられました。5人の人間の生理的限界を超えて大役を果たした5人は、「久松五勇士」として、その功績が今もたたえられています。（4章⇒扉参照）

◎海戦史に残る大勝利

連合艦隊司令長官東郷平八郎は、「敵艦見ゆとの警報に接し、連合艦隊はただちに出勤、これを撃滅せんとす。本日天気晴朗なれども波高し」という電報を打ちました。15作戦参謀秋山真之中佐の起草したこの電文は、その後長く国民の記憶に刻まれる歴史的な文章となりました。

対馬海峡を北上して来る38隻のロシア艦隊との距離が8000mまで近づいた午後2時5分、日本艦隊は左に旋回して敵艦隊と平行に並び、速力を早めてその行く手をおさえる戦法をとりました。ロシア艦隊はいち早く発砲を開始しましたが、日本艦隊は、距離6000mから砲撃に移り、夕刻まで3回の戦闘で敵の新鋭戦艦5隻のうち4隻を撃沈し、戦いの大勢を制しました。

戦闘は翌日朝まで続きましたが、38隻



日本海海戦 戦艦「三笠」艦橋の図 軍刀に手をそえて指揮をとるのが連合艦隊司令長官・東郷平八郎。その後ろでノートを取るのが参謀の秋山真之。（三笠保存会蔵）

のロシア艦隊は、沈没21隻、降伏6隻、中立国に逃れ武装解除6隻のほか、ロシア本国に逃げ帰ったもの2隻で、目的地ウラジオストックにたどり着いたのはわずか3隻というありさまでした。日本は水雷艇3隻を失いましたが、軍艦の沈没はゼロで、世界の海戦史に長く残る大勝利でした。

◎武士道精神で

ロシアの敗軍の将を厚遇
東郷大将は佐世保軍港に帰還したあと、この海戦で重傷を負い、日本の海軍病院に送られていたロシア艦隊の司令長官ロジェストヴェンスキー中將を、見舞いました。陸軍でも、旅順要塞の陥落後、第三軍司令官乃木希典大将は、ロシアの司令官ステッセル中將と水師營で会見し、敗軍の将

に着剣を認める特別の敬意を表しました。戦後、乃木は敗れたロシアの將軍の助命のための努力をいといませんでした。当時の武人は、このように、敵味方の別を越え、武士道にもとづいて振る舞う礼節の心を持ち合わせていたのです。

イギリスの中部に、パロー・イン・ファーンネスという小都市があります。日本海海戦で歴史的勝利を収めた日本の連合艦隊の旗艦（司令長官の乗っている軍艦）が、この町のビッカーズ造船所で造られた三笠であることを知った当時の市民は、深くそれを喜び、三笠が進水した真正面の対岸の街を、ミカサ・ストリートと名付けました。以後100年余、日英両国間には一時戦争も起きましたが、この名は変更されることなく、現在もそのまま残っています。

アメリカの対日砲艦外交

1908（明治41）年10月、16隻の戦艦からなるアメリカの大西洋艦隊が、世界一周の航海の途中、日本へやってきた。当時、もっている戦艦は全部で9隻だった日本にとって、これとはとてもない大艦隊であった。セオドア・ルーズベルト大統領は、自分がつくりあげた艦隊の威勢を世界各国、とくに、太平洋をはさんで新たなライバルとなった日本に対して、見せつけようと考えたのだった。艦隊は白いペンキで塗られていたので、日本の社会は半世紀前の黒船来航と対比して、「今度は白船だ！」と心配した。

日本政府はこれを威嚇外交だと察知したが、国をあげて歓迎することで、その無言のおどしを受け流すことにした。ルーズベルトも表面上はアメリカの友好的なポーズを演出するため「行儀の悪い水兵は上陸させるな」と指示するなど日本の大

衆に気をつかった。艦隊が横浜に入港する日、群衆は両国の小旗を振ってバンザイをさけびつづけ、アメリカ艦隊の将校たちはパーティー攻めにあつた。彼らを乗せた列車が新橋駅に着くときには、1000人もの小学生にアメリカ国歌を歌わせるなど、日本は政府、民間あげてアメリカへの友好の姿勢を必死になって示した。日露戦争でロシアを西へ押し返したとたんに太平洋をはさんで生まれた、新たな緊張を象徴するできごとだった。



Welcome!と書いた英文の社告をのせた
東京朝日新聞（1908年10月18日付）

64

世界列強の仲間入りをした日本

日本が世界列強の仲間入りをしたことで、どのような影響が出てきたらうか。

1 1911年には、関税自主権を完全に回復し、近代日本の国家建設は、ここに一応の完成を見た。

2 1907（明治40）年6月、オランダのハーグで開かれた万国平和会議に、韓国皇帝は密使を送った。密使は、韓国が日本の圧力によって独立を失うことを懸念しようとした。しかし、各国は外交権のない韓国に発言権はないとして、密使の会議への参加を認めなかった。

日本国家の新たな試練

日露戦争に勝利した日本は、1905（明治38）年、アメリカと桂・タフト協定を結び、フィリピンがアメリカの植民地であること、日本が韓国において指導的地位をもつことを相互に認め合った。

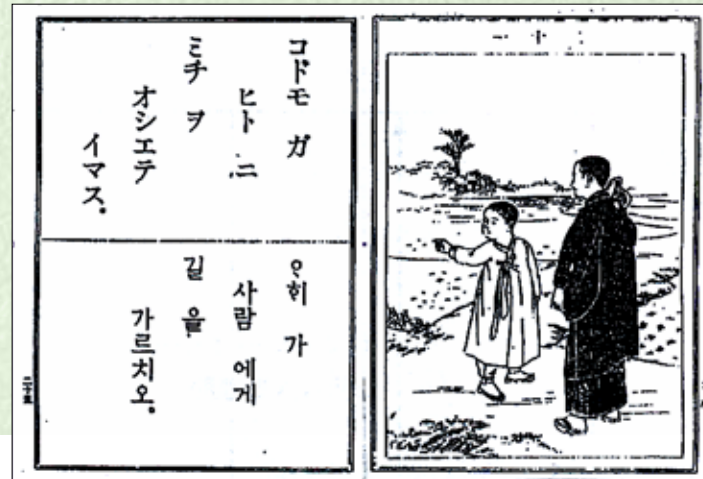
1907（明治40）年、日本はロシアと第1次日露協約を結び、日本が韓国と南満州で特別の権益をもつこと、北満州と蒙古がロシアの勢力範囲であることを相互に認め合った。日本は世界列強の仲間入りをしたものの、西洋諸国から警戒心をもって見られるようになった。

韓国併合

日本政府は、日本の安全と満州の権益を防衛するため、韓国の安定が必要だと考えた。日露戦争後、日本は韓国統監府を置いて保護国とし、近代化を進めた。日本の方針に反発した韓国皇帝は、ハーグ密使事件をおこした。欧米列強は、ロシアの北満州・蒙古、英領インド、米領フィリピンなど、自国の植民地支配を日本が承認するのと引きかえに、日本による韓国の保護国化を承認した。

1910（明治43）年、日本は、武力を背景に韓国内の反対をおさえ、併合を断行した（韓国併合）。韓国内では、民族の独立を失うことへのはげしい抵抗がおこった。

併合後におかれた朝鮮総督府は、植民地政策の一環として、朝鮮の鉄道・灌漑施設をつくるなどの開発を行い、土地調査を実施した。また、学校も開設し、日本語教育とともに、ハン



日本語と朝鮮語（ハングル）を併用する教科書

李朝時代から使われていた文字ハングルを朝鮮固有のものとして普通教育に取り入れた。韓国併合時に約100校だった公立学校が、8年後には460校に増えた。公立学校では、日本語の教育が重視されたが、朝鮮語（ハングル）による教育も行われ、朝鮮総督府は教育の普及につとめた。（朝鮮総督府1924年発行『普通学校 修身書』国立国会図書館）

ル文字を導入した教育を行った。

中華民国の成立

日清戦争の敗北と、義和団の乱の後、列強による中国進出によって、清朝の威信は失墜した。海外に住む華僑や留学生の間には、満州族のつくった清朝を打倒して漢民族の国を復興しようとする動きが生まれた。その活動の最大の拠点となったのは日本だった。2万人をこえる清からの留学生の中には、日本の翻訳語をとおして西洋思想を学び、共和制の国家をめざす革命派グループもあらわれた。1905（明治38）年、孫文らは東京で中国同盟会を組織し、活動資金集めに奔走した。日本人の中には協力者もあらわれた。

革命派は清朝打倒の武装蜂起を幾度か試みたが、ことごとく失敗していた。しかし、1911（明治44）年10月10日に大陸南部の武昌で偶発的に武力蜂起がおこると、各地に波及した。アメリカに亡命していた孫文は、1912（明治45）年1月1日、南京で中華民国の成立を宣言した。2月12日、宣統帝（溥儀）が退位し、清朝は滅亡した。これを辛亥革命という。

しかし外国亡命者の集まりだった革命派には国内統治の力はなく、孫文は清朝の重臣の袁世凱に大総統の地位を譲ることを条件に、皇帝退位の実現に協力させた。

袁世凱（1859～1916）清朝の重臣だったが、革命さえも自己権力の拡大に利用した。



辛亥革命の動き

孫文（1866～1925）日本に亡命し、日本人の中から幾人もの有力な支援者を得た。

3 これらの近代化によって、それまでの耕作地から追われた農民も少なくなく、また、その他にも朝鮮の伝統を無視したさまざまな同化政策を進めたので、朝鮮の人々は日本への反感をさらに強めた。

4 代表的な語には次のようなものがある。哲学、思想、理論、社会科学、人民、共和国、議会、選挙、宣伝、人権、階級、闘争、解放、社会主義・共産主義など。

まとめにチャレンジ!

韓国を併合した日本は、朝鮮社会に対してどのような政策をとったか説明してみよう。

明治国家を背負った 政治家・伊藤博文

幕末から明治の末まで、維新と国づくりのために奔走した伊藤博文。現実を見抜く優れた感覚の持ち主だった伊藤は、その小さな体で明治国家を背負って活躍した。

◎下級武士の出身

明治維新のリーダーで、「維新の三傑」といわれた人物は、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の3人です。彼らは、1877（明治10）年ごろまでに亡くなりました。長州藩出身の伊藤博文は、そのあとをつぎ、明治の終わり近くまで日本国家を指導しました。伊藤は、同藩出身の山県有朋らとともに憲法制定、議会政治、条約改正を進め、日清・日露の2つの戦争を戦い抜きました。

伊藤博文は、幕末の長州藩で、武士の中でもっとも身分の低い足軽の家に生まれました。身分のへだてなく弟子を受け入れた吉田松陰の松下村塾で学び、高杉晋作、木戸孝允らの先輩、友人に接し、次第に頭角をあらわしました。



伊藤博文の生家 復元（山口・光市）

◎絶賛された「日の丸演説」

倒幕運動の渦中、伊藤は井上馨らとともにイギリスに渡航しました。そこで得た知見によって、伊藤は早くから攘夷が無謀なことを知り抜いていました。維新で明治新政府になると、実力者の大久保利通にその才能を認められ、32歳で参議兼工部卿（工部大臣）になりました。

1871（明治4）年、欧米諸国を視察する岩倉使節団が派遣されたとき、伊藤は副使に任命されました。最初の上陸地アメリカのサンフランシスコで、伊藤は一行を代表して英語で演説をしました。その中で、みずからも加わった半年前の廃藩置県の改革について、「数百年つづいたわが国の古い制度は、一発の弾丸も放たず、一滴の血も流さずに撤廃された。こんな国が世界のどこにあるだろうか」と胸を張りました。さらに日本の国旗を指し、「あの赤い丸は今まさに昇ろうとする太陽を象徴し、日本が欧米文明のただ中に向かって躍進する印であります」としめくり、万雷の拍手をあげました。

◎憲法制定に向けての努力

伊藤が残したもっとも大きな業績は、憲法制定と国会の開設でした。彼は1882（明治15）年から1年あまりヨーロッパに留学し、ドイツの憲法学者から講義を受けました。帰国後の1885（明治18）年には、45歳で初代の内閣総理大臣に就任し、井上毅、伊東巳代治、金子堅太郎とともに、心血を注いで憲法の草案をつくりました。草案を審議した枢密院で、ある大臣が草案中の「臣民の権利」の語句を咎めて、「臣民の分際」と書くべきであると主張しました。これに対して伊藤は、「この権利は、第1に君主の権利を制限し、第2に臣民の権利を保護するものである」と説明しました。また、別の出席者は、「天皇は法案議決権や予算審議権をもつべきである」と、天皇の大権を絶対視する意見を述べました。これに答えて伊藤は、「議会議治から生ずる結果について天皇が責任をとるようなくみは、立憲政体とはいえない」と説明しました。

伊藤は、多くの反対をおし切り、予算の決定と法律の制定は議会の承認（協賛）を必要とするという、議会重視の原則を貫きました。この点は、お手本としたドイツよりも進んだ憲法として評価されました。こうして、日本は、アジアで唯一の、憲法に基づく議会政治の国となりました。

◎日清・日露戦争で

日本国家を守り抜く

幕末から明治にかけての時期に、長らく



ベルリンにおける伊藤博文

清の朝貢国であった朝鮮は、国家として弱体化していました。朝鮮が強大な大国の支配下に入り、自国の脅威となることを恐れた日本は、朝鮮をめぐってしばしば清と争い、日清戦争に発展しました。

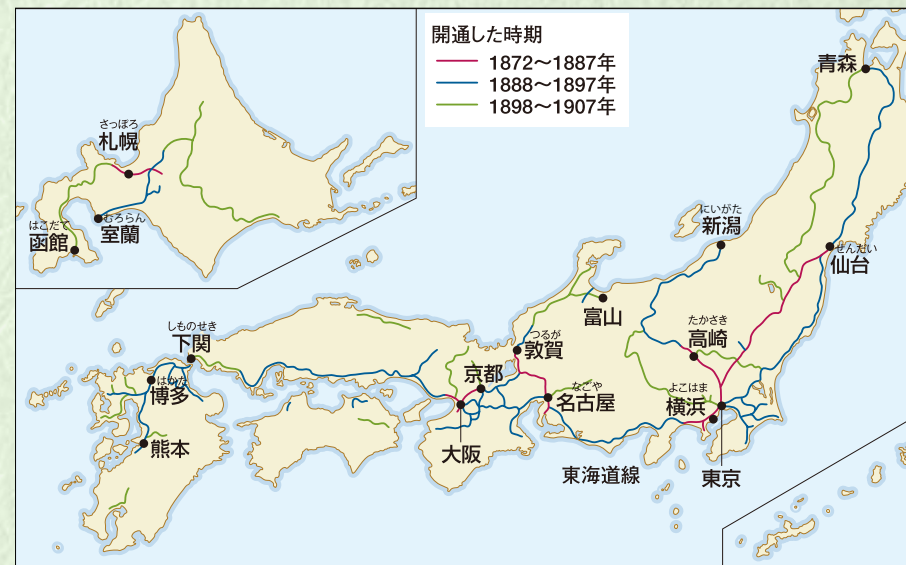
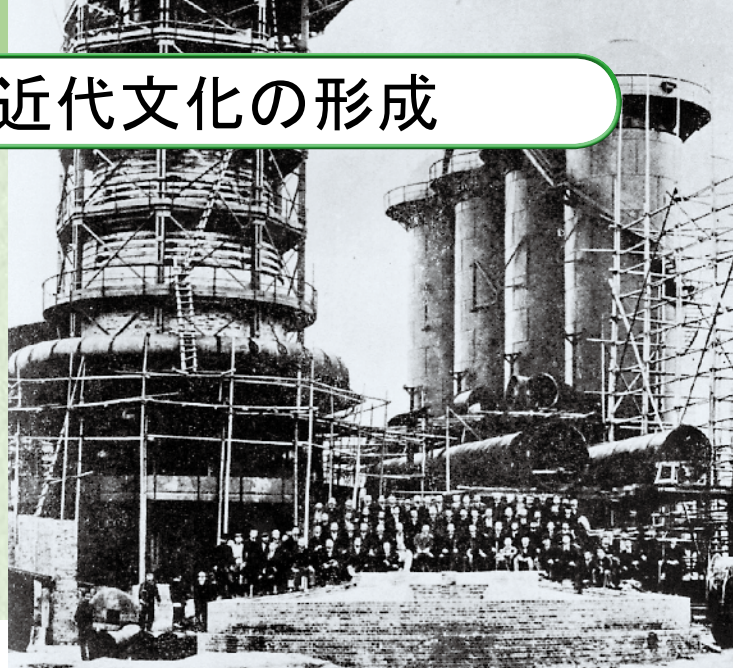
伊藤は、日本の長期的な国益を考え、強硬論にくみするよりも、現実的な判断をするのが常でした。日清戦争で勝利した日本が、清の首都北京まで攻めこむべきとの意見が一部で出たときも、「勝ちすぎてはいけない」として止め、下関講和にもち込んだのは伊藤でした。日露戦争の前には、ロシアの強大さを恐れて慎重な意見を出し、「恐露病」とまでいわれました。他方で、韓国統監府の初代統監をつとめた伊藤は、日本の朝鮮支配の象徴的人物と見なされていました。

伊藤は、1909（明治42）年、日露戦争後の極東問題をロシアと協議する途上、ハルピン駅頭で、大韓帝国の民族運動家・安重根にピストルで撃たれて暗殺され、波乱の人生を閉じました。生涯、伊藤の行動を支えていたのは、「日本という国家を思う心」でした。



◀輸出用生糸のラベル
官営で設立された富岡製糸場のもの。生糸と絹織物は外貨をかせぐ切り札だった。(横浜開港資料館蔵)

➔建設中の八幡製鉄所
欧米から資材を買い入れ、現在の北九州市八幡東区に、官営の巨大製鉄所が建設された。1900年、伊藤博文が視察に訪れたときの写真。



鉄道網の発達 国営の東海道線、信越線に加え、民営の日本鉄道、山陽鉄道、九州鉄道などにより、日露戦争までに幹線鉄道網はほぼ完成し、室蘭港への石炭輸送力も増強された。



明治初年の列車 機関車と客車はイギリスから輸入したもの。やがて日本人技術者の手でつくられるようになった。(明治村蔵)



足尾銅山の精錬所 銅山の開発で生じる排煙、鉛毒ガス、鉛毒水などが周辺の環境に悪影響をあたえた。



田中正造 (1841~1913)
日本の公害問題に取り組んだ指導者。

1 東京などの大都市では、ガラスが普及してショーウィンドウが並び、民家でもガラス障子を取り入れられるようになった。

まとめにチャレンジ!

近代産業の発展にともない都市や農村の生活にあらわれてきた変化を3つ以上あげてみよう。

65

近代産業の発展とその背景

日本の産業革命は、どのように進化したのだろうか。

民間に払い下げられた代表的な官営模範工場

工場名	所在地	払い下げ年	払い下げ先
高島炭鋳	長崎県	1874年	後藤象二郎
広島紡績所	広島県	1882年	広島綿糸紡績
深川セメント製造所	東京都	1884年	浅野総一郎
院内銀山	秋田県	1884年	古河市兵衛
阿仁銅山	秋田県	1885年	古河市兵衛
札幌麦酒醸造所	北海道	1886年	大倉喜八郎
愛知紡績所	愛知県	1886年	篠田直方
新町紡績所	群馬県	1887年	三井財閥
長崎造船所	長崎県	1887年	三菱財閥
兵庫造船所	兵庫県	1887年	川崎正蔵
三池炭鋳	福岡県	1888年	佐々木八郎
富岡製糸場	群馬県	1893年	三井財閥
佐渡銀山	新潟県	1896年	三菱財閥
生野銀山	兵庫県	1896年	三菱財閥

明治初年から10年代にかけて官営工場を開設した明治政府は、近代的な鋳工業を主導するとともに技術者の育成を行った。その後、工場を民間にはらい下げ、民間の活力を生かした国内産業の発展につとめた。

日本の産業革命

政府は明治初年より殖産興業につとめ、官営事業は、西洋の産業の模範を民間に示す役割をはたした。1880年代に入ると、政府は日本銀行を設立して金融制度を整え、官営工場をはらい下げて、経済の発展を民間の手に委ねていった。機械を備えた工場で大

量生産されるようになった綿糸、生糸、絹織物は、重要な輸出品となった。その代金で、綿花などの原料や軍艦、鉄鋼、機械などが輸入された。

下関条約による賠償金は重工業に投資され、1901(明治34)年には、官営の八幡製鉄所が開業して、鉄鋼の国産が開始された。それにともない、造船業も発展をとげ、日露戦争後には1万トン以上の造船も可能になった。

このような変化は、日本における産業革命といえることができる。明治時代に近代産業が発展した要因の一つに、江戸時代以来の民衆の高い教育水準や、勤勉の精神があった。また四民平等によって、人々の間に、自分の努力と工夫で人生を切り開こうとする精神がはぐくまれ、渋沢栄一のような有能な実業家が多数登場した。

変化する都市と農村の生活

産業の発展を支えたのは、近代的な交通網の拡充であった。1889(明

治22)年には東海道線の新橋~神戸間が全線開通し、全国に鉄道網が拡大していった。また、馬車などの通行が可能になると、道路も整備されていった。地方の都市や農村にも鉄道が通って、それまでの街道筋にとってかわり、駅周辺が新たに発展した。

近代産業の発展や交通網の整備で、職業や事業の選択の幅が広がった。農村でもさまざまな副業が試みられ、生活水準の向上で米食が普及し、人口も着実に増加していった。子女を製糸工場の女工に出稼ぎに出したり、都市に移住して工場の労働者になる人々も多数生まれた。

街角に時計台が設置され、正確な時刻に合わせて生活する習慣が広がり、工場労働も時間で管理されるようになった。

社会問題の発生

近代産業の発展にともない、工場労働者の低賃金や長時間労働が問題とされるようになった。日清戦争後には、労働組合運動も始まった。1880年代のなかばには、足尾銅山の鉛毒問題が発生し、1901(明治34)年、田中正造は天皇に直訴しようとして、広く注目を集めた。このころ片山潜・幸徳秋水・安倍磯雄たちは、社会主義研究会を結成し、労働者の権利を擁護する社会主義運動を始めた。1910(明治43)年、幸徳秋水らは天皇暗殺をくわだてたとして検挙された(大逆事件)。この事件を機に、政府は社会主義運動への警戒を強めていった。

日本の実業家の 伝統をつくった渋沢栄一

実業は、単なる金儲けではない。
「論語と算盤」という言葉であらわされる、日本の実業家の
理想のモデルをつくったのが渋沢栄一だった。

◎少年期に培われた道徳心

渋沢栄一は、明治から大正にかけて日本の経済界の指導者として活躍した、偉大な実業家です。

渋沢栄一は、1840（天保11）年、武蔵国榛沢郡血洗島村（埼玉県深谷市）の農家に生まれました。6歳になると栄一は、学問の素養のあった父親から漢文の書物の素読を教わりました。利発な栄一は、1年あまりで、中国の古典である孝経・小学・大学・中庸・論語を読み進みました。

8歳からは、漢学者に師事し、聖人・賢人の言行を記した多数の書物を学びました。渋沢の教養と道徳心の基礎は、少年期に培われました。

◎「株式会社」の発見

1864（元治元）年、渋沢は武士の身分を得て、のちに15代将軍となる徳川慶喜に仕えました。1867（慶応3）年、渋沢は幕府が派遣したパリ万国博覧会使節団の一員として、ヨーロッパにわたりました。使節団は、1年あまりにわたってフランス、オランダ、イギリスなどを視察しました。

渋沢がその視察で、おどろきとともに発



渋沢栄一（1840～1931）
左は洋行前、右は洋行中の写真。（渋沢史料館蔵）

見したことの一つは、銀行家が陸軍将校と対等に会話をしていることでした。日本では、銀行家にあたる者は商人です。陸軍将校にあたる者は身分の高い武士です。武士のなかには金儲けを卑しいものと見、身分の高い武士は商人と同席することさえ憚る風潮がありました。渋沢は、これからの日本は、商人が誇りをもって商売するようにならなければいけないと思いました。

渋沢がヨーロッパで発見したもう一つは、株式会社でした。株式会社とは、民間から



第一国立銀行（現みずほ銀行）
渋沢栄一が創設にかかわるとともに、総監役となった（写真・渋沢史料館蔵）。

お金を集め、それを元手にして事業をするしくみです。一人から集める金額は少なくても、それがまとまれば大きな資金になります。株式会社は、国の産業をさかんにするとともに、人々の生活を豊かにします。渋沢は、いつかこの株式会社をみずからの手でつくりたいと思いました。

◎500の会社を創設

渋沢の肖像写真を見てください。西洋視察をする前の誇り高い武士・渋沢が、西洋視察中に心境の変化をおこし、近代的な実業家に生まれ変わろうと決心したことを象徴するような2枚の写真です。

渋沢は、「わが国が西欧諸国と対等の立場で交際していくには、国を富ますことが必要である。国を富ますには、商工業を近代化し、株式会社をつくらねばならない。その会社を経営する者は、商人としての誇りと、高い道徳心をもたねばならない」と考えました。

1873（明治6）年、渋沢は第一国立銀行の創設にかかわり、そこで手腕を発揮し、やがて、東京ガス、帝国ホテル、キリンビ-

ルなど、約500もの株式会社の創設や運営にかかわりました。

◎「論語と算盤」

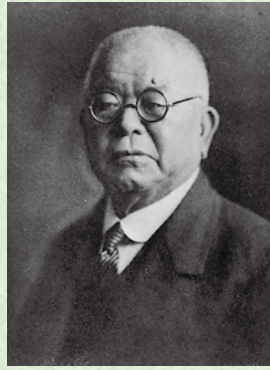
渋沢は、実業家の仕事を、単なる金儲けとは考えませんでした。万物を生かしている天命を知り、人としての信義を重んじる道徳心を実業家に求め、おりにふれて彼らに論語の教えを語りました。そのような実業家こそが、一身一家を繁栄させると同時に公益をもたらし、日本全体を豊かにするという考えからでした。

こうした渋沢の思想は、「論語と算盤」という言葉であらわされ、信用を大事にし、道徳（論語）と経済（算盤）を統一し、公共心を重んじる、日本の実業家の伝統がつくられました。

渋沢は、事業活動で生まれた富の一部を社会に還元すべきであると考え、世の中の弱者を救済する、日本で最初の公立施設・東京養育院をつくりました。慈善事業団体や病院づくり、商業学校への支援など、渋沢が設立にかかわった社会・教育団体は、600以上にのぼりました。

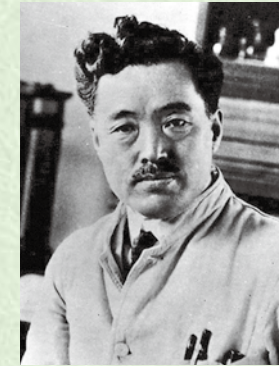
明治期の日本人科学者の研究成果

1890 (明治23) 年	北里柴三郎	破傷風の血清療法を発見
1894 (明治27) 年	高峰讓吉	タカジアスターゼをつくる
1897 (明治30) 年	志賀 潔	赤痢菌を発見
1898 (明治31) 年	大森房吉	地震計を発明
1902 (明治35) 年	木村 栄	緯度の変化の研究
1903 (明治36) 年	長岡半太郎	原子模型の研究
1910 (明治43) 年	鈴木梅太郎	ビタミンB1の発見
1918 (大正7) 年	野口英世	黄熱病の病原体の研究



北里柴三郎 (1852~1931)

野口英世 (1876~1928)



東京帝国大学に外国人教授が着任してからわずか十数年後、日本は早くも世界的な科学者を続々と生み出した。その一人、ドイツに留学した北里柴三郎は細菌学のコッホ博士の高弟となり、血清学分野で優れた業績をあげた。1901 (明治34) 年、北里は第1回ノーベル生理学・医学賞の最終候補に残ったが、受賞したのは共同研究者のドイツ人だった。そのドイツ人は候補にあがっていなかったため、この不可解な逆転受賞への疑惑は今なお消えない。

66

近代文化の形成

日本は伝統文化の上に、どのように西洋文化を取り入れたのだろうか。

1 慶応義塾、同志社、東京専門学校 (早稲田大学の前身) などの私立学校も設立された。

2 翻訳語にはほかに、彼女、恋愛、近代、個人、美術、自然、存在、権利、自由など、数多くある。日本人が苦労してつくったこれらの翻訳語の多くはその後、中国や韓国など漢字を使用する文化圏で共通語として使用されるようになった。→P. 199

大学創設とおやとい外国人

明治維新後の日本が西洋諸国に対抗するためには、みずから西洋化することが急務だった。新政府は西洋の学問と文化を急速に取り入れながら近代化をおし進めていった。

政府は1877 (明治10) 年、東京大学を創立し、9年後には初の帝国大学とした。外国人教師をやとい、講義は英語で行った。西洋の概念や理論を移入するために「国民 (ネーション)」「社会 (ソサエティ)」「経済 (エコノミー)」など、膨大な翻訳語がつけられた。

若い知識人たちは西洋の学問をたちまち吸収し、多くのすぐれた学者が育った。明治20年代には自然科学分野で早くも日本人による世界最先端の研究が発表され、北里柴三郎や野口英世のように細菌学の分野で世界的名声を博する学者もあらわれた。

口語文と近代文学

明治時代には思想や感情を日常の言葉で表現する口語文の工夫が始まった。これは言文一致運動とよばれ、近代文学の基礎となった。二葉亭四迷、尾崎紅葉ら文学者の努力によって、今日につながる口語文が普及した。

また、同じく明治20年代には、人間性の解放をうたうロマン



夏目漱石 (1867~1916)

◆ 私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。(夏目漱石『こころ』1914年)



森 鷗外 (1862~1922)

◆ 石炭をば早や積み果てつ。中等室の卓のほとりはいと静にて、熾熱燈の光の晴れがましきも徒なり。(森鷗外『舞姫』1890年)



樋口一葉 (1872~1896)

◆ 廻れば大門の見返り柳いと長けれど、お齒ぐる溝に燈火うつる三階の騒ぎも手に取る如く、明けくれなしの車の行来… (樋口一葉『たけくらべ』1895年)

口語体

文語体

ン主義がおこり、森鷗外や樋口一葉などの作家があらわれた。明治30年代には、フランス自然主義文学の影響から、内面を偽らずに表現する島崎藤村の『破戒』などが書かれた。また、夏目漱石は西洋的自我と日本的倫理との葛藤に悩む近代人を描いた。

正岡子規は月並みに墮した江戸俳諧を改革して近代の俳句を生み出した。『みだれ髪』の与謝野晶子や『一握の砂』の石川啄木らは、平易な言葉を使って短歌の裾野を広げた。

西洋の美と日本の伝統

絵画分野では、西洋化の中で日本の伝統が軽視される風潮が広まった。しかし、日本の伝統美術に感動したアメリカ人フェノロサは岡倉天心とともに東京美術学校 (現在の東京芸術大学) の創設に尽力し、その保存と復興につとめた。

横山大観や狩野芳崖は、洋画の技法を取り入れて線描の手法を用いない朦朧体とよばれる日本画の作品を生み出した。フランスに留学した黒田清輝、藤島武二らは、自然の光の色彩感覚によって美術界に新風を吹き込んだ。

彫刻では、高村光雲が西洋の写実的技法を取り入れて、木彫りの作品を制作した。

音楽でも西洋の旋律が学校唱歌に取り入れられ、広く愛唱された。ドイツに留学した滝廉太郎は洋楽の手法で日本の心表現する「荒城の月」「花」などの作品を生み出した。



悲母観音 (狩野芳崖筆 東京芸術大学蔵)

まとめにチャレンジ!

P. 206の表から日本人科学者を1人選び、200字のミニ伝記を書いてみよう。

世界が見た日露戦争

有色人種のアジア民族が、独立への大いなる希望をいだくにいった。

◎ヨーロッパ人の反応

日露戦争での日本の勝利は、人種差別に基づく欧米中心の世界秩序をゆるがすものとなりました。黄色人種の小国・日本が、白色人種の大国・ロシアに勝ったからです。中国革命の父とよばれる孫文は、日露戦争当時ヨーロッパにいましたが、日本の連合艦隊がロシアのバルチック艦隊を破ったときの、ヨーロッパ人とアジア人の反応を、次のように観察しています。

「この報道が全ヨーロッパに伝わると、全ヨーロッパの人民は、あたかも父母を失ったごとくに悲しみ憂えたのです。イギリスは日本と同盟国でありましたが、ほとんどのイギリス人は眉をひそめ、日本が大勝利したことは決して白色人種の幸福を意味するものではないと思ったのです。」

◎アジア人の反応

「しばらくして、私は船でアジアに帰ることになり、スエズ運河を通ると、沢山の現地人が、私が黄色人種であるのを見て非常に喜んだ。『以前はわれわれ東亜の有色人種は、西方の白色人種の圧迫を受け、苦痛をなめた。だが、今度日本がロシアに勝ったということは、東方民族が西方民族に打

ち勝ったことになる。日本人は戦争に勝った。われわれも勝たなければならない。だから、われわれは歓喜する』と。日本がロシアに勝った結果、アジア民族が独立に対する大いなる希望をいだくにいったので

これが、孫文が観察した日露戦争へのアジア人の反応でした。

◎独立への意欲をかき立てる

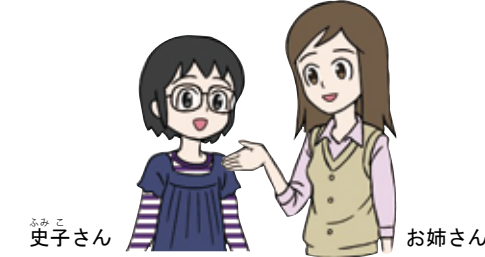
孫文が観察したことを、世界中の独立運動の指導者がみずから語っています。インドの独立運動家で、のちに首相となったネルーは、「もし日本が、もっとも強大なヨーロッパの一国に対してよく勝利を博したとするならば、どうしてそれをインドがなし得ないといえるだろう？」と書きました。

エジプトの民族運動の指導者、ムスタファー・カーミルは、「日本人こそは、ヨーロッパに身のほどをわきまえさせてやっただけの東洋人である」と述べました。

イランの詩人、シーラージーは、「立憲制によってこそ日本は強大になった。その結果かくも強き敵に打ち勝つことができたのだ」と日本の勝因を分析しました。

近代（I）とはどんな時代か

■時代区分についての姉妹問答



史子さん お姉さん
妹 近代は、ペリー来航からだったよね。

姉 2008（平成20）年に中学校学習指導要領が改訂されて、1853年のペリー来航から、1945年の第二次世界大戦の終わりまでの約100年間を「近代」として扱うことになったの。でも、とても学習することが多いので、この教科書では、1912（明治45）年の明治の終わりあたりまでを「近代（I）」、それ以後を「近代（II）」として、2章に分けているんだね。

妹 第4章だけでも、とっても多い。
姉 何しろ、日本が幕末に欧米の文明に衝撃を受けて、近代国家をつくらなければならないと考えて、それをやっとならしたのが、この時代ですもの。

妹 よく、日本人は丸丸となって黒船に対応できたね。

姉 武士たちは、世界を見まわして、植民地にされた国の多くは、国内の分裂を利用されたためだと見抜いたのよ。だから、明治政府は、国民をまとめ、欧米諸国の法律や制度を取り入れ、近代国家をつくったんだわ。そのとき、天皇という国民がまとまる

中心があったことが大きかったんだと思う。
妹 近代国家の出発からまもなく、日清・日露戦争を戦うことになったのね。

姉 列強の圧力を受けながら必死に日本の独立を守った明治の人たちの苦労は、並大抵のものではなかったと思うわ。

■時代区分の問題

明治維新の始まりは、1853年のペリー来航です。では、終着点はいつでしょうか。これについて、次の4つの説があります。それぞれの説の根拠を考えてみよう。

- ①1868（明治元）年、明治政府の成立まで、ペリー来航から15年（以下同様）
- ②1871（明治4）年、廃藩置県まで18年
- ③1889（明治22）年、大日本帝国憲法発布まで36年
- ④1911（明治44）年、条約改正まで58年

■時代比較の問題

次の2つの事項について、比較して、その違いをノートにまとめてみよう。

- (1) 江戸時代の藩と明治時代の県
- (2) 攘夷派の主張と開国派の主張
- (3) 江戸時代と明治時代の衣食住

■人物比較の問題

西郷隆盛と大久保利通は、薩摩出身の幼なじみですが、外交政策や国づくりの方針をめぐって対立するようになりました。どこで、どうして、意見が違ったのだろうか。

■意見交換会

福沢諭吉の「脱亜論」をテーマにして、日本とアジアのかかわり方について思ったことを出し合ってみよう。

▶100字用語解説

歴史豆辞典 (第4章のまとめ)

ペリー来航	1853年	アメリカ海軍の提督ペリーがひきいる軍艦の来航。4隻の巨大な軍艦(黒船)が江戸湾の入口である浦賀に姿をあらわし、日本に開国と通商を求める大統領の国書をたずさえていた。幕府はやむなく国書を受け取り、翌年の開国につながった。
日米和親条約	1854年	アメリカとの間で結ばれた条約。ふたたび神奈川沖にやってきたペリーとの交渉の末に締結されたこの条約により日本は開国。下田と箱館(函館)の2港を開き、下田にアメリカ領事館を置くことを取り決め、総領事ハリスが着任した。
日米修好通商条約	1858年	アメリカとの貿易を開始するための条約。ハリスの求めに抗しきれず結ばれた。その後、日本は諸外国とも同様の条約を結んだ。犯罪をおかした外国人を日本側で裁くことができず、関税率を自由に決定する権利をもたない不平等条約だった。
安政の大獄	1858～1859年	尊王攘夷派になされた弾圧。朝廷の意向を無視して通商条約に調印したことに対し批判が巻き上がった。朝廷をもち立てる尊王と、独立を守るべしとする攘夷の要求が結びついた尊王攘夷運動の指導者の中から多くの処罰者を出した。
五箇条の御誓文	1868年	発した新しい国づくりの大方針。会議を開き、世論に基づいて政治を行うことや言論を活発にすることなど、日本が西洋の文明を取り入れ、近代的な立憲国家として発展していく道筋が示された。
廃藩置県	1871年	藩を廃止し中央集権制のもとで県を置く制度。県は明治新政府が派遣した県令(県知事)がおさめ、軍事と徴税の権限も新政府のものとなり、年貢も直接新政府の管理下に入るようになって、武士は失業した。
学制発布	1872年	明治政府が発布した新しい教育制度。教育は国家のためよりも個人のために必要なものとうたわれた。小学校は義務教育となり、寺子屋の多くが小学校に転換された。初め50%以下だった就学率も明治末年には100%近くに達した。
徴兵令	1873年	国民軍をつくるために制定された制度。学校制度や徴税制度とともに、明治政府が進めた3つの制度改革の一つであり、20歳に達した男子は、士族・平民の区別なく兵役に服することになった。
地租改正	1873年	地価の3%にあたる地租を貨幣でおさめる制度。江戸時代の年貢は収穫高に基づいて米を物納し、税率も各藩でまちまちだったが、これにより全国の土地に一律に課税することが可能になり、政府の歳入は安定した。
大日本帝国憲法発布	1889年	明治政府が発布し、アジアで初めて施行された憲法。この憲法では、天皇が日本を統治するが、実際の政治は各大臣の助言に基づいて行うものとされた。衆議院と貴族院が置かれ、国民は各種権利が保障された。
日清戦争	1894～1895年	日本と清国との間の戦争。朝鮮南部におこった暴動を制圧するため、わずかな兵力しかもたない朝鮮王朝は清に出兵を求めた。日本も清との申し合わせに従って軍隊を派遣したため、両軍が衝突。日本は清を圧倒し勝利した。
三国干渉	1895年	ロシアなど3国による遼東半島返還の要求。下関条約で、日本は遼東半島や台湾などを得たが、東アジアに野心をもつロシアが、独・仏を誘い、日本に迫った。日本は臥薪嘗胆を合言葉に国力の充実にとりくんだ。
日英同盟	1902年	英国との間で締結された、安全保障の同盟。三国干渉のあと、日露、日英のどちらの同盟が日本の国益になるかが論じられ、日英を主張する外交官の小村寿太郎の意見が政府の方針として採択された。
日露戦争	1904～1905年	日本とロシアの間の戦争。日本の10倍の国家予算と軍力をもっていたロシアは、満州において兵力の増強などを進め、日本にとって無視できない脅威となった。日本はこの戦争に勝利し、安全保障問題を解決した。
韓国併合	1910年	日露戦争の後、日本の安全と満州の権益を守るためには、朝鮮半島の併合も必要と考えて、韓国併合を断行した。韓国内には、民族の独立が失われることへの抵抗も起きた。

近代の日本と世界 (Ⅱ)

たいしょう しょう わ
大正・昭和時代前半



ばくしん ち
広島の爆心地近くに残る原爆ドーム

ある調査によると、
アメリカ人は
20世紀最大の事件として、
げんぱく
原爆投下をあげるそうよ。

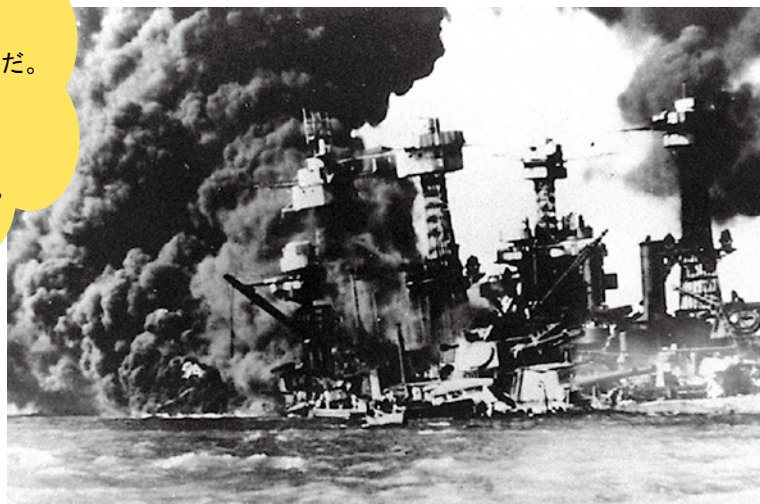


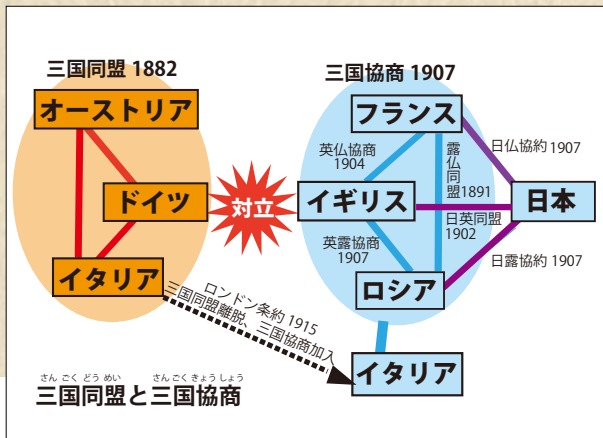
でも、第2位が
「パール・ハーバー」
しんじゆわんこうげき
(日本による真珠湾攻撃)なんだ。

原爆投下について、
日本人とは受け止め方が
少し違うのかもしれないね。

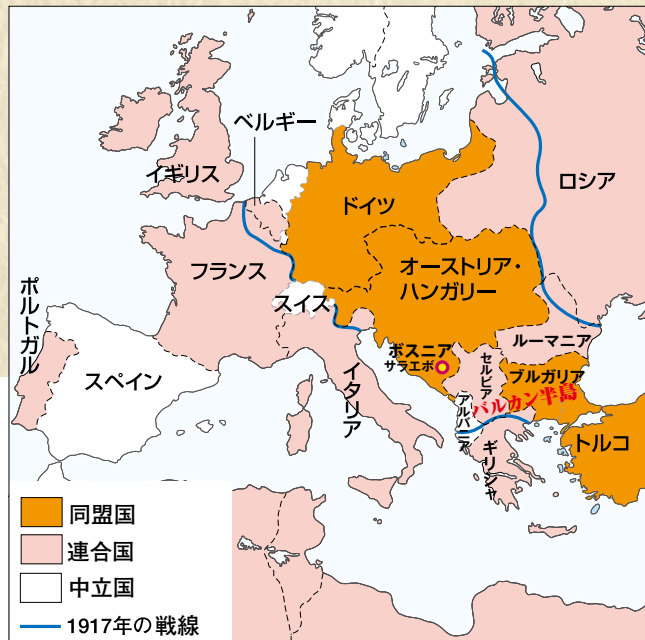


しんじゆわんこうげき ちんぼつ せんかん
真珠湾攻撃 沈没するアメリカの戦艦アリゾナ





三国同盟と三国協商
 三国同盟と三国協商 第一次世界大戦が始まったのち、オーストリアと領土問題があったイタリアは協商側に移った。同盟国にはトルコ、ブルガリア、協商側にはベルギー、日本、アメリカ、中国などが加わった。協商側は連合軍と称した。
 同盟とは一般に複数の国家が相互に軍事的援助を行うこと。協商とは、同盟ほど強固ではない国家間の協調関係のこと。



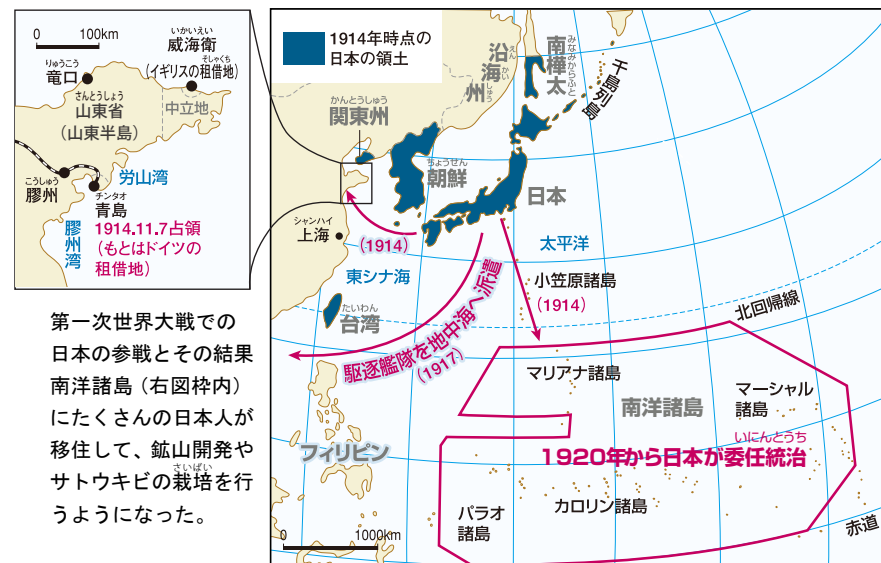
第一次世界大戦中のヨーロッパの両陣営



サラエボ事件 (1914年)
オーストリアの皇太子が、セルビアの青年に暗殺された。



捕虜となったドイツ兵 捕虜のドイツ兵と収容所付近の日本人住民が交流している。捕虜の人的扱いは後世まで評価された。(鳴門市ドイツ館蔵)



第一次世界大戦での日本の参戦とその結果
 南洋諸島 (右図枠内) にたくさんの日本人が移住して、鉱山開発やサトウキビの栽培を行うようになった。



地中海に派遣された日本海軍 (第二特務艦隊) の出雲 (絵ハガキ)

67

第一次世界大戦と日本の参戦

第一次世界大戦はどうしておこり、日本はそれにどうかわかったのだろうか。

第一次世界大戦の始まり

日露戦争後、ロシアは東アジアでの南下政策をあきらめ、再びヨーロッパへの進出をはかった。ドイツは、すでに、オーストリア、イタリアと三国同盟を結んでいたが、急速に海軍力を拡大して、これを恐れたイギリスは、フランス、ロシアに接近し、1907 (明治40) 年、三国協商が成立してドイツを包囲した。ヨーロッパの各国は両陣営のどちらかと同盟関係を結び、緊張が高まっていった。

このころ、バルカン半島では、民族の独立をめざす運動が盛んで、この地域に利害関係をもつ列強は、独立運動を利用して勢力をのぼそうとした。そのためバルカン半島は「ヨーロッパの火薬庫」とよばれ、一触即発の緊張した状態がつづいた。ロシアはセルビアなどのスラブ民族を支援し、これらの国々と隣り合うオーストリアと対立していた。

1914 (大正3) 年、オーストリアの皇太子夫妻が、ボスニアのサラエボを訪問中に、ロシアに心を寄せるセルビアの一青年に暗殺された (サラエボ事件)。両陣営は同盟や協商に基づ

きあいついで参戦し、第一次世界大戦が始まった。

日本の参戦と二十一条要求

日英同盟を結んでいた日本は、連合国 (協商) 側につき、ドイツに宣戦布告した。日本はドイツの租借地であった山東半島の青島や、太平洋上の赤道以北の島々を占領した。また、ドイツの潜水艦が連合国側の商船を警告せず攻撃し始めると、日本は駆逐艦の艦隊を地中海に派遣して、護衛に活躍した。

中国は、青島からの日本軍の撤退を求めたが、逆に日本は、ドイツが山東省にもっていた権益を日本に譲ることなどを要求した (二十一条要求)。袁世凱は、外部に知らせないことになっていた日本との間の交渉の内容を、列強の介入を期待して公表した。英米両国の抗議もあって、日本は自国の権益を維持・拡大しようと十六か条を強硬に要求して承認させた。

二十一条要求

(1915年1月 一部要約)

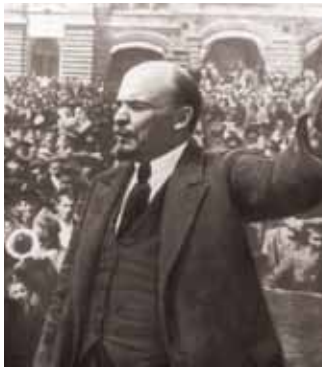
- 一、中国政府は、ドイツが山東省にもっているいくつかの権利を日本に譲ること。
- 一、日本の旅順、大連の租借の期限、南満州鉄道の利権の期限を99年延長すること。
- 一、中国政府は、南満州および東部内モンゴルにおける鉱山の採掘権を日本にわたせること。

まとめにチャレンジ!

第一次世界大戦に日本が参戦した理由1つと、大戦中に日本が行ったこと2つを箇条書きにしてみよう。

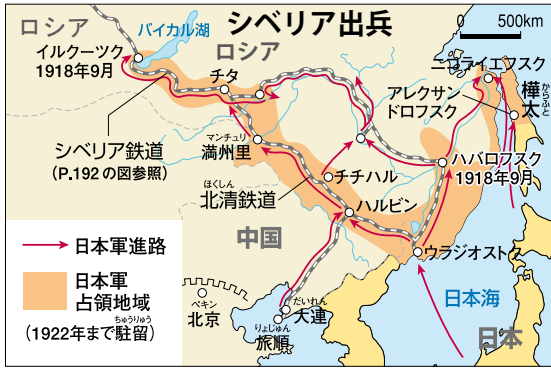


ロマノフ王朝最後の皇帝・ニコライ2世 (1868~1918) 共産党によって家族全員が殺害された。

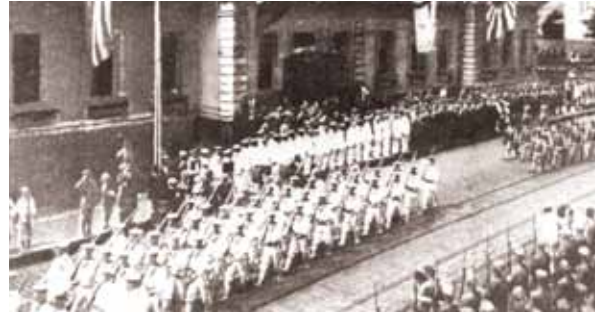


演説するレーニン (1870~1924)

国外に亡命して革命の機会を待ち、二月革命を利用してロシア革命を指導した。



シベリア出兵 ウラジオストクに上陸する日米英仏伊カナダの各国軍。



68

ロシア革命と大戦の終結

第一次世界大戦によって、世界はどのように変わったのだろうか。

1 ドイツの思想家カール・マルクスがとなえた政治思想。まず革命によって労働者が資本家を倒し、次に社会主義の段階を経て、最後に階級のない共産主義社会を実現するのだと説明した。ただし「社会主義」と「共産主義」は同じ意味で使われることもある。

2 1920年、シベリアのアムール川の河口にあるニコライエフスク市をソ連共産党の4000人の非正規軍が襲い、日本軍守備隊・居住民など約700人の日本人が惨殺された。市全体の犠牲者は6000人におよんだといわれている。日本はこの無法行為に反発し、これを名目にしてシベリア出兵を長引かせた(ニコライエフスク事件=尼港事件)。

ロシア革命 長引く戦争のさなか、1917(大正6)年、ロシア革命がおこった。食料難にあえぐ都市の市民の暴動に、兵士が合流し、ロマノフ王朝が倒れた(二月革命)。マルクス主義の理論に基づいて武装蜂起したレーニン一派は、労働者と兵士を中心に組織された代表者会議(ソビエト)を拠点とする政府をつくった(十月革命)。その後、ほかの党派を武力で排除し、みずからひきいる共産党の一党独裁体制を築いた。1922年には、ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)が成立した。

ソビエト政府はドイツとの戦争をやめ、革命に反対する国内勢力との内戦に没頭した。皇帝一族をはじめ、共産党が敵と見なす貴族、地主、資本家、聖職者、知識人らが、数知れないほど殺害された。飢饉も発生し、数百万の農民が餓死した。

シベリア出兵 長年、南下するロシアの脅威にさらされていた日本は、共産主義の革命勢力に対しても、他国以上に強い警戒心をいだいた。欧米諸国も、軍を送って共産革命阻止の戦争を行った。

1918(大正7)年、日本はロシア領内で孤立したチェコスロバキア部隊の救出と、満州の権益を守るため、アメリカなどととも、シベリアへ共同出兵した(シベリア出兵)。



戦闘機



塹壕戦



戦車



毒ガス

第一次世界大戦の新兵器など他に、飛行船、潜水艦が登場した。



工場ではたらく女性 多くの男性が出征したことで、女性の社会進出がうながすことになった。(イギリス)

総力戦 第一次世界大戦は、ロシア革命などをはさんで4年もつづき、この戦争は、過去の戦争とはまったく違った性格をもつようになった。

第一次世界大戦は、国民経済、科学技術のすべてを動員する総力戦となった。新兵器が用いられ、膨大な死傷者を生み出した。兵士以外の国民も戦禍に巻きこまれ、軍需工場に動員されたり、生活必需品が不足するなど、参戦国は莫大な消耗を強いられた。

大戦の終結 第一次世界大戦は、中立だったアメリカの参戦で、1918年、同盟国側の敗北に終わった。ドイツ帝国内閣は崩壊し、ワイマール共和国が成立した。ヨーロッパは、人類史上初めての総力戦の悲惨な現実を経験した。

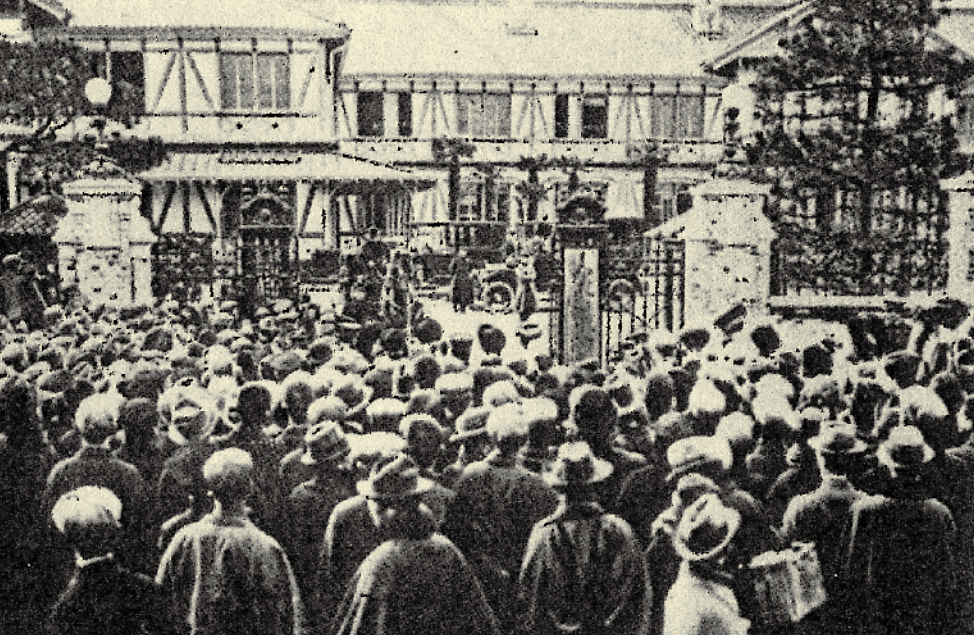
そのいっぽうで、日本は、少ない犠牲で戦勝国となった。こうして、第一次世界大戦を境に、太平洋をはさむ日米の2つの国が、国際社会で発言力を強めるようになった。

	国名	死傷者(戦死者)
連合国 24	ロシア	915(170)万人
	フランス	617(136)万人
	イギリス	319(91)万人
	イタリア	320(65)万人
	アメリカ	36(12)万人
	日本	1210(300)人
同盟国 4	ドイツ	714(177)万人
	オーストリア	702(120)万人
	トルコ	98(32)万人
	ブルガリア	27(9)万人
	合計	3791(853)万人

第一次世界大戦における人的損害 アメリカ合衆国陸軍省の報告(1924年2月)による。(『ブリタニカ国際大百科事典』から)

まとめにチャレンジ!

第一次世界大戦が、これまでの戦争と違った点を「新兵器」「総力戦」という語句を使って説明してみよう。



護憲運動 1913年（大正2）年2月5日、第三次桂内閣の藩閥政治に抗議し、国会議事堂におしよせた人々。尾崎行雄、犬養毅らをリーダーとする言論活動によって、桂内閣は退陣に追いこまれた。



原敬 (1856~1921)
爵位をもたない初めての首相だったので「平民宰相」とよばれた。

70 政党政治の展開と社会運動

日本の政党政治は、どのように発展してきたのだろうか。

1 薩摩藩や長州藩の出身者は、自分の藩の出身者で政府の要職を占めようとしたので藩閥とよばれた。



吉野作造 (1878~1933)
東京帝国大学(今日の東京大学)の教授で民主主義政治の考え方を広めた政治学者。(宮城・吉野作造記念館蔵)

政党内閣の誕生

日露戦争後の日本の政治では、立憲政友会という政党と薩摩・長州出身者による藩閥勢力が、交互に内閣を組織する時期がつついた。明治天皇が崩御し、大正時代が始まった1912（大正元）年ごろから、藩閥内閣を批判し、大日本帝国憲法の精神に基づいて国民の意思を反映した政治を求める運動（護憲運動）がおこった。吉野作造は、デモクラシーという言葉をもとに「民本主義」と訳し、普通選挙により議会で多数を占めた政党が政府を組織すべきだとする政党政治の考え方を広めた。

1918（大正7）年、シベリア出兵をあてこんだ一部商人による米の買い占めの噂がもとで、米価が上がり、これに怒った群衆が米商人を襲撃する騒乱が、全国各地でおこった（米騒動）。同年、内閣が総辞職すると、立憲政友会の総裁・原敬が首相となり、新内閣を組織した。原は、陸・海・外務の3大臣以外のすべての大臣を衆議院の第一党である立憲政友会の議員の中から任命し、日本で最初の本格的な政党内閣をつくった。

大正デモクラシーと社会運動

大正時代、とくに第一次世界大戦後は、帝国憲法のもとで、議会に基礎を置く政党政治が定着し、普通選挙運動などの社会運動も活発となり、民主主義（デモクラシー）の思想と国際協調の世論が

ぜんこくすいへいしやそうりつたいかいせんげん ばんすい
全国水平社創立大会宣言（一部抜粋）

我々は、かならず卑屈なる言葉と 怯懦なる行為によって、祖先を辱しめ人間を冒瀆してはならぬ。そして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間をいたわる事が何んであるかをよ

く知っている我々は、心から人世の熱と光を願求礼賛するものである。

水平社は、かくして生れた。人の世に熱あれ、人間に光あれ。



第1回普通選挙 投票所前で並ぶ人々

各国で普通選挙が始まった年

国名	男性	女性
フランス	1848	1945
アメリカ	1870	1920
ドイツ	1871	1919
イギリス	1918	1928
日本	1925	1945
インド	1949	1949

強まった。これを大正デモクラシーという。

この時期には、労働組合が多数組織され、農村では小作争議もおこった。1920（大正9）年には、日本初のメーデーが行われ、労働運動・農民運動がさかんになった。

また、1922年（大正11）年に全国水平社が組織され、部落差別撤廃の運動が本格化した。女性の地位を高める婦人運動も開始され、平塚らいてうなどの活躍によって、婦人参政権や女子高等教育の拡充が主張されるようになった。

原敬は、1921年（大正10）年、暴漢に暗殺された。政党勢力は有力な指導者を失い、その後は非政党内閣がつついたが、1924（大正13）年、加藤高明を首相とする護憲三派内閣が成立した。以後8年間、衆議院で多数を占める政党の総裁が内閣を組織することが慣例となった（憲政の常道）。

加藤内閣は、1925（大正14）年、普通選挙法を成立させた。これによって、納税額による制限を廃止し満25歳以上の男子全員が選挙権を獲得し、有権者数は一挙に4倍になった。1928（昭和3）年に、第1回の普通選挙が行われ、立憲政友会が第一党となった。

藩閥内閣から政党内閣へ

年	主な総理大臣	内閣の特徴
1885	伊藤博文 (1, 5, 7, 10) 黒田清隆(2) 山県有朋(3, 9) 松方正義(4, 6)	藩閥内閣 主に長州出身者と薩摩出身者が交互に内閣を組織
1900	大隈重信(8)	
1901	桂太郎 (11, 13, 15)	藩閥勢力と立憲政友会が交互に内閣を組織
1912	西園寺公望(12, 14)★	
1913	山本権兵衛(16★, 22) 大隈重信(17) 原敬 (19)★ 高橋是清(20)★	政党が力を強める
1924	加藤高明(24) 浜口雄幸(27)	政党内閣
1931	犬養毅 (29)★	

(数字)は第何代の総理大臣かを示す ★は立憲政友会の内閣

2 小作は地主の土地を借りて耕作する農民をさす言葉。小作争議は小作料の減免を求めておこった。

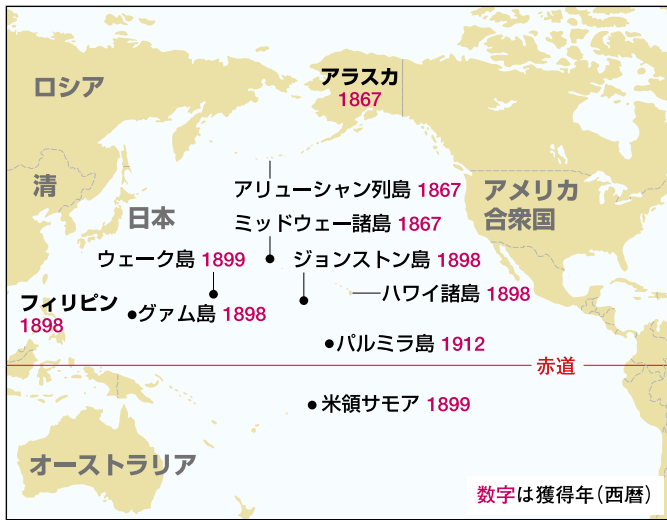
3 ロシア革命の影響で、知識人や学生の間に共産主義の思想が広がったのも、この時期だった。

4 護憲三派とは、憲政会、立憲政友会、革新倶楽部の3つの政党を指す。

5 普通選挙法と同時に、共産主義者や無政府主義者を取り締まる「治安維持法」が成立した。

まとめにチャレンジ

大正デモクラシー期におこった政治にかかわる社会の変化を3つあげてみよう。



南北戦争（1865年）以後、アメリカが新たに手に入れた領土や植民地（1912年まで）。



ワシントン会議 1921年12月から翌年2月まで開かれ、アメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリア、ベルギー、オランダ、ポルトガル、中国の9か国が参加した。

	制限保有量(万t)			各国の比率	一艦あたりの制限重量
	10	30	50		
主力艦	イギリス			52.5	5
	アメリカ			52.5	5
	日本			31.5	3
	フランス	17.5			1.67
	イタリア	17.5			1.67
航空母艦	イギリス	13.5			5
	アメリカ	13.5			5
	日本	8.1			3
	フランス	6.0			2.22
	イタリア	6.0			2.22
補助艦	無制限				1.0万t

ワシントン会議における軍縮の取り決め（『日本史資料』より）

日英同盟はなぜ廃棄されたか

日露戦争後、イギリスにとっては日英同盟の重要度が下がり、英露関係も好転していた。また、第一次世界大戦でイギリスは日本に陸軍の派兵を求めたが、日本はこれを断った。こうしたことに加え、中国における利害の対立もからみ、日英関係は冷えこんだ。

中国市場に割り込もうとしていたアメリカは、日本とイギリスの分断をはかり、日英同盟の廃棄を工作した。そのかわりに、フランスをまじえ四か国条約が締結されたが、それは2国間の同盟関係とは異なり、締約国に参戦の義務のない名目的な取り決めで過ぎなかった。

日本の安全保障の要石だった日英同盟が廃棄されたことによって、日本は単独でアメリカの軍事力に対抗しなくなりました。

71
日米関係とワシントン会議

日露戦争後、1920年代中ごろまでの日米関係はどのように推移したのだろうか。

アメリカの排日政策

日露戦争の勝利によって、日本は東アジアにおける大国となった。フィリピンを領有したアメリカにとって、極東政策の競争相手は日本となった。

日米間では日露戦争直後から人種差別問題がおこった。アメリカ西部諸州では、勤勉で優秀な日本人移民が、白人労働者の仕事を奪うとして、日本人を排斥する運動がおこった。カリフォルニア州では、1913（大正2）年に排日土地法が制定され、日本人が新たに農地を購入することはできなくなった。

1924（大正13）年、アメリカは日本人移民の受け入れを全面的に禁止する排日移民法を制定した。これに対し、日本の世論は沸騰した。

ワシントン会議と国際協調

1921（大正10）年から翌年にかけて、海軍軍縮と中国における各国の権益の問題を主要な議題とするワシントン会議がアメリカの提唱で開かれ、日本をふくむ9か国が集まった。会議の目的は、東アジアにおける各国の利害を調整し、この地域に安定した秩序をつくり出すことだった。

この会議で、米・英・日の海軍主力艦の相互削減がはかられ、保有率は、5：5：3とすることが決められた。これは第一次

世界大戦後の軍縮の流れにそうもので、日本は国際協調外交の精神で軍縮を推進した。増大した軍事費を削減したい日本政府にとっても、軍縮は望ましいことだった。しかし、海軍の中には、この比率に対し、「それでは国は守れない」とする意見も根強かった。

また、中国の領土保全、門戸解放が「九か国条約」として成文化された。それとは別に、20年間つづいた日英同盟が廃棄された。それは日本もイギリスも望んでいなかったが、アメリカの強い意向で決定され、結果的に日本は頼りになる同盟国を失うこととなった。

関東大震災


1923（大正12）年9月1日、関東地方で大地震がおこった。東京や横浜など各地で発生した火災で民家、重要な建造物、文化施設など多数が消失し、死者・行方不明者は10万人をこえた（関東大震災）。

関東大震災の結果、日本の経済は大きな打撃を受けたが、地震の多い日本での近代都市づくりのために得た教訓は多く、耐震設計の基準づくりや、都市防災の研究が始まった。幹線道路網や都市公園緑地の整備につとめ、赤レンガでつくられた公共の建物は鉄筋コンクリートのつくりが変わっていった。

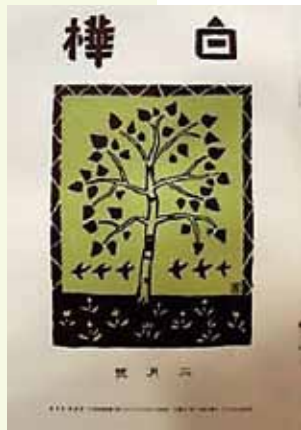


都心の被災状況 東京都心は壊滅的な打撃を受けたが、その後、世界最大規模の帝都復興計画が練られた。今日の主要な幹線道路は、このときに設計されたものである。

後藤新平（1857～1929）
岩手県出身。東京市長を経て、1923年に帝都復興院総裁となり、関東大震災後の東京復興のため、大胆な都市計画を立案し、その推進につとめた。
（岩手・後藤新平記念館蔵）



まとめにチャレンジ!
日露戦争後、1920年代中ごろまでの時期に、日本とアメリカの間に生じた問題を箇条書きにしてみよう。



文芸誌『白樺』(1910～23年発行) この同人雑誌で活躍した作家「白樺派」は、個性の尊重を主張し、社会や教育のあり方にも影響をあたえた。



雑誌『キング』(1925年創刊)は講談社が発行した娯楽雑誌で、創刊号は74万部を売り上げた。『赤い鳥』(1918年創刊)は児童向け雑誌。芥川龍之介の「蜘蛛の糸」など人気作家も多数寄稿した。(日本近代文学館提供)



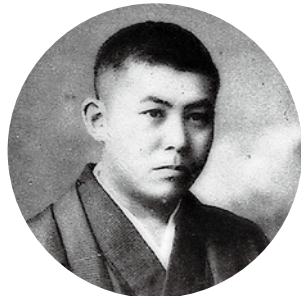
72

文化の大衆化と都市の生活

大正時代の文化にはどのような特徴があったのだろうか。



芥川龍之介 (1892～1927)
代表作は『羅生門』、『鼻』、『芋粥』など。



谷崎潤一郎 (1886～1965)
代表作は『春琴抄』、『細雪』、『陰翳礼讃』など。

大正時代の文化

大正時代には、中等・高等教育が普及し、女子教育も充実して、向学心

が高まった。

学問では、柳田国男が、激しい西洋化の進行の中で失われようとしていた、庶民の生活や風俗、民間伝承などを記録する民俗学を創始した。

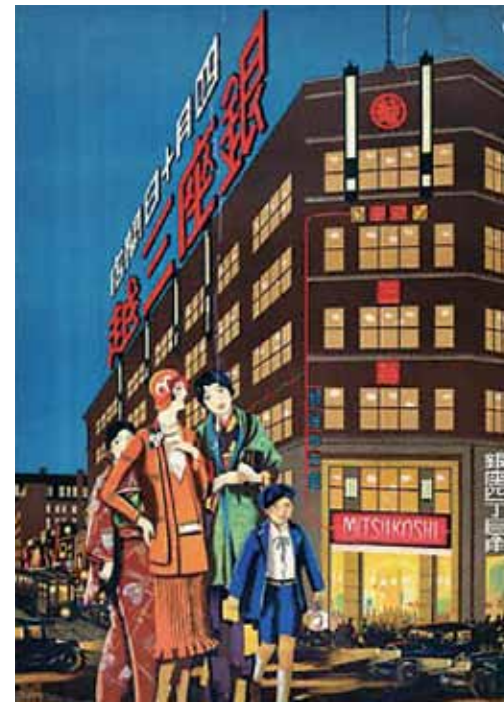
文学では、人道主義をかかげた志賀直哉、武者小路実篤など白樺派の作家たちや、耽美的な作品を書いた谷崎潤一郎、理知的な作風で知られる芥川龍之介などが活躍した。

また、大正期後半から昭和初期にかけて、学問や文学に、共産主義思想が強い影響をおよぼすようになった。

文化の大衆化

大正時代になると、販売数が100万部をこえる新聞や総合雑誌があらわれるようになった。1冊1円の低価格な本(円本)や文学全集が売れ、主婦や児童向けの雑誌も発行部数をのばした。また、ラジオ放送も始まり、新聞と並ぶ情報源になった。

同じ情報を一度に、広く大量に届ける新聞や雑誌、ラジオなど、マスメディアが発達した。これは、文化の大衆化を推進しただけでなく、大衆の政治参加をうながし、社会や政治の動きに強い影響をおよぼすようになった。



三越開店のポスター 銀座にはお洒落な女性があふれ、「銀ブラ」「モダンガール(モガ)」という言葉も生まれた。三越は日本初の百貨店。店名は、創業した三井家と創業時の呉服店・越後屋からとった。(東京国立近代美術館蔵)

地下鉄開通のポスター 1927(昭和2)年に、日本初の地下鉄が上野～浅草間に開通。国鉄やバス、路面電車など交通機関が急速に発達した。(東京国立近代美術館蔵)



また、活動写真(無声映画)にトーキー(有声映画)が登場し、レコードで音楽が聴けるようになった。このほか、大衆小説、歌謡曲、六大学野球などのスポーツ、宝塚少女歌劇なども大衆の娯楽として登場し、広く楽しまれるようになり、童謡や玩具、動物園や遊園地といった子供向けの文化も普及するようになった。

都市の生活

市の中心部と郊外を結ぶ私鉄が開通し、乗合自動車(バス)の路線が拡大し、日本で最初の地下鉄(上野～浅草間)が開通した。鉄筋コンクリートのビルが建ち、住宅では、井戸から水道へ、ランプから電燈へ、かまどからガスコンロへ、という変化が始まった。富裕層の住宅には、ガラス窓のついた洋風の応接間や子供部屋がつけられた。

デパートが開店し、多種多様な商品が並べられた。カレーライス、コロケ、トンカツといった洋食や、キャラメル、ビスケットといった洋菓子が食べられるようになった。こうして、今日にいたる都市生活の原型ができあがった。

バスガールや電話交換手など、女性の職場が増えて、職場の制服や女学生の制服が普及し、洋服を着る女性が増加したのもこのころである。



バスガール 1924(大正13)年に東京市営バスで採用開始。職業婦人の花形となる。



文化住宅 和洋折衷の住宅。ガス・電気・水道を備え、台所・浴室がつくられた。

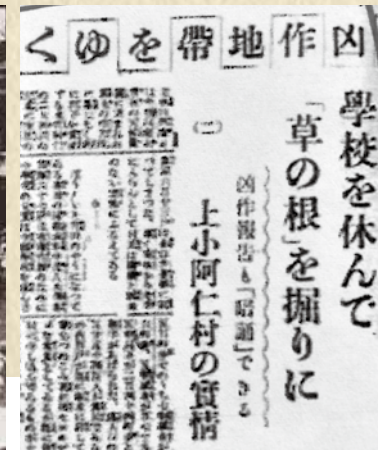
まとめにチャレンジ!

大正時代には、現代の都市生活の原型が成立したが、それによる社会の変化を3つ箇条書きにしてみよう。

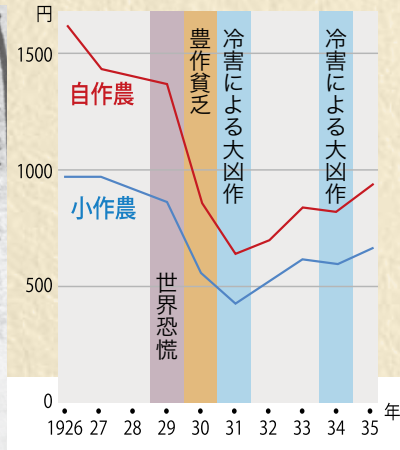
第2節 第二次世界大戦と日本



アメリカの株価大暴落（1929年） 過剰な投資ブームが突然破綻を引き起こした。騒然とするニューヨークの株式取引所。

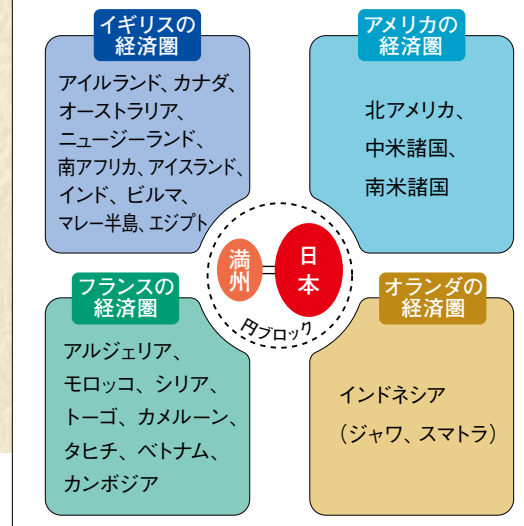


東北大飢饉を報じる新聞 春から夏にかけて吹く冷たく湿った北東の風（やませ）による凶作が原因の大飢饉といわれる。



農家の収入の変化（『岩波講座日本歴史』より、一部修正）

各国のブロック経済圏



ブロック経済と日本

イギリス、フランス、オランダなどヨーロッパ諸国は広大な植民地をもち、資源の豊富なアメリカは一国だけでも自給自足が可能だった。こうした「持てる国」は、植民地や領土をブロック化し、外部の商品には高い関税をかけて閉め出した。他方、国内にほとんど資源のない「持たざる国」日本は、原材料を輸入し、それを製品に加工し、輸出することで経済が成り立っていたため、巨大な関税の壁によって閉め出され、日本製品の輸出先がなくなった。日本は欧米の手法を模倣し、東アジアに独自の経済圏を確立しようとした。



ロンドン軍縮会議（1930年） 演説しているのが若槻礼次郎首席全権。

73

世界恐慌とその影響

1929年に始まった世界恐慌は、日本と世界にどのような影響をあたえたのだろうか。

大正から昭和へ

1926（大正15）年12月25日、大正天皇が崩御した。摂政をつとめていた皇太子裕仁親王が皇位を継承し、年号は昭和と改元された。

世界恐慌と昭和恐慌

第一次世界大戦のあと世界一の経済大国となったアメリカで、1929年10月24日、ニューヨーク株式市場が「暗黒の木曜日」とよばれる株価の大暴落を記録し、恐慌が始まった。多数の会社や銀行が倒産し、労働者の4人に1人が職を失い、失業者が街にあふれた。不況の波は世界中におよび、世界恐慌となった。

アメリカへの輸出に頼る日本経済も大きな打撃を受け、企業の休業・倒産があいつぎ、大量の失業者が発生した。これを昭和恐慌という。農村では、1930年の豊作で、農産物の価格が暴落し、農家の収入は激減した。翌年、今度は冷害による大凶作が、北海道・東北地方をおそった。食事をとれない児童や、若い娘の身売りが社会問題となった。

ブロック経済とニューディール

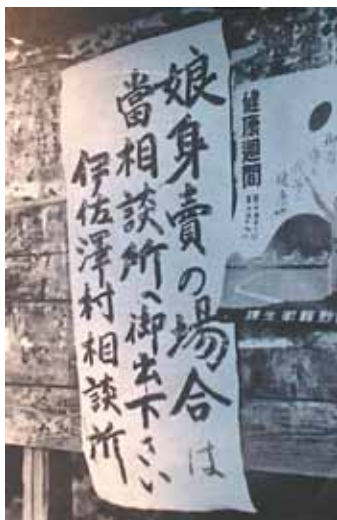
世界恐慌に対して、各国はさまざまな対応をした。世界各地に広大な植民地をもつイギリスやフランスは、本国と植民地との経済圏で重要な商品の自給自足をはかりつつ、外国の商品には高い関税をかけて国内の市場から閉め出す政策をとり始めた。これをブ

ロック経済という。アメリカも自国の産業保護に走り、関税を高くし世界不況をさらに深刻にした。また、フランクリン・ルーズベルト大統領はニューディール（新規巻き直し）政策をとり、失業者を救済するために多くのダムをつくるなど、国家予算を使って大規模な公共事業をおこした。しかし、工業生産の落ちこみが大きく、アメリカ経済はなかなか回復しなかった。

ロンドン軍縮会議と軍部への期待

1930（昭和5）年、ロンドンで海軍の補助艦（戦艦、巡洋戦艦、航空母艦以外の海軍艦艇）の制限を議題とする国際会議が開催された（ロンドン軍縮会議）。この会議で政府が日本に不利な協定を受け入れたとして、一部の軍人や犬養毅らの野党政治家は政府を激しく攻撃した。浜口雄幸首相は暴漢に狙撃されて重傷を負い、内閣は倒れた。

軍人が政治に直接口出しすることは、軍人勅諭で禁じられていたが、農村の窮状を目にした若い将校の中には、その原因を政財界の無能力と腐敗にあると考え、独自に政策を論じるグループがあらわれた。国民も、不況による社会不安の中で、財界と癒着し、政争に明け暮れる政党政治に失望し、しだいに軍部に期待を寄せるようになった。



娘の身売り 東北地方の凶作で社会問題となった。

1 天皇の言葉として軍人の心がまえを説いた文章。1882（明治15）年に出された。軍人がうそをつくことや勝手に行動することを固く禁じていた。軍人には政治参加のための選挙権があたえられていなかった。

まとめにチャレンジ

世界恐慌に対して、①英②アメリカ③日本はどのような対応をとったか、それぞれ説明してみよう。



←スターリン
(1879~1953)
レーニンの死後、あとをついでソビエトの指導者となり、多くの反対者を処刑し、1953年に死ぬまで独裁者として君臨した。



→ヒトラー
(1889~1945)
オーストリア生まれの貧しい画学生だったが、ドイツの民族主義に目覚め、巧みな演説で国民を熱狂させ、ナチス党を大きくした。



スターリンのソビエト共産党による大量殺戮の犠牲者 ソ連崩壊後に発掘された大量の遺骨。



ポーランドのアウシュビッツに設けられたナチスの強制収容所 このような強制収容所は各地に建てられ、ユダヤ人など数百万人が殺された。

74

共産主義とファシズムの台頭

20世紀の歴史を動かした共産主義とファシズムには、どのような特徴と共通点があったのだろうか。

1 共産主義インターナショナル（国際共産党）の英語の略称。のちに、第二次世界大戦中の1943年、ソ連が英米などと戦争で協力するために解散した。

コミンテルンと各国共産党の設立年	
ロシア共産党	1898
コミンテルン	1919
スペイン共産党	1918
ドイツ共産党	1919
中国共産党	1921
フランス共産党	1921
日本共産党	1922
ベトナム共産党	1930
朝鮮労働党	1945

2つの全体主義

ヨーロッパで生まれた2つの政治思想が、1920年代から1930年代にかけて世界に広まった。一つは、マルクスの思想に始まり、ロシア革命を引きおこした共産主義である。もう一つは、ドイツとイタリアにあらわれたファシズムである。どちらも国家や民族全体の目的の実現を最優先し、個人の自由を否定する思想を核心としているので、全体主義とよばれた。全体主義は各地に革命運動を生み出し、成功したところでは一党独裁と、国家の上に党を置く独特の政治体制をつくりあげ、20世紀の人類の歴史に大きな悲劇をもたらした。

共産主義の台頭

共産主義の考え方では、労働者階級が団結して革命をおこし、資本家を追放して経済を計画的に運営し、階級による差別のない社会を建設することを理想とした。それを実現するための手段が、共産党にすべての権力を集中する一党独裁体制だった。

ロシア革命によって共産党の独裁国家となったソ連では、レーニンの死後、スターリンが権力をにぎった。スターリンは、重工業を重視し、農業の集団化を進める一方、秘密警察や強制収容所を用いて膨大な数の反対者を処刑した。

コミンテルンの結成

ソ連は世界中に共産主義を広める拠点でもあった。その目的のため、1919年に、コミンテルンとよばれる指導組織がつくられ、世

界各国に共産党を組織していった。各国の共産党は、コミンテルンの支部と位置づけられ、モスクワの本部の指令に従って、それぞれの国内を混乱させる活動を行った。

日本でも、1922（大正11）年、日本共産党が「コミンテルン日本支部日本共産党」としてひそかに創立された。

ファシズムの脅威

イタリアでは、1922年に、ムッソリーニのファシスト党が、第一次世界大戦の戦勝の分け前が得られないことに対する国民の不満を背景に、国民の熱狂的な支持のもと政権を掌握し、やがて独裁政治が始まった。

ドイツでは、第一次世界大戦後、巨額の賠償金を背負わされ、激しい物価高に見まわられて、国民の不安が高まった。やがて、ヒトラーがナチス党をひきいて登場し、民族の栄光回復と雇用の拡大をスローガンにかかげた。

ナチス党は、1932（昭和7）年には国会の第1党に躍進し、翌年、ヒトラーは政権をにぎった。首相に就任したヒトラーは、暴力や警察を使ってたちまち独裁体制をつくりあげ、共産党の弾圧と再軍備を進めた。ナチス党は、また、民族の純血を守るという理念をかかげ、国内のユダヤ人を迫害した。ヒトラーはスターリンと同様に、秘密警察や強制収容所を用いて、反対者に対する大量処刑を行った。2つの全体主義国家は、たがいに対立しつつも、相手から支配のやり方を学び合っていた。

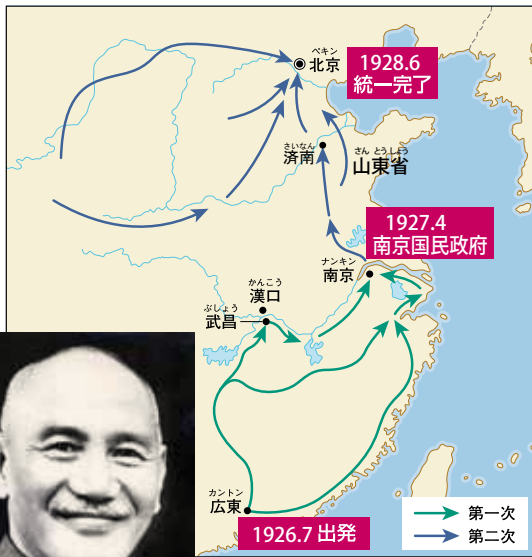
2 1925年、日本政府はソ連と国交を結んだが、それによって日本の国内に破壊活動がおよぶことを警戒し、君主制の廃止、私有財産制度の否認などを主張する活動を取りしめる治安維持法を制定した。この時代、同様の法律を諸外国も制定していた。

3 この党の名称から、独裁的な政治のあり方をファシズムとよぶようになった。

4 国家社会主義ドイツ労働者党が正式名称で、ナチスはその略称。ヒトラーが支配した時代のドイツ国をナチス・ドイツとよびならわしている。

5 スターリンは強制収容所を共産党の政治支配の手段として大規模に活用した。ヒトラーはこれに学び、各地に強制収容所を設け、ユダヤ人や政治犯などを迫害した。

まとめにチャレンジ！
共産主義とファシズムの共通点を3つあげてみよう。



蒋介石 (1887~1975) と北伐
国内統一の動きは広東から始まり、北京に至るまで2年かかった。



中国の排日運動 日本製品を焼いている中国清華大学の学生。

75 中国の排日運動と 協調外交の挫折

政党内閣の時期に日本が進めた協調外交は、なぜ挫折したのだろうか。

1 1925年には上海で反イギリス暴動がおき、香港にも波及した。1927年3月には、北伐軍が外国領事館や外資系工場・住宅を襲撃し、日本人をふくむ多数の外国人が死傷した。

2 日本は在留日本人の生命・財産の保護を名目に、1927年5月から3回にわたって山東省に出兵した(山東出兵)。日貨排斥の歴史は袁世凱→P.199の頃から始まる。

中国の排日運動

日本が年号を昭和と改めたころ、中国では、各地に私兵をかかえた軍閥が群雄割拠していた。1919年孫文は、国民党を創設した。その後をついだ蒋介石は各地の軍閥と戦い(北伐)、国内統一をめざした。1928年、蒋介石は北京をおさえて統一を完了した。国内統一の動きは、日本が権益をもつ満州にも到達した。しかし、地方の軍閥は残り、混乱はつづいた。

このころ中国では、不平等条約によって中国に権益をもつ日本や欧米諸国を排撃する動きが高まった。それは列強の支配に対する中国人の民族的反発だったが、暴力によって革命を実現したソ連の共産主義思想の影響も受け、過激な性格を帯びるようになった。勢力を拡大してくる日本に対しても、日本商品をボイコットし、日本人を襲撃する排日運動が活発になった。

協調外交の行きづまり

政党内閣のもとで2期にわたって外務大臣をつとめた幣原喜重郎は、英米と協調して条約を守りつつ、中国の関税自主権回復の要求を支持するなど、中国の民族感情にも同情をもって対応する、国際協調外交を推進した。しかし、中国の排日運動はおさまらな

中国の情勢についての 米外交官マクマリーの見解 (一部要約)

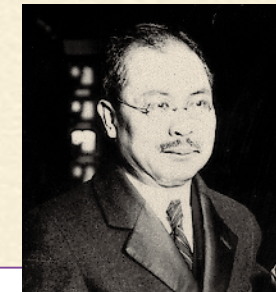
人種意識がよみがえった中国人は、故意に自国の法的義務を嘲笑し目的実現のためには向こう見ずに暴力に訴え、挑発的なやり方をした。そして力に訴えようとして、力で反撃されそうになるとおどおどするが、敵対者が何か弱みの兆しを見せると、たちまち威張り散らす。……中国に好意をもつ外交官たちは、中国が外国に対する敵対と裏切りを続けるなら、遅かれ早かれ、一、二の国が我慢しきれなくなって手痛いしっぺ返しをするだろうと説き聞かせていた。



ジョン・マクマリー (1881~1960)
アメリカの外交官。中国問題の権威で、1925~1929年、中国駐在公使をつとめた。 (『平和はいかに失われたか』より)

中国に自重を求める 幣原喜重郎の見解 (一部要約)

日本は不平等条約の辛酸をなめ、その撤廃をはかるに当たっては、列国を責めるよりもまずおのれを責めた。打倒帝国主義→P.170などとさげすんで、まず静かに国内政治の革新に全力をあげた。帝国主義時代において、我々の先輩の苦労は容易ならざるものがあつたが、国内の近代化が達成されると、列国は快く対等条約に同意した。日本は外国人が治外法権を享有した時代でも、列国の帝国主義を呪うことなく国を進歩させた。……我々は必ずしも日本の先例の通りにしろと言うわけではないが、シナ(中国)が早く平等の地位を占めることを望むがゆえに、同国官民の自重を求めざるを得ない。



幣原喜重郎 (1872~1951)
加藤内閣、第1次・第2次若槻内閣、浜口内閣で外務大臣をつとめた。

かった。日本では軍部を中心に、幣原の外交を軟弱外交として批判する声が強くなった。

満州をめぐる状況

日露戦争の勝利によって、日本は遼東半島南部の関東州を租借し、ロシアから長春より南の鉄道の営業権を譲り受け、南満州鉄道(満鉄)を設立した。昭和初期の満州には、すでに20万人以上の日本人が住んでいた。その保護と、関東州および満鉄を警備するため、1万人の陸軍部隊(関東軍)が駐屯していた。

1928(昭和3)年、日本は山東省に居留民保護を口実に軍隊を派遣した(山東出兵)。関東軍は満州の軍閥・張作霖を爆殺し、満州への支配を強めようとした。これに対し、中国人による排日運動も激しくなり、列車妨害やテロ活動が頻発して、日本人居留民の安全がおびやかされた。さらに、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力もおよんできた。こうした中、関東軍の一部将校は、満州を軍事占領して排日勢力を駆逐し、日本の権益を守る計画を練り始めた。



中国の排日運動 日本人、日本軍への襲撃事件の一部 (1919~1937)

まとめにチャレンジ!

この時期、日本の協調外交は、なぜ挫折したのか、中国の排日運動との関係で説明してみよう。



南満洲鉄道の長春駅(のちの新京駅) 満洲国建国を祝う装飾。



→満洲事変から満洲国の建国へ 明治末期以降、日本は人口が急増し、日本が権益をもつ満洲に新しい生活の夢を託して多くの日本人が移民となって開拓に励んだ。



↑リットン調査団 満洲事変の発端になった柳条湖付近の満鉄線路を調査しているようです。でも、不法行為をふくみ、国民党によって組織的に命令されており、日本の経済的利益に対して重大な被害をあたえている。しかし、満洲国の承認は、これらの解決にはならない。必要なのは、満洲における中国の主権を承認し、法と秩序を維持できる政権の樹立である。

リットン調査団 報告書の要点 (1932年9月)

日本が満洲に有する権益は、その歴史的経緯からも、日本の経済発展にとって重要なものとして尊重されなければならない。治安の悪化と、たびたびくり返される日本製品の排斥は、それが中国国民の国民感情に支持されているものだとし



溥儀(1906~67) 満洲族の王朝であった清朝最後の皇帝で、正式名は愛新覺羅溥儀。1911年の辛亥革命により翌年退位した。天津に幽閉されていたが、満洲事変がおこると父祖の地である満洲行きを希望した。関東軍の支援で脱出し、満洲にむかえられた。

76

満洲事変と満洲国建国

満洲事変はどのようにしておこり、世界はこれをどう見たのだろうか。



首相遂に兇手に倒る 昨夜十一時廿六分絶命

五・一五事件を報じる新聞 この事件の裁判は、犯人の軍人たちにきわめてゆるい処罰を下し、世論もそれを支持した。「(東京朝日新聞) 1932年5月16日付)

1 1939年の時点で、満洲国はドイツ、イタリア、スペインなど約20か国から承認されていた。

満洲事変から満洲国の建国へ

1931(昭和6)年9月、関東軍は、奉天(現在の瀋陽)郊外の柳条湖で、満鉄の線路を爆破し、これを中国側の攻撃だとして、満鉄沿線都市を占領した。政府と軍部中央は不拡大方針をとったが、関東軍は、軍事行動を拡大し、全満洲の主要地域を占領した。

満洲で日本人が受けていた不法な被害を解決できない政府の外交方針に不満をつのらせていた国民の中には、関東軍の行動を支持する者が多く、陸軍には多額の支援金が寄せられた。政府も関東軍の行動を追認した(満洲事変)。

事変後、利害関係をめぐって関東軍と行動をともにする満洲軍閥も現れた。1932(昭和7)年3月、関東軍は清朝最後の皇帝であった溥儀を執政に立て、満洲国を建国して実質的に支配した。溥儀は、のちに満洲国皇帝の地位についた。

1932年5月15日、満洲問題を話し合いで解決しようとしていた政友会の犬養毅首相は、海軍青年将校の団によって暗殺された(五・一五事件)。ここに8年間つづいた政党内閣の時代は終わりを告げ、その後しばらくは、軍人や官僚出身者が首相に任命されるようになった。

リットン調査団

アメリカを始め各国は、満洲事変をおこした日本を非難した。国際連盟

は満洲に、イギリスのリットン卿を団長とする調査団(リットン調査団)を派遣した。調査団は、満洲における日本の権益の正当性や、満洲に在住する日本人の権益と安全がおびやかされていることを認めた。

5 しかし他方、日本による満洲国建国を認めず、満洲の占領地からの日本軍撤兵と満洲の国際管理を勧告した。すでに、満洲国を承認していた日本政府は、1933(昭和8)年、この勧告を拒否し、国際連盟を脱退した。

その後、日中間で停戦協定が結ばれ、満洲国は、五族協和・王道楽土建設のローガンのもと、日本の重工業の進出などにより経済成長をとげた。しかし、反日・抗日運動も頻発した。

二・二六事件

1936(昭和11)年2月26日の早朝、陸軍の一部青年将校たちが、約1400人の兵士をひきいて首相官邸や警視庁などをおそい、大臣など要職者を殺害し、国会周辺を占拠した(二・二六事件)。

この反乱のねらいは、昭和恐慌による農村の疲弊、政治の腐敗などに対応しきれない政治体制を変えるため、政党・財閥・重臣を打倒し、天皇親政を実現することにあつたが、昭和天皇は反乱を許さない断固たる決意を示し、反乱は3日間で鎮圧された。この事件ののち、軍部の発言権が強まった。



二・二六事件 事件を伝える新聞。侍従長として天皇の信頼があつた鈴木貫太郎(写真左側中段)は重態となったが奇跡的に回復し、のちに首相となって戦争を終戦に導いた。→P.245

2 事件後、陸軍大臣と海軍大臣には現役の軍人しか入れない制度が復活し、陸海軍が支持しない内閣の成立は困難となった。

まとめにチャレンジ!

満洲をめぐっておこったできごとを時間的順序に並べてみよう。

- ⑦満洲事変の発生
- ④リットン調査団の派遣
- ②国民の満洲事変への支持
- ①満洲国の建国と発展
- ⑥日本の国際連盟脱退
- ⑤五・一五事件



西安事件で監禁直前の
蒋介石（右）と
張学良（1901～2001）

日本と中国はなぜ平和を実現できなかったのか

7月7日に発生した盧溝橋事件は、小さな軍事衝突に過ぎなかった。日本軍にも現地の中国軍にも戦闘を拡大しようとする意図はなかった。4日後の現地停戦協定には、中国側による日本軍への謝罪や、再発防止のため「共産分子」の挑発を取りしめることなどが書かれていた。他方、中国共産党は事件後、日本に対する抗戦を呼びかけた。

7月11日、近衛内閣は華北への軍隊の派兵を表明した。すると、蒋介石も7月17日、廬山で、日本に対し徹底抗戦を訴える

演説を行った。蒋介石の対日開戦の決意はしだいに固まっていた。

日本政府は、満州事変で得た権益を放棄するなどの内容を含む、蒋介石との妥協案を用意した（船津工作）。ところが、第1回の交渉が始まる当日の上海で、日本人将兵惨殺事件が起こり、交渉は取りやめになった。

日本はもちろんのこと、中国側も国民のすべてが日本との戦争をのぞんでいたわけではないが、戦闘が拡大するにつれ、日中の平和は困難なものになっていった。

歴史の言葉

【事変】

「事変」は「警察力でしずめることができない規模の事件・騒動」を意味し、「戦争」とは区別される。日本は、中国に対し宣戦布告をせず、「支那事変」とよんだ。また、アメリカには中立法があり、戦争中の国には武器の原材料を売ることはできない建前になっていた。そのため、資源をアメリカからの輸入に依存する日本は、「戦争」の呼称をさけた面もある。中国側も宣戦布告はしなかったが、支那事変の実態は、中国との戦争だった。



『週刊朝日・アサヒグラフ
臨時増刊 支那事変画報』



日中戦争の戦場となった上海租界地区 フランス租界とイギリス、アメリカ、イタリア、日本の共同租界があった。共同租界は国ごとに居住区が認められ、日本人居住区には3万人が在留していた。

77

日中戦争 (支那事変)

日中戦争はどのようにして始まったのだろうか。

1 1935年に開かれたコミンテルン世界大会は、従来の方針を転換し、ファシズムに反対する勢力を広く結集させる方針を採択した。これは人民戦線、または統一戦線とよばれた戦術だった。中国共産党は国民党と敵対せず、ともに日本と戦う方針を決めた。

2 まず国内を安定させてから外敵(日本)を追い払うという意味。

コミンテルンの 世界革命戦略

コミンテルン(国際共産党)は、ヨーロッパの資本主義諸国で一挙に体制を変革する世界革命の実現を目指していた。しかし、第一次世界大戦後にドイツを中心に闘われたヨーロッパの革命闘争に敗北し、別の道をさぐることになった。

コミンテルンは、社会主義のソ連を守りつつ、欧米や日本の、植民地や従属国で活動する世界革命戦略を立てた。活動拠点の中国では、日本がしだいに標的となっていった。

西安事件

中国では蒋介石がひきいる国民党と共産党が激しく対立し、内戦状態にあった(国共内戦)。劣勢の共産党は消滅の危機に追い込まれていた。そこで共産党は、まず、共通の敵である日本に対し力を合わせてたたかうこと(抗日)を国民党に呼びかけた。しかし、蒋介石は、まず始めに国内の共産党勢力を倒し、そののち日本と戦うという考え(安内攘外)を変えなかった。

1928(昭和3)年の列車爆破事件で暗殺された張作霖の息子の張学良は、蒋介石に共産党の討伐を命じられたが、内心は共産党の抗日のよびかけに賛同していた。そこで張学良は1936年、蒋介石を西安で監禁し、国共内戦をやめ、一致して日本と戦うことを認めさせた(西安事件)。

こうして、中国では日本と戦う体制が整っていった。

日中戦争の始まり

日本軍は満州国南部の安全と資源確保のため、満州に隣接する華北地方に親日政権をつくるなどして、中国側との対立が強まった。1937(昭和12)年7月7日夜、北京郊外の盧溝橋で演習していた日本軍に向けて、何者かが発砲する事件がおき、翌日には中国軍と戦闘状態になった(盧溝橋事件)。現地の日本軍にも中国軍にも戦闘拡大の意図はなく、4日後に現地停戦協定が結ばれた。しかし、その日、近衛首相は派兵を決定し、中国側は日本人への襲撃などの挑発をやめなかったこともあり、本格的な戦闘状態になっていった。

こうして日中間の緊張が高まるなか、8月には、外国の権益が集中し各国の租界がある上海で、2人の日本の軍人が惨殺される事件が起こった。8月13日、中国軍の大軍と、日本人居住区を守っていた日本軍との間で、戦闘が始まった(上海事変)。日本は陸軍の増援部隊を派遣したが、中国軍の精鋭部隊に苦戦を強いられ、11月までに4万人の死傷者を出した。

こののち8年間続いた戦争を日中戦争(日本政府の当時の呼称は、支那事変)という。日本軍は国民政府の首都、南京を落とせば蒋介石は降伏すると考え、12月に南京を占領した。しかし、蒋介石は奥地の重慶に首都を移し、抗戦を続けた。

3 日本は義和団事件のあと、他の列強諸国と同様に中国と結んだ条約(北京議定書)

→P.192によって、北京周辺に5000人の軍隊を駐屯させていた。

4 北京東方の通州には親日政権がつくられていたが、7月29日、日本の駐屯軍不在の間に、その政権の中国人部隊は、日本人居住区を襲い、日本人居留民385人のうち子供や女性を含む223人が惨殺された(通州事件)。

5 中国軍は、ドイツの軍事指導と武器援助を受け強力な軍隊に変貌しているが、日本はそのことを軽視していた。中国は見返りに、希少金属のタングステンをあたえて、ヒトラーの軍備拡張を支えた。

まとめにチャレンジ!

①コミンテルン②西安事件③上海事変の3つの言葉を使って、日中戦争(支那事変)にいたる経緯を書いてみよう。



齋藤隆夫 (1870~1949)

1940年2月2日の帝国議会における質問で、日中戦争の戦争目的の不明確さを明るみに出し反響をよんだ。のちに、衆議院の投票によって議員を除名された。

日中戦争の展開



78

中国をめぐる日米関係の悪化

中国をめぐる日米の対立はどのように生まれ、大きくなっていったのだろうか。



大政翼賛会の発足 (1938年)

1 明治時代以来行われていた検閲は、国家総動員法の施行にともない強化され、必要なときには新聞など出版物の掲載を禁止できると定められた。このきびしい検閲は戦争が終わるまで続いた。

日中戦争の長期化

開戦当初の日本国内は、戦争景気で雇用が増え消費が拡大した。しかし、中国大陸での戦争は長期化し、いつ終わるとも知れなかった。日本は戦争の早期終結を望み、和平工作の動きが幾度も生まれたが、日中双方とも政府の足並みがそろわず、ことごとく挫折してしまっ

た。蒋介石は米英仏ソの支援を受けて、戦争を継続した。こうして、中国大陸の奥地まで戦場は拡大し、戦争は泥沼化した。日中戦争の終結の目途は立たなかった。1940 (昭和15) 年、民政党の齋藤隆夫代議士は、帝国議会で、「この戦争の目的は何か」と質問したが、政府は明確に返答できなかった。

国家総動員体制

中国との戦争が長引くと、国をあげて戦争を遂行する体制をつくるため、1938 (昭和13) 年、国家総動員法が成立した。これによって政府は、議会の同意なしに物資や労働力を動員できる権限をあたえられた。1940年、米、味噌、砂糖、マッチなど生活必需品の切符制 (配給制) が実施されるようになり、国民は、「ぜいたくは敵だ」というスローガンのもと、次第に切りつめた生活を余儀なくされた。また、国内の検閲も強化された。

世界恐慌以来、日本国内でも、ドイツやソ連のような国家体制のもとでの統制経済を理想と見なす考え方が広がった。

各国の蒋介石への援助

【ソ連】

1937年 中ソ不可侵条約で、航空機900、戦車200、トラック1500、銃15万、砲弾12万発、銃弾6000万発などを援助

【アメリカ】

1927~41年 4億2000万ドルを援助
1940年 新鋭戦闘機50、弾丸150万発
1941年 戦闘機100機、トラック300、B-17爆撃機500

【イギリス】

1939年 1000万ポンドの借款
1940年 1000万ポンドの借款

【フランス】

1938年 1億5000万フランの借款
1939年 9600万フランの援助



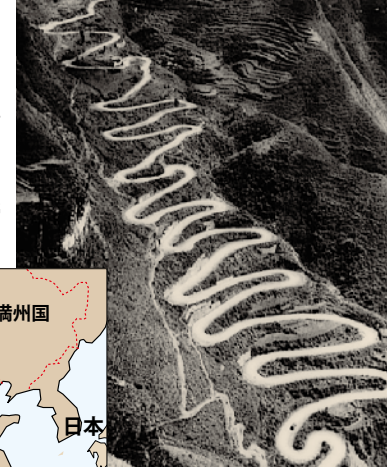
1940年には、挙国一致体制をめざして政党が解散し、大政翼賛会にまとまった。

悪化する日米関係

1938 (昭和13) 年、近衛文麿首相は、東亜新秩序構想の声明を発表した。東亜とは、日本、満州、中国を含む地域を指し、ここに日本を中心とした独自の経済圏をつくるという構想だった。

国内の不況が長引くアメリカは、門戸開放、機会均等をとらえて近衛声明に強く反発し、日本が独自の経済圏をつくることを認めなかった。これまで、表面上は中立を守っていたアメリカは、この前後から、中国の蒋介石を公然と支援するようになり、日米戦争の種がまかれた。1939年、アメリカは日米通商航海条約を延長しないと通告した。石油をはじめ多くの物資をアメリカからの輸入に依存していた日本は、苦しい立場に追いこまれた。

日本の陸軍には、北方のロシアの脅威に対処する北進論の考え方が伝統的に強かったが、このころから、東南アジアに進出して石油などの資源を獲得しようとする、南進論の考えが強まっていった。しかし、日本が東南アジアに進出すれば、そこに植民地をもつイギリス、アメリカ、オランダ、フランスと衝突するのは避けられなかった。



ビルマルート



フライング・タイガーズの戦闘機 日米開戦前の1940年の夏から、アメリカは、空軍パイロットを義勇団と称して戦闘機とともに中国に送りこんでいた。この部隊をフライング・タイガーズという。

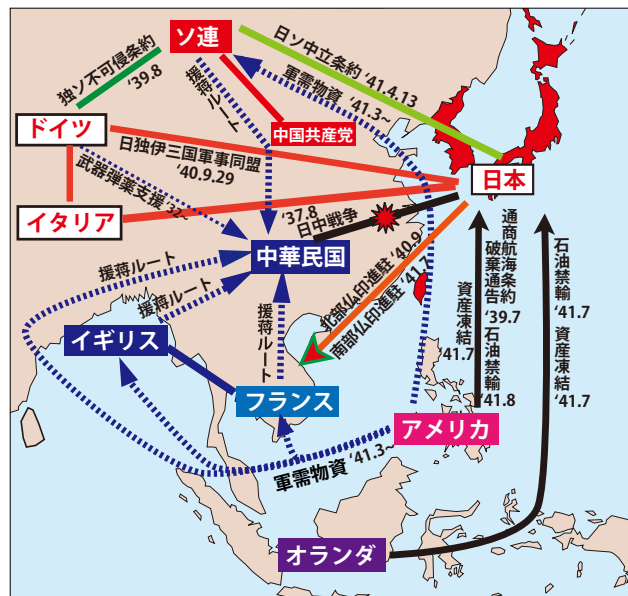
2 ソ連のスパイだったドイツ人のゾルゲ (1895~1944) は、近衛内閣の側近とつながりを持ち、日本政府の政策が北進論から南進論に転換したことをいち早くソ連に通報した。この情報に安心して、ソ連はヨーロッパ戦線に戦力を集中することができた、ともいわれる。

まとめにチャレンジ!

悪化する日米関係でおこった事を順番に書いてみよう。



ポーランドに侵攻するドイツ軍 首都ワルシャワに入るドイツ兵。



第二次世界大戦前の国際関係

79

第二次世界大戦の始まり

第二次世界大戦はどのようにして始まり、日本はどのようにかかわっていったのだろうか。



日独伊三国軍事同盟の調印祝賀会(1940年) 中央でナチス式の敬礼をしているのが三国軍事同盟を推進した松岡洋右外相。松岡はのちに、この失敗をくやんだ。

1 オランダはドイツと戦争中であり、その同盟国である日本に石油を提供しないようにというアメリカの示唆もあって、米英と連携することを選択した。

ナチス・ドイツとヨーロッパの戦争 ヒトラーひきいるナチス・ドイツは、武力による領土回復と拡張を進めた。ドイツは対立していたソ連と独ソ不可侵条約を結んだ上で、1939(昭和14)年9月、ポーランドに電撃的に侵攻した。独ソ両国はかねての密約により、ポーランドを分割した。イギリスとフランスは、ポーランドとの相互援助条約に基づいて、ドイツに宣戦布告し、第二次世界大戦が始まった。1940(昭和15)年、ドイツ軍は西ヨーロッパに侵攻し、パリを占領してフランスを降伏させ、イギリス本土に激しい空爆を行った。

日独伊三国軍事同盟と日ソ中立条約 ドイツの勝利を受けて、日本は、1940年、イタリアを加えた日独伊三国軍事同盟を締結した。しかし、遠いヨーロッパの2国との軍事同盟には、実質的な効用はなく、しかも、イギリスを支援するアメリカとの関係を決定的に悪化させた。

1941年4月、日本はソ連と日ソ中立条約を結び、2つの条約の圧力でアメリカから譲歩を引き出そうと考えた。しかし、同年6月、ドイツがソ連に侵攻し、ソ連は連合側に加わったので、このねらいは破綻した。

経済封鎖で追いつめられる日本 日本は石油の輸入先を求めて、インドネシアを領有するオランダと交渉したが、成功しなかった。こうして、米・英・中・蘭の4か国

迫害されたユダヤ人を助けた日本人 樋口季一郎と杉原千畝

1938年3月、ソ連と満州の国境にあるシベリア鉄道のオトポール駅に、ナチス・ドイツに迫害され、ピザをもたずにのがれてきたユダヤ人難民の団が到着した。当時、日本はドイツと友好関係にあったが、知らせを受けたハルピン特務機関長の樋口季一郎少将は、満州国建国の「五族協和」の理念からこれを人道問題としてあつかい、満鉄に依頼して救援列車を次々と出し、上海などに逃げる手助けをした。まもなく事情を知ったドイツは、外務省を通じて抗議してきたが、関東軍参謀長の東条英機は「日本はドイツの属国ではない」として、部下である樋口の処置

を認め、ドイツからの抗議もうやむやにして、1万1000人のユダヤ人の命が救われた。第二次世界大戦が始まったのちの1940年7月、バルト海沿岸のリトアニアにある日本領事館に、ドイツ軍に追われたユダヤ人が、シベリアと日本を経由して安全な国にのかれようと集まってきた。当時、日本の外交はドイツとの友好関係を大切にしていたが、外交官の杉原千畝は、日本入国のビザを発給することを決断し、手がはれあがるまで徹夜で書きつけて、6000人のユダヤ人を合法的に出国させ、彼らの命を救った。戦争後、樋口と杉原の勇気ある行動は、イスラエル政府によって表彰された。



樋口季一郎 (1888~1970)



杉原千畝 (1900~86)

が日本を経済的に追いつめる状況が生まれた。日本の新聞はこれを国名の頭文字から「ABCD包囲網」とよんだ。

1941年4月、悪化した日米関係を打開するための日米交渉が、ワシントンで始まったが、交渉はまとまらなかった。7月、日本の陸海軍は、インドネシアからの石油提供に関してオランダに圧力をかける目的で、仏印のサイゴン(現在のホーチミン)に入った(南部仏印進駐)。サイゴンは、日本が南進する場合に拠点となる軍事上の重要地点だった。アメリカは、在米日本資産を凍結していたが、さらに対抗して対日石油輸出を全面的に禁止した。8月、米英両国は大西洋上で首脳会談を開き、大西洋憲章を発表して、領土不拡大、国境線不変更、民族自決など、両国の戦争目的と大戦後の方針をうたった。

ハル・ノートから日米開戦へ

経済的に追いつめられた日本は、アメリカとの戦争を何とかさげようと努力した。日本は、妥結しない場合は開戦するという決意のもとに日米交渉を継続した。しかし、アメリカは11月、日本に対して、中国、インドシナから無条件で全面撤退を求める強硬な提案文書を送ってきた。当時のアメリカのハル国務長官の名前から、ハル・ノートとよばれるこの文書を、アメリカ政府の最後通告と受けとめた日本政府は、対米開戦を決意した。

2 南部仏印とは、フランス領インドシナのうち、現在のベトナム南部と、ラオス、カンボジアを指す。

ハル・ノート(一部要約)(1941年11月26日)

三、日本は中国およびインドシナからいっさいの軍隊と警察を引きあげるべし。

四、日本は蒋介石政府のみを中国の正統な政府と認めよ。

まとめにチャレンジ

日米関係を悪化させた決定的なできごとを2つあげてみよう。



空母から真珠湾に向けて飛び立つ準備をしている日本軍機

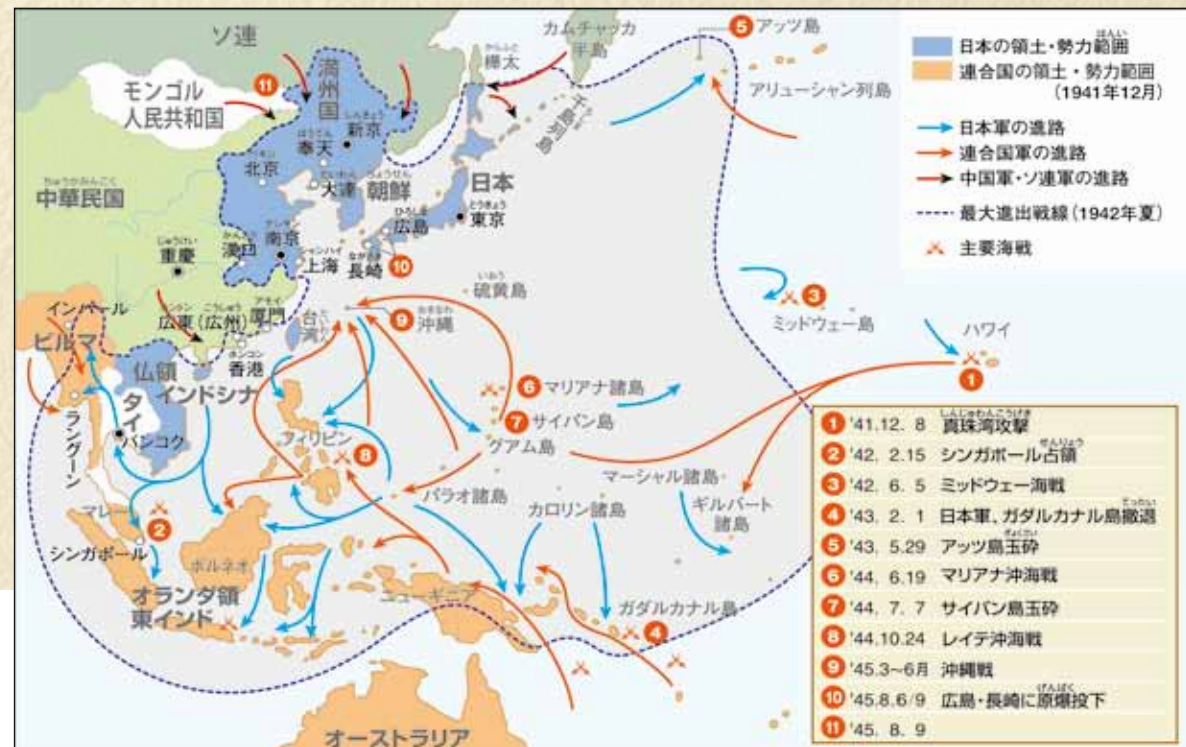


ハワイ真珠湾への攻撃
黒煙に包まれる戦艦アリゾナ。このとき、戦艦4隻を撃沈、4隻を撃破する大戦果をあげた。

マレー沖での海戦
沈没するイギリス東洋艦隊の主力戦艦プリンス・オブ・ウェールズ (1941年12月10日)



演説するアメリカのフランクリン・ルーズベルト大統領 (1882~1945) 「日本のだまし討ちを忘れるな！」と国民によびかけた。



大東亜戦争 (太平洋戦争) の展開



マレー半島を自転車で行く日本軍。自転車で快速進撃したので「銀輪部隊」とよばれた。

4 ヨーロッパでは、初めは枢軸国が有利に戦いを進めたが、1942年を境に連合国が反撃に転じた。1943年にドイツ軍はソ連のスターリングラードに攻め込んだが、敗退した。

まとめにチャレンジ!

- 大東亜戦争当初の約半年間の推移を時間順に並べてみよう。
- ①真珠湾攻撃
 - ②ミッドウェー海戦の敗北
 - ③東南アジア全域の占領
 - ④シンガポール占領

80 大東亜戦争 (太平洋戦争)

大東亜戦争は、どのような経過をたどったのだろうか。

- 1 戦後、アメリカ側がこの名称を禁止したので、太平洋戦争という用語が一般化した。
- 2 以前から結ばれていた独伊の同盟関係を「ベルリン—ローマ軸」とよんだことから日独伊の三国を枢軸国といった。
- 3 日本政府にだまし討ちの意図はなく、攻撃開始前に日米交渉の打ち切りを通告する予定であったが、日本側の不意、攻撃後の通告となった。

1941 (昭和16) 年12月8日、日本海軍はアメリカのハワイにある真珠湾基地を奇襲し、アメリカの戦艦と基地航空部隊に全滅に近い打撃をあたえた。この作戦は、主力艦隊を撃破して、太平洋の制海権を獲得することをめざしたものだ。同日、日本陸軍はマレー半島に上陸し、イギリス軍を撃破しつつシンガポールをめざして進んだ。

日本は米英に宣戦布告し、この戦争は「自存自衛」のための戦争であると宣言した。また、この戦争を「大東亜戦争」と命名した。ドイツ・イタリアもアメリカに宣戦布告し、第二次世界大戦は、日・独・伊の枢軸国と、米・英・蘭・ソ・中の連合国が世界中で戦う戦争へと拡大した。

対米英開戦をニュースで知った日本国民の多くは、その後次々と伝えられる戦果に歓喜した。他方、アメリカ政府は、日本の交渉打ち切りの通告が真珠湾攻撃よりも遅れたのは卑劣な「だまし討ち」であると自国民に宣伝した。日本の真珠湾攻撃は、

軍事的には成功したが、今まで戦争に反対していたアメリカ国民を「リメンバー・パールハーバー」を合言葉に、対日戦争に団結させる結果をもたらした。

5 戦争の最初の半年間、日本の勝利はめざましかった。暗転する戦局

南方では、開戦と同時にマレー半島に上陸した日本軍は、わずか70日で半島南端のシンガポールにあるイギリス軍の要塞を陥落させた。果敢な進撃で、たちまちのうちに日本は広大な東南アジアの全域を占領した。

しかし、1942 (昭和17) 年6月、ミッドウェー海戦で日本の連合艦隊はアメリカ海軍に敗れ、航空母艦や多くの人員を失った。こののちアメリカ軍は反撃に転じた。日本は制海権を失い、輸送船はアメリカの潜水艦によって次々と沈められて補給路を断たれた。日米の生産力の差がしだいに表面化し、日本軍は武器・弾薬に限りがある中で苦戦を強いられた。ヨーロッパでも、ドイツはしだいに劣勢となっていた。1943年、イタリアが降伏し、翌年ドイツ軍はパリから撤退した。



大東亜会議の出席者 1943年11月、国会議事堂前。東条英機首相をはさみ、前列の左からビルマ（現ミャンマー）、満州帝国、中華民国南京政府（重慶の蒋介石政権に対抗し、日本の支援を受けて南京に立てられた政府）、タイ、フィリピン、自由インド仮政府の各代表。

81

大東亜会議とアジア諸国

日本の戦争は、アジアの人々にとって、どんな意味をもっていたのだろうか。

1 日本は1943年、ビルマ、フィリピンを独立させ、自由インド仮政府を承認した（大東亜会議に出席）。1945年には、ベトナム、カンボジア、ラオスを独立させた。

大東亜共同宣言 (一部要約)

- 一、大東亜各国は相互に自主独立を尊重し、大東亜の親和を確立する。
- 一、大東亜各国は万邦との交誼を篤くし、人種差別を徹廃し、世界の進運に貢献する。

アジアに広がる独立への希望

日本の緒戦の勝利は、白人の植民地支配に苦しんできた東南アジアやインドの人々に、独立への夢と希望をあたえた。日本軍の破竹の進撃は、現地の人々の協力があったからこそ可能だった。親日国だったタイに加えて、日本軍の捕虜となったイギリス軍のインド人兵士を中心としてインド国民軍が結成され、インドネシアやビルマでも、日本軍の指導で軍隊がつくられた。この軍組織が、のちに建国の中核となった。

大東亜会議

以前からアジア各地の独立運動家が日本に亡命し、多くの日本人がこれを支援していた。戦争が始まると日本は、占領下に置いたアジア各地域に戦争への協力を求めた。現地の人々は将来の独立を期待し、これに応えた。さらに、その結束を示すため、1943（昭和18）年11月、東京で大東亜会議を開催した。

会議では、連合国の大西洋憲章に対抗して大東亜共同宣言が発せられ、「大東亜共栄圏の建設」を戦争目的とした。

アジア諸国と日本

日本の南方進出は、戦争遂行に必要な資源を獲得し、各国の独立のもとに日本を盟主とした新しい経済圏を確立することが目的だった。日本は「アジアの解放」を名目にかかげたが、戦場となった、中国や東南アジア地域の人々には大きな損害を与えることになった。

日本は占領各地で軍政をしいた。小学校や技術訓練の学校を設立し、民衆をふるい立たせる教育も実施した。現地の独立運

アジアの人々を奮い立たせた日本の行動

「日本軍は、長いあいだ、アジア各国を植民地として支配していた西欧の勢力を追い払い、とても白人には勝てないとあきらめていたアジアの民族に、驚異の感動と自信とをあたえてくれました。長いあいだ眠っていた『自分たちの祖国を自分たちの国にしよう』という心をめざめさせてくれたのです。私たちは、マレー半島を進撃してゆく日本軍に、歓呼の声をあげました。敗れて逃げてゆくイギリス軍を見たときに、今まで感じたことのない興奮を覚えました」（マレーシアの独立運動家・元上院議員のラジャー・ダト・ノンチック氏の著書『日本人よありがとう』より）



シンガポールで日本軍に降伏したイギリス軍兵士

現地の青年を集めたエンジニア養成所



日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々

350年にわたってオランダの植民地とされてきたインドネシアには、昔から一つの伝説が口伝えに語りつがれていた。ジャワ島にあった小さな王国がオランダによってほろぼされるとき、王様が次のように予言した。「今に北方から黄色い巨人があらわれて、圧制者を追放し、トウモロコシの実がなるころには立ち去る。そうしてわれわれは解放される」。日露戦争のとき、ロシアのバルチック艦隊がマラッカ海峡を埋め尽くして進んでいくのを見たとき、インドネシア人は、「これでは日本もひとたまりもなかり」と思った。ところが、その大艦隊が日本海で、同じ有色人種の日本海軍によって全滅させられたことを知ったインドネシア人は「北

方から来る黄色い巨人とは、日本人のことに違いない」と信じるようになり、密かに日本の南進を待ちこがれていた。1942年、日本軍がインドネシアに進駐すると、人々は道ばたに集まり、歓呼の声をあげて迎えた。日本はオランダを追放してくれた解放軍だった。実際、日本の3年半の占領期間に、PETAと称する軍事組織の訓練、中等学校の増設、共通語の普及など、のちの独立の基礎となる多くの改革がなされた。しかし、戦争末期になると、食糧は欠乏し、過酷な労働に動員され、憲兵が横暴な振るまいにおよぶなどの状況も発生した。

動の指導者たちは、欧米諸国からの独立を達成するため、日本の軍政に協力した。

しかし、日本語教育や神社参拝を強いたことに対する反発もあり、連合国と結んだ抗日ゲリラ活動がおきた。日本軍はこれにきびしく対処したので、民間人もふくめ多数の犠牲者が出た。また、戦争末期になり、日本の戦局が不利になると、食料が欠乏したり、現地の人々を重労働に従事させたりすることがしばしばおきた。

日本軍が敗戦で撤退すると、旧宗主国のイギリス・フランス・オランダは直ちに再支配するためにもどってきた。しかし、これらの地域は、その再支配にたちむかって、次々と独立国となった。その際、日本の軍政下の施策の中には影響を与えたものもあった。また、日本軍の将兵の中には、敗戦のあとも現地に残り、現地の人たちとともに独立戦争を戦った者も多数いた。

2 武器を公然と携帯せず民間人の服装をして攻撃する、いわゆるゲリラのテロ行為は戦時国際法によって禁止されており、捕まったとき捕虜としての保護を受けられない、と考えられていた。

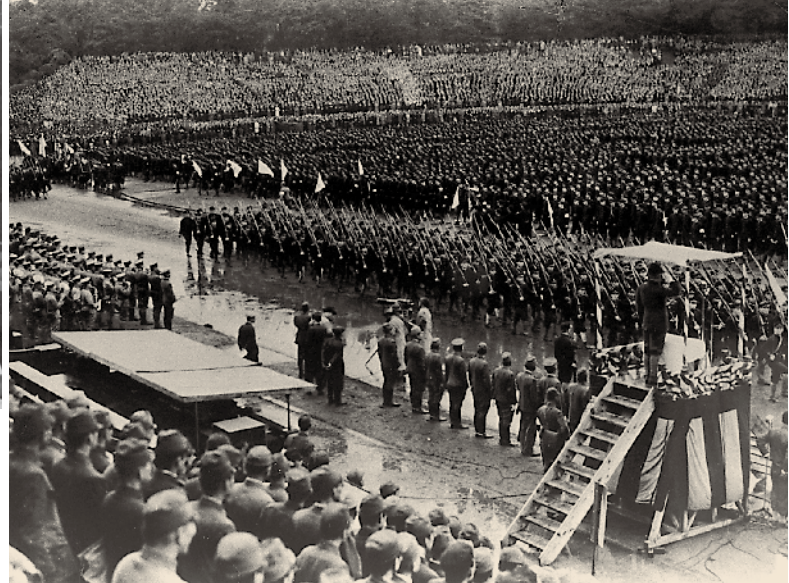
3 インドネシアでは、約1000名の元日本兵が残留し、インドネシアの独立のために、PETAとともに4年半にわたって戦った。この独立戦争で約700人の元日本兵が戦死した。

まとめにチャレンジ

大東亜戦争が始まる時、インド、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、ラオス、カンボジア、フィリピンがどこの国の植民地であったか、調べてみよう。



勤労働員 軍需工場で働く女学生



学徒出陣 1943年10月、東京・明治神宮外苑で行われた壮行会。それまで大学生は徴兵を猶予されていたが、大学生以外の男子の多くはすでに戦場におもむいていた。



「ぜいたく追放」運動 「贅沢は敵だ」のプラカードをかかげて大阪の大通りを行進する女学生。

82

戦時下の国民生活

戦争末期の国民生活はどのようなものだったのだろうか。

1 1939（昭和14）年、国民徴用令が制定され、国民を軍需工場などに派遣し、有給で生産に従事させた。

2 国際連盟によって委任された国が、連盟理事会の監督のもとに、国家として独立していない地域を統治する制度。

国民の動員

第一次世界大戦以降、戦争は前線の軍隊だけではなく、国民の生活や教育、文化などのすべてをかけて行われる総力戦の時代となっていた。日中戦争勃発とともに、日本でも、物資、経済、産業、交通などのすべてを政府が統制する、総動員体制となった。

戦争による物資の不足で、暮らしの中から、純綿・純毛製品や皮革、ゴム製品などが姿を消した。政府は国民精神総動員運動で、消費節約や貯蓄増強などをよびかけた。

大東亜戦争（太平洋戦争）の戦局が悪化すると、国内の統制はさらに強化された。多くの青年男子が召集されて戦場におもむいたため、労働力の不足を埋めるための徴用が行われた。また、多数の生徒・学生が勤労働員され、未婚女性は女子挺身隊として工場ではたらくことになった。また、大学生は、徴兵猶予が取り消され、出征していった（学徒出陣）。

あらゆる物資が不足し、寺の鐘など民生用の金属も戦争のために供出され、生活は窮乏を極めた。しかし、戦争の勝利を願う多くの国民はよくはたらき、よく戦った。

日本統治下の朝鮮半島では、日中戦争開始後、戸籍上の家族の名前をつくる創氏を命じ、日本風の名前に変える改名が認め

創氏改名とは何か

日本の武士は「姓」と「氏」の両方を持っていたが、朝鮮人は、姓のみで氏を持たなかった。当時の朝鮮の姓は約250ほどだったが、日本式戸籍に合わせて朝鮮総督府は住民に「氏」を決めさせ、登録させた。これが「創氏」である。その際、日本風の名前を強制することはなかった。

創氏とは別に、改名は、希望者が手数料をおさめて許可された。朝鮮人の約8割が日本風の名を名のった。創氏は義務、改名は自由意思であった。



↑出撃する特攻隊 鹿児島県知覧基地で、女子学生に見送られて飛び立つ特攻隊の戦闘機。



←焼夷弾を落とすB29爆撃機 アメリカ軍は、1945年3月10日には、東京下町の東西5km、南北6kmの区域の周囲に焼夷弾を落とし、火の壁をつくってから爆撃した。

られるようになった。これを、創氏改名という。

戦争末期には朝鮮・台湾の人々にも徴兵や徴用が適用され、また日本の鉱山などで過酷な条件で働かされ多くの犠牲が出た。

空襲の被害

1944（昭和19）年には戦局は日本にますます不利となり、劣勢に立った日本軍は、飛行機や潜航艇で敵艦に死を覚悟して体当たり攻撃を行う特別攻撃（特攻）を行った。

戦争末期には、国民は直接、戦火にさらされることになった。1944（昭和19）年7月、日本の委任統治領だったマリアナ諸島の一つのサイパン島が陥落した。ここから日本本土を空襲できるようになったアメリカ軍は、同年末から爆撃機B29による民間人への無差別爆撃を開始した。子供たちは危険をさけ、親元をはなれて地方の寺などに疎開した（学童疎開）。

1945（昭和20）年3月10日には、東京大空襲で一夜にして約10万人の市民が命を失った。その後も200以上の都市が空襲され、50万人の国民が命を落とした。



学童疎開 空襲の危険をさけるため地方に疎開する子供たち。疎開のあいだに、都会に残った家族を空襲で失った子も少なくなかった。

まとめにチャレンジ

総動員体制下の国民生活について、3つ以上を箇条書きにしよう。



ヤルタの3首脳
クリミア半島のヤルタで開かれた連合国の会議。
左からイギリスのチャーチル（1874～1965）、ア
メリカのルーズベルト、ソ連のスターリン。

83

終戦をめぐる外交
と日本の敗戦

終戦はどのようにして実現
したのだろうか。



兵隊や住民に火炎放射を浴びせ
るアメリカ軍戦車。

1 沖縄の司令官大田実海軍少将は「沖縄県民かく戦えり。県民に対し後世特別の御高配あらんことを」と県民の献身的な協力と惨劇を本土に電報で伝え、自決した。

2 日本側軍民戦没者推計18万人余り、うち住民死者約9万4000人を出す激戦の末、6月23日、沖縄は占領された。

3 ソ連は日ソ中立条約があったので、最初は表に出ず、対日参戦後にこの宣言に加わった。

ポツダム宣言（一部要約）

われらの条件は次のとおりである。

- ①日本国の国民をあざむき世界征服の誤った道へ導いてきた者の権力と影響力は、永久に除去されなければならない。②日本国の戦争遂行勢力が粉砕されたという確証が得られるまで、日本を占領下に置く。③日本国の主権は本州、北海道、九州、四国ならびにわれらが規定する諸離島に限る。④日本国の軍隊は、完全に武装解除されたあと、それぞれの故郷にもどって平和で生産的な生活を営む機会を得ることを許される。⑤捕虜に対して虐待行為をした者をふくむ、全ての戦争犯罪者は厳正な裁判が加えられる。日本国政府は、日本国民の間にある民主主義的な傾向の復活強化に対するいっさいの障害を除去すべきである。⑥日本国を戦争への再軍備に向かわせる産業は許されない。⑦以上の目的が達成され、日本国民の自由に表現された意思に従って平和的性向の責任ある政府が樹立されると同時に、連合国占領軍は速やかに日本から撤収する。⑧日本国政府が全日本軍隊の無条件降伏を直ちに宣言し、その保障を提供することを要求する。これ以外の日本国の選択は、迅速かつ完全な破壊あるのみである。

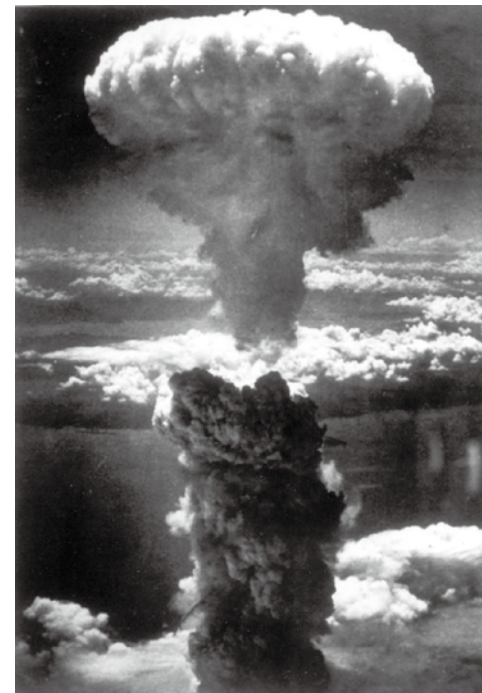
ヤルタからポツダムへ

ヨーロッパでもアジアでも、戦争の大勢は決まりつつあった。1945(昭和20)年2月、ソ連領クリミア半島のヤルタに、米英ソ3国の首脳が集まり、連合国側の戦後処理を話し合った(ヤルタ会議)。アメリカのフランクリン・ルーズベルト大統領は、アメリカの負担を減らすため、ソ連の対日参戦を求めた。スターリンは、ドイツとの戦争が終わってから3か月後に参戦すると回答し、その代償として、日本領の南樺太と千島列島を要求して合意を取りつけた(ヤルタ秘密協定)。この密約は、領土不拡大を宣言した大西洋憲章に違反していた。

連合軍がベルリンに侵攻すると、ヒトラーは自殺し、ドイツ政府は崩壊した。5月、ドイツ軍は無条件降伏した。

沖縄戦・原爆投下・ソ連の侵攻

3月末、アメリカ軍は沖縄に攻撃を開始し、沖縄戦が始まった。この戦いで沖縄県民にも多数の犠牲がでた。日本軍はよく戦い、沖縄住民もよく協力した。日本では戦争終結をめぐる最高指導者による会議が何度も開かれ、中立国のソ連に連合国との講和の仲介を求めることに決した。しかし、7月ドイツのポツダムに米英ソ3国の首脳が集まり、26日に日本に対する降伏条件を示したポツダム宣言を米英中の名で発表した。



御前会議 1945年8月9日の会議の模様。中央に座っているのが昭和天皇。立っているのが鈴木貫太郎首相。(白川一郎筆 鈴木貫太郎記念館蔵)

長崎に投下された原子爆弾 (1945年8月9日)

ポツダム宣言が発表されると、鈴木貫太郎首相や主要な閣僚は、条件付きの降伏要求であることに着目し、これを受諾する方向に傾いた。しかし、阿南惟幾陸軍大臣は国体護持の保証がないとして反対し、本土決戦を主張して譲らなかった。ソ連の対日参戦決定を知らない政府は、仲介の返答を待った。

その間に、8月6日、アメリカは世界最初の原子爆弾(原爆)を広島に投下した。ことここにいたっては、日本政府も終戦を急ぐほかはなかった。8日、ソ連はヤルタ密約にもとづき日ソ中立条約を破って日本に宣戦布告し、翌9日、満州に侵攻してきた。また、同日、アメリカは長崎にも原爆を投下した。

聖断下る

9日深夜、昭和天皇の臨席のもと御前会議が開かれた。ポツダム宣言の受諾について、意見は賛否同数となり、結論を出せなくなった。10日午前2時、鈴木首相が天皇の前に進み出て聖断をあおいだ。御前会議は14日にも開かれた。天皇はこれ以上の国民の犠牲をさけるため、ポツダム宣言の即時受諾による日本の降伏を決断した。

8月15日正午、ラジオの玉音放送で、国民は長かった戦争の終わりと、日本の敗戦を知った。近代日本が初めて経験する敗戦だった。日本の降伏によって、第二次世界大戦は終結した。

聖断のときの
昭和天皇の発言
(1945年8月14日)

「……このような状態で本土決戦にのぞんだらどうなるか、私は非常に心配である。あるいは、日本民族は、みな死んでしまわなければならないことになるのではないかと思う。そうなれば、どうしてこの日本という国を子孫に伝えることができるのか。一人でも多くの国民に生き残っていらって、その人たちに将来ふたたび立ち上がってもらう以外に、この日本を子孫に伝える方法はないと思う。……みなのは、この場合、私のことを心配してくれると思うが、私はどうなってもかまわない。私はこういう風に考えて、戦争を即時終結することを決心したのである」
(迫水久常書記官長の証言より)

4 国体とは、建国以来、天皇を中心として国民がまとまってきた日本の国のあり方のこと。陸軍は日本が解体されてしまうことを心配した。

まとめにチャレンジ!

戦争末期、大東亜戦争終結までのできごとを6つ以上あげ、時間の順に並べてみよう。

だ い と う あ

大東亜戦争とアジアの独立

アジアの解放をかかげた日本は敗れたが
アジアは植民地から解放され、独立を達成した。

◎大東亜戦争の影響

日本は自存を目的として、戦争が始まると直ちに資源獲得のために、当時オランダやイギリスの植民地になっていた東南アジアに軍を進めました。

当時、アジア諸国は白人の欧米諸国の植民地とされ、その支配に苦しんでいました。そのため、大東亜戦争の初期の日本軍のめざましい勝利は、アジアの人々に独立への希望を抱かせました。

しかし、日本軍が進軍した東南アジア諸国では激しい戦闘が行われ、現地の人々に多大な犠牲を強いることになりました。とくに、フィリピンでは、アメリカ軍と激戦となり、その戦闘に巻きこまれ多くの犠牲者が出ました。また、中国でも、日本軍によって、多くの犠牲者が出ました。

◎インドの独立と日本軍

長期にわたってイギリスの植民地とされていたインドでは、ガンジーなどを指導者として独立運動がおこっていました。指導者の一人のチャンドラ・ボースは自前の軍隊をもった政府を樹立しなければならないと考えていました。ボースに手を貸したのは日本軍でした。日本軍がシンガポールの

イギリス軍の根拠地を奪取したとき、そこで多数のインド人がイギリス軍兵士として捕虜となりました。捕虜となった1万3千人のインド兵は、日本軍が説得して、インド独立のためのインド国民軍となりました。⁵

1943年10月、シンガポールでボースを首班とする自由インド仮政府ができました。インド国民軍は、「チャロ・デリー」（行け、デリーへ！）と叫びながら、日本軍と一しょに自国インドへ進撃を開始しました。¹⁰

戦争が終わると、イギリスはインドの植民地支配を続けるため、独立運動を指導した人々を反逆者として裁判にかけようとしていました。するとインドの人々はいっせいに立ち上がり、独立を叫びました。イギリスはついにインドの独立を認めました。¹⁵

◎アジアをおおう独立の波

日本が連合国に降伏すると、欧米諸国は、日本の占領下にあったビルマ（ミャンマー）、マレー（マレーシア）、インドネシアに、再び支配しようともどってきました。

しかし、日本軍によって指導を受けていた人をはじめ、これらの諸国の人々は勇敢に戦い、再度の支配をはねのけました。イ

独立年	国名	旧宗主国
1946年	フィリピン	アメリカ
1947年	インド	イギリス
1948年	ビルマ（ミャンマー）	イギリス
1949年	インドネシア	オランダ
1953年	ラオス	フランス
1953年	カンボジア	フランス
1954年	ベトナム	フランス
1957年	マレーシア	イギリス
1963年	シンガポール	イギリス

第二次世界大戦後独立したアジア諸国

インドネシアは、日本の占領中は独立を認められませんでした。戦後、多くの日本の兵士が現地に残りインドネシアの人たちとともに独立のために戦いました。

日本軍はベトナム、カンボジア、ラオスからなる仏領インドシナにもフランス政府の了解を得て、進駐していました。この地域でも、日本が降伏後、多くの日本兵が現地に残り、これらの国の人々といっしょに独立戦争を戦いました。¹⁰

◎世界が見た大東亜戦争

1943（昭和18）年、東京で開かれた大東亜会議にも出席したミャンマーのバー・モウ初代首相は、著書『ビルマの夜明け』で、「歴史を見るならば、日本ほどアジアを白人支配から離脱させることに貢献した国はない。しかし、日本ほど誤解を受けている国はない。もし、日本が独断とうぬぼれを退け、開戦当初の一念を忘れなければと、日本のために惜しまれる」と書きました。そして、バー・モウは、日本軍の



チャンドラ・ボースとインド国民軍
(1993年発行のインドの切手より)

資源の収奪や横暴さに批判を加えながらも、日本の植民地解放の功績をたたえました。

タイのククリット・プラモード元首相は「12月8日」と題して、次のように大東亜戦争を回想しています。

「日本のおかげでアジア諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産をして母体をそこなったが、生まれた子供はすくすく育っている。12月8日はお母さんが、一身を賭して重大決心をされた日である。さらに8月15日は、我々の大切なお母さんが病に伏した日である。この2つの日を忘れてはならない。」



タイのククリット・プラモード元首相
(1911～95)

戦時国際法と戦争犯罪

◎戦時国際法の考え方

人類は長い歴史の中で国家や民族の利害の衝突から、絶え間なく戦争をしてきたし、残酷なできごととも絶えませんでした。そこで、戦争のやり方を国際的に決めようという考えが生まれました。このルールを戦時国際法といいます。1907（明治40）年にオランダで締結されたハーグ陸戦法規は、そのルールの代表例です。

戦時国際法では、戦闘員以外の民間人を殺傷したり、捕虜となった兵士を虐待することは、戦争犯罪として禁止されました。一方、軍服を着ていない者に武器をもたせたり、戦闘に参加させることは禁じられ、それを捕らえた側には、一定の手続きのあと、スパイやゲリラとして処刑することも認められていました。

◎20世紀最大の戦争犯罪

沖縄戦でも、本土の大都市への無差別爆撃でも、非武装の民間人が標的にされて大量に殺害されました。1945（昭和20）年3月10日の東京大空襲の攻撃命令を受けたB29のアメリカ人パイロットは、「それは戦時国際法違反ではないか」と司令官に問いただしたといわれています。東京大空襲では、一夜にして10万人が焼け死にました。原爆投下による死者は、広島で約20万人以上、長崎では約7万人以上で、その犠牲者は一般市民でした。原爆投下は、

その被害の規模においても、20世紀最大の戦争犯罪といえるでしょう。

◎シベリア抑留

8月9日、ソ連は日本との中立条約を破って、満州・樺太に侵攻し、日本の民間人に対して略奪、暴行、殺害をくり返しました。ソ連は日本の降伏後も侵攻をやめず、日本固有の北方領土の占領を終えたときには、すでに9月になっていました。さらに、捕虜は即座に帰国させるとしたポツダム宣言の規定に違反して、捕虜を含む60万人以上の日本人をシベリアなど各地に連行し、満足な食事もあたえないまま過酷な強制労働に従事させました。そのためにわかっているだけで6万人以上の日本人が死亡しました。

これら戦争の勝者である連合軍側の戦争犯罪は、一切、裁かれることはありませんでした。

◎日本軍の戦争犯罪

日本軍も戦争中に侵攻した地域で捕虜となった敵国の兵士や非武装の民間人に対し、不当な殺害や虐待を行ったこともありました。連合軍は、日本軍のおかした戦争犯罪を厳しく裁き、1000人に近い人が処刑されました。そのなかには無実でありながら、誤った判決で処刑された人もいます。

近代（Ⅱ）とはどんな時代か



■時代区分についての兄弟問答

弟 この時代は、戦争がつづき、ぼくたちのような子供まで戦っていたみたいだね。

兄 軍人や兵士だけが戦闘していたころとは違い、「総力戦」といって、すべての国民が戦争を支援しなければならなくなったんだ。女性や子供は兵器工場ではたらき、銃弾をつくって戦線を支えたんだよ。

弟 一般市民の被害も多くなったよ。

兄 戦車や爆撃機が開発されて、普通の人々が暮らす市街地も破壊されるようになったんだ。

弟 日本はどうしてアメリカやイギリスと対立することになったんだろう。

兄 世界恐慌がおこってから、どの国も生き残りに必死だった。すでに多くの植民地を持っている国はブロック経済で生き残ることができるけど、持たざる国は商品を輸出しようとしても、高い関税をかけられて、どの国も買ってくれなくなった。のちにアメリカとの関係が悪化したので、さらに石油や鉄などの原料も入ってこなくなった。日本は生きのびる道をさがして、ヨーロッパの植民地になっていた地域を味方につけ、その豊富な資源と市場を活用しようと考えたんだ。

弟 日本のように資源が少ない国は、原料を海外から輸入して商品に加工し、それを輸出して成り立っているんだね。

兄 自由貿易が当たり前になった今では、当時を想像するのは難しいと思う。戦争にいたる経緯は、当時の人の目線に立って見ないと、なかなかわからないね。

■時代比較の問題

次の2つの事項について比較して、その共通点と違いをノートにまとめてみましょう。

- (1) 第一次世界大戦と第二次世界大戦
- (2) 共産主義とファシズム
- (3) 近代（Ⅰ）の時代と近代（Ⅱ）の時代

■「ひとこと」作文

(1) 近代（Ⅱ）の時代を学んで、どんなことがもっとも強く印象に残りましたか。

大正・昭和時代前半とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。

<例> 戦争 全体主義 民族独立

(2) 今度は、「近代」100年について聞きます。

近代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみましょう。

■意見交換会

「大東亜戦争とアジアの独立」のコラムを読んで、意見を出し合ひましょう。

▶100字用語解説

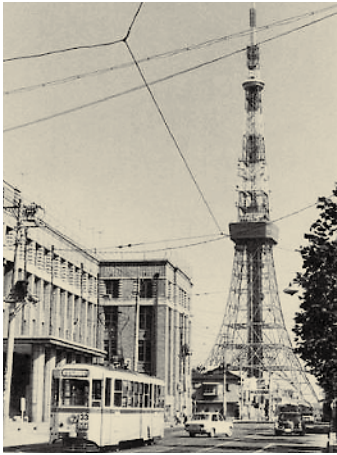
歴史豆辞典 (第5章のまとめ)

だいいち じ せ かい たい せん 第一次世界大戦	1914～ 1918年	ヨーロッパで始まった最初の世界規模の戦争。サラエボ事件をきっかけに三国同盟と三国協商の両陣営があいついで参戦した。戦争は総力戦となり、ヨーロッパでは多くの人命が失われた。
二十一か条 要求	1915年	第一次世界大戦で日本がドイツに勝利したことにより、中国内のドイツ権益を日本が引き継ぐこと、また南満州の権益の延長などの承認を求めた日本の要求。16か条に縮小したが、中国国内では、反日世論が高まった。
ロシア革命	1917年	ロシアの帝政を倒し、共産党の一党支配を実現した革命。武装蜂起したレーニンの一派は、労働者と兵士を中心に組織された代表者会議(ソビエト)を拠点とする政府をつくった。のちに共産党一党独裁体制が築かれた。
ベルサイユ条約	1919年	第一次世界大戦後、パリで開かれた講和会議で、米・英・仏・日・伊の5大国などとドイツとの間で結ばれた条約。敗戦国となったドイツに対する過酷な賠償要求は、のちに第二次世界大戦の原因となった。
大正 デモクラシー	1912年～	第一次世界大戦後に民主主義(デモクラシー)の思想と国際協調の世論が高まった世相のこと。労働運動や農民運動など各種の社会運動もさかんになり、平塚らいてうなどにより婦人参政権が主張されるようにもなった。
ワシントン会議	1921～ 1922年	海軍軍縮と中国問題を主要な議題として開かれた会議。日本を含む9か国が集まった。この会議は、各国の利害の調整と、東アジアの安定した秩序づくりが目的だったが、20年つづいた日英同盟がアメリカの意向で解消された。
2つの全体主義	1920年～	ヨーロッパで生まれた2つの政治思想。1つはロシア革命をおこした共産主義、もう1つは独・伊を中心としたファシズム。どちらも全体主義の一種で、独特の政治体制をつくりあげ、20世紀の歴史を大きく動かした。
世界恐慌	1929年～	アメリカの株価大暴落に始まった世界規模の恐慌。世界一の経済大国となったアメリカへの輸出に頼る日本経済も大打撃を受け、企業の休業や倒産があいつぎ、大量の失業者が発生し、昭和恐慌となった。
満州国建国	1932年	満州に駐屯していた関東軍は日本の勢力圏を拡大するために、全満州の主要都市を占領。清朝最後の皇帝溥儀を執政につけ、満州国をたて、経済発展を図ったが、日本は国際的非難をうけ、国際連盟から脱退した。
二・二六事件	1936年	陸軍の一部青年将校たちがおこした反乱。首相官邸や警視庁などをおそい、大臣など要職者を殺害、国会周辺を占拠した。政党・財閥・重臣を打倒し、天皇をいまだく軍事独裁政権の樹立をめざしたが鎮圧された。
日中戦争 (支那事変)	1937～ 1945年	1937年の盧溝橋事件をきっかけとし、上海事変から全面戦争となった日本と中国との戦い。和平の動きは実らず、戦争拡大の道をたどり、長期戦となった。
第二次世界大戦	1939～ 1945年	二度目の世界規模の戦争。ドイツのポーランド侵攻に対し、英・仏が宣戦布告して始まった。米・英・仏・中・ソなどの連合軍と日・独・伊などの枢軸国とのたたかいとなり、連合国の勝利に終わった。
日独伊三国同盟	1940年	日本が独・伊と結んだ軍事同盟。ドイツの勝利を受けて締結された同盟だったが、遠い2国との軍事同盟には実質的な効用はなく、イギリスを支援するアメリカとの関係を決定的に悪化させる結果になった。
大東亜会議	1943年	東南アジアやインド、タイなどの代表を集めて東京で開かれた会議。これらアジア各地域に戦争への協力を求め、あわせてその結束を示すためのもので、会議では大東亜共同宣言が発せられ、アジアの解放を戦争目的とした。
ポツダム宣言	1945年	日本に対する戦争終結の条件を示したもの。ベルリン郊外のポツダムに米・英・ソ3国首脳が集まり、7月26日、米・英・中3国の名で発表した。日本は8月14日の御前会議で受諾を決定した。

第6章

現代の日本と世界

しょうわ へいせい
昭和時代後半・平成時代



1945（昭和20）年の廃墟の東京

13年後、1958年（昭和33）年の東京
高さ333mで東京のシンボルとなった東京タワー。
（『都電百景百話』より）

戦争が終わったときの
東京ですね。
アメリカ軍の空襲で、
こんな焼け野原に
なったんだわ。



道代さん



それが、今のように
再建されたのは、
日本人の底力だね。



裕樹君

67年後、2012（平成24）年の東京
世界一の電波塔（高さ634m）の東京スカイツリーが開業した。



厚木飛行場に降り立つマッカーサー（1945年8月）
連合国軍最高司令官として5年半、日本を統治した。

→外地からの引きあげ者をむかえる人々
将兵以外にアジア各地域で暮らしていた日本人たちも帰国した。こうした人たちは海外で築いた財産を失い、引きあげの途中で亡くなったり、家族を失った人も多かった。



84

占領下の日本

日本の占領はどのように行われたのだろうか。

戦後の主な改革

五大改革指令 1945年10月	① 婦人参政権の付与 ② 労働組合の結成 ③ 教育の自由主義化 ④ 圧政的諸制度の撤廃 ⑤ 経済の民主化
経済の改革	財閥解体 農地改革 労働基準法 独占禁止法
教育の改革	教育基本法 学校教育法
政治の改革	新選挙法 日本国憲法

1 ただし、沖縄や小笠原諸島などでは、アメリカ軍による直接統治が行われた。

占領と戦後改革

1945（昭和20）年8月末、アメリカ軍を主体とする連合国軍による日本占領が始まった。アメリカの占領目的は、日本が再びアメリカの脅威にならないよう、国家の体制をつくりかえることだった。

日本政府は存続したが、その上にマッカーサーがひきいる連合国軍総司令部（GHQ）が占領軍として君臨し、指令した。これを間接統治とよぶ。日本でも、終戦まで検閲が行われていたが、占領下でも言論の自由は奪われ、占領軍は30項目の禁止事項をもとに徹底した検閲を行った。

また、GHQは日本を民主化することも基本方針としており、民主化のための五大改革指令を発した。この指令を受けて日本政府は、婦人参政権の付与、労働組合法の制定、教育制度の改革、財閥解体や農地解放など、民主化のためのさまざまな改革を行った。

領土の縮小と復員・引きあげ

日本の領土は、ポツダム宣言によって、北海道、本州、四国、九州およびその周辺の島々に限られることになった。日本は朝鮮、台湾など、日清戦争後に領有・併合した領土をすべて失った。北方領土はソ連によって不法に占拠された。



日本最初の婦人代議士 1946年、婦人参政権があたえられた。戦後初の衆議院議員選挙には多くの女性が立候補し、39人の女性代議士が誕生した。

公職追放

A項	戦争犯罪人	3422
B項	職業軍人	12万2235
C項	超国家主義団体有力者	3438
D項	大政翼賛会関係者	3万4396
E項	開発金融機関役員	433
F項	占領地行政長官	89
G項	その他の軍国主義者	4万5993
合計		21万0006

追放に該当する「好ましくない人物」を分類して示したものの。のちに政界、財界、言論界に拡大した。教育界においては教職追放が行われ、12万人の人々が教職を去った。



東京裁判で判決を聞く元首相の東条英機（1884～1948） 死刑執行は今上（現）天皇の誕生日（12月23日）になされた。

ポツダム宣言によって、日本の陸海軍は解体された。外地にいた軍隊は武装解除され、日本への復員が始まった。外地にいた民間人も日本に引きあげてきた。復員・引きあげは戦後の混乱の中で困難をきわめ、シベリア抑留や中国残留日本人孤児などの悲劇を生んだ。

東京裁判

1946（昭和21）年からは、東京裁判（極東国際軍事裁判）が開かれた。戦争中の指導的な軍人や政治家が「平和に対する罪」などを犯した戦争犯罪者（戦犯）であるとして、25人が有罪判決を受け、うち7人が死刑判決を受けた。また、GHQは、戦時中に公的地位にあった者など、各界の指導者約20万人を公職追放した。

日本国憲法の制定

GHQは、日本の国家体制をつくりかえるため大日本帝国憲法の改正を求めた。日本側は、大正期に「憲政の常道」の慣行があり、明治憲法に多少の修正をほどこすだけで求められる民主化は可能だと考えていた。しかし、GHQは1946（昭和21）年2月、約1週間でみずから作成した英文の憲法草案を日本政府に示して、憲法の根本的な改正を強く迫った。

日本政府は、交戦権の否認などをふくむ草案に衝撃を受けたが、拒否した場合、天皇の地位が存続できなくなることを恐れた。そこで政府はやむを得ずこれを受け入れ、帝国議会の審議を経て、11月3日、日本国憲法が公布された。

2 きびしい労働に加え、栄養価の低い食事と不十分な暖房などにより6万人以上が現地でも死亡した。

3 日本国憲法は、天皇を日本国および日本国民統合の象徴と定めた。主権在民をうたい、国会を国権の最高機関とし、議院内閣制を明記した。基本的人権に関する規定も整備された。また、「国際紛争を解決する手段としての戦争放棄」は他国の憲法にも見られる規定であったが、「戦力をもたない」と定め、交戦権を否認したことは、他に例を見ない平和的なものとなった。

まとめにチャレンジ

日本政府の行った民主化政策のうち、どれか1つを選んで、どのような改革であったか、調べてみよう。

占領下の検閲と東京裁判

占領下では連合軍への批判を許さない
徹底した検閲が行われた。
そのなかで開かれた東京裁判は、
日本人の歴史に対する見方に
影響を与えた。



墨塗り教科書 教室で
子供に指示して墨を塗らせ
た。(江戸東京博物館蔵)

◎占領期は戦争の継続

1945（昭和20）年9月、日本はアメリカに占領され、連合軍総司令部（GHQ）の統治下に入りました。1952（昭和27）年4月に独立を回復するまでの6年8か月間、日本は主権を奪われ、外交権もありませんでした。これほど長期にわたる占領は、歴史にあまり例がありません。

戦争は国家の意思を、武力をもって相手国に強制することです。ですから、1945年8月15日には「戦闘」が終わっただけで、戦勝国の意思を敗戦国に押しつける政策は、占領期間中も継続し、戦争が本当に終わったのは、日本が独立を回復したときだと考えることもできます。

アメリカの占領目的は、日本が再びアメリカに武力をもって立ち向かうことのないように、日本の国家体制を改造することでした。そこで、占領期間中に、英文で書いた憲法原案をあたえるなどの国家改造を行いました。それが、「民主化」とよばれた一連の占領政策の意味です。

占領期間中に憲法を変えることは戦時国際法上禁止されています。しかし、当時の

日本政府はこの原案を受け入れ、日本国政府の改正案として作成し大日本帝国憲法の改正手続きを経て制定し、現在の政府も有効な憲法としています。

◎戦争についての罪悪感を植えつける

検閲は戦前、戦中にも行われていたが、占領軍は、占領直後から、新聞、雑誌、ラジオ、映画のすべてにわたって、言論に対する厳しい検閲を行いました。空襲や原爆について報道することも、連合国を批判したり、日本の立場を擁護することも禁止されました。占領下の学校では、教科書の軍事や天皇にかかわる記述には墨が塗られました。

さらに、GHQは、「戦争についての罪悪感を日本人の心に植えつけるための情報宣伝計画」（ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム）を、軍事作戦として実施します。日本人が、「自分たちには、悪い侵略戦争をした罪がある」と考えるように仕向けるためでした。

まず、GHQは「大東亜戦争」という用語を禁止するとともに、新聞やラジオを通

- 占領軍が禁止した30項目（プレスコード）
- ① 連合国軍最高司令官もしくは総司令部に対する批判
 - ② 極東国際軍事裁判への批判
 - ③ GHQが日本国憲法を起草したことに対する批判
 - ④ 検閲制度への言及
 - ⑤ アメリカ合衆国への批判
 - ⑥ ロシア（ソ連）への批判
 - ⑦ 英国への批判
 - ⑧ 朝鮮人への批判
 - ⑨ 中国への批判
 - ⑩ その他の連合国への批判
 - ⑪ 連合国一般への批判（国を特定しなくとも）
 - ⑫ 満州における日本人の取り扱いについての批判
 - ⑬ 連合国の戦前の政策に対する批判
 - ⑭ 第三次世界大戦への言及
 - ⑮ 冷戦に関する言及
 - ⑯ 戦争擁護の宣伝
 - ⑰ 神国日本の宣伝
 - ⑱ 軍国主義の宣伝
 - ⑲ ナチソナリズムの宣伝
 - ⑳ 大東亜共栄圏の宣伝
 - ㉑ その他の宣伝
 - ㉒ 戦争犯罪人の正当化および擁護
 - ㉓ 占領軍兵士と日本女性との交渉
 - ㉔ 闇市の状況
 - ㉕ 占領軍軍隊に対する批判
 - ㉖ 飢餓の誇張
 - ㉗ 暴力と不穏な行動の煽動
 - ㉘ 虚偽の報道
 - ㉙ GHQまたは地方軍政部に対する不適切な言及
 - ㉚ 解禁されていない報道の公表

して、日本兵が犯したとされる暴虐な行為をあることないこと暴き立て、日本人の心に大きなショックをあたえました。

5 ◎東京裁判と国際法

東京裁判は1946（昭和21）年5月から2年半にわたって開かれました。戦争中の指導的な政治家や軍人が被告とされ、被告全員が有罪と宣告されて、東条英機以下7人が絞首刑に処されました。

東京裁判は、①勝った側が負けた側を裁いた、②裁判官も検察官も大多数が勝った側から出た、③勝った側の戦争犯罪は裁かれなかった、という指摘があります。また、平和に対する罪などは戦後に出てきた考えで、事後法によって裁いてはいけないという近代法の原則にも反するという指摘もあります。

インドを代表して参加したパル判事は、こ



パル判事
(1886~1967)

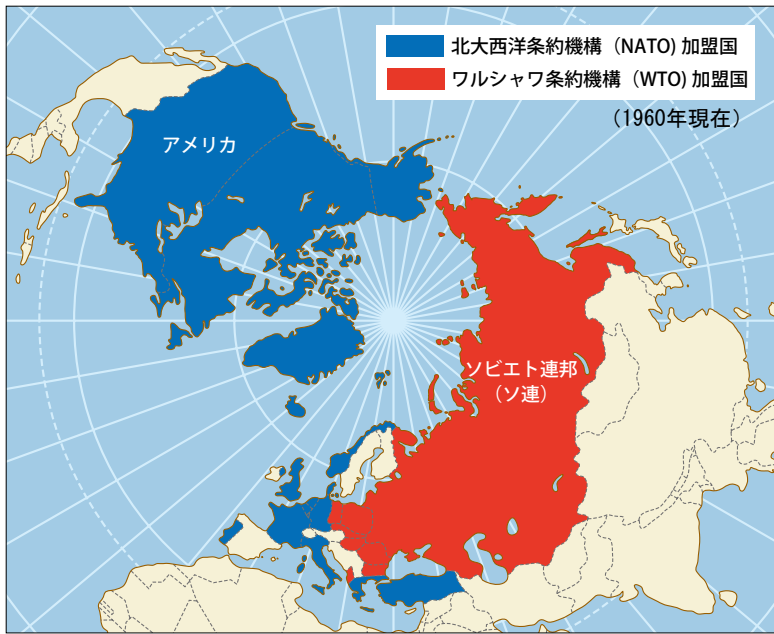
の裁判は国際法上の根拠を欠いているとして、全員の無罪を主張しました。しかしGHQはこの意見書を公開しませんでした。

◎マッカーサーの反省

東京裁判開廷の最高責任者だったのはマッカーサーでした。マッカーサーはこの東京裁判を積極的に推進したと考えられていますが、戦争を始めた人を新たに設けた「平和に対する罪」で裁くことで、ほんとうに平和を維持することはできるのか、という疑問を最初からもっていました。

1950（昭和25）年10月、マッカーサーはトルーマン大統領に会ったとき、同年6月から始まった朝鮮戦争をとりあげて、国家の指導者を平和に対する罪で裁いても戦争を防止することはできないのだと、東京裁判について疑問を述べました。

このような批判や反省のある裁判ですが、現在の日本政府は、「裁判は受諾しており、異議を述べる立場にはない」としています。



米ソ両陣営の対立 両陣営は核兵器の数やミサイルの性能、宇宙技術の開発、発展途上国への援助や内戦への介入などで激しい競争をつづけた。

歴史の言葉

国際連合 (United Nations)

United Nationsは第二次世界大戦の連合国のことで、中国語ではそのまま「連合国」とよぶ。第二次世界大戦で戦勝国となった連合国側が、戦後も世界秩序の指導的立場を維持するためにつくった組織という性格をもち、日本やドイツなど枢軸国側を牽制する「旧敵国条項」が今も残っている。

国連は総会、安全保障理事会のほか、経済社会理事会などの6機関、および関連する専門機関から構成されている。



警察予備隊新設を報じる新聞記事 (「朝日新聞」1950年7月9日付)



警察予備隊の発足式 1952年に保安隊に改組され、1954年に自衛隊へと発展した。

85

占領政策の転換と朝鮮戦争

アメリカの占領政策はなぜ転換したのだろうか。

1 武力衝突のない対立ということから「冷たい戦争」とよばれた。アジアでは、朝鮮戦争やベトナム戦争など大規模な熱戦(軍事力で直接戦う戦争)もあった。



中華人民共和国の成立(1949年10月1日) 北京の天安門で建国を宣言する毛沢東主席(1893~1976)

国際連合と冷戦の開始

1945(昭和20)年10月、連合国は、2度の世界大戦の反省に立ち、新たな戦争を防ぐための国際組織として、国際連合(国連)を結成した。しかし、戦争の芽はなくならなかった。東ヨーロッパを占領したソ連は、各国共産党の活動を通して、西ヨーロッパにまで共産主義の影響をおよぼし始めた。アメリカは、その影響を封じるため、西ヨーロッパに大規模な経済援助(マーシャル・プラン)を行い、1949年には、ソ連に対抗する軍事同盟として、北大西洋条約機構(NATO)を結成した。

一方、ソ連も、1949年には原子爆弾を開発し、NATOに対抗して、1955年に、東欧諸国とワルシャワ条約機構(WTO)を結成した。ドイツは東西に分断され、世界はアメリカがひきいる自由主義陣営と、ソ連がひきいる共産主義陣営が勢力を争う、冷戦の時代に突入した。

占領政策の転換

中国では日本の敗戦後、それまで抗日で手を結んでいた国民党と共産党が再び国内戦を始めた。1949年には、毛沢東がひきいる共産党が勝利し、中華人民共和国が成立した。一方、蒋介石がひきいる国民党は台湾にのこされた。朝鮮半島では1948年、南部にアメリカが支持する大韓民国(韓国)、北部にソ連の影響下

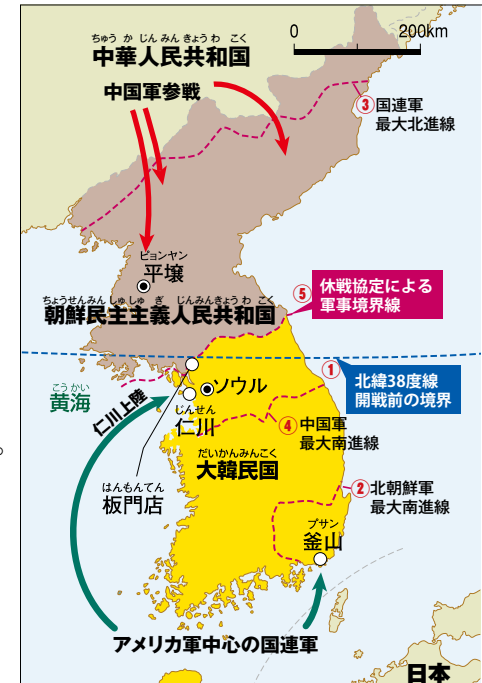
にある朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)がつくられ対立した。こうして冷戦は東アジアへと広がった。

冷戦が始まると、アメリカは東アジアの共産主義に対する防壁として日本を位置づけた。そのため、自由主義陣営の一員として、日本の経済発展をおさえる政策から推進させる方針に切りかえた。

朝鮮戦争

1950(昭和25)年6月、北朝鮮は南北の武力統一をめざし、ソ連の支持のもと、突如、韓国へ侵攻した。北朝鮮軍は一時は釜山の近くまで占領した。これに対し、韓国軍と、マッカーサーが指揮するアメリカ軍主体の国連軍が反撃した。国連軍は中朝国境近くまで迫ったが、北朝鮮側には中国軍が加わり、戦況は一進一退をくり返した。1953年に休戦協定が結ばれ、戦闘は停止した(朝鮮戦争)。

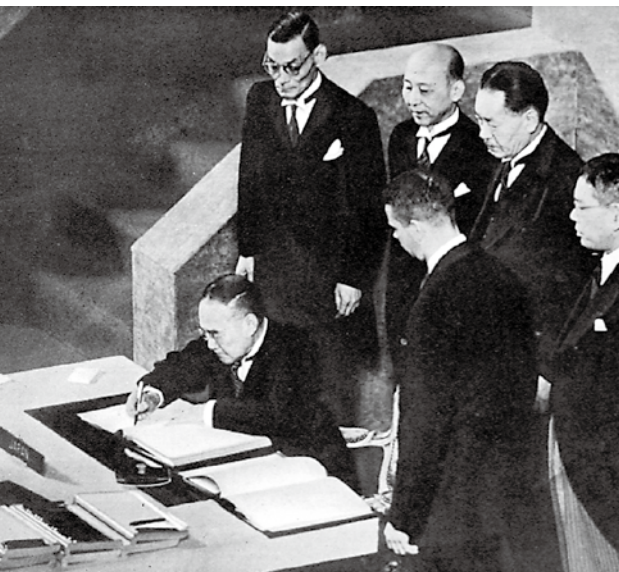
日本に駐留するアメリカ軍が朝鮮に出撃したあとの治安を守るために、1950年8月、日本はGHQの指令により警察予備隊(のちの自衛隊)を設置した。また、日本は国連軍に多くの軍事物資を供給し、戦争で破壊されていた日本経済はその生産で息をふき返した(朝鮮特需)。



朝鮮戦争 休戦のちも、分断国家状態は継続している。

まとめにチャレンジ!

アメリカの対日占領政策の転換とは、どのような政策(A)からどのような政策(B)へ転換したのか、AとBを文章にしてみよう。



サンフランシスコ講和条約に署名する吉田茂首相 (1878 ~ 1967) 1951年9月8日

戦後補償の金額：国家賠償とその他の経済技術援助 (単位：億円)				
	調印年	賠償	無償	有償
ビルマ (現ミャンマー)	1955	720.0		180.0
	1963		504.05	108.0
タイ	1955		4.0	
	1962		96.0	
フィリピン	1956	1,980.0		900.0
インドネシア	1958	803.1		1,440.0
ラオス	1959		10.0	
カンボジア	1959		15.0	
ベトナム	1960	140.4		59.8
韓国	1965		1,080.0	720.0
マレーシア	1968		29.4	
シンガポール	1968		29.4	
ミクロネシア	1969		18.0	
モンゴル	1977		50.0	
合計		3,643.5	1,835.85	3,407.8

86

独立の回復と米ソ冷戦

米ソの冷戦はどのように広がっていったのだろうか。



独立の回復 講和条約が発効して、それまでGHQ本部だった在日本軍施設にも、日の丸がかかげられるようになった。

1 北方領土は第二次世界大戦後日本で使われるようになった言葉で、択捉島、国後島、歯舞群島、色丹島の北方4島の範囲を指す。→P.172

独立の回復

朝鮮戦争をきっかけに、アメリカは、基地の存続などを条件に、日本の独立を早めようと考えた。1951(昭和26)年9月、サンフランシスコで講和会議が開かれ、日本は自由主義陣営など48か国と、サンフランシスコ講和条約を結んだ。さらにアメリカと日米安全保障条約(日米安保条約)を結び、米軍の日本駐留を認めた。1952(昭和27)年4月28日、サンフランシスコ講和条約が発効し、日本は独立を回復した。独立後の日本は、戦場となったアジア諸国に賠償した。

ソ連は、北方領土の国後・択捉島などを不法占領しているため、日ソ間では平和条約を締結できず、1956(昭和31)年10月に日ソ共同宣言で戦争状態を終結し、国交を回復した。これでソ連の反対がなくなり、同年12月、日本は国連に加盟して国際社会に復帰した。

朝鮮特需ののち、日本は長期の好景気にめぐまれた。経済は戦争前の水準に復帰し、1956(昭和31)年には、「もはや戦後ではない」といわれるようになった。

冷戦の進行

日本が独立を回復し、復興につとめている間、米ソ両陣営の冷戦は激化していった。両国は、原子爆弾より大きな破壊力をもつ水素

冷戦の経過

年	アメリカ中心の自由主義陣営	ソ連中心の共産主義陣営
1945	国際連合成立	
1946	チャーチル(英)「鉄のカーテン」演説でソ連圏の閉鎖性を批判	ソ連が東欧を占領
1947	トルーマン(米)共産主義封じ込め政策発表 日本の占領政策転換	ヨーロッパ各国共産党の連絡機関としてコミンフォルム結成
1948		ベルリン封鎖(ソ)
1949	北大西洋条約機構(NATO)成立	中華人民共和国成立
1950	朝鮮戦争おこる(北朝鮮軍の軍事侵入)	
1955		ワルシャワ条約機構(WTO)成立
1956		スターリン批判(ソ)
1957		初の人工衛星打ち上げに成功(ソ)
1960	日米安保条約改定	
1961		ベルリンの壁設置
1962	キューバ危機	
1965~75	ベトナム戦争	
1966		文化大革命始まる(中)
1972	ニクソン(米)中国訪問	
1976		ベトナム社会主義共和国成立
1979		アフガニスタン侵攻(ソ)
1989	米ソ首脳会議(冷戦終結宣言)	

爆弾の開発に成功し、核爆弾を搭載した大陸間弾道弾(ICBM)を配置して、相手国を直接破壊できる攻撃力を備えた。そのロケット技術を使い、1957年、ソ連が初めて人工衛星の打ち上げに成功した。アメリカもそれにつづき、両国は宇宙技術の開発でも、競い合うことになった。

ソ連では1953年にスターリンが死去し、1956年の共産党大会でフルシチョフ第一書記がスターリンの政策を批判した(スターリン批判)。この時期、アメリカとの平和共存の動きがあり、「雪解け」とよばれたが、社会体制の違いに由来する米ソの冷戦はおさまらなかった。

日米安保条約の改定

1957(昭和32)年に首相となった岸信介は、日米安保条約の改定をめざし、1960(昭和35)年1月、新条約を調印した。これにより日本の安全保障は強化された。

ところが、日本共産党、社会党など社会主義勢力は、アメリカの戦争にまきこまれると主張し、労働組合、学生団体など広く国民各層もまきこんだ反対運動がおこった。1960年5月、自民党が新安保条約の国会承認を強行採決すると、国会周辺をデモ隊が連日のように取り囲む大きな騒乱になった(安保闘争)。岸首相は新安保条約成立ののち辞職した。



日米安保条約改定に反対して国会を取りまくデモ隊。(1960年)6月19日の批准の日には、多数の人々が国会周辺を埋めた。

戦後から1960年代までの主要な内閣の総理大臣と主な仕事

就任年	総理大臣と主な仕事
1946	吉田茂(第1次) 日本国憲法制定(1946)
1948	吉田茂(第2次) サンフランシスコ講和条約(1951)
1954	鳩山一郎 日ソ共同宣言(1956)
1957	岸信介 日米安保条約の改定(1960)

2 1951年の日米安全保障条約では、日本が基地を提供しながら駐留軍には日本を防衛する義務がなかった。これを日本政府の施政下では、共同して防衛行動をとると改定した。

まとめにチャレンジ

朝鮮戦争によって、日本の独立が早まったのはなぜか、説明してみよう。



東海道新幹線の開業 1964年10月1日。東京と大阪の間の所要時間をそれまでの半分近くに短縮し、大きな経済効果を生み出した。

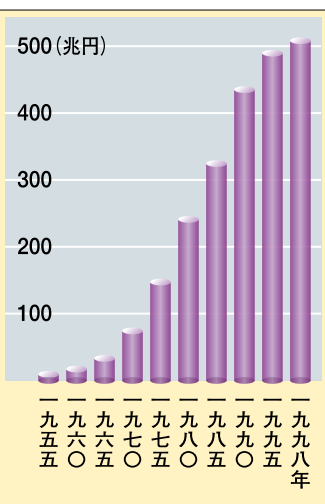


大阪万博 1970年3月14日～9月13日。総入場者数は目標の3000万人をこえる6400万人で、2010年上海万博に抜かれるまでは、万博史上最多であった。(独立行政法人日本万国博覧会記念機構提供)

87

世界の奇跡・高度経済成長

世界の奇跡といわれた日本の高度経済成長は、どのように進んだのだろうか。



国民総生産 (GNP) の推移

高度経済成長 1960 (昭和35) 年、岸内閣が退陣したあと、首相となった池田勇人は、10年間で所得を2倍にするという所得倍増政策をかけた。その後、自民党は結党のときにかかげた自主憲法制定や防衛力強化という課題を先送りするようになった。

日本の経済は、1960 (昭和35) 年ごろよりほぼ10年間、年率約10%という、歴史上まれな、「世界の奇跡」といわれる成長をつづけた (高度経済成長)。

1968 (昭和43) 年には、国民総生産 (GNP) が資本主義国陣営でアメリカに次ぎ世界第2位となった。ソニーやホンダ、トヨタなど世界的な企業が成長し、中小の工場の現場での無数の人々の工夫や発明の積み重ねも、産業の発展に大きな役割をはたした。また、高速道路網や新幹線の建設も始まり、庶民の生活にも電化製品や自動車が普及した。農村も豊かになり、米は生産過剰になって、減反政策がとられるほどになった。所得の増加は国内市場の拡大をもたらした。

日本の地位も向上し、1964 (昭和39) 年には東京オリッ



川崎のコンビナート (1972年1月撮影) 1970年代には公害問題が浮上した。

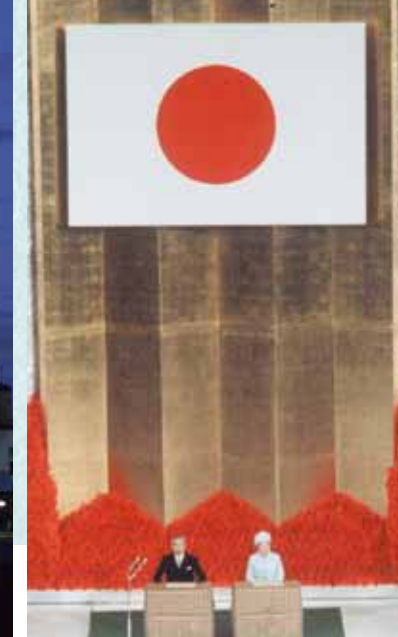
クが、1970 (昭和45) 年には大阪で万国博覧会が開かれた。これらは、アジアではじめて開催されたものだった。

公害問題の発生と解決 経済の高度成長とともに、1960年代後半ごろから、工場の煙や排水など産業廃棄物による公害が問題となった。水俣病や四日市ぜんそくなどの公害病、自動車の排気ガスによる大気汚染、家庭での洗剤による河川の汚染などの解決が求められた。

これに対し、1971 (昭和46) 年、環境庁が設置され、公害防止の対策がとられて、状況は改善されていった。その後、日本は、世界で最先端の公害防止技術を有する国になった。

外交関係の進展 東南アジア諸国との戦後賠償は順次解決がはかられてきた。1965 (昭和40) 年には、日本は韓国と日韓基本条約を結んで国交を正常化し、有償・無償計8億ドルの協力金を韓国に支払った。

アメリカの施政下にあった沖縄では、ベトナム戦争の開始で基地の使用頻度が高まり、祖国復帰運動がさかんになった。佐藤栄作内閣は、非核三原則を表明し、核兵器抜きで基地を維持するという条件で、沖縄返還への同意をアメリカから取りつけ、1972 (昭和47) 年5月、沖縄本土復帰が実現した。



沖縄本土復帰記念式典に出席された昭和天皇と皇后 (1972年) 沖縄県と他府県との格差を解消するため、政府はこれ以後、担当大臣を置いて、さまざまな経済支援を行っている。

日韓基本条約
(1965年、一部抜粋)

第2条 1910年8月22日以前に大日本帝国と大韓帝国との間で締結されたすべての条約及び協定は、もはや無効であることが確認される。

第3条 大韓民国政府は、国際連合総会決議第195号(III)に明らかに示されているとおり、朝鮮にある唯一の合法的な政府であることが確認される。

まとめにチャレンジ

高度経済成長について、左ページのグラフを参照し、「所得倍増」、「国内市場の拡大」という2つのキーワードを入れて説明してみよう。

そこから

日本の底力を世界に示した 昭和39年の東京オリンピック

アジアで初めて開催された東京オリンピックは、日本の奇跡の復興を世界に示し、日本人が自信と誇りを取りもどす機会となった。

◎東京オリンピックへの道

戦前、日本のスポーツ界は、陸上競技や水泳など世界中を驚かす大活躍で、国民に夢と希望をあたえました。1940（昭和15）年には東京でオリンピックが開催されることが決まっていたが、日中戦争が長引くなか、日本はその開催を辞退し、「幻のオリンピック」となりました。

戦後は、国民一人ひとりが国土の復興に力を尽くす中、スポーツ界もいち早く再建に取り組みました。日本が経済的にも高度成長を遂げつつある中で、アジアで初のオリンピック開催という夢の実現に向け、熱心に招致活動を展開しました。こうして、1964（昭和39）年10月、東京オリンピックが開催されました。



女子体操 優勝したチャスラフスカ選手（チェコスロバキア）



東京オリンピックの開会式 1964年10月10日。日本の国際的地位の回復をやっと国民が実感できた。

◎世界のアスリートと日本選手の活躍

東京オリンピックでは、バレーボールと柔道が新たな競技として加えられ、20競技163種目にわたり93か国5,588人が参加しました。マラソンでエチオピアのアベベ選手が2連覇をなしとげ、「世界の華」といわれた体操の女王チェコスロバキアのチャスラフスカ選手の、正確で美しい演技が世界の人々を魅了しました。

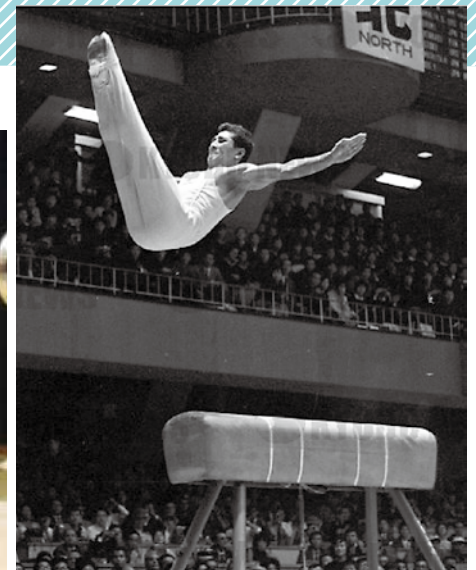
その中で、日本の選手も大活躍し、大松監督ひきいる女子バレーボールチームは、宿敵ソ連を決勝戦で破って優勝しました。



女子バレー 大松監督を胸上げする「東洋の魔女」たち。このあとママさんバレーがブームになる。



重量挙げ 優勝した三宅義信選手。



男子体操 跳馬では山下治広選手が金メダルを獲得。見事な決め技は「ヤマシタトビ」といわれた。

この勝利は国民に大きな感動をあたえ、世界にとどろいていた「東洋の魔女」の名声はいっそう高まりました。

また、日本は、レスリング競技で金メダル5個、柔道競技で金メダル3個を獲得しました。男子体操競技では金メダル5個に加えて団体での2連覇をなしとげ、その後のメキシコ、ミュンヘン、モントリオールのオリンピックで、団体5連覇という金字塔を打ち立てる礎を築きました。日本のメダル獲得数は、金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個で、アメリカ、ソ連に次いで第3位となり、日本の競技力の高さを世界に示しました。

◎東京オリンピックがもたらしたもの

オリンピックは、世界最大のスポーツの祭典です。その開催地は、道路、鉄道、空港などの交通網を完備するとともに、競技場、宿泊施設などの整備も欠かせません。日本は、オリンピックを契機に高速道

路、新幹線、モノレール、さらには国立競技場、駒沢オリンピック公園などが整備され、景観が一新されて美しい町並みができあがりました。日本の大会運営も、IOC（国際オリンピック委員会）から完璧なまでのきめ細かさとはめ讃えられました。

東京オリンピックは、大東亜戦争により焦土と化した日本が、戦後わずか19年後に、その勤勉さと組織力によって「世界の奇跡」とよばれる大復興をなしとげ、その底力を世界中に知らしめる歴史的出来事でした。それは、日本国民が、「世界の中の日本人」として、自国に対する愛や日本人としての誇りを感じる場となりました。

東京オリンピックの成功により、日本人は敗戦によって失いかけていた自信と誇りを取りもどしたのです。

2020年には、2度目の東京オリンピック・パラリンピックが開催されることになりました。平和で豊かで強靱な国家としての日本の姿を世界に示す場となるでしょう。



ベルリンの壁 近代都市の中央を二重の壁でさえぎった。この壁は自由主義陣営をおどろかせ、その後、東西冷戦の象徴となった。この壁をこえて西ベルリンに脱出しようとして射殺された東ドイツ人は少なくなかった。ベルリンの壁は1989年に崩壊した。→P. 270

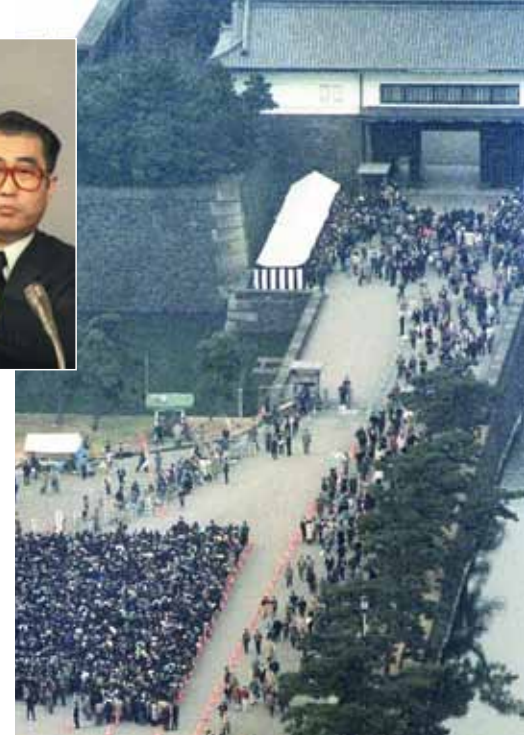
ベトナム戦争 フランスの元植民地だったベトナムの独立運動が発端となり、北側を共産主義陣営が支援し、南側を自由主義陣営が支援する、冷戦時代の代理戦争となった。



日中国交正常化（1972年） 右から田中角栄首相、毛沢東主席、周恩来首相。



新しい年号を発表する小淵恵三官房長官 「大化」（645年）以来247番目の年号。



昭和天皇崩御 1989年1月7日、天皇崩御の報に接し、皇居坂下門に弔問の記帳のために訪れた人々。

石油危機

1973年、中東でアラブ諸国とイスラエルとの戦争がおこった。アラブ産油国は石油の輸出を制限し、原油価格は4倍には上がった。ほぼ100%輸入に頼る日本は、もっとも深刻な打撃を受けた。「狂乱物価」現象がおこり、モノがなくなるという不安をいだいた消費者心理から、トイレット・ペーパーの買い占めに走るパニックまでおきた。1979年、イランで王政を倒す革命があり、再び原油価格が高騰した。しかし、日本経済は前回ほどの打撃は受けなかった。日本は、世界最高の省エネルギー技術を発達させ、経済の足腰がはるかに強くなっていったからである。

88

冷戦の推移と日本の経済発展

米ソ冷戦が続くなかで、日本はどのようにして「経済大国」に発展していったのだろうか。

1 このとき、アメリカのケネディ大統領は毅然とした姿勢を貫いたため、ソ連のフルシチョフ首相は、ミサイルを撤去した。

2 日中共同声明では、中国は戦争賠償の請求を放棄すること、今後の両国間の紛争は「武力又は武力による威嚇に訴えない」ことなどを確認した。

冷戦の継続とベトナム戦争

東西に分断されたドイツでは、1961（昭和36）年、東ドイツが住民の西側への脱走を阻止するため、東西ベルリンをへだてる壁を築いた（ベルリンの壁）。翌年には、ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設しようとしたことから、米ソの間に核戦争がおこりかけた（キューバ危機）。

1965（昭和40）年、アメリカは、インドシナ半島の共産主義化を警戒し、ソ連や中国が支援する北ベトナムに対抗して、南ベトナムを支えるため、直接軍隊を派遣した（ベトナム戦争）。しかし、アメリカ本国をふくむ各国で、アメリカの軍事介入に対する非難が高まり、1973（昭和48）年、アメリカ軍はベトナムから撤退した。2年後には、北ベトナムが南ベトナムを軍事力で併合し、ベトナム社会主義共和国が成立した。これによって、アメリカの威信は傷ついた。

日中国交正常化

1970年代になると、アメリカのニクソン大統領は、激化していた中ソ対立を利用してソ連を牽制し、同時にベトナム戦争を終結させようとして、中華人民共和国に接近し、米中両国関係は正常化に向かった。それを受けて、1972（昭和47）年9月、田中角栄首相が訪中して日中共同声明に調印し、日中の国交正常化が

実現した。一方、中華民国（台湾）との国交は断絶した。

その後、1978（昭和53）年には、日中平和友好条約が結ば

石油危機から「経済大国」へ

れた。1970年代に入ると、中東の産油諸国が石油の輸出を規制したため、この地域の石油に主要なエネルギーを依存する日本経済は、1973（昭和48）年と1979（昭和54）年の2度にわたり深刻な打撃を受けた（石油危機）。

しかし、これによって、電気製品の消費電力を大きく減らすなどの省エネルギー技術が発達し、日本経済はかえって強くなった。アメリカに次ぐ世界第2位の経済大国となっていた日本はさらに科学技術大国へとなっていった。

昭和から平成へ

1989（昭和64）年1月7日、昭和天皇が崩御した。60年あまりにおよぶ、激動の昭和時代は幕をおろした。皇太子・明仁親王が皇位を継承し、新しい年号は、平成と定められた。これは「内外ともに平和が達成される」という願いがこめられた年号だった。

1960~80年代の主要な内閣の総理大臣と主な仕事

就任年	総理大臣	主な仕事
1960	池田 勇人	所得倍増計画 (1960)
1964	佐藤 栄作	沖縄返還 (1972)
1972	田中 角栄	日中国交正常化 (1972)
1974	三木 武夫	
1976	福田 赳夫	
1978	大平 正芳	
1980	鈴木 善幸	
1982	中曽根 康弘	国鉄分割民営化 (1987)
1987	竹下 登	消費税導入 (1989)

まとめにチャレンジ

日本が石油危機を乗り越え、経済を強くするために役立った技術は何であったか、書いてみよう。

昭和天皇

国民とともに歩まれた生涯

立憲君主の学びを貫きつつ、国民の安寧を祈りつづけた、無私と献身の生涯とは。

◎まじめで誠実なお人柄

昭和天皇は20世紀が始まる年、1901（明治34）年の4月29日、皇太子時代の
大正天皇の第1子として誕生しました。御
名は迪宮裕仁。幼少のころから、極めてま
じめで誠実なお人柄でした。

即位ののち、鹿児島から軍艦に乗って帰
京されるとき、天皇が暗くなった海に向か
って一人拳手の礼をされているのをお付き
の者が見つけて不思議に思いました。そこ
で陸のほうを見ると、遠く暗い薩摩半島の
海岸に、お見送りをするために住民が焚い
たと思われるかがり火の列が見えました。
天皇はそれに向けて答礼をされていたので
す。

◎立憲君主に学ぶ

昭和天皇は1921（大正10）年にヨー
ロッパを訪問し、イギリス国王ジョージ5
世と親しく語り合いました。そのとき、イ
ギリスの政体「立憲君主制」を学んだとい
います。「君臨すれども統治せず」という
君主のあり方は、武家が政権をとり、朝廷
は国家の安寧を祈るという日本の政治形態
にも似ていました。天皇は「もし、自分が
良いと思うことは裁可し、嫌なことは裁可



しないというならば、これは専制君主と変
わらない」と述べています。

しかし、国家が危機におちいり、政府が
機能しないときには、君主がみずから決断
しなければならない場合があります。昭和
天皇も、国の命運にかかわる重要な場面で、
みずから決断されたことがあります。

1936（昭和11）年の二・二六事件の
とき、天皇は、将校たちの武力行為に対し
きびしい態度でのぞみ、反乱軍とみなして
鎮圧を命じました。

1945（昭和20）年8月の終戦も昭和
天皇の決断でした。ポツダム宣言を受諾し
て戦争をやめるか、本土で決戦をすべきか、
政府内の意見が2つに分かれ、どちらとも
決することができなくなったとき、鈴木貫
太郎首相は、天皇にその判断を委ねたので
す。昭和天皇は、「わたしは国民を守りたい」
と、終戦の聖断を下しました。

◎マッカーサーを感動させる

終戦の年の9月、天皇はみずから、占領
軍（GHQ）総司令官マッカーサー元帥の
もとを訪ねました。元帥は、天皇が命乞い
や弁解に来たのでは、と思いました。歴史
上、どこの国の指導者も、戦争に負けると
財産をもって亡命するか、自分と家族の安
全を求めてくるのが普通だったからです。

しかし、天皇の口から出た言葉は、「私は、
国民が戦争遂行に当たって政治、軍事両面
で行ったすべての決定と行動に全責任をも
つ者として、私自身をあなたの代表する諸
国の裁決に委ねるためお訪ねした」という
ものでした。元帥は、「死をも伴うほどの
責任、明らかに天皇に帰すべきではない責
任までも引き受けようとする。この勇気に
満ちた態度に、骨の髄までやり動かされた」
と『回想録』に記しています。

◎沖縄への思い

敗戦後の日本に住む家も食べるものもな
い焼野原でした。天皇は全国民を見舞い



昭和天皇の巡幸 終戦直後から全国を巡り、国民を励まされた。

たいと日本各地を巡幸され、復興にはげむ
人々と親しく言葉を交わされました。巡幸
は1,411か所にのぼりました。

1988（昭和63）年の秋、病床に伏し
た天皇は、医師に「もうダメか」とたずね
ました。医師は、「もう長くないのか」と
いう意味だと思いましたが、実はそうでは
ありませんでした。このとき、天皇は次の
御製を詠まれました。

思はざる 病となりぬ
沖縄をたづね果たさむ
つとめありしを

この前年、沖縄行幸が決まっていた
が、天皇は重い病に倒れてしまったので
す。国内最大の地上戦となり、戦後も長くアメ
リカ軍の占領下にあった沖縄への行幸は、
昭和天皇の悲願でした。昭和天皇はみずか
らの最期を悟り、「沖縄に行幸するのはも
うダメか」とつぶやいたのでした。

昭和天皇の生涯は、大日本帝国憲法にお
ける統治権の総攬者として、戦争の時代に
苦悩した前半生と、日本国憲法における象
徴天皇として、国民の幸せと国家の平安を
祈る後半生だったといえるでしょう。その
生涯は、常に国民とともにありました。



三島由紀夫 (1925～70)
日本人の美意識をテーマにした作品を多く発表した。代表作に『金閣寺』『鹿鳴館』など。



美空ひばり (1937～89)
8歳で歌手デビューし、映画にも出演。戦後・昭和期のスーパースターとなった。



湯川秀樹 (1907～81) ノーベル賞受賞
「中間子理論」の研究で日本人初の受賞となった。

石原慎太郎 (1932～)
小説『太陽の季節』でデビューし、新しい世代の精神を表現した。政治家としても活躍。



89

戦後の文化

戦後・昭和期の文化は、どのような特徴をもっているのだろうか。



川端康成 (1899～1972)
代表作は、『伊豆の踊子』『雪国』『古都』。



松本清張 (1909～92)
代表作は、『点と線』『砂の器』『ゼロの焦点』。

文学と自然科学

戦後の日本は敗戦の痛手を受けたが、その中でも、さまざまな分野で、新たな文化の担い手が登場した。文学では、戦前から活躍していた川端康成が、日本的な美の探求をつづけた。三島由紀夫や石原慎太郎などの若い世代もあらわれ、新しい文学を創造しようとする気概を見せた。

自然科学の分野では、1949（昭和24）年、湯川秀樹が日本人として初めてノーベル賞を受賞し、国民に大きな希望をあたえた。日本は、その後も、とくに自然科学の分野で、多数のノーベル賞受賞者を生み出した。

文化の大衆化の いっそうの進展

戦後・昭和期の文化の大きな特徴は、大正期以来の文化の大衆化がいっそう進展したことである。とくに、ラジオやレコードによる歌謡曲の普及は著しく、美空ひばりのように、国民的に親しまれる歌手も登場した。

文学においても、戦前は、文学青年とよばれた知識人の読む純文学と、一般庶民が娯楽として読む大衆文学に分かれていたが、戦後はそうした垣根が低くなり、幅広い読者を獲得する作家が生まれた。松本清張は、社会派推理小説という新しい境地を開き、司馬遼太郎は、とくに幕末・維新から日清・日露戦争

受賞年	氏名 (生没年)	分野
1949	湯川秀樹 (1907～81)	物理学賞
1965	朝永振一郎 (1906～79)	物理学賞
1968	川端康成 (1899～1972)	文学賞
1973	江崎玲於奈 (1925～)	物理学賞
1974	佐藤栄作 (1901～75)	平和賞
1981	福井謙一 (1918～98)	化学賞
1987	利根川進 (1939～)	医学・生理学賞
1994	大江健三郎 (1935～)	文学賞
2000	白川英樹 (1936～)	化学賞
2001	野依良治 (1938～)	化学賞
2002	小柴昌俊 (1926～)	物理学賞
2002	田中耕一 (1959～)	化学賞
2008	南部陽一郎 (1921～)	物理学賞
2008	小林誠 (1944～)	物理学賞
2008	益川敏英 (1940～)	物理学賞
2008	下村脩 (1928～)	化学賞
2010	鈴木章 (1930～)	化学賞
2010	根岸英一 (1935～)	化学賞
2012	山中伸弥 (1962～)	医学・生理学賞
2014	赤崎勇 (1929～)	物理学賞
2014	天野浩 (1960～)	物理学賞
2014	中村修二 (1954～)	物理学賞



「鉄腕アトム」(手塚治虫作)

日本人のノーベル賞受賞者



手塚治虫 (1928～89)
日本のストーリーマンガの第一人者。「マンガの神様」ともよばれる。

までの歴史を、当時の青春群像を通してえがき、広く読まれた。

GHQに禁止されていた時代劇映画がつくられるようになると、「忠臣蔵」の復活などを国民は歓迎し、日本映画が復興した。映画監督の小津安二郎は、日本の家族の日常を描写し、黒澤明は骨太の構想と映像美で話題の作品を発表して、ともに国際的に注目され、黒澤監督は「世界のクロサワ」といわれるようになった。

世界に広がる 日本発の文化

高度経済成長期ののちには、さまざまな分野で、日本人の才能が世界的に高い評価を得るようになった。現代マンガやアニメの先駆者となった手塚治虫、宮崎駿らは、その代表的な例である。

日本の文化は、日本固有の伝統と、外来の文化を融合させることによって生まれてきた。そして、現代においては、日本人が発信する文化は、同時代の外国人にも広く受け入れられ、彼らに大きな影響をあたえている。

また、世界的な健康ブームの中で「和食」が注目され、2013（平成25）年、ユネスコ無形文化遺産に選ばれた。正月や田植えなどの慣行を含む日本の食材と食文化の豊かさが評価された。

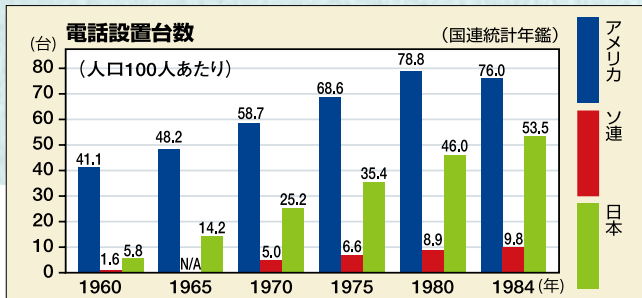
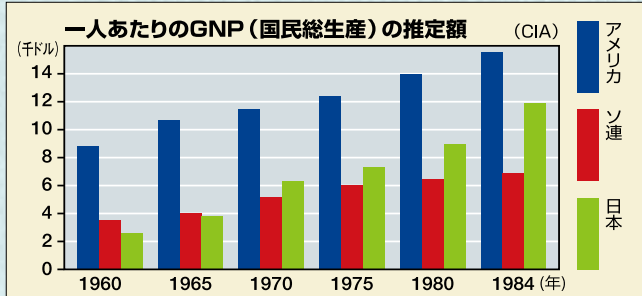


司馬遼太郎 (1923～96)
代表作は、『坂の上の雲』『竜馬がゆく』『菜の花の沖』。

まとめにチャレンジ

戦後の文化人で、国際的評価を受けた人をあげてみよう。

第3節 21世紀の世界と日本



自由主義体制と共産主義体制の比較 1980年代以降、ソ連の経済力はのびなやんだ。情報の伝達にも大きな差があった。
※1965年ソ連の資料なし



ベルリンの壁の崩壊 28年あまり機関銃で監視されていた非情の壁が東西両側の市民の手で取り壊された。ヨーロッパでの共産主義陣営の崩壊は突然始まり、あっという間に進んだ。

→P. 264



90 冷戦の終結と共産主義の崩壊

米ソ冷戦はどのようにして終結したのだろうか。



マルタ会談 (1989年) 米ソの首脳が地中海のマルタ島で会談し、長年つづいた冷戦の終結を宣言した。左はアメリカのブッシュ大統領 (第41代)、右はソ連のゴルバチョフ共産党書記長。

米ソ冷戦の終結

アメリカがベトナムから撤退したあと、ソ連は軍事力を増強して、世界各地の共産主義勢力の援助を強化し、1979年末には、アフガニスタンに軍事侵攻した。アメリカは、1981 (昭和56) 年にレーガン大統領が登場し、ソ連との大規模な軍備拡張 (軍拡) 競争に乗り出した。ソ連はこの競争にたえきれず、しだいに経済を破綻させていった。

1985 (昭和60) 年、ソ連では、ゴルバチョフ政権が誕生して、市場経済の導入や情報公開によるソ連社会の再建に取り組んだ。しかし、これにより、国内はかえって混乱し、東欧でも自由化を要求する動きが広がった。1989年、ヨーロッパにおける東西対立の象徴であったベルリンの壁が壊され、翌年、西ドイツは東ドイツを統合した。

ソ連はアメリカとの軍拡競争を断念し、1989 (平成元年) 年、米ソ首脳は冷戦の終了を宣言した。東欧諸国では、次々と共産主義政権が崩壊した。ソ連共産党は活動を停止し、1991 (平成3) 年にソ連は解体した。ソ連を筆頭とする共産主義体制の

戦争と全体主義の犠牲者

20世紀は「戦争と革命の時代」だった。人類は、この100年の間に、2度の世界大戦と、ロシア革命をはじめとする多数の革命を経験した。この世紀ほど、おびただしい人命が失われた時代はなかった。

第一次世界大戦では約1000万人の戦死者を出した。第二次世界大戦では、戦死者の数は2500万の規模になったうえ、多数の民間人も犠牲になった。ナチス・ドイツはユダヤ人などの大量殺戮を行った。ナチズムの犠牲者を約2500万人とする説もある。

また、共産党一党独裁が確立したスターリン支配下のソ連では、「富農撲滅」の名のもとに、多数の無実の農民が処刑され、

あるいは餓死させられた。さらに政治犯の数を地域別に割り当てて、強制収容所に送った。中国の文化大革命による犠牲者などをあわせると、共産主義の犠牲者は1億人に近いともいわれている。

20世紀は、ファシズムと共産主義の2つの全体主義の犠牲者数が、2つの世界大戦の死者数をはるかに上回り、戦争よりも、全体主義の政治によって多くの血が流れた世紀と考えられている。

米ソ冷戦が終了したとはいえ、東アジアではまだ冷戦の名残があり、世界各地で民族や宗教の対立に根ざす争いごとはなくなってない。21世紀は、20世紀の人類が犯した過ちをくり返してはならない。

→P. 226



湾岸戦争 (1991年)

日本は軍事行動には参加しなかったものの、海上自衛隊の掃海部隊を派遣し機雷除去を担ったり、135億ドル (1兆8000億円) の戦費を負担するなどした。そのため、自衛隊の海外派遣の問題をふくめて国際貢献のあり方に議論が高まった。写真はイラク軍によって爆破された油田。

1 1992年、国連平和維持活動 (PKO) 協力法が成立し、自衛隊が海外に派遣されるようになった。

崩壊によって、約70年間におよぶ共産主義の実験は決着を見た。この体制は、人々に豊かで安定した暮らしを保障できず、言論の自由など政治的権利も保障できないことが明らかとなった。

湾岸戦争とテロとの戦い

1990年8月、イラク軍が突然クウェートに侵攻し、翌年1月、アメリカを中心とする多国籍軍がイラク軍と戦って、クウェートから撤退させた (湾岸戦争)。この戦争では、日本は憲法を理由にして軍事行動には参加せず、巨額の財政援助によって大きな貢献をしたが、国際社会はそれを評価しなかった。このため国内では日本の国際貢献のあり方について、深刻な議論がおきた。

2001 (平成13) 年9月、ニューヨークの世界貿易センタービルに、ハイジャックされた旅客機が突っ込むなど、全米各所でテロが行われ、多数の死傷者を出した (同時多発テロ)。犯行はイスラム過激組織アルカイダによるとされた。テロとの戦いを宣言したアメリカは、報復のためアフガニスタンの拠点を攻撃し、2003年からはイラクに侵攻した (イラク戦争)。



同時多発テロ (2001年9月11日) ハイジャック機突入直後のニューヨーク世界貿易センタービル。こののち跡形もなくくずれ落ちた。

まとめにチャレンジ!

共産主義が崩壊したのはなぜか、理由を考えて説明してみよう。



中国の大気汚染 大気汚染のため数m先も見えない中国の都市。



東日本大震災（2011年3月11日）日本周辺における観測史上最大の地震で、震源は南北500km、東西200kmの広範囲にわたるものであった。地震の後に押し寄せた津波は、人と家屋をのみ込み、大きな船まで押し流した。→P. 276



北朝鮮に拉致された人たちの帰国（2002年10月15日）わが国の国民保護の体制の不備について拉致された被害者も多い。

91

21世紀の日本の進路

きびしい国際情勢の中で、日本の進路はいかにあるべきか。

1 尖閣諸島は1885年からの調査に基づき、1895年日本政府がどの国にも属していないことを確認し、閣議決定して日本領土に編入した。そして最盛期には200人以上の日本人がカツオ節製造などのために居住していた。戦後アメリカの施政下にあったが、1972年沖縄返還にともない日本に戻った。

2 竹島は江戸時代には鳥取藩の人が幕府の許可を得て漁業を行っていた。1905（明治38）年、国際法に従ってわが国の領土として島根県に編入し以降実効支配を行っていた。

中国の台頭

米ソ冷戦の終結によって、世界規模の核戦争の危険は遠のいたが、民族や宗教の対立、社会体制の違いに基づく紛争やテロの脅威は、その後もなくなっていない。とくに東アジアでは、共産党が一党支配する国家との冷戦状態がいまだに継続し、脅威となっている。

20世紀の末からは中国が経済的に台頭し、2012（平成24）年にはGDP（国内総生産）でアメリカに次ぐ世界第2位となったとされる。しかし、同国の国民1人あたりの所得は日本よりはるかに低く、極端な貧富の格差も生まれている。都市の大気や河川の汚染、国土の砂漠化などの環境破壊も深刻である。

中国は、急速な軍備拡張を進め、チベットやウイグルなどの支配を強め、周辺海域や海洋への進出を強化している。また、尖閣諸島の領有権を主張し、頻繁に漁船、公船、航空機を日本の領海・領空に侵入させているが、日本は「尖閣は日本固有の領土であり、領土問題は存在しない」との立場をとっている。

朝鮮半島と日本

朝鮮半島は近代日本の国防の焦点だったが、北朝鮮では今でも朝鮮労働党と金一族の専制支配のもと、核とミサイルの開発を進め、東アジアの不安定要因となっている。北朝鮮は1970年代から

日本人を拉致し、自国の体制強化のために利用した。日本は3度にわたり拉致被害者と家族の一部を帰国させたが、依然として数百名ともいわれる日本人同胞が不当に拘束されている。

竹島は日本固有の領土であるが、韓国は竹島を自国領と主張し、1953年から、武装警察官を常駐させて不当な占拠をつづけている。

日本の進むべき道

2011（平成23）年3月11日、東日本を襲ったマグニチュード9.0の大地震による巨大な津波に東北・関東地方の太平洋沿岸がのみこまれ、約2万人が亡くなった。地震と津波による原子力発電所の事故も起こり、多くの人々が避難生活を強いられた。この災害の中でも肉親の死の悲しみを乗り越えて冷静沈着に行動した被災者の振るまいは、世界の人々をおどろかせ、賞賛された。

2006（平成18）年に改正された教育基本法は、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」という教育目標を定めている。

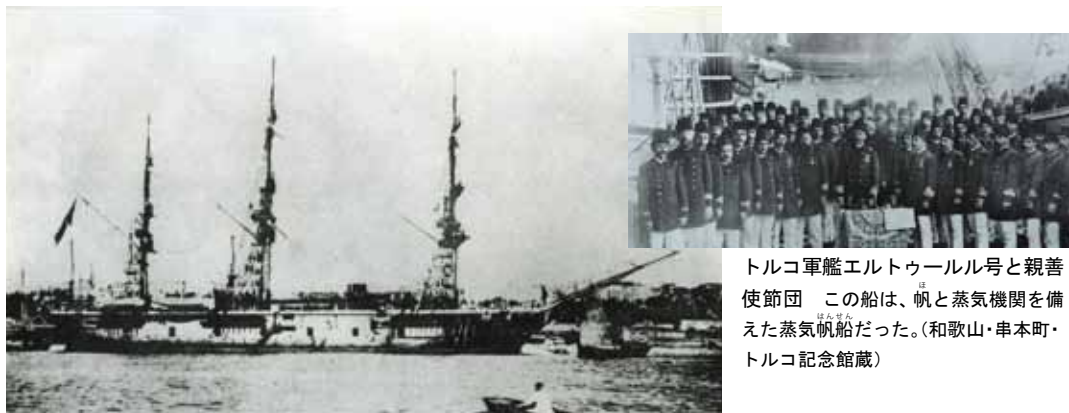
日本には古来、美しい田園と美しい社会を築いてきた豊かな伝統がある。21世紀をむかえた今、日本人は、みずからの歴史に自信と誇りを持ち、優れた日本文化を世界に発信し、人類の平和と発展に貢献していくことが求められている。

1990年代以降の歴代内閣総理大臣	
就任年	
1989	海部俊樹
1991	宮澤喜一
1993	細川護熙
1994	羽田 孜
1994	村山富市
1996	橋本龍太郎
1998	小淵恵三
2000	森 喜朗
2001	小泉純一郎
2006	安倍晋三（第1次）
2007	福田康夫
2008	麻生太郎
2009	鳩山由紀夫
2010	菅 直人
2011	野田佳彦
2012	安倍晋三（第2次）

まとめにチャレンジ

東日本大震災に際し、日本人の振るまいが世界の称賛を浴びたことについて、話し合ってみよう。

勇気と友情の物語 世界と交流した近代日本



トルコ軍艦エルトゥールル号と親善使節団 この船は、帆と蒸気機関を備えた蒸気帆船だった。(和歌山・串本町・トルコ記念館蔵)

エルトゥールル号事件

◎トルコの軍艦が遭難

1890（明治23）年6月、トルコ（オスマン帝国）の軍艦エルトゥールル号は、650人の親善使節団を乗せて横浜港に到着しました。日本で初めての帝国議会が開かれた年で、同じように近代国家をめざしていたトルコは日本との友好を強く望んでいました。1年あまりの苦難の航海の末やってきた使節団は、明治天皇をはじめ各界の熱烈な歓迎を受け、9月、帰国の途につきました。

ところが、エルトゥールル号は、神戸に向かう途中で台風に遭い、和歌山県串本町大島の樫野崎沖で難破、沈没してしまいました。587人が犠牲となる大惨事で、深夜、岸に打ち上げられた人々は、灯台にたどり着き助けを求めました。灯台守は万国信号

の本を広げ、三日月と星の国旗を決め手にトルコの人であることを知りました。

◎島民の献身的な救助と介護

大島の400戸の島民は、気の毒な異国の遭難者を救助しようと献身的にはたらきました。男たちは海で遭難者を探し、冷たくなりかけた負傷者には裸になって自分の体温で体をあたため、命の灯を甦らせました。女たちは負傷者の介護や食事の世話に不眠不休で奔走しました。島民は非常食用の鶏など、持てるもののすべてを提供しました。

事件が新聞で報じられると、日本中から2,500万円に相当する義援金が集まりました。生存者69人は、神戸の病院で手厚い治療を受け、元気を回復して日本の軍艦「金剛」「比叡」に乗って帰国しました。明治天皇は島民の立派な行いを称賛し、それまで救援活動にかかった費用を申し出るこ

とを求めましたが、島民は「当たり前のことをしただけ」と言ってこれをきっぱりと断りました。明治の日本人の心意気を示すできごとでした。

◎95年後のトルコ人の恩返し

1985（昭和60）年3月、イラン・イラク戦争のさなか、イラクのフセイン大統領は、48時間後以降はイラン上空のすべての飛行機を無差別に撃ち落とすと発表しました。他の国の人々は自国から派遣された特別機で次々と脱出しましたが、日本人とその家族だけはテヘラン空港に取り残されてしまいました。

時間切れ目前となったとき、2機の飛行機が突然やって来て、空港に降り立ちました。日本人救出のための特別機です。215人の日本人は、警告期限のわずか2時間前に無事脱出することができました。飛行機は、トルコ政府が、エルトゥールル号事件の恩返しのために派遣した救援機だったのです。事件から95年も経っているのに、トルコの人々は明治の日本人が示した真心と献身への感謝を忘れていなかったのです。

台湾に巨大ダムをつくった 八田與一

台湾の嘉南平野は、台湾の全耕地面積の6分の1を占めるほどの広さですが、



八田與一の像
ダムの水面を見つめている。

雨期の洪水と乾期の水不足に悩まされる、不毛の土地でした。石川県に生まれ、東京帝国大学で土木技術を学んで台湾総督府に赴任した八田與一（1886～1942）は、現地を調査して工事計画書を提出しました。それは、嘉南平野の上流の川をせき止めてダムをつくり、安定して水を供給する灌漑施設をつくるというものでした。

工事は困難を極めました。ある日のこと、石油ガスの爆発がおこり、50人あまりが死亡する大惨事となりました。八田は、「もう私のいうことを聞いてくれる人はいないだろう」と嘆きましたが、台湾の人たちは「事故はあんたのせいじゃない。おれたちのために、台湾のために、皆で命がけではたらいっているのだ」と逆に八田をはげました。

1930年、10年がかりの世紀の大事業が完成し、嘉南平野は緑の大地に生まれ変わりました。アメリカの土木学会は、「八田ダム」と名付け、世界にその偉業を紹介しました。台湾の現地の人々は、今でも八田の命日に、慰霊祭を毎年行っています。

東日本大震災と日本人

◎世界から絶賛された日本人の行動

2011（平成23）年3月11日の東日本大震災における被災者の冷静沈着な行動は、外国の人々の感嘆と称賛的となりました。

アメリカの新聞ニューヨーク・タイムスは、「日本人がこうした状況下で、米国のように略奪や暴動をおこさず、相互に助け合うことは全世界でも少ない独特の国民性であり、社会の強固さだ」と評しました。韓国のメディアも、被災地の住民たちが、「お先にどうぞ」「いえ、私は大丈夫です」と声を掛け合って、譲り合いの精神を忘れずに対応し、怒号が飛び交うこともなかった、と称賛する現地ルポを伝えました。

◎自己犠牲の精神と天皇陛下のお言葉

宮城県南三陸町の職員で危機管理課に勤める遠藤未希さん（24歳）は、津波が迫る中、防災無線で「6m強の波があります。早く逃げてください」と住民に避難をよびかけつづけ、みずからは津波にのみ込まれて亡くなりました。この女性の母親をふくむ多くの住民が、彼女のよびかけによって命を救われました。

災害出動した自衛隊員や警察官の献身的なはたらきも特筆すべきものでした。天皇陛下は、地震発生の5日後に国民へのメッセージを出され、次のように述べられました。

「自衛隊、警察、消防、海上保安庁をば



南三陸町の悲劇を報じる新聞記事（河北新報、2011年4月12日付）上は津波被害にあった同町の防災庁舎。

じめとする国や地方自治体の人々、諸外国から救援のために来日した人々、国内のさまざまな救援組織に属する人々が、余震のつづく危険な状況の中で、日夜救援活動を進めている努力に感謝し、その労を深くねぎらいたく思います。」

◎歴史に育まれた日本文化の特質

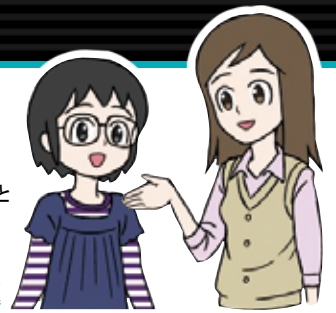
「日本社会に根づく義務感、逆境での品位、謙虚さ、寛容、勇気」（スペイン）、「無私の心と不動の献身」（アメリカ）、「武士道精神」（台湾）など、各国は日本人の国民性と資質を高く評価しました。

こうした国民性は、日本の長い歴史の中で育まれてきた文化です。日本人は縄文時代以来、豊かな自然の恵みのもとで、温和な性格を備え、和を大切に、助け合いと支え合いの文化をつくり上げてきています。こうした歴史の蓄積を失わずに受けついでいくことを私たちは心に誓いたいものです。

第6章のまとめ

現代とはどんな時代か

史子さんとお姉さん



■時代区分についての姉妹問答

姉 「現代」の時代区分は、もうわかるわね。
妹 第二次世界大戦後を「現代」とよぶんだよね。日本にとって、現代は戦争の焼け跡から始まったんだ。

姉 でも、日本は敗れても、政府は機能を失っていなかった。国民も奮起して、世界が驚く経済の復興と発展をなしとげたのよ。

妹 現代の特色は「奇跡の経済発展」なのね。

姉 日本人は、もともと勤勉な民族で、モノづくりが得意だし、平和な時代がつづけば、必ず力を発揮するの。

妹 現代のもう一つの特色は、世界的に見ると冷戦が長くつづいたことだよ。1991年にソ連が崩壊して、冷戦がやっと終わった。

姉 対立する自由主義陣営と共産主義陣営が、ともに核兵器をもち、核戦争の直前まで行ったこともあった。

「2つの全体主義」のうち、ファシズムは第二次世界大戦で消滅したけど、共産主義のほうは、ソ連が崩壊するまで、その後半世紀近くもかかったことになるんだわ。その間のいたましい犠牲者は、2度の世界大戦の死者の数をこえるのよ。

妹 ただ、冷戦が終わっても、世界では紛争が絶えないのよね。

姉 そのあたりは、改めて、公民的分野で学んでしょ。そのときも、日本の歴史の特色を大きくつかむこと、そして、日本人の長所と特徴についての自画像をもつことも大切ね。

■時代区分の問題

現代を2つの時代に分けるとすると、有力な考え方として、次の3つの案があります。それぞれの案では、何を重要なできごとと考えているのでしょうか。

- ①1952年4月、日本が主権を回復して独立してからと、それ以前
- ②1970年ごろ、日本経済の高度成長が実を結んだころまでとその後
- ③1989年、ベルリンの壁が崩壊し、冷戦が終わって共産主義が解体するまでと、その後

■「ひとこと」作文

現代という時代を学習して、どんなことがもっとも印象に残りましたか。

現代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だ。

この「〇〇」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみましょう。

<例> 冷戦 科学技術 植民地独立 核兵器

■意見交換会

戦後、日本が奇跡といわれる経済復興と高度成長をとげた要因を、前の時代との違いなども考えに入れながら、議論してみよう。

▶100字用語解説

こくさいれんごう 国際連合	1945年	2度の世界大戦の反省に立ち、新たな戦争を防ぐために結成された国際組織。連合国が引きつづいて世界秩序の指導的立場を維持するという性格もあり、国連憲章には日本やドイツなどを牽制する「旧敵国条項」が今も残っている。
にっぽんこくけんぽう 日本国憲法	1946年	GHQの草案に基づきつくられた憲法。手続きは大日本帝国憲法の改正の形をとった。天皇を日本国および日本国民の統合の象徴とし、主権在民をうたい、基本的人権に関する規定が整備され、戦争放棄と戦力不所持が盛り込まれた。
とうきょうさいばん 東京裁判	1946～1948年	日本の戦争犯罪を裁くために開かれた裁判。これにより東条英機以下7人が絞首刑に処せられたが、インド代表のパール判事は、この裁判は国際法上の根拠を欠くとしてただ1人、全員無罪を主張した。
れいせん 冷戦	1949～1989年	国際間の武力によらない対立抗争。第二次世界大戦後、世界はアメリカがひきいる自由主義陣営と、ソ連がひきいる共産主義陣営が勢力を争う米ソ冷戦時代に入り、両陣営は核兵器の数やミサイルの性能などで激しい競争をつづけた。
ちようせんせんそう 朝鮮戦争	1950～1953年	韓国と北朝鮮の間の戦争。南北の武力統一をめざす北朝鮮が韓国に侵攻したことから始まった。韓国軍はアメリカ軍主体の国連軍とともに反撃したが、北朝鮮側には中国軍も加わり一進一退をくり返した。1953年に休戦協定が結ばれた。
さんぷらんしすこ 講和条約	1951年	日本が自由主義陣営など48か国と結んだ条約。サンフランシスコにて、当時の吉田茂首相が署名し調印したこの条約により日本は独立を回復した。日本はさらにアメリカと日米安保条約を結び、米軍の駐留を認めた。
こうどけいせいじょう 高度経済成長	1960～1973年	敗戦の焼け跡から日本がなした「世界の奇跡」といわれる経済成長。ソニーなど世界的企業が成長し、高速道路網や新幹線の建設も始まった。1968年には国民総生産（GNP）がアメリカに次ぐ世界第2位になった。
きゅうばいけい キューバ危機	1962年	米ソ間でおこりかけた核戦争の危機。ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設しようとしたことで緊迫した。アメリカが毅然とした姿勢を貫いたことから、ソ連はミサイルを撤去。核戦争の危機は回避された。
べトナムせんそう ベトナム戦争	1965～1973年	アメリカがベトナムに直接軍隊を派遣した戦争。インドシナ半島の共産化を警戒したアメリカが、ソ連や中国が支援する北ベトナムに対抗し、南ベトナムを支えた。この軍事介入に本国はじめ各国からの非難が高まり、アメリカは撤退した。
おきなわぼんどうふつき 沖縄本土復帰	1972年	戦後アメリカの占領下にあった沖縄の日本への復帰。非核三原則を表明した当時の佐藤栄作内閣が、核兵器抜きで基地を維持する条件で沖縄の返還の同意を取りつけ、沖縄の祖国復帰がはたされた。
にっちゆうこつこうせいじょうか 日中国交正常化	1972年	齋藤首相によってなされた日中関係の正常化。アメリカのニクソン大統領の訪中を受け、田中首相が訪中、日中共同声明に調印した。このとき、台湾との国交は断絶された。
しゆ油いけい 石油危機	1973年・1979年	2度にわたり深刻な打撃を受けた産油諸国の石油輸出規制。輸出規制は石油に主要なエネルギーを依存する日本経済へ多大な影響を及ぼしたが、これにより省エネルギー技術が発達し、日本経済はかえって強くなった。
べルリンの壁の崩壊 ベルリンの壁の崩壊	1989年	東西冷戦の象徴となっていた東ドイツと西ドイツの統一。アメリカとの軍備拡張競争が激化し、東欧諸国で自由化を要求する動きが広がり、東西対立の象徴であったベルリンの壁が取り壊された。
わんがんせんそう 湾岸戦争	1991年	アメリカを中心とする多国軍とイラク軍との戦い。イラク軍による突然のクウェート侵攻に対し、アメリカを中心とする多国軍がイラク軍をクウェートから撤退させた。日本も巨額な財政援助によってこれに貢献した。
しゆ連のぼんかい ソ連の崩壊	1991年	ソ連の共産主義体制の崩壊。ソ連はアメリカとの軍備競争を断念し、米ソ首脳は冷戦終結宣言。東欧では共産主義政権が次々に崩壊し、ソ連邦も解体した。こうして約70年におよぶ共産主義の実験は決着を見た。

歴史を学んで

日本の歴史の特色は何か

5 課題1 2、3ページのグラビアを見ると、日本の国土には「3つの日本」が重なり合って存在していることがわかります。

5 第1は、縄文時代1万年の豊かな自然の恵みを受けた、森の時代の日本。

第2は、水田・稲作を生産の基礎として成立した、農業の時代の日本。

10 第3は、町工場に代表される、ものづくりに優れた力を発揮する、工業時代の日本。

15 皆さんの地域や生活の中に、この「3つの日本」がどのように組み合わせられているかを改めてとらえ直し、エッセイを書いてみましょう。

20 課題2 日本は、その歴史の中で、古代と近代において、2回にわたり、懸命の努力で国家を建設しました。

古代においては、中国文明に出会い、自立のために律令国家を建設しました。

近代においては、自立した国家として明治国家を建設しました。

25 2回の国家建設は、とてもよく似ています。2回の国家建設について、

①背景、②経過、③主な方法、④結果、などの項目を立てて、比較してみましょう。

30 課題3 日本人は海外の先進文化に強い興味をもち、それをどん欲に学び、取り入れてきました。しかし、同時に、自国の

文化的伝統を見失うことなく、独自に発展させたり、外来の文化と融合させたりしてきました。

そうした日本の文化の歴史を、古代から現代まで通してわかるように、年表、絵図、物語、その他、あなたの好みの方法で工夫してまとめてみましょう。

15 課題4 神話に見られる古代人の思想や、一揆、武士道、などを通して、日本人の社会や組織がどのような特徴をもっているのか、出し合いましょう。

20 課題5 「外の目から見た日本」のコラムを通して読んでみると、海外の人々は、どのように日本を見ているといえますか。その要点をまとめてみましょう。

25 課題6 日本は、欧米列強の植民地になったこともなく、現在では世界有数の先進国になっています。なぜ、日本の歴史でそのようなことができたのでしょうか。

あなたは外国に行って、さまざまな国から来た同じ世代の若者と交流することになり、この問題について、3分間でスピーチをすることになりました。

このためのスピーチ原稿を書いてみましょう。（3分間のスピーチ原稿は、400字詰め原稿用紙3枚程度です。）

あ

会津藩 164
アイヌ 97,129,175
上米の令 142
赤穂藩 134
足尾銅山 203
足利学校 105
阿修羅像 67,73
飛鳥浄御原令 61
飛鳥時代 55
飛鳥文化 66
安土城 116,122
安土桃山時代 122
安土桃山文化 122
アニミズム 36
アニメ 269
アフガニスタン 270,271
アヘン 157,182
アヘン戦争 157,170,188
天照大神 44,45,78
阿弥陀仏 71,102
アメリカ 17,20,148,154,159
173,176,182,183,195,197
198,210,211,215,216,220
225,235,237,238,244,245
248,250,251,252,254,256
257,258,259,264,270,278
安政の大獄 160,210
安保闘争 259
イエズス会 112,114,115
イギリス 126,148,154,155
156,157,161,172,180,182
183,187,193,212,221,225
231,236,241,244,246,250
イザナキ 44
イザナミ 44
異国船打払令 148
出雲神話 45
出雲大社 46,47,123
イスラム教 36,37,112
イタリヤ 113,212,226
227,236,250
市 100,116

一揆 99,106,127,142
一向一揆 99,116,121
一向宗→浄土真宗
一神教 36
一世一元の制 11,165
稲作 31
稲荷山古墳 49
イラク戦争 271
岩倉使節団 17,176,182
200
岩宿遺跡 27,28,29
殷 35
院政 77,80,83,85
インダス文明 34,35
インド 37,50,113,156,216
240,246,255
インドシナ 235,237,246
インドネシア 225,236
237,240,241

う

浮世絵 109,133,145,150
打ちこわし 142
運上金 131,143,152

え

A B C D 包囲網 237
駅 64
易姓革命 78
エジプト文明 34,35
蝦夷地 97,128,140
143,149,152,175,178
蝦夷錦 129
えた・ひにん 130,167
江戸 124,137,138,146
147,164,165
江戸時代 109,124,130
144,147,152
江戸幕府 111,124,130
136,152,157,163,170,175
蝦夷 68
エルトワールル号 274
援溍ルート 234,235,236
猿人 26
延暦寺 70,116

お

王 39,41,43
オオクニヌシ(大国主神)
45,46,47
奥州藤原氏 71,84
王政復古の号令 163
応仁の乱 98,108
おおきみ大王 43,53
大阪 124,132,137
138,146,148,152
大阪夏の陣 124
大塩平八郎の乱 148,152
オーストリア 212
小笠原諸島 172
沖繩戦 244,248
沖繩本土復帰 261,278
オスマン帝国 112,217
お伽草子 105
オランダ 126,127,128
139,225,235,236,241
オランダ風説書 128,129

か

開国 159
海国兵談 149
解体新書 139
開拓使 178
華夷秩序 41,55,173,191
貝塚 31
解放令 167
海防論 149
科挙 56,66
学制 168,210
学童疎開 243
学徒出陣 242
学問のすすめ 179,188
臥薪嘗胆 191
化政文化 144
華族 167,187
刀狩令 118
カトリック教会 112
仮名文字 71,75
狩野派 122
歌舞伎 123,132,144
145,146,149,152

株式会社 204
株仲間 143,149,152
貨幣 63,89,96,100,124,136
鎌倉時代 84,108
鎌倉幕府 84,86,88
89,92,106,108,163
神風 88
樺太(サハリン) 129,148
149,172
樺太・千島交換条約 172
枯山水 105
漢 35,40
冠位十二階 53,80
官営工場 178,202
官軍 164
環濠集落 39
勘合貿易 96,108
韓国(大韓帝国) 195,198
201,210,261
韓国(大韓民国) 256,257
261,273,278
韓国統監府 198,201
韓国併合 198,210
漢字 35,40,51,74
漢城(現在のソウル) 119
関税自主権 160,182
183,198,228
寛政の改革 143,144
146,152
関東軍 229,230
関東大震災 221
関白 69,80,117
管領 94,98,105,108

き

魏 40
帰化人→渡来人
魏志倭人伝 40,41,80
貴族 63,70,76,80,91
187,210
北大西洋条約機構
(NATO) 256
北朝鮮 257,272,278
北山文化 104
義務教育 168,210
九か国条約 221

旧石器時代 27,29
旧敵国条項 256,278
キューバ危機 264,278
教育基本法 252,273
教育勅語 187
狂歌 143,144
共産主義 214,222
226,228,250,257,271,278
強制収容所 226,227
京都 68,93,94,98,101
108,132,137,146,164,165
京都所司代 124
享保の改革 142,146,152
玉音放送 245
極東国際軍事裁判
→東京裁判
キリシタン大名 115,121,127
キリスト教 37,114,118,120
126,152,179
義和団事件 192
金印 40,95
金閣 104
銀閣 104
禁教 118,123
金属器(青銅器・鉄器) 34
38,51,80
近代国家 164,169,172
195
近代文化 206
勤労働員 242

く

クウェート 271,278
空襲 20,243,248,251
公家 92,160,162,163
164,167
公事方御定書 142
百濟 7,9,42,48,49
50,51,52,58
百濟観音像 66
クニ 39
国生み 44
国譲り 45,46,47
口分田 63,65
蔵屋敷 137
黒船 158,210

郡司 64
軍人勅諭 225
軍閥 228
警察予備隊 257
慶長の役 119
下剋上 98,110
元 88,90
検閲 234,252,254
元寇 89,90,108
元号→年号
源氏 76,84,86
原子爆弾(原爆) 245
248,256
源氏物語 71
原人 26
遣隋使 52,54,60
憲政の常道 219,253
現代マンガ 269
検地→太閤検地
遣唐使 56,66,70
言文一致運動 206
源平合戦 83,86
遣明船 96
建武式目 93
建武の新政 92,93,108
儉約令 142,149,152
県令(県知事) 167
元禄時代 133,134
元禄文化 132

こ

呉 40
五・一五事件 230
弘安の役 88,89
黄河 35
公害 261
広開土王 7,9,48
江華島事件 177
黄禍論 195
高句麗 7,9,42,48,52,58
考古学 11,27,28
甲骨文字 35
甲午農民戦争 190
小作争議 219

公職追放 253
甲申事変 189,190
皇族 57,91,167
豪族 42,53,57,59
63,64,76,80,92
公地公民 57,59,63,80,86
皇帝 40,48,54,55,56,78
88,96,108,198,230,250
皇統譜 43,52
高度経済成長 260,278
高野山 70
高麗 88,90
コーラン 37
公領 94,108
御恩と奉公 84,87
五街道 137
五箇条の御誓文 165,184
210
古今和歌集 71
国学 133,139
国号 59
国際連合(国連) 256,278
国際連盟 216,231,250
国司 64,68,69,76,86,95
国人 99,110
国内総生産(GDP) 272
国府 64
国風文化 70
国分寺 65,80
国分尼寺 65,80
国民皆兵 168,177
国民党 228,232,233,256
国民総生産(GNP) 260
270,278
御家人 84,87,89,108,124
142
護憲運動 218
護憲三派内閣 219
後三年合戦 76
五・四運動 217
古事記 44,47,59,64,139
御成敗式目(貞永式目) 85
106,108
戸籍 56,59,63,68,242
御前会議 245
五大改革指令 252

国家 34
国会期成同盟 184
国家総動員法 234
国共内戦 232,256
五人組 131
古墳 42
古墳時代 42
コミンテルン 226,232
米騒動 218
米百俵 171
暦 10,34
金剛峯寺 37,70
金剛力士像 103
墾田永年私財法 65,80
健児制 68

さ

座 100
財閥 217,231
財閥解体 252
彩漆土器 32
堺 101,114,122,123,126
酒屋 100
防人 58,63,67
冊封 41,52,54,95,97
128,173,188
桜田門外の変 160
鎖国 127,129,148,152
薩英戦争 161,162
薩長同盟 162
薩摩藩 128,149,161,162
サラエボ事件 212,213,250
三・一独立運動 217
産業革命 155,156
産業革命(日本) 202
参勤交代 125,137
三権分立 154,165
三国干涉 191,210
三国協商 212,250
三国志 40,41,80
三国同盟 212,250
三大宗教 37
三都 137
山東出兵 228,229
山東省 192,213,228
三内丸山遺跡 31,32

サンフランシスコ講和条約 258,278
し
自衛隊 271
四か国条約 221
地侍 99,101,110
時宗 87,102
私塾 17,138,185
自然崇拜 36,44
土族 167,168,169,176
177,210
時代区分 11
自治都市 101
執権(政治) 85,106,108
四天王像 67
地頭 84,108
支那事変→日中戦争
ジパング 61,112
シベリア出兵 214,218
シベリア鉄道 192,194,214
シベリア抑留 248,253
事変 233
島原の乱 127,152
市民革命 155
四民平等 167,168,171,202
下田 159
下関条約 191,202,210
下関戦争 161
社会主義 203,214
釈迦三尊像 66
ジャポニスム 150
三味線 122
シャム(タイ) 114,126
上海事変 233,250
朱印状 126
朱印船 126
周 35
衆議院 186,187,210,219
宗教改革 112
十七条の憲法 53,80
自由党 185
十二単 70,71
自由民権運動 184
宗門改帳 127
儒学 132,133,149

儒教 35,51,53,179
宿場町 137
守護 84,94,108,110
守護大名 95,98,108,110
朱子学 133,143,152
首里城 97
巡幸 267
書院造 104,105
攘夷 159,160,161,200
貞永式目→御成敗式目
荘園 69,83,84,86
94,108,111,118
松下村塾 138,161,200
城下町 111,131,136
蒸気機関 19,155
承久の乱 85,108
將軍 85,108,124,125,132
上皇 77,80,82
尚氏 97,128,174
正倉院 67
浄土教 71
浄土宗 102,105
浄土真宗(一向宗) 99,102
116
障壁画 122
縄文海進 30
縄文時代 31,33,36,38,80
縄文土器 28,30,80
縄文文化 28,30
上座部仏教 50
条約改正 182,183,200
生類憐みの令 132
昭和恐慌 224,250
蜀 40
殖産興業 178,202
植民地 113,154,156,157
195,224,235,240,246
女流文学 74
白樺派 222
白河藩 143,152
新羅 42,48,49,50,52,58,62
自力救済 99
シルクロード 35,50,67
秦 35,40,51
清(清国) 128,157,173
174,188,189,190,191,192

201,210
辛亥革命 199,231
新幹線 260,263
人権宣言 154
新古今和歌集 103
壬午事変 190
真言宗 70
人種差別撤廃 216
真珠湾攻撃 211,238
新人→ホモ・サピエンス
壬申の乱 59,61,80
新石器時代 34
清朝 128,170,199,230,250
新田 135,136,142,143,152
寝殿造 70,71,104
親藩 125
神仏習合 178
神話 36,44,45,46
す
隋 52,54,56,80
水田稲作 38
水墨画 105
枢軸国 238
須恵器 51
スエズ運河 208
墨塗り教科書 254
スペイン 112,113,114
118,126,152
せ
西安事件 232
征夷大將軍 68,84,85,92
94,95,108,124,152
征韓論 176,184
聖書 37,123
青銅器 34,35,38
政党内閣 184,191,218,230
西南戦争 177
世界恐慌 224,250
関ヶ原の戦い 124,125,152
関所 101,117,137
石油危機 265,278
石塁 81
摂関政治 69,77,80
石器 26,27,29

摂政 52,69,80,224
セポイの乱 156
宣教師 114,118,120
123,228
尖閣 272
戦国時代 94,99,111,114
122,152
全国水平社 219
戦国大名 95,99,110,111
116,152
戦時国際法 241,248,254
禅宗 102,105
全体主義 226,250,271
千歯こき 136
前方後円墳 42,43
川柳 144
占領 252,254
そ
租・調・庸 63
宋 48,49,50,78,83,102,103
惣(惣村) 101,110,131
宗氏 97,128
創氏改名 243
曹洞宗
惣無事令 117
総力戦
雑徭 63,68
蘇我氏 50,51,53,56,57
ソビエト 214,250
ソ連 214,226,234,2
35236,244,245,248,252,256
257,258,259,264,270,278
尊王攘夷 160,161,162,210
た
第一次世界大戦 170,212
215,217,227,250
太陰暦 10,179
太陰太陽暦 10
大学創設 206
大化の改新 57,61,80
大韓帝国→韓国(大韓帝国)
大韓民国→韓国(大韓民国)
大逆事件 203
大航海時代 113

太閤検地 118,152
大正時代 218,222
太政大臣 82,86,95
太政大臣 166
大正デモクラシー 219,250
大乘仏教 50
大政奉還 163
大正憲章 237,240,244
大政翼賛会 235
帯刀 130,167
大東亜会議 240,250
大東亜共栄圏 235,240,246
大東亜共同宣言 240,250
大東亜戦争(太平洋戦争)
238,242,246,254
第二次世界大戦 216,236
245,250
大日本史 133
大日本帝国憲法 186,210
大仏造立 65,80
太平洋戦争→大東亜戦争
大宝律令 62,80
大名 122,125
太陽暦 10,179
大老 124,160
台湾 173,191,210,242
252,256,265,275,278
台湾出兵 173
台湾総督府 275
高天原 44,45,78
高床式倉庫 32,38
竹島 272,273
竹取物語 71
大宰府 58,64
多神教 36,121
打製石器 27
脱亜論 189
竪穴住居 30
田沼時代 142,152
種子島 114
他力本願 71,102
樽廻船 137
壇ノ浦 83
ち
治安維持法 219,227

地下鉄 223
地券 169
千島列島 129,139,172,244
地租改正 169,210
秩禄処分 177
茶の湯 104,122
中華思想 41,60
中華人民共和国 256,264
中華民国 199,265
中国残留日本人孤児 253
中国同盟会 199
中尊寺金色堂 71
長安 25,62
長江 35
朝貢 41,49,54,201
長州征伐 162
長州藩 149,160,161,162
171,200
朝鮮 96,97,128,170,176
188,189,190,195,199,201
210,217,252,256
朝鮮出兵 119,152
朝鮮戦争 257,278
朝鮮総督府 198,199,210
217
朝鮮通信使 128,129,137
朝鮮統治 199
朝鮮特需 257,258
朝鮮民主主義人民共和国
(北朝鮮) 256
朝廷 55,57,58,63,64
68,69,84,88,108,152,158
160,161,163,166,176,210
徴兵令 168,210
つ
通州事件 233
対馬 88,90,96,128,129,194
対馬事件
土一揆→どいつき
徒然草 103
て
定期市 100
帝国議会 187,253
帝国主義 170,229

帝国大学 206
出島 127,128
鉄器 34,38
鉄道 178,179,203
鉄砲 114,152
寺請制 127
寺子屋 138,168,210
天 73,78
天守閣 122
天正遣欧使節 115
電信制度 178
天孫降臨 45
天台宗 70
天皇 43,55,60,76,77,78
天皇親政 92,108,231
天平文化 67
天保の改革 144,149,152
天保の大飢饉 135
天明の大飢饉 143
天領 124
と
ドイツ 112,155,191,210
212,213,214,215,216,226
234,236,238,244,256,264
278
土一揆 101
問丸 100
唐 25,56,58,62,66,80,83
東海道五十三次 145
東海道中膝栗毛 144
東京 68,165
銅鏡 38,40
東京オリンピック 260,262
東京裁判
(極東国際軍事裁判) 253
255,278
東京大空襲 243,248
銅剣 38
同時多発テロ 271
唐招提寺 67
東大寺 65,67,80
銅鐸 38,47
倒幕運動 163,200
銅矛 38
土器 30,32,34,51

土偶 31
徳政一揆 99,106
徳政令 89,101,108
独ソ不可侵条約 236
特別攻撃(特攻) 243
独立宣言 154
土佐藩 162
外様大名 125
土倉 100
鳥羽・伏見の戦い 164
富岡製糸場 178
渡来人 51,74
トルコ 195,274
トルデシリャス条約 113,152
屯田兵 175,178
な
内閣制度 185
長岡藩 171
長崎 115,126,127,128
245,248
長崎事件 190
長篠の戦い 116
ナチス党 226,227
名主(庄屋) 130
生麦事件 161
奈良時代 25,62,67,80
南京 228,233,240
南京条約 157
南総里見八犬伝 144
南蛮人 114
南蛮文化 123
南蛮貿易 114,123
南部仏印進駐 237
南北朝時代(中国) 42,48
南北朝時代(日本) 93,94
108
に
錦絵 145
二十一か条要求 213
217,250
日英通商航海条約 183
日英同盟 193,210,213,221
日独伊三国軍事同盟 236
250

な
内閣制度 185
長岡藩 171
長崎 115,126,127,128
245,248
長崎事件 190
長篠の戦い 116
ナチス党 226,227
名主(庄屋) 130
生麦事件 161
奈良時代 25,62,67,80
南京 228,233,240
南京条約 157
南総里見八犬伝 144
南蛮人 114
南蛮文化 123
南蛮貿易 114,123
南部仏印進駐 237
南北朝時代(中国) 42,48
南北朝時代(日本) 93,94
108
に
錦絵 145
二十一か条要求 213
217,250
日英通商航海条約 183
日英同盟 193,210,213,221
日独伊三国軍事同盟 236
250

日米安全保障条約 …… 258
259,278

日米修好通商条約 160,210

日米通商航海条約 183,235

日米和親条約 …… 159,210

日明貿易 …… 96

日蓮宗 …… 102,105

日露戦争 …… 194,196,198
200,208,210

日露和親条約 …… 172

日韓基本条約 …… 261

日記文学 …… 75

日光・月光菩薩像 …… 67

日清修好条規 …… 172,173

日清戦争 …… 190,201,210

日宋貿易 …… 83

日ソ共同宣言 …… 258

日ソ中立条約 …… 236,245

日中共同声明 …… 264

日中国交正常化 …… 264,278

日中戦争(支那事変) …… 233
242,250

日中平和友好条約 …… 265

日朝修好条規 …… 177

二・二六事件 …… 231,250,266

日本 …… 59,60

日本海海戦 …… 194,196

日本銀行 …… 202

日本国王 …… 95,96

日本国憲法 …… 253,278

日本書紀 …… 44,48,59,64

日本町 …… 115,126

二毛作 …… 100

ニューディール …… 225

如来 …… 72

人形浄瑠璃 …… 123,132,145

仁徳天皇陵(大仙古墳) 43

ね

熱戦 …… 256

年貢(または年貢米) ……
101,128,130,131,136,137
142,152,169,210

年号(元号) …… 8,57,80
93,108,165,224,228,265

の

能 …… 104

農業全書 …… 133

農耕 …… 33,35

農地改革 …… 252

ノーベル賞 …… 268

ノルマントン号事件 …… 183

は

俳諧 …… 133,144

廃刀令 …… 177

排日運動(中国の) …… 228

排日政策(アメリカの) …… 220

廃藩置県 …… 166,179,200,210

廃仏毀釈 …… 179

博多 …… 90,100,101,123

白村江の戦い …… 58,61

幕府 …… 85,108,125,160

幕領 …… 124

ハーグ密使事件 …… 198

ハーグ陸戦法規 …… 248

馬借 …… 100

旗本 …… 124,142

パテレン追放令 …… 118,119
121

埴輪 …… 42

バビロニア …… 34,35,36

パリ講和会議 …… 216,217,250

バルカン半島 …… 212,250

バルチック艦隊 …… 194,196
208,241

ハル・ノート …… 237

パレスチナ …… 36

藩 …… 125,166,167,171

ハンブル …… 189,199,210

藩校 …… 138,185

万国博覧会 …… 150,204,260

蛮社の獄 …… 149

版籍奉還 …… 166

班田収授法 …… 63,68,69,80

藩閥勢力 …… 218

万国公法(国際法) …… 173

万里の長城 …… 35,52

ひ

比叡山 …… 70,102

菱垣廻船 …… 137

非核三原則 …… 261

東インド会社 …… 156

東日本大震災 …… 273,276

東山文化 …… 105

飛脚 …… 137

備中鞆 …… 136

人返しの法 …… 149

日比谷焼き打ち事件 …… 195

非暴力主義 …… 216

百姓一揆 …… 131

百姓・町人 …… 130,167

氷河時代 …… 26,27,30

平等院鳳凰堂 …… 71

平戸 …… 90

ピラミッド …… 34,35

広島 …… 245,248

琵琶法師 …… 103

ふ

ファシスト党 …… 227

ファシズム …… 226,227,250
271

フィリピン …… 114,118,126
191,198,220,247

フェートン号事件 …… 148

富嶽三十六景 …… 20,145

奉行 …… 124

復員・引き揚げ …… 253

武家諸法度 …… 125,152

富国強兵 …… 178

武士 …… 76,86,130,134,
169,170

武士道 …… 17,197

藤原京 …… 59

藤原氏 …… 57,69,76,77
80,82,91,108

婦人参政権 …… 219,250,252
253

譜代大名 …… 125

普通選挙 …… 218,219

普通選挙法 …… 219

仏教 …… 37,49,50,54,80,179

仏教伝来 …… 50

仏像 …… 72

仏陀(釈迦) …… 37

風土記 …… 64

富本銭 …… 62

踏絵 …… 127

フライング・タイガーズ 235

部落差別撤廃 …… 219

フランス …… 150,155
182,187,188,191,210,212
221,225,236,241,247,250

フランス革命 …… 154,171

プロシア …… 185

ブロック経済 …… 225

プロテスタント …… 112,126

文永の役 …… 88,89

分国法 …… 110,111

文治政治 …… 132

文明 …… 34

文明開化 …… 179

文禄の役 …… 119,152

へ

平安京 …… 68,80

平安時代 …… 68,80,86

平安文化 …… 70

兵役 …… 56,63,68,168
186,210

平家物語 …… 83,103

平氏 …… 76,86

平治の乱 …… 82,108

平城京 …… 25,62,80

兵農分離 …… 118,152

平民 …… 167,168,210

平民宰相 …… 218

北京議定書 …… 192,233

ベトナム戦争 …… 261,264,278

ヘブライ人 …… 36

ペリー来航 …… 19,158,210

ベルサイユ条約 …… 216

ベルリンの壁 …… 264,270,278

ほ

法皇 …… 77

崩御 …… 80,163,218,224,265

保元の乱 …… 82,108

方丈記 …… 103

北条氏 …… 84,85,92,108

奉天会戦 …… 194

法隆寺 …… 55

ポーツマス条約 …… 195

ポーランド …… 195,227,236

菩薩 …… 73

戊辰戦争 …… 164,171

ポツダム宣言 …… 244,245
248,250,252,267

北方領土 …… 248,252,258

ホモ・サピエンス …… 26

ポルトガル …… 112,113,114
126,152

本能寺の変 …… 117,152

ま

枕草子 …… 71

磨製石器 …… 27,34

町衆 …… 101

町火消 …… 142

町奉行 …… 124,142,148
149,152

末法思想 …… 71

松前藩 …… 128,129,172

マルクス主義 …… 214

マルタ会談 …… 270

満州 …… 190,192,193
194,210,228,229,230,231
233,235,245

満州国 …… 230,250

満州事変 …… 230,250

万葉集 …… 67

み

水城 …… 58

ミッドウェー海戦 …… 239

水戸藩 …… 133,149,160

南満州鉄道(満鉄) ……
229,230

身分制度 …… 35,130,167
171,174

任那(加羅) …… 48,49

明王 …… 73

冥加金 …… 131

名字 …… 91,130,167

名主 …… 101

明 …… 95,96,97,108,119

民撰議院(国会)

設立の建白書 …… 184

民俗学 …… 222

民族自決 …… 216

民本主義 …… 218

む

ムラ …… 38,39

村請 …… 131

村八分 …… 131

村役人 …… 130

室町時代 …… 94,108

室町幕府 …… 94,96,98
108,116

室町文化 …… 104

め

明治維新 …… 165,170

名誉革命 …… 154

メーデー …… 219

メソポタミア文明 …… 34

目安箱 …… 142,152

も

蒙古 …… 81,88,89,198

物部氏 …… 50,51

桃山時代 …… 138

桃山文化 …… 122

モンゴル帝国 …… 88

や

野球 …… 15,223

八咫鳥 …… 45

八幡製鉄所 …… 202

山城国一揆 …… 99

邪馬台国 …… 40,41,80

大和絵 …… 70

ヤマト言葉 …… 74

大和朝廷 …… 42,43,44,45
47,48,50,80

弥生時代 …… 39,40,80

弥生土器 …… 39,80

弥生文化 …… 39,80

ヤルタ会談 …… 244

ゆ

唯一神 …… 36

郵便制度 …… 178

ユダヤ教 …… 36

ユダヤ人 …… 36,227,237,271

よ

陽明学 …… 133,148

吉野 …… 93,108

吉野ヶ里遺跡 …… 39

寄合 …… 101,131

ら

楽市楽座 …… 116

ラジオ …… 222

拉致 …… 273

蘭学 …… 138,139,149

り

里長 …… 64

李朝(李氏朝鮮)→朝鮮

立憲改進黨 …… 185

立憲君主制 …… 154,185,266

立憲国家 …… 165,187,210

立憲政治 …… 187

立憲政友会 …… 218,230

立志社 …… 184

リットン調査団 …… 231

律令 …… 59,62

律令国家 …… 55,59,62,63,69,80

律令制度 …… 59,64,65

琉球王国 …… 97,128,174

琉球処分 …… 173,174

柳条湖事件 …… 230

領事裁判権 …… 160,177,182
183

遼東半島 …… 190,191,195,210

臨濟宗 …… 102

わ

倭 …… 7,9,40,48,60

ワイマール共和国 …… 215

倭館 …… 97,128

倭寇 …… 96,108

倭国 …… 41,60

和算 …… 133,140

和食 …… 269

倭人 …… 40,41,90

和人 …… 175

ワシントン会議 …… 220,250

和同開珎 …… 62,63

倭の五王 …… 48,55

佐び・寂び …… 104,122

ワルシャワ条約機構
(WTO) …… 256

湾岸戦争 …… 271,278

る

呂宋(るそん)→フィリピン

れ

冷戦 …… 256,258,264,270
272,278

列強 …… 156,157,170,178
191,198,195,212,213,228

連歌 …… 105,133

連合艦隊 …… 194,196

連合国 …… 238,241,244
248,255

連合軍総司令部(GHQ)
252,253,254,257,269,278

ろ

老中 …… 124,142,143
148,149,152,158

ローマ教皇 …… 112,113
114,115,152

六波羅探題 …… 85,92

鹿鳴館 …… 182

盧溝橋事件 …… 233,250

ロシア …… 140,148,161
172,175,183,188,191,192
193,194,195,196,198,201
208,210,212,214,250,271

ロシア革命 …… 214,219,226
250

ロマノフ王朝 …… 211,250

ロンドン軍縮会議 …… 225

わ

倭 …… 7,9,40,48,60

ワイマール共和国 …… 215

倭館 …… 97,128

倭寇 …… 96,108

倭国 …… 41,60

和算 …… 133,140

和食 …… 269

倭人 …… 40,41,90

和人 …… 175

ワシントン会議 …… 220,250

和同開珎 …… 62,63

倭の五王 …… 48,55

佐び・寂び …… 104,122

ワルシャワ条約機構
(WTO) …… 256

湾岸戦争 …… 271,278

あ

会沢正志斎(1782～1863) …… 149
 相澤忠洋(1926～89) …… 28
 青木昆陽(1698～1769) …… 143
 秋山真之(1868～1918) …… 194
 芥川龍之介(1892～1927) …… 222
 明智光秀(1528?～82) …… 117
 足利尊氏(1305～58) …… 92,93,94
 足利義昭(1537～97) …… 116
 足利義政(1436～90) …… 98,104
 足利義満(1358～1408) …… 94,95,98,104
 アテルイ(?～802) …… 68
 阿部仲麻呂(698～770) …… 66
 阿部正弘(1819～57) …… 158
 天草四郎時貞(1621～38) …… 127
 新井白石(1657～1725) …… 132
 安徳天皇(1178～85) …… 83
 井伊直弼(1815～60) …… 160
 イエス(前4?～後30?) …… 37
 池田勇人(1899～1965) …… 260,265
 池大雅(1723～76) …… 145
 イザベラ・バード(1831～1904) …… 180
 石田梅岩(1685～1744) …… 139
 石田三成(1560～1600) …… 124
 石原慎太郎(1932～) …… 268
 出雲の阿国(?～?) …… 123,146
 板垣退助(1837～1919) …… 177,184,185
 伊藤仁斎(1627～1705) …… 133
 伊藤博文(1841～1909) …… 185,192,
 198,200,201
 犬養毅(1855～1932) …… 218,225,230
 井上馨 …… 182,185,192,200
 伊能忠敬(1745～1818) …… 139,140
 井原西鶴(1642～93) …… 132
 今川義元(1519～60) …… 116
 岩倉具視(1825～83) …… 163,176,177
 ウィルソン(1856～1924) …… 216
 上杉謙信(1530～78) …… 110
 上杉鷹山(1751～1822) …… 143
 歌川広重(1797～1858) …… 145,150
 運慶(?～1223) …… 103

栄西(1141～1215) …… 102,105
えんせいがい
 袁世凱(1859～1916) …… 199,213
 大石内蔵助(1659～1703) …… 134
 大久保利通(1830～78) …… 162,163
 166,176,180,202
 大隈重信(1838～1922) …… 184,185,187
 大塩平八郎(1793～1837) …… 148
 大友皇子(648～672) …… 59
 大伴旅人(665～731) …… 67
 大伴家持(?～785) …… 67
 岡倉天心(1862～1913) …… 207
 尾形光琳(1658～1716) …… 133
 荻生徂徠(1666～1728) …… 133
 小津安二郎(1903～63) …… 269
 織田信長(1534～82) …… 116,151
 小野妹子(?～?) …… 54

か

柿本人麻呂(7世紀後半) …… 67
 勝海舟(1823～99) …… 164
 葛飾北斎(1760～1849) …… 145
 加藤清正(1562～1611) …… 119
 加藤高明(1860～1926) …… 193,219
 狩野永徳(1543～90) …… 122
 狩野芳崖(1828～88) …… 207
 鴨長明(1155?～1216) …… 103
 川端康成(1899～1972) …… 268
 観阿弥(1333～84) …… 104
 ガンジー(1869～1948) …… 216,217,246
 鑑真(688～763) …… 16,66
 桓武天皇(737～806) …… 68
 岸信介(1896～1987) …… 259
 喜多川歌麿(1753～1806) …… 145
 北里柴三郎(1852～1931) …… 206
 木戸孝允(桂小五郎)(1833～77)
 …… 162,176,200
 紀貫之(872?～945) …… 75
 行基(668～749) …… 65
 金玉均(1851～94) …… 189,190
 空海(弘法大師)(774～835) …… 70
 空也(903～72) …… 71,102
 楠木正成(1294～1336) …… 92

黒澤明(1910～98) …… 269,271
 黒田清輝(1866～1924) …… 207
 源信(942～1017) …… 71,102
 広開土王(好太王)(374～412) …… 48
 孔子(前551～前479) …… 35
 光明皇后(701～60) …… 65,67
 孝明天皇(1831～66) …… 163
 後白河上皇(天皇)(1127～92) …… 71
 82,83
 後醍醐天皇(1228～1339) …… 92,93
 ゴッホ(1853～1890) …… 109,150
 後鳥羽上皇(1180～1239) …… 85
 小西行長(?～1600) …… 119,127
 近衛文麿(1891～1945) …… 235
 小林一茶(1763～1827) …… 144,148
 小林虎三郎(1828～77) …… 171
 小村寿太郎(1855～1911) …… 193
 ゴルバチョフ(1931～) …… 270
 コロンブス(1451～1506) …… 113

さ

西郷隆盛(1827～77) …… 162,176,177
 202
 最澄(767～822) …… 70
 斎藤隆夫(1870～1949) …… 234
 坂上田村麻呂(758～811) …… 68
 坂本龍馬(1835～67) …… 162
 佐藤栄作(1901～75) …… 261,265
 慈円(1155～1225) …… 82
 志賀直哉(1883～1971) …… 222
 式亭三馬(1776～1822) …… 144
 始皇帝(前259～前210) …… 35
 十返舎一九(1765～1831) …… 144
しでほら まじゅうろう
 幣原喜重郎(1872～1951) …… 229
 持統天皇(645～702) …… 59
 司馬遼太郎(1923～96) …… 268,269
 シーボルト(1796～1866) …… 138,141
 渋沢栄一(1840～1931) …… 202,204,205
 シヤカ(釈迦)(前560～前480) …… 37
 シャクシャイン(?～1669) …… 129
 蔣介石(1887～1975) …… 228,232,235
 256

聖徳太子(厩戸皇子)(574～622)
 …… 52,53,54,55,56,60
 聖武天皇(701～56) …… 64,65
 昭和天皇(1901～89) …… 233,245
 265,266,267
 白河上皇(天皇)(1053～1129) …… 77
 神武天皇(?～?) …… 45
 親鸞(1173～1262) …… 102
 推古天皇(554～628) …… 52
 菅原道真(845～903) …… 70
 杉田玄白(1733～1817) …… 139
 杉原千畝(1900～86) …… 237
 鈴木貫太郎(1867～1948) …… 231,245,267
 スターリン(1879～1953) …… 226,227
 244,259
すくとくじょうこう
 崇徳上皇(1119～64) …… 82
 世阿弥(1363～1443) …… 104
 清少納言(?～?) …… 71,75
 セオドア・ルーズベルト(1858～1919)
 …… 17,195,198
 関孝和(1637～1708) …… 133
 雪舟(1420～1506) …… 105
 千利休(1522～91) …… 122
 宗助国(1207～74) …… 90
 蘇我入鹿(?～645) …… 56
 蘇我馬子(?～628) …… 53,56
 蘇我蝦夷(?～645) …… 57
 孫文(1866～1925) …… 199,208,228

た

平清盛(1118～81) …… 82,86
 平将門(?～940) …… 76
 高杉晋作(1839～67) …… 162,200
 高野長英(1804～50) …… 149
 高村光雲(1852～1934) …… 207
 高山右近(?～1615) …… 121
 滝沢馬琴(1767～1848) …… 144,147
 滝廉太郎(1879～1903) …… 207
 武田信玄(1521～73) …… 91,111
 田中角栄(1918～93) …… 264,265
 田中正造(1841～1913) …… 203
 谷崎潤一郎(1886～1965) …… 222

田沼意次(1719～88) …… 142,143
 俵屋宗達(?～?) …… 133
 近松門左衛門(1653～1724) …… 132,146
 チャーチル(1874～1965) …… 244
 チャンドラ・ボース(1897～1945) …… 246
 247
 張学良(1901～2001) …… 232
 チングス・ハン(1167～1227) …… 88
 津田梅子(1864～1929) …… 17,176
 手塚治虫(1928～89) …… 269
 天智天皇(626～672) …… 58,59
 天武天皇(大海人皇子)(?～686)
 …… 59,64
 道元(1200～53) …… 102
 東郷平八郎(1847～1934) …… 194,197
 東洲斎写楽(?～?) …… 145
 東条英機(1884～1948) …… 237,240
 253,255
 徳川家光(1604～51) …… 124,127,151
 徳川家康(1542～1616) …… 119,124
 126,147
 徳川綱吉(1646～1709) …… 132
 徳川斉昭(1800～60) …… 160,162
 徳川光圀(1628～1700) …… 133
 徳川慶喜(1837～1913) …… 149,163,164
 徳川吉宗(1684～1751) …… 139,142
 豊臣秀吉(1536～98) …… 117,118,119
 121,124,130,151
 トルーマン(1884～1972) …… 255

な

中江藤樹(1608～48) …… 133
 中臣鎌足(614～669) …… 57
 中大兄皇子(天智天皇)(626～71) 57
 夏目漱石(1867～1916) …… 207
 ニクソン(1913～94) …… 264
 日蓮(1222～82) …… 102
 二宮尊徳(1787～1856) …… 135
 乃木希典(1849～1912) …… 195
 野口英世(1876～1928) …… 206

は

バスコ・ダ・ガマ(1469?～1524) …… 113
 八田與一(1886～1942) …… 275
 林子平(1738～93) …… 149
 林羅山(1583～1657) …… 133
 原敬(1856～1921) …… 218
 ハリス(1804～78) …… 159
 パル(1886～1967) …… 255
 樋口一葉(1872～96) …… 207
 樋口季一郎(1888～1970) …… 237
 菱川師宣(?～1694) …… 133
 ヒトラー(1889～1945) …… 226,227,236
 244
 卑弥呼(?～?) …… 40
 平賀源内(1728～79) …… 139
 平塚らいてう(1886～1971) …… 219
 フェノロサ(1853～1908) …… 207
ふぎ
 溥儀(1906～67) …… 199,230,231
 福沢諭吉(1834～1901) …… 166,179
 188
 藤原純友(?～941) …… 76
 藤原定家(1162～1241) …… 102,103
 藤原道長(966～1027) …… 69
 フビライ・ハン(1215～94) …… 88
 フランクリン・ルーズベルト
 (1882～1945) …… 225,238,244
 フランシスコ・ザビエル
 (1506～52) …… 114,120
 フルシチョフ(1894～1971) …… 259
 フロイス(1532～97) …… 120
 ペリー(1794～1858) …… 158,159
 北条時宗(1251～84) …… 88
 北条時頼(1227～63) …… 87
 北条政子(1157～1225) …… 84
 北条泰時(1183～1242) …… 85,93
 法然(1133～1212) …… 102

ま

前野良沢(1723～1803) …… 139
 松岡洋右(1880～1946) …… 236
 松尾芭蕉(1644～94) …… 133

マッカーサー (1880～1964) …… 235
 252,255,267
 松平定信(1758～1829) …… 143
 松本清張(1909～92) …… 268
 間宮林蔵(1775～1844) …… 149
 マルクス(1818～83) …… 226
 三島由紀夫(1925～70) …… 268
 水野忠邦(1794～1851) …… 148,149
 美空ひばり(1937～89) …… 268
 源実朝(1192～1219) …… 85,103
 源義家(1039～1106) …… 77
 源義経(1159～89) …… 83,84
 源義朝(1123～60) …… 82,83
 源頼朝(1147～99) …… 83,84,86
 宮崎駿(1941～) …… 269
 武者小路実篤(1885～1976) …… 222
 ムッソリーニ(1883～1945) …… 227
 陸奥宗光(1844～97) …… 185
 紫式部(?～?) …… 71,75

明治天皇(1852～1912) …… 68,163,165
 274
 毛沢東(1893～1976) …… 256
 以仁王もちひとおう(1151～80) …… 83
 本居宣長(1730～1801) …… 139
 ムハンマド(570頃～632) …… 37
 森鷗外(1862～1922) …… 207
 護良親王もりながしんのう(1308～35) …… 92

や

柳田国男(1875～1962) …… 222
 山県有朋(1838～1922) …… 193,200
 山背大兄王やましろのおおえのみこ(?～643) …… 56
 山田長政(?～1630) …… 126
 山上億良(660?～733?) …… 67
 山部赤人(?～736?) …… 67
 湯川秀樹(1907～81) …… 268
 煬帝ようだい(569～618) …… 54
 横山大観(1868～1958) …… 207

与謝野晶子(1878～1942) …… 207
 与謝蕪村(1716～83) …… 144
 吉田兼好(1283?～1350?) …… 103
 吉田茂(1878～1967) …… 258,259
 吉田松陰(1830～59) …… 138,139,160
 161
 吉野作造(1878～1933) …… 218

ら

ラクスマン(1766～?) …… 148
 李舜臣(1545～98) …… 119
 李成桂(1335～1408) …… 96
 ルター (1483～1546) …… 112
 レーガン(1911～2004) …… 270
 レーニン(1870～1924) …… 214,226,232

わ

若槻礼次郎(1866～1949) …… 225
 渡辺崋山(1793～1841) …… 149

奥付

歴史年表①

*○印は「このころ」を意味する

時代	日本のおもなできごと	文化
旧石器時代	○石器を使った狩猟や採集	打製石器 岩宿遺跡
縄文時代	1 万数千年前 世界最古の土器がつくられる	縄文土器 土偶
	1 万数千年前 日本列島が大陸から分離	
	約 5500 年前 三内丸山遺跡の大規模集落	
	紀元前 500 年頃 菜畑遺跡で水田稲作	
	○水田稲作が広まる	
	○青銅器や鉄器が大陸から伝わる	
	紀元前 400 年頃 吉野ヶ里遺跡の環濠集落	弥生土器 銅剣・銅矛・銅鐙 高床式倉庫
	○ムラからクニへ	
	57 倭の奴国王が後漢に使いを送る	
	107 倭国王帥升が後漢に使いを送る	
	○2 世紀後半 倭国大乱	
	239 卑弥呼が魏に使いを送る	
	○前方後円墳がつくられる	箸墓古墳 埴輪
	○大和朝廷による統一の動き	
	372 百済王世子から七支刀が贈られる	
	391 朝鮮半島に出兵し、百済・新羅を破り高句麗と交戦したが朝鮮半島から撤退	
	○倭の五王が南朝の宋に使いを送る	
	451 倭王済「安東將軍倭国王」に任命される	
	478 倭王武（雄略天皇）が宋に使いを送る	
	552 百済王から仏像と経典を贈られる	仏教伝来 飛鳥寺 帰化人
	○蘇我・物部の崇仏論争	
	562 任那が滅亡、朝鮮への影響力を失なう	
	593 聖徳太子が摂政となる	
	600 第 1 回遣隋使派遣	
	603 冠位十二階	
	604 十七条の憲法	法隆寺 釈迦三尊像 百済観音像
	607 第 2 回遣隋使 「日出づる処の天子日没する処の天子」の国書	飛鳥文化
	608 第 3 回遣隋使「東の天皇西の皇帝」の国書 天皇号の始まり	
	630 第 1 回遣唐使	
	645 大化の改新、日本独自の年号を使用	
	663 白村江の戦い 唐・新羅連合軍に敗北	
	○防人、水城、近江遷都で防衛を固める	
	672 壬申の乱 天武天皇の政治が始まる	
	○天武天皇、律令、歴史書編纂を指示	
	○「日本」という国号が定まる	
	701 大宝律令がつくられる	古代律令国家 の形成過程
	708 和同開珎が鑄造される	

中国	世界の主なできごと
700 700 万年	700 万年 人類の誕生
	世界四大文明
BC 560 ごろ	釈迦誕生
BC 551 ごろ	孔子誕生
BC 221	秦の始皇帝中国統一、皇帝の称号
BC 202	漢の成立
BC 27	ローマ帝国成立
BC 4 (?)	イエス・キリスト誕生
AD 220	漢が滅び、三国に分裂
589	隋が中国大陸を統一
610	ムハンマドがイスラム教を創始
618	隋が滅び、唐が起る
660	百済が滅びる
668	高句麗が滅びる
676	新羅が朝鮮半島統一

時代	日本のおもなできごと	文化
奈良時代	710 平城京遷都	『古事記』『日本書紀』 『風土記』 東大寺 正倉院 唐招提寺 阿修羅像 四天王像 『万葉集』
	741 聖武天皇が国分寺建立の詔を發布	
	743 墾田永年私財法 開墾地の私有を認める	
	聖武天皇が大仏造立を発願（752 完成）	
	784 長岡京遷都	
	792 桓武天皇が兵役制度を改革 健児制を新設する	
	794 平安京遷都	
	802 坂上田村麻呂 蝦夷を降伏させる	最澄 空海
	866 藤原良房が摂政となる 887 藤原基経が関白となる	
	○摂関政治が始まる	
	894 菅原道真が遣唐使の廃止を提唱	かな文字の発達
	935 平将門の乱（～ 40）	『古今和歌集』
	939 藤原純友の乱（～ 41）	『枕草子』
	1016 藤原道長が摂政となる	『源氏物語』
	○摂関政治の全盛期	
	1051 前九年の役（～ 62）	平等院鳳凰堂
	1083 後三年の役（～ 87）	
	1086 白河上皇が院政を開始	
	○武士の台頭	
		中尊寺金色堂
	第 2 章 中世の日本	
	1156 保元の乱 1159 平治の乱	
	1167 平清盛が太政大臣となる	
	1185 壇ノ浦の戦いで平氏が滅ぶ 源頼朝が守護・地頭を設置	
	1192 源頼朝が征夷大将軍に任命される	鎌倉新仏教
	鎌倉幕府の成立	
	1221 承久の乱 幕府軍が朝廷軍を破る	東大寺金剛力士像 『新古今和歌集』 『平家物語』
	1232 御成敗式目を制定する	
	1274 元・高麗軍が対馬・壱岐を襲撃し、九州に上陸する（文永の役）	鎌倉文化
	1281 元・高麗軍に江南軍を加え再度襲来（弘安の役）	
	1297 武士の窮乏を救うため、徳政令を発令	
	1333 鎌倉幕府滅亡	『徒然草』
	1334 後醍醐天皇による建武の新政	
	1336 足利尊氏が北朝の天皇を立て南北朝時代始まる	
	1338 足利尊氏が征夷大将軍となる	
	1378 足利義満、室町に幕府を移す	能 狂言 金閣 書院造
	1392 南北朝が合一される	
	1404 足利義満が日明貿易を開始	
	1428 正長の徳性一揆	
	1429 尚氏によって、琉球が統一される	

中国	日本
新羅	700
唐	710
	794
	936
宋(北宋)	960
	997
	1096
	1127
高麗	1192
金	1279
元	1368
	1392
明	1392

歴史年表②

時代	日本のおもなできごと	
戦国時代 1467	第3章 近世の日本	
	1467 応仁の乱がはじまる (~ 77)	銀閣 水墨画
	1485 山城国一揆、守護を追放 (~ 93)	室町文化
	1488 加賀の一方向一揆、約百年間の自治を行う (~ 1580)	御伽草子
	1543 種子島に鉄砲が伝わる	
	1549 ザビエルがキリスト教を伝える	
	1568 織田信長が将軍足利義昭を奉じて入京	
1573	1573 信長が義昭を追放、室町幕府滅亡	
	1582 本能寺の変	
	豊臣秀吉の太閤検地 (~ 98)、石高制を確立	狩野永徳 茶の湯 安土城 大阪城 ふすま絵
	1585 秀吉が関白に就任する	安土桃山文化
	1587 パテレン追放令	
	1588 刀狩令によって兵農分離を行う	
	1590 秀吉、全国統一	
	1592 秀吉、明の征服を企て、朝鮮に出兵 (文禄の役)	
	1597 秀吉と明との和平交渉が決裂し、再び朝鮮に出兵 (慶長の役)	
	1600 関ヶ原の戦い	
1603	1603 徳川家康が征夷大将軍に任命される 江戸幕府の成立	
	1609 薩摩藩が琉球の首里城を攻略し、琉球王を従わせる	
	1615 大阪夏の陣で豊臣氏が滅亡 武家諸法度を発令	
	1635 日本人の海外渡航を禁止する 参勤交代制度を定める	
	1637 島原の乱 (~ 38)	
	1639 ポルトガル船の来航を禁止 (鎖国の完成)	風神雷神図屏風 井原西鶴 松尾芭蕉
	1641 オランダ商館を出島に移す	
	1669 アイヌの族長シャクシャインが蜂起し、松前藩と戦う	元禄文化
	1680 徳川綱吉の文治政治	
	1702 赤穂浪士の討ち入り事件が起きる	近松門左衛門 歌舞伎 浮世絵
	1709 新井白石が登用される (~ 16)	
	1716 徳川吉宗の享保の改革 (~ 45)	本居宣長 『古事記伝』
	1772 田沼意次が老中となる	
	1787 松平定信の寛政の改革 (~ 93)	国学・蘭学の発達 川柳・狂歌の流行
	1792 ロシアのラクスマンが根室に来て通商を要求	
	1804 ロシアのレザノフが通商を要求	十返舎一九 『東海道中膝栗毛』
	1808 イギリス軍艦フェートン号が長崎港侵入	滝沢馬琴 『南総里見八犬伝』
	1825 異国船打払令	俳諧 与謝蕪村 小林一茶 浮世絵 葛飾北斎 歌川広重
	1837 大塩平八郎の乱	
	1841 水野忠邦の天保の改革 (~ 43)	
	○水戸藩の尊王攘夷思想	

時代	世界の主なできごと	
	1492 コロンブスがアメリカ大陸到達	
	1494 トルデシヤス条約	
	1498 バスコ＝ダ＝ガマがインドに到達	
	1517 宗教改革始まる	
	1519 マゼラン一行が世界一周へ	
	1526 インドにムガル帝国	
	1533 スペインがインカ帝国を滅ぼす	
	1534 イエズス会創立	
	1588 イギリスがスペイン無敵艦隊を撃退	
	1600 イギリスが東インド会社設立	
	1602 オランダが東インド会社設立	
	1620 イギリスの清教徒の一部が迫害を逃れてアメリカに移住	
	1644 明が滅びる	
	1688 イギリスで名誉革命	
	1732 イギリスがアメリカで13植民地を形成 ○イギリス産業革命	
	1776 アメリカ独立宣言	
	1789 フランス革命	
	1840 アヘン戦争	
	1842 南京条約でイギリスに香港割譲	
	1851 清国で太平天国の乱	

時代	第4章 近代の日本と世界 (I)	
	1853 ペリーが浦賀に来航	
	1854 日米和親条約を結び、開国する	
	1855 日露和親条約で、日露の国境を択捉島と得撫島間に定める	吉田松陰、松下村塾を主宰
	1858 日米修好通商条約 安政の大獄 (~ 59)	
	1860 桜田門外で大老井伊直弼が暗殺される	
	1861 対馬事件	
	1862 生麦事件	
	1863 薩英戦争	
	1864 長州の下関砲台が四国艦隊に占拠される	
	1866 薩長同盟が成立し、倒幕運動が加速する	
	1867 徳川慶喜、朝廷に大政を奉還する 王政復古の大号令 明治新政府の発足	
	1868 鳥羽伏見の戦い 旧幕府軍と新政府軍が争う (戊辰戦争 ~ 69) 五箇条の御誓文	
	1869 版籍奉還 蝦夷地を北海道と改称する	
	1871 廃藩置県 清国と日清修好条約を締結 岩倉使節団 (~ 73)	
	1872 学制を公布	太陽暦の採用 福沢諭吉 『学問のすすめ』 鹿鳴館
	1873 徴兵令により、国民軍を創設する 地租改正により、土地の所有権と課税基準を定める	
	1874 板垣退助らが、民撰議院設立建白書を提出 台湾出兵	
	1875 ロシアと樺太・千島交換条約締結	
	1876 秩禄処分 日朝修好条約で朝鮮を開国させる	
	1877 新政府の政策に不満を持つ土族が 鹿児島で反乱を起こす (西南戦争)	近代国家の形成過程
	1879 琉球を沖縄県とする	
	1889 大日本帝国憲法公布	
	1890 教育勅語発布 第1回帝国議会が開かれる	
	1894 日清戦争 (~ 95)	
	1895 下関条約により清国から遼東半島や台湾などを譲渡→三国干渉、遼東半島を返還	
	1900 清国で外国公使館が義和団に襲撃され、日本を含む8カ国が派兵する (義和団事件)	
	1901 清国と交戦国間で北京議定書締結	森鷗外『舞姫』 樋口一葉 『たけくらべ』 夏目漱石『こころ』
	1902 イギリスと日英同盟を結ぶ (~ 23)	
	1904 日露戦争 (~ 05)	
	1905 ポーツマス講和会議、清国内のロシア権益 (鉄道や租借権) を譲渡される	滝廉太郎 『荒城の月』
	1910 韓国を併合する	
	1911 関税自主権を回復、条約改正を達成	

時代	朝鮮王朝	
	1857 インドでセポイの乱	
	1858 イギリスがムガル帝国を滅ぼし、インドを併合	
	1861 アメリカで南北戦争 (~ 65)	
	1867 アメリカがロシアからアラスカを買収	
	1879 エジソンが電球を發明	
	1884 清仏戦争	
	1886 ビルマをインドに併合し、イギリス領とする	
	1891 ロシアがシベリア鉄道を建設	
	1893 ハワイがアメリカの保護領になる	
	1898 アメリカがスペインからフィリピンを得る	
	大韓帝国	

戦国時代

安土桃山時代

江戸時代

明

朝鮮王朝

清

江戸時代

明治時代

朝鮮王朝

大韓帝国

1910

歴史年表③

時代	日本のおもなできごと
1912	第5章 近代の日本と世界 (Ⅱ)
1912	護憲運動始まる
1914	第一次世界大戦に参戦
1915	中華民国政府に、「二十一か条の要求」を出す
1918	米騒動 シベリア出兵 (〜 22) 原敬の政党内閣成立
1920	国際連盟に加盟、日本は常任理事国となる
1923	関東大震災
1925	普通選挙法が成立
1931	満州事変 関東軍が満州主要部を占領
1932	満州国建国 五・一五事件
1933	日本が国際連盟を脱退する
1936	二・二六事件
1937	日中戦争 (支那事変) (〜 45)
1938	国家総動員法が成立
1940	日独伊三国軍事同盟を締結
1941	日ソ中立条約を締結 大東亜戦争 (太平洋戦争) (〜 45)
1943	大東亜会議
1945	広島、長崎に原爆投下 ポツダム宣言を受諾、降伏
	第6章 現代の日本と世界
1946	公職追放 東京裁判 (〜 48) 日本国憲法公布
1950	GHQの指令で警察予備隊が新設される (→ 52 保安隊 → 54 自衛隊)
1951	サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約締結
1952	サンフランシスコ講和条約発効 日本の独立回復
1956	日ソ共同宣言で国交を回復 国際連合に加盟 ○高度経済成長始まる
1960	日米安保条約改定 これに反対する運動が激化
1964	東海道新幹線開通 東京オリンピック開催
1965	日韓基本条約
1972	アメリカの施政下にあった沖縄が本土復帰 日中共同声明に調印、国交正常化
1973	石油危機 (79 第二次石油危機)
1978	日中平和友好条約
1989	昭和天皇崩御
1992	国連平和維持活動 (PKO) 協力法成立
2002	北朝鮮拉致被害者のうち 5 名が帰国

衣食住の近代化
文化の大衆化
大正時代の文化
吉野作造
「民本主義」
白樺派
谷崎潤一郎
芥川龍之介

湯川秀樹ノーベル物理学賞
黒澤明
『七人の侍』
石原慎太郎
『太陽の季節』
三島由紀夫
『金閣寺』
松本清張
『点と線』
司馬遼太郎
『坂の上の雲』
手塚治虫
『鉄腕アトム』
宮崎駿
『となりのトトロ』

中国	世界の主なできごと
1911	辛亥革命で清が滅びる
1912	中華民国成立
1914	第一次世界大戦 (〜 18)
1917	ロシア革命
1919	パリ講和会議
1920	国際連盟の成立
1921	ワシントン会議 (〜 22)
1922	ソ連邦成立
1924	アメリカ連邦議会で排日移民法成立
1928	蒋介石が国民党政府樹立
1929	世界恐慌が始まる
1930	アメリカが保護貿易政策に転換
1932	イギリスがブロック経済圏を形成
1933	ドイツでナチス政権樹立
1936	西安事件
1939	第二次世界大戦 (〜 45)
1943	カイロ会談
1945	ヤルタ会談 第二次世界大戦終結
1946	中国で国共内戦が再開
1948	大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国成立
1949	中華人民共和国成立
1950	朝鮮戦争 (〜 53)
1951	サンフランシスコ講和会議
1955	アジア=アフリカ会議
1960	アフリカで17カ国が独立
1961	ベルリンの壁構築
1965	ベトナム戦争 (〜 73)
1973	第四次中東戦争
1980	イラン=イラク戦争 (〜 88)
1989	天安門事件 ベルリンの壁崩壊 マルタ会議で米ソ冷戦終結
1991	湾岸戦争 ソ連邦解体

日本の統治時代
中華民国
米ソ占領
朝鮮民主主義人民共和国
大韓民国
中華人民共和国

大正時代

昭和時代

年号→西暦早見表

年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦												
あ		寛文	かんぶん	1661	〜	1673	承応	じょうおう	1652	〜	1655	天平神護	てんぴょうじんご	765	〜	767			
安永	あんえい	1772	〜	1781	寛保	かんぼう	1741	〜	1744	貞応	じょうおう	1222	〜	1224	天平宝字	てんぴょうほうじ	757	〜	765
安元	あんげん	1175	〜	1177	き					正嘉	しょうか	1257	〜	1259	天福	てんぷく	1233	〜	1234
安政	あんせい	1854	〜	1860	久安	きゅうあん	1145	〜	1151	貞観	じょうがん	859	〜	877	天文	てんぶん	1532	〜	1555
安貞	あんてい	1227	〜	1229	久寿	きゅうじゅ	1154	〜	1156	承久	じょうきゅう	1219	〜	1222	天保	てんぽう	1830	〜	1844
安和	あんな	968	〜	970	享徳	きょうとく	1452	〜	1455	正慶	しょうきょう	1332	〜	1334	天明	てんめい	1781	〜	1789
え					享保	きょうほう	1716	〜	1736	貞享	じょうきょう	1684	〜	1688	天養	てんよう	1144	〜	1145
永延	えいえん	987	〜	989	享禄	きょうろく	1528	〜	1532	貞元	じょうげん	1259	〜	1260	天曆	てんりやく	947	〜	957
永観	えいかん	983	〜	985	享和	きょうわ	1801	〜	1804	承元	じょうげん	1207	〜	1211	天禄	てんろく	970	〜	973
永久	えいきゅう	1113	〜	1118	け					貞元	じょうげん	976	〜	978	と				
永享	えいきょう	1429	〜	1441	慶安	けいあん	1648	〜	1652	正治	しょうじ	1199	〜	1201	徳治	とくじ	1306	〜	1308
永治	えいじ	1141	〜	1142	慶雲	けいうん	704	〜	708	貞治	じょうじ	1362	〜	1368	に				
永正	えいしょう	1504	〜	1521	慶應	けいおう	1865	〜	1868	昌泰	しょうたい	898	〜	901	仁安	にんあん	1166	〜	1169
永承	えいしゅう	1046	〜	1053	慶長	けいちょう	1596	〜	1615	正中	しょうちゅう	1324	〜	1326	仁治	にんじ	1240	〜	1243
永祚	えいそ	989	〜	990	建永	けんえい	1206	〜	1207	正長	しょうちょう	1428	〜	1429	仁寿	にんじゅ	851	〜	854
永長	えいちょう	1096	〜	1097	元永	げんえい	1118	〜	1120	正徳	しょうとく	1711	〜	1716	仁和	にんな	885	〜	889
永徳	えいとく	1381	〜	1384	元応	げんおう	1319	〜	1321	元徳	げんとく	1097	〜	1099	仁平	にんびょう	1151	〜	1154
永仁	えいにん	1293	〜	1299	元龜	げんき	1570	〜	1573	正平	しょうへい	1346	〜	1370	は				
永保	えいほう	1081	〜	1084	建久	けんきゅう	1190	〜	1199	承平	じょうへい	931	〜	938	白雉	はくち	650	〜	654
永万	えいまん	1165	〜	1166	元久	げんきゅう	1204	〜	1206	承保	じょうほう	1074	〜	1077	ふ				
永暦	えいりやく	1160	〜	1161	乾元	けんげん	1302	〜	1303	正保	しょうほう	1644	〜	1648	文安	ぶんあん	1444	〜	1449
永禄	えいろく	1558	〜	1570	元弘	げんこう	1331	〜	1334	正暦	しょうりやく	990	〜	995	文永	ぶんえい	1264	〜	1275
永和	えいわ	1375	〜	1379	元亨	げんこう	1321	〜	1324	承暦	じょうりやく	1077	〜	1081	文応	ぶんおう	1260	〜	1261
延応	えんおう	1239	〜	1240	建治	けんじ	1275	〜	1278	正和	しょうわ	1312	〜	1317	文化	ぶんか	1804	〜	1818
延喜	えんぎ	901	〜	923	元治	げんじ	1864	〜	1865	昭和	しょうわ	1926	〜	1989	文龜	ぶんき	1501	〜	1504
延久	えんきゅう	1069	〜	1074	元中	げんちゅう	1384	〜	1392	承和	じょうわ	834	〜	848	文久	ぶんきゅう	1861	〜	1864
延享	えんきょう	1744	〜	1748	建長	けんちょう	1249	〜	1256	貞和	じょうわ	1345	〜	1350	文治	ぶんじ	1185	〜	1190
延慶	えんきょう	1308	〜	1311	建徳	けんとく	1370	〜	1372	治暦	じりやく	1065	〜	1069	文正	ぶんしょう	1466	〜	1467
延元	えんげん	1336	〜	1340	元徳	げんとく	1329	〜	1332	神龜	じんき	724	〜	729	文政	ぶんせい	1818	〜	1830
延長	えんちょう	923	〜	931	元和	げんな	1615	〜	1624	神護景雲	じんごけいうん	767	〜	770	文中	ぶんちゅう	1372	〜	1375
延徳	えんとく	1489	〜	1492	建仁	けんにん	1201	〜	1204	た					文保	ぶんぼう	1317	〜	1319
延文	えんぶん	1356	〜	1361	元仁	げんにん	1224	〜	1225	大永	たいえい	1521	〜	1528	文明	ぶんめい	1469	〜	1487
延宝	えんぼう	1673	〜	1681	元文	げんぶん	1736	〜	1741	大化	たいか	645	〜	650	文暦	ぶんりやく	1234	〜	1235
延暦	えんりやく	782	〜	806	建保	けんぼう	1213	〜	1219	大治	だいち	1126	〜	1131	文禄	ぶんろく	1592	〜	1596
お					建武	けんむ	1334	〜	1338	大正	たいしょう	1912	〜	1926	文和	ぶんわ	1352	〜	1356
応安	おうあん	1368	〜	1375	建曆	けんりやく	1211	〜	1213	大同	だいたう	806	〜	810	へ				
応永	おうえい	1394	〜	1428	元暦	げんりやく	1184	〜	1185	大宝	たいほう	701	〜	704	平成	へいせい	1989	〜	
応長	おうちょう	1311	〜	1312	元禄	げんろく	1688	〜	1704	ち					長寛	ちようかん	1163	〜	1165
応徳	おうとく	1084	〜	1087	こ					長久	ちようきゅう	1040	〜	1044	保安	ほうあん	1120	〜	1124
応仁	おうにん	1467	〜	1469	弘安	こうあん	1278	〜	1288	長久	ちようきゅう	1040	〜	1044	宝永	ほうえい	1704	〜	1711
応保	おうほう	1161	〜	1163	康安	こうあん	1361	〜	1362	康享	こうきょう	1487	〜	1489	保延	ほうえん	1135	〜	1141
応和	おうわ	961	〜	964	康永	こうえい	1342	〜	1345	長元	ちようげん	1028	〜	1037	宝龜	ほうき	770	〜	780
か					康応	こうおう	1389	〜	1390	長治	ちようじ	1104	〜	1106	保元	ほうげん	1156	〜	1159
嘉永	かえい	1848	〜	1854	弘化	こうか	1844	〜	1848	長承	ちようしょう	1132	〜	1135	宝治	ほうじ	1247	〜	1249
嘉応	かおう	1169	〜	1171	康元	こうげん	1256	〜	1257	長徳	ちようとく	995	〜	999	宝徳	ほうとく	1449	〜	1452
嘉吉	かきつ	1441	〜	1444	興国	こうこく	1340	〜	1346	長保	ちようほう	999	〜	1004	宝暦	ほうれき	1751	〜	1764
嘉慶	かきょう	1387	〜	1389	弘治	こうじ	1555	〜	1558	長暦	ちようりやく	1037	〜	1040	ま				
嘉元	かげん	1303	〜	1306	康治	こうじ	1142	〜	1144	長祿	ちようろく	1457	〜	1460	万延	まんえん	1860	〜	1861
嘉承	かしょう	1106	〜	1108	康正	こうしょう	1455	〜	1457	長和	ちようわ	1012	〜	1017	万治	まんじ	1658	〜	1661
嘉祥	かしょう	848	〜	851	弘長	こうちょう	1261	〜	1264	て					万寿	まんじゅ	1024	〜	1028
嘉禎	かてい	1235	〜	1238	弘仁	こうにん	810	〜	824	天安	てんあん	857	〜	859	め				
嘉保	かほう	1094	〜	1096	康平	こうへい	1058	〜	1065	天永	てんえい	1110	〜	1113	明応	めいおう	1492	〜	1501
嘉暦	かりやく	1326	〜	1329	康保	こうほ	964	〜	968	天延	てんえん	973	〜	976	明治	めいじ	1868	〜	1912
嘉禄	かるく	1225	〜	1227	康暦	こうりやく	1379	〜	1381	天応	てんおう	781	〜	782	明德	めいとく	1390	〜	1394
寛永	かんえい	1624	〜	1644	弘和	こうわ	1381												